

今日は何の日？(R7.4.1現在)

出典：○＝「富山県史 年表」(明治初年～昭和60年)
◇＝「県広報課、土木部各課のデータ」(昭和61年～平成9年)
□＝「北日本新聞夕刊連載記事」(明治初年～平成8年)
☆＝その他適宜収録したもの
◆＝土木部各課のデータ(平成10年～)

番号	出典	年	月	日	枝番	年号	事項
1	□	1858	4	8		(A05)	[02/25]推定マグニチュード6.9の大地震、富山城の石垣崩れ、常願寺川の水源地で大鳶、小鳶が崩壊、常願寺川を塞ぐ(安政の大地震)
2	□	1858	4	23		(A05)	[03/10]常願寺川が決壊、下流に大被害、水害148ヶ村、流失・倒壊1612戸、死者140人、水害地で米が採れるまでに10年要した
3	○	1868	10	22		(K04)	[09/07]神通川出水し、家屋2570戸浸水す
4	○	1868	10	23	1	(M01)	[09/08]
5	○	1868	10	23	2	(M01)	[09/08]明治と改元す
6	○	1868	－	－		(M01)	(旧)矢崎喜十郎が射水郡氷見町村端に新川を掘り十二町潟の疎水工事に着手す～1869-09-08[08/03] 竣工す
7	○	1869	1	27		(M02)	[前12/15]加賀藩、家老以下を執政・参政などと改む
8	○	1869	3	1		(M02)	[01/19]富山藩、家老以下を執政・参政などと改む
9	□	1869	3	31		(M02)	[02/19]境、猪谷の両関所を廃止
10	○	1869	4	20		(M02)	[03/09]富山藩主利同、26藩主らと版籍奉還を上奏す
11	○	1869	4	－		(M02)	(旧)猶龍丸(加賀藩軍艦)が民間航海業普及を目的として伏木・七尾間の貨物輸送を開始す
12	○	1869	7	25		(M02)	[06/17]藩籍奉還が行われ、加賀藩主が金沢藩知事、富山藩主が富山藩知事に任命さる
13	○	1869	10	2		(M02)	[08/27]常願寺川に立山橋が架設さる
14	○	1869	10	11		(M02)	[09/07]金沢藩、執政・参政を廃し正権大参事・正権少参事を設置す
15	○	1869	10	27		(M02)	[09/23]政事堂を藩庁と改称す
16	○	1869	11	9		(M02)	[10/06]射水郡放生津町に大火、700戸焼失
17	○	1870	1	－		(M03)	(旧)富山藩、富山城に練兵場を造る
18	○	1870	11	2		(M03)	[10/09]新川郡上市村に大火、221戸焼失す
19	○	1870	11	－		(M03)	(旧)金沢藩、出張所を高岡・杉木・魚津に設置す
20	○	1870	12	6		(M03)	[閏10/14]金沢藩、民政係を廃して藩庁取扱の聴訟係・土木係などを設置す
21	○	1870	12	－		(M03)	(旧)金沢藩、瓦葺の家屋に雪留を施すことを命ず
22	□	1871	2	25		(M04)	[01/07]日本人として最も早くシベリアを横断した富山市岩瀬出身の嵯峨寿安、800kmを踏破、首都ペトログラードに到達
23	○	1871	2	－		(M04)	(旧)伏木・放生津など11ヶ町村が合併し新湊町となる
24	○	1871	8	29		(M04)	[07/14]廃藩置県の詔により富山・金沢藩を廃し富山県・金沢県が設置さる
25	○	1871	9	－		(M04)	(旧)小矢部川に二上橋(木町・渡村間)が架設さる
26	○	1871	11	－		(M04)	(旧)金沢県、庶務・聴訟・執法・租税・出納の5課を設置す
27	○	1871	12	10		(M04)	[10/28]富山県、租税・庶務・聴訟の3課を設置す
28	○	1871	12	31	1	(M04)	[11/20]富山・金沢・大聖寺の3県が廃され新川・金沢・七尾の3県が設置さる。新川県(新川郡・婦負郡・礪波郡)、七尾県(射水郡・他4郡)、金沢県(江沼郡・他3郡)
29	○	1871	12	31	2	(M04)	[11/20]坂田秀(前高鍋県参事)が新川県権参事に任命さる～1872-01-17[前12/08]辞任す
30	○	1872	1	7		(M05)	[前11/27]新川県、出納課を設置す
31	○	1872	1	21		(M05)	[前12/12]新川県東京出張所が東京常盤橋に設置さる
32	○	1872	2	5		(M05)	[前12/27]新川県仮県庁の魚津町設置を大蔵省に届け出る
33	○	1872	2	12		(M05)	[01/04]三吉周亮が新川県参事に任命さる
34	□	1872	2	28		(M05)	[01/20]新川県仮庁舎を魚津に置く
35	○	1872	3	10		(M05)	[02/02]金沢県を石川県と改称し、県庁を金沢から石川郡美川町に移転す
36	○	1872	3	－		(M05)	(旧)新川県、堤防取扱規程を制定す
37	○	1872	4	22		(M05)	[03/15]新川県庁が魚津町に開庁す
38	○	1872	5	2		(M05)	[03/25]新川県出張所が富山・杉木に設置さる
39	○	1872	6	23		(M05)	[05/18]新川郡東岩瀬村に大火、650戸焼失す
40	○	1872	6	－		(M05)	(旧)神通川に橋(婦負郡蟹寺地内)が架設さる
41	○	1872	8	－		(M05)	(旧)伝馬所が廃止され、新川郡10ヶ所、礪波郡1ヶ所、射水郡7ヶ所に陸運会社が開業す
42	○	1872	10	29		(M05)	[09/27]七尾県が廃止され、射水郡が新川県に、能登国が石川県に編入さる
43	○	1872	11	－		(M05)	(旧)新川県出張所が高岡に設置さる
44	○	1872	12	－		(M05)	(旧)富山稻荷町・北新町などに散在する遊郭が千歳御殿跡に移転され、桜木町となる
45	○	1872	－	－		(M05)	(旧)魚津・富山・高岡・泊・三日市・滑川・今石動・井波・城端・杉木新・氷見の各町に郵便役所・郵便取扱所が設置さる
46	○	1873	1	1		(M06)	[1872/12/03]太陽暦の採用により明治6年1月1日となる
47	○	1873	1	14	1	(M06)	山田秀典(前土木権頭)が新川県権令に任命さる～1973-02-03着任
48	○	1873	1	14	2	(M06)	石川県庁を石川郡美川町から金沢に復す
49	○	1873	1	20		(M06)	新川県、水害救助のため困穀を実施す
50	○	1873	1	25		(M06)	新川県参事、射水郡新湊伏木村に小学校設立を許可す
51	○	1873	1	－		(M06)	戸口調査が初めて実施さる、新川県の戸数13万8638戸、人口62万3977人
52	○	1873	2	16		(M06)	伏木小学校開校す(県内初の小学校)
53	○	1873	3	－		(M06)	新川県、県庁を魚津町から富山町への移転を大蔵省に申請す
54	○	1873	4	30		(M06)	庄川出水し、礪波郡太田村堤防約100間破壊、田畑40町歩流失
55	○	1873	9	6		(M06)	新川県庁が魚津町から富山旧城内に移転さる～□では-08-28とす
56	○	1873	9	12		(M06)	射水郡新湊町に大火、200戸焼失
57	○	1873	9	－		(M06)	新川県高岡・富山・杉木の県出張所を廃止す
58	○	1873	10	3		(M06)	神通川出水し、家屋1900戸浸水。庄川出水し、堤防破壊
59	○	1873	－	－		(M06)	新川県の諸車保有台数 馬車10、人力車16
60	○	1874	7	6		(M07)	常願寺川増水のため柴草・利田・三郷各用水口より入水し堤防決壊
61	○	1874	7	－		(M07)	射水郡新湊伏木村正副区長・正副戸長ら12人が新川県権令に伏木港常燈明並びに波除けなどの経費徴収についての伺いを提出す
62	○	1875	5	8		(M08)	新川県、学務課を設置し、庶務・聴訟・租税・出納と合せ5課とす
63	□	1875	6	15		(M08)	八尾町で大火、約160戸焼失
64	○	1875	6	17		(M08)	礪波郡五箇山下梨村の竈渡所に橋が架設さる
65	○	1875	7	4		(M08)	高岡古城地のうち射水神社敷地を除く6万7761坪を公園に改め、高岡公園と称す
66	○	1875	7	9		(M08)	黒部川出水し、堤防決壊、水田数万歩浸水す
67	○	1875	7	15		(M08)	婦負郡八尾町に大火、110戸焼失す
68	○	1875	7	－		(M08)	富山町に郵便箱が置かる
69	○	1875	8	7		(M08)	子撫川出水し、浸水13ヶ町村、橋梁8ヶ所流失す
70	○	1875	8	12		(M08)	常願寺川出水し、堤防決壊、田畑約100町歩流失荒廃
71	○	1875	8	27		(M08)	東京三菱会社所有の蒸気船瓊浦丸・豊島丸が伏木港に入港す
72	○	1875	9	16		(M08)	射水神社が射水郡二上村字谷内から高岡古城地の新殿に遷座さる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
73	○	1875	10	22		(M08)	新川県権令、新川郡原村より長野県安曇郡野口村への新道切り開きの伺書を内務省に提出す～1875-10-30太政大臣これを許可す
74	○	1875	11	30		(M08)	新川県、従来の聴訟課を廃し、勸業・警保兩課を新設し、第一課庶務・第二課勸業・第三課租税・第四課警保・第五課学務・第六課出納とす
75	○	1876	4	18		(M09)	新川県が石川県に編入さる
76	○	1876	5	5		(M09)	石川県裁判所支庁が元新川県庁跡に設置さる
77	○	1876	5	12		(M09)	石川県、元新川県庁跡に官員派出所を設置し、請願伺届などを取扱う～1876-09-21同派出所を富山支庁と改称す
78	○	1876	7	28		(M09)	石川県、治水心得を越中国へ布達す
79	○	1876	8	21		(M09)	敦賀県が石川県に編入さる
80	○	1876	9	8		(M09)	石川県、娼妓及び娼妓貸座敷営業免許地として魚津鴨川町・東岩瀬中町・富山北新地・富山桜木町・放生津立町・伏木中道・高岡新横町・氷見下伊勢町・今石動紺屋町・杉木新町東新地の10ヶ所を指定す
81	□	1876	10	20		(M09)	県内初の公立病院、金沢病院富山分院が富山市千石町に仮設、赤十字富山病院の前身
82	○	1876	11	1	1	(M09)	射水郡の事務は石川県本庁の直轄となる
83	○	1876	11	1	2	(M09)	石川県、区方仮条例を制定し、越中国を5大区54小区に分け、各大区に区務所を設置す(第一大区＝新川郡魚津町、第二大区＝新川郡水橋町、第三大区＝富山町、第四大区＝高岡町、第五大区＝礪波郡石動町)大区に区長・副区長を、小区に戸長・副戸長を配置す
84	○	1876	11	－		(M09)	石川県、平屋を原則とした学校建築心得を制定す～1877-07-XX改正により洋風建築・二階建てを認む
85	○	1876	12	25		(M09)	石川県、富山・福井両支庁処務条例並びに事務章程を制定す(富山支庁は新川・婦負2郡を管轄)
86	○	1877	1	26		(M10)	石川県権令、三菱会社郵便汽船の神戸・伏木間航路開通について布達す
87	○	1877	4	10		(M10)	常願寺川出水し、堤防決壊、田畑約100町歩荒損
88	○	1877	8	8		(M10)	伏木燈明台の開燈式挙行さる～1877-08-10燈明台の点燈開始
89	○	1877	8	－		(M10)	礪波郡五箇山上梨・田向間に鎖橋が架設さる
90	○	1878	1	14		(M11)	石川県、校舎建築の虚飾を防ぐため校舎建築心得要略を示達す
91	○	1878	6	12		(M11)	小杉復堂らが佐伯雪村の案内で多枝原温泉(立山温泉)から松尾峠を経て弥陀ヶ原に出て立山登山をす
92	○	1878	7	22		(M11)	電信線金沢・魚津間が完成す～1878-09-05魚津電信分局が通信開始、同日電信線魚津・今町間が完成し、北回りの東京・魚津・金沢・京都線貫通す
93	○	1878	7	－		(M11)	境川橋が明治天皇北陸巡幸を機に石川・新潟両県共同で架設さる
94	○	1878	8	－		(M11)	婦負郡西呉羽村・東呉羽村地内に安養坊新道が開削さる
95	□	1878	9	5		(M11)	明治天皇ご巡幸を機に県内で初めて魚津町で電信開始、続いて全県へ電信線架設
96	○	1878	9	28		(M11)	明治天皇が越中国に行幸さる～1878-10-02
97	○	1878	9	－		(M11)	河北郡竹橋村より礪波郡今石動町に至る天田越新道が竣工す
98	○	1878	12	17		(M11)	石川県、郡区を改正し、越中国新川郡を上新川・下新川両郡に分け、上新川・下新川・婦負・射水・礪波5郡とし、上新川郡＝富山総曲輪、下新川郡＝魚津町、婦負郡＝富山愛宕町、射水郡＝高岡町、礪波郡＝今石動町に郡役所を置く
99	○	1878	12	20		(M11)	石川県、富山・福井両支庁を廃止す
100	○	1878	12	27		(M11)	石川県、府県官職制により従来の課を廃し、庶務・勸業・租税・地理・土木・警察・学務・出納の8課をを置く
101	○	1879	3	3		(M12)	高岡町に大火、2000戸焼失
102	○	1879	4	1		(M12)	第一回石川県会議員選挙実施、定数69名、うち越中分22名(上新川郡5名、下新川郡4名、婦負郡3名、射水郡5名、礪波郡5名)
103	○	1879	5	26		(M12)	石川県通常県会(～-07-29、-09-13～-10-15)コレラ流行のため会期延長3回、会期日数143日(うち休会45日)、12年度地方税収入支出予算案を可決、堤防道路橋梁費についての建議を可決
104	○	1879	8	1		(M12)	礪波郡井波町の瑞泉寺、太子堂より出火し全焼
105	○	1879	8	12		(M12)	下新川郡泊町に大火、110戸焼失
106	○	1879	8	－		(M12)	R・W・アトキンソンが富山から弥陀ヶ原を経て立山登山をす
107	○	1879	9	30		(M12)	工部省、電信線金沢・伏木間完成により高岡町・射水郡新湊伏木村に電信分局の設置を布達す
108	○	1879	12	1		(M12)	内務省山林局出張所が富山千石町に開設さる
109	○	1879	－	－		(M12)	この春、三菱会社伏木支店が設置され、伏木港より東京・大阪・馬関の諸港及び北海道各港への航路が営業開始さる
110	□	1880	2	1		(M13)	電信局が富山市中町に設けらる
111	○	1880	4	3		(M13)	新湊伏木村に大火、270戸焼失
112	□	1880	6	22		(M13)	富山商法会議所(現富山商工会議所)が上新川郡富山惣曲輪に設置
113	○	1880	7	－		(M13)	日本アルプスの名付け親ウィリアム・ガウランドが立山に登る
114	○	1880	11	27		(M13)	高波のため、上新川郡滑川町・水橋町東水橋沿岸で家屋多数破壊、家屋約50戸浸水、船舶5艘破壊
115	○	1880	－	－		(M13)	大蔵省、石川県に土木費下渡金をとして70万円を下付す、うち約50万円が越中の庄川・常願寺川・黒部川などの改修に支出さる
116	○	1880	－	－		(M13)	藤井能三が伏木消防組に洋式腕力ポンプを寄付す
117	○	1881	1	－		(M14)	礪波郡五箇山地方に大雪、積雪1丈5尺～3丈
118	○	1881	2	7		(M14)	福井県の設置により石川県管下の旧敦賀県越前7郡が福井県に編入さる
119	○	1881	2	15		(M14)	石川県臨時県会(～-03-02)越前分離に伴う案件を審議、議員定数が69名から49名となる(越中が22名、残り27名が石川分)
120	○	1881	3	24		(M14)	石川県、府県土木費の官費下渡金廃止により堤防修繕費は地方費及び協議費とすることを布達す
121	○	1881	3	－		(M14)	常願寺川出水し、堤防破壊など多大な損害
122	○	1881	4	13		(M14)	礪波郡中田町に大火、140戸焼失
123	○	1881	4	－		(M14)	藤井能三が発起人となり、伏木港に越中風帆船会社を設立す
124	○	1881	5	20		(M14)	石川県通常県会(～-07-08)官費下渡金廃止により土木費をめぐり河川の修築を主張する越中議員に対し加賀・能登議員は官公署の建築や道路修理を主張し紛糾、土木費は廃棄、県会議事規則・傍聴人心得などの修正を議定
125	○	1881	6	15		(M14)	滑川町に大火、約750戸焼失、死者3人
126	○	1881	7	3		(M14)	氷見町に大火、200戸焼失
127	○	1881	7	7		(M14)	太政官、石川県に庄川等の堤防費として約21万円の支出を通達す
128	○	1881	7	－		(M14)	島田孝之らが元老院議長に庄川などの治水費制規更定を建白す
129	○	1881	9	24		(M14)	太政官、内務省に常願寺川などの堤防費として約18万円増額追加支出を通達す
130	○	1881	9	－		(M14)	北陸通船会社が伏木港に設立され、岩瀬・魚津を経て直江津に至る航路の営業を開始す
131	○	1881	12	8		(M14)	新湊伏木村の栗田吉左衛門・宮本清右衛門が蒸気船を買入れ伏木丸と命名し、石川県に伏木・高岡間の貨客運輸業の営業を願い出る
132	○	1881	12	23		(M14)	石崎謙の分県建白書が東京府知事から元老院議長に進達さる～翌-12-24元老院、受理す
133	○	1881	－	－		(M14)	庄川の数度の出水により沿岸の田畑が荒廃す
134	○	1882	4	－		(M15)	常願寺川出水し、上新川郡西水橋町全町浸水、田畑約40町歩浸水

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
135	○	1882	5	15		(M15)	氷見町に大火、窪村に延焼し、約1600戸焼失、死傷者数十人
136	○	1882	5	－		(M15)	射水郡熊無村谷屋・中村で椿用水をめぐる紛争が起きる
137	○	1882	6	－	1	(M15)	藤井能三が越中視察中の参事議院官安場保和に越中分県を陳情す
138	○	1882	6	－	2	(M15)	富山城趾を公園にすることが許可さる
139	○	1882	7	8		(M15)	高岡町に大火、230戸焼失
140	○	1882	7	26		(M15)	石川県通常県会(～12-22)会期延長4回、会期150日。15年度地方税支出収入予算案を再審議し可決。治水費についての建議を可決、内務卿へ提出
141	○	1882	9	5		(M15)	石川県、消防規則を制定す
142	○	1882	9	15		(M15)	安場議官が視察に基づき越中分県を得策とする復命書を太政大臣に提出す
143	○	1882	11	24		(M15)	内務卿・太政大臣、富山県など4県の増置について参事院へ審査を命ず
144	○	1882	－	－	1	(M15)	この夏、越中国内の町村代表らが富山で会合し政府に越中分県を請願することを決議す
145	○	1882	－	－	2	(M15)	越中の諸車保有台数 人力車1007、荷車2011
146	○	1882	－	－	3	(M15)	越中の船舶数 西洋型12(蒸気6、風帆6)、日本型264
147	○	1882	－	－	4	(M15)	庄川・小矢部川に初めての砂防工事が行わる(～M18年度)
148	○	1882	－	－	5	(M15)	飛驒街道の富山西町・笹津橋間の開削工事が竣工す
149	○	1883	1	28		(M16)	神通川舟橋が木橋に改められ通行式が挙行さる
150	○	1883	1	－		(M16)	庄川の寺畑橋(中伏木・新島間)の渡橋式が挙行さる
151	○	1883	3	－		(M16)	庄川沿岸50ヶ村の村民代表者が内務卿に治水費の国庫補助を要望する嘆願書を提出す
152	○	1883	4	16		(M16)	礪波郡埴生村に大火、230戸焼失
153	○	1883	5	9	1	(M16)	太政官布告により富山県が設置され、国重正文(前京都府大書記官)が初代県令(県知事)に就任す
154	○	1883	5	9	2	(M16)	富山県、県令の下に書記官、警部長、属、警部、典獄、副典獄を、本局に調査掛を置き、庶務・兵事・勸業・土木・学務・衛生・会計・租税の8課及び警察本署・監獄本署を設置す、初代土木課長は白井倫直氏(山口県出身)
155	○	1883	5	10		(M16)	庄川出水し、堤防破壊流失などの被害
156	○	1883	5	15		(M16)	富山県設置を祝う分県祭が執行さる
157	○	1883	7	1		(M16)	富山県庁が富山公園地に開庁す
158	○	1883	7	2		(M16)	富山県令、県会議員の定数を布達す(22名、内訳は石川県時代と同じ)
159	○	1883	7	30		(M16)	富山県、県内の収税区域を制定す
160	○	1883	7	－		(M16)	第一回富山県会議員選挙実施、22名当選(有権者数2万2057人で人口比3. 17%)
161	□	1883	8	17		(M16)	最初の県議会が富山師範学校講堂を仮議場として開会、議長に武部尚志氏
162	○	1883	9	11		(M16)	高波のため、下新川郡生地海岸で波除工事30間破壊、浜納屋27棟倒壊、市街家屋浸水
163	○	1883	10	1		(M16)	第一回富山県通常県会(～10-30)16年度富山県地方税支出収入予算案を土木費を除いて可決(土木費は庄川・常願寺川・黒部川の県費支弁をめぐる審議未了)
164	○	1883	10	30		(M16)	通常県会、16年度の予算を可決(土木費を除く)、収入予算38万1457円、支出予算24万1155円
165	○	1883	12	1		(M16)	私立伏木測候所が伏木燈明台に設立され、観測を開始す
166	○	1883	12	28		(M16)	富山県、道路溝渠清潔規則を制定す
167	○	1883	－	－	1	(M16)	16年度一般会計支出決算額35万3604円(うち土木費8万4362円、町村土木補助費2万8417円、土木関係費11万2779円、全体の31. 9%)
168	○	1883	－	－	2	(M16)	石川県越中国の戸数・人口 13万6788戸、69万3976人
169	○	1884	1	1		(M17)	私立伏木測候所、定時3回観測を実施す
170	○	1884	1	－	1	(M17)	県、小学校舎建築心得を制定す
171	○	1884	1	－	2	(M17)	藤井能三らの伏木地区有志が県に伏木港築港について請願す
172	○	1884	4	4		(M17)	県、河川流材規則を制定す
173	○	1884	4	29		(M17)	通常県会、17年度予算36万5000円を可決す
174	○	1884	6	17		(M17)	臨時県会(～06-23)飛驒街道開削費国庫補助の要請についての上申を可決
175	○	1884	8	11		(M17)	県、土木費及び土木補助費区別を布達す
176	○	1884	11	－		(M17)	礪波郡高窪越新道の開削が竣工す
177	○	1884	－	－	1	(M17)	17年度一般会計支出決算額41万4000円
178	○	1884	－	－	2	(M17)	布村小平が神通川の繁殖孵化場を上新川郡西田地方村に設置す
179	○	1885	1	14		(M18)	県、富山公園地(旧富山城趾)を富山県庁地と改称す
180	○	1885	1	25		(M18)	富山県中学校が富山総曲輪に開校す～1886-12-23(M19)富山県尋常中学校と改称す～1899-04-01(M32)富山県第一中学校と改称す～1901-10-04(M34)県立富山中学校と改称す
181	○	1885	2	24		(M18)	県、内務省令により東京・富山間の国道路線などについて告示す
182	○	1885	3	9		(M18)	通常県会(～04-07)会計年度の期間を変更す(7月1日～翌年6月31日を4月1日～翌年3月31日に変更)
183	○	1885	4	7		(M18)	通常県会、18年度予算32万円を可決
184	○	1885	4	8		(M18)	神通川出水し、家屋1530戸浸水す
185	○	1885	4	28		(M18)	礪波郡中田町に大火、約100戸焼失す
186	○	1885	5	6		(M18)	県、管内3治水区を定め、土木出張所を設置することを布達す(第一区出張所＝射水郡大門新町、第二区出張所＝上新川郡向新庄村)
187	○	1885	5	31		(M18)	富山町に大火、民家5925戸、学校・官庁・社寺・その他477棟焼失す、死者9人
188	○	1885	6	16		(M18)	臨時県会(～06-22)4月8日の神通川などの水害による河川復旧費を可決
189	○	1885	7	1		(M18)	暴風雨のため、伏木・魚津・水橋・東岩瀬各港で多数の船が難破。庄川・神通川・黒部川などの諸河川出水し、堤防破壊
190	○	1885	8	20		(M18)	福光・金沢間の道路が開通す
191	○	1885	9	20		(M18)	上新川郡上市町に大火、120戸焼失す
192	○	1885	10	23		(M18)	富山町の連合町会が防火線路敷設を決議す
193	○	1885	10	－		(M18)	黒部川に吊橋が架設さる～1886-11-XX東半分を木橋に架換える
194	○	1885	12	3		(M18)	通常県会、19年度予算38万4000円を可決す
195	○	1885	－	－		(M18)	18年度一般会計支出決算額30万3000円
196	○	1885	－	－		(M18)	飛驒街道の笹津橋・蟹寺村間が竣工す
197	○	1886	1	1		(M19)	私立伏木測候所、定時6回観測を実施す(観測統計の起点)
198	□	1886	2	2		(M19)	富山市諏訪川原に魚市場創設
199	○	1886	4	2		(M19)	新湊町放生津に大火、200戸焼失す
200	○	1886	4	5		(M19)	上新川郡西水橋町に大火、380戸焼失す
201	○	1886	5	11		(M19)	県、貸座敷及び娼妓営業取締規則を制定し、免許地13ヶ所を指定す(～06-01施行)
202	○	1886	5	21		(M19)	県、溝渠取締規則・塵芥取締規則・街頭便所取締規則を制定す
203	○	1886	7	3		(M19)	富山町、防火線路敷設工事に着手す～1887-06-11(M20)竣工す
204	○	1886	7	12		(M19)	内務省令により本県が第三区土木監督区署の管轄となる
205	○	1886	7	20		(M19)	県、行政機構を改正し、第一部(議事・文書・農商・庶務課)、第二部(土木・兵事・学務・監獄・衛生・会計課)、収税部(賦税)
206	○	1886	10	－		(M19)	庄川に中田橋(北般若村・中田町間)が架設さる
207	○	1886	12	21		(M19)	通常県会、20年度予算39万9000円を可決す
208	○	1886	－	－	1	(M19)	19年度一般会計支出決算額46万8000円
209	○	1886	－	－	2	(M19)	飛驒街道の蟹寺村・飛驒国界間が竣工す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
210	○	1887	4	1	1	(M20)	滑川町に大火、411戸焼失す
211	○	1887	4	1	2	(M20)	私立伏木測候所が県に移管さる
212	□	1887	4	17		(M20)	射水郡湊分、中川、下関で大火、392戸全焼
213	○	1887	4	21		(M20)	富山町に大火、801戸焼失す
214	○	1887	4	23		(M20)	上市町に大火、117戸焼失す
215	○	1887	4	28		(M20)	県、火災予防のため家屋制限規則を制定す
216	○	1887	5	17		(M20)	臨時県会(～-05-23)国道改修追加予算を議決
217	○	1887	6	9		(M20)	県、衛生予防のため、市街地を対象に家屋建築規則を制定す
218	○	1887	6	20		(M20)	県、郡役所などへ県道仮定について布達す
219	○	1887	6	23		(M20)	県、国道及び仮設県道に沿う町村に里程標を建設するよう訓令す
220	○	1887	10	1		(M20)	伏木町に大火、家屋など約400戸焼失す、死者2人
221	○	1887	11	22		(M20)	県会議事堂が富山総曲輪に新築され、竣工式が挙行さる
222	○	1887	12	16		(M20)	通常県会、21年度予算38万1000円を可決す
223	○	1887	-	-	1	(M20)	20年度一般会計支出決算額39万6000円
224	○	1887	-	-	2	(M20)	県から荷馬車の大意を受け飛騨街道に荷車会社が設立さる
225	○	1887	-	-	3	(M20)	県の諸車保有台数 人力車1364、馬車11
226	○	1887	-	-	4	(M20)	氷見郡藪田村・宇波村などにセメント工場が設立さる
227	○	1888	3	11		(M21)	富山商工会議所の落成式が挙行さる
228	○	1888	4	15		(M21)	新湊町に大火、127戸焼失す
229	○	1888	4	17		(M21)	高岡町に大火、800戸焼失す
230	○	1888	4	20		(M21)	新湊町に再び大火、150戸焼失す
231	○	1888	6	30		(M21)	島田孝之ら54人が政府に北陸鉄道会社設立願を提出す
232	○	1888	10	29		(M21)	藤島正健(前大蔵省総務局文書課長)が知事に就任す
233	○	1888	11	5		(M21)	県、営業馬車取締規則を制定す
234	○	1888	12	21		(M21)	通常県会、22年度予算35万9000円を可決す
235	○	1888	-	-	1	(M21)	21年度一般会計支出決算額37万9000円
236	○	1888	-	-	2	(M21)	庄川に大門橋が架設さる～○1907-02-XX(M40)河身改修により大門橋を撤去し雄神橋架設す
237	○	1889	3	28		(M22)	上新川郡新庄町に大火、120戸焼失す
238	○	1889	4	1		(M22)	市制・町村制が施行され、富山市・高岡市の2市と31町238村となる
239	○	1889	5	17		(M22)	県、『富山日報』に富山県報第1号を掲載す
240	○	1889	5	30		(M22)	富山市役所が市内総曲輪の富山商工会議所内に仮設さる
241	○	1889	7	17		(M22)	高岡市役所が市内二番町の鮮会社を借用して開庁す
242	○	1889	7	24		(M22)	神通川出水し、富山市内11ヶ町の家屋1400戸浸水す
243	○	1889	7	30		(M22)	法律第20号により伏木港が米・麦・麦粉・石炭・硫黄の5品に限り直接輸出できる特別輸出港に指定さる。同時に伏木港新潟税関出張所が設置され、業務が開始さる
244	○	1889	8	20		(M22)	臨時県会(～-08-26)7月の水害による各河川堤防復旧の土木費追加予算を議決、水害復旧の土木費につき国庫補助金を請う建議を可決、内務大臣に提出す
245	○	1889	10	18		(M22)	県、水産資源保護のため神通川の地引網漁禁止を通達す
246	○	1889	12	9		(M22)	北陸鉄道会社に鉄道敷設仮免状が下付さる
247	○	1889	12	11		(M22)	通常県会、23年度予算26万6000円を可決す
248	○	1889	12	15		(M22)	常願寺川の大日橋渡橋式が挙行さる
249	○	1889	-	-	1	(M22)	22年度一般会計支出決算額42万9000円
250	○	1889	-	-	2	(M22)	早月川に早月橋が架設さる
251	□	1890	1	25		(M23)	富山市消防組がドイツ型軽便ポンプ5台を購入
252	○	1890	3	24		(M23)	上新川郡上滝町に大火、200戸焼失す
253	○	1890	3	-		(M23)	小川に赤川橋(横山村・五箇庄村間)が架設さる
254	○	1890	4	23		(M23)	射水郡熊無・論田村に地滑りが発生し、被害家屋約30戸
255	○	1890	5	31		(M23)	臨時県会(～-06-05)18年度の市町村土木工事補助歩合変更を議決す
256	○	1890	5	-		(M23)	婦負郡八尾町に大火、300戸焼失す
257	○	1890	6	3		(M23)	上市町に大火、800戸焼失す
258	○	1890	7	19		(M23)	県内各河川出水し、特に神通川沿岸の被害多く、家屋5540戸浸水、死者4人
259	○	1890	7	25		(M23)	森山茂(前元老院議員)が知事に就任す
260	○	1890	8	22		(M23)	臨時県会(～-08-28)7月19日の神通川などの出水による堤防復旧の土木費追加予算を議決。庄川・常願寺川・黒部川の治水費国庫補助を上請する建議を可決す～-08-28に内務大臣に提出す
261	○	1890	10	4		(M23)	神通川出水し、富山市街の家屋4697戸浸水、堤防8ヶ所、道路35ヶ所、橋梁32ヶ所流失破壊
262	○	1890	10	22		(M23)	県、地方官官制の改革により県処務細則を改正し、従前の第一部・第二部を廃し、内務部(第一～第四課)を設置。警察本部を警察部と改称し、警務・保安各課・監獄署を設置し、収税部を直税署・間税署とす
263	○	1890	10	24		(M23)	県、消防組その他水火防衛の従事者の心得を制定す
264	○	1890	10	26		(M23)	庄川運漕会社が五箇山航路(下梨・金屋間)営業を開始す
265	○	1890	11	5		(M23)	臨時県会(～-11-11)10月上旬の神通川などの出水による水害復旧の土木費追加予算を議決す
266	○	1890	12	24		(M23)	通常県会、24年度予算23万8000円を可決す
267	○	1890	-	-		(M23)	23年度一般会計支出決算額42万1000円
268	○	1891	1	18		(M24)	県内に大雪、積雪下新川郡三日市町230cm、射水郡伏木町173cmを記録、三日市・生地・村椿で家屋40棟全壊、死者2人、泊で家屋9戸全壊
269	○	1891	3	30		(M24)	礪波郡立野村に大火、130戸焼失す
270	○	1891	6	-		(M24)	井田川に袋橋(速星村地内)が架設さる
271	○	1891	7	19		(M24)	県内各河川が出水し、神通川・常願寺川・黒部川・庄川の各河川沿岸に被害多く、県内で家屋30戸流失、7596戸浸水、溺死者16人、田地1476町歩流失
272	○	1891	8	12		(M24)	内務省土木局雇オランダ人技師ヨハネス・デレーケが県関係者に随行し立山温泉・泥谷・出し原の崩壊地を視察す、「これは河ではない、滝だ」(～-08-17)～□12月に堤防改修に着工、河口を浜黒崎寄りに直行させる大工事、
273	□	1891	9	8		(M24)	「北陸政論」主筆西師意(金城)、伏木築港の必要性を説く
274	○	1891	9	30		(M24)	暴風雨のため、庄川出水し、新湊町六渡寺及び放生津町の堤防約204間・放生津潟廻りの堤防445間決壊
275	○	1891	9	-		(M24)	黒部川に愛本橋(下立村・愛本村間)が架設さる
276	□	1891	10	3		(M24)	暴風雨のため射水沿岸で漁船多数転覆、72人が水死
277	○	1891	11	20		(M24)	臨時県会(～-11-26)7月・9月の水害復旧の土木費追加予算を議決す
278	○	1891	11	30		(M24)	通常県会(～-12-29)庄川・常願寺川・黒部川の改修費国庫支弁の建議を可決(1892-01-12内務大臣に提出)、北陸鉄道官設を請う建議を可決(1892-01-XX内務大臣に提出)
279	○	1891	11	-		(M24)	北陸鉄道会社が起業を取り消し、鉄道の官設請願を決定し解散す
280	○	1891	12	4		(M24)	強風・波浪のため、射水郡沿岸で漁船が多数転覆、溺死者72人
281	○	1891	12	5		(M24)	県、常西合口用水路布設について訓令す
282	○	1891	12	19		(M24)	県、内務大臣に常願寺川堤防修築につき土地収用法適用を具申す～ -12-28政府、土地収用法適用について公告す
283	□	1891	12	20		(M24)	臨時県会で常願寺川大改修費105万円で森山知事が大演説、提案をめぐり大混乱、辛うじて可決
284	○	1891	12	29		(M24)	通常県会、25年度の予算29万4000円を可決す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
285	○	1891	12	-	1	(M24)	常願寺川の第一次改修工事がデレーケの計画により着手さる～1893-03-XX(M26)竣工す
286	○	1891	12	-	2	(M24)	片貝川に経田橋(経田村・石田村間)が架設さる
287	○	1891	-	-	1	(M24)	24年度一般会計支出決算額107万1000円、うち河川費88万384円(88.2%)
288	○	1891	-	-	2	(M24)	藤井能三著『伏木築港論』刊行さる
289	○	1892	2	-		(M25)	常西合口事業が開始さる～-03-19上滝町他16ヶ町村が常西合口用水組合を設立～-05-20常西合口用水完成す
290	○	1892	5	2		(M25)	常願寺川出水し、上新川郡利田・大森・舟橋など各村に氾濫、田地約70町歩流失
291	○	1892	5	12		(M25)	上新川郡東水橋町に大火、150戸焼失す
292	□	1892	5	20		(M25)	常願寺以西合口用水開通
293	○	1892	6	-		(M25)	小川に小川橋(大家庄村・五箇庄村間)が架設さる
294	○	1892	6	-		(M25)	神通川に有沢橋(堀川村・神明村間)が架設さる
295	○	1892	7	4		(M25)	富山市参事会員・市議員らが発起して、北陸鉄道の速成を目的に富山鉄道期成会発会式を富山市の八清楼で挙行す
296	○	1892	8	20		(M25)	徳久恒範(前兵庫県内務部長)が知事に就任す
297	○	1892	9	5		(M25)	臨時県会(～-09-10)5月以来の水害復旧費を審議、常願寺川25年度臨時治水費議案の提案を県に要求する建議を可決～-09-07知事に提出～知事、同議案を提案せず、県会が法制局に裁定を求む
298	○	1892	10	21		(M25)	県、国土保安のため樹木を伐採し土石を採掘できる民有山林の町村を指定す
299	○	1892	11	10		(M25)	富山市に大火、474戸焼失す
300	○	1892	11	30		(M25)	婦負郡10ヶ町村長並びに射水郡6ヶ町村長が牛ヶ首用水組合規程認可申請書を婦負郡長・射水郡長に提出す～-12-22許可さる～1893-03-XX(M26)牛ヶ首用水各町村組合設立
301	○	1892	12	24		(M25)	通常県会、26年度予算37万2000円を可決す
302	○	1892	-	-		(M25)	25年度一般会計支出決算額64万6000円
303	○	1893	2	17		(M26)	県、消防組水防組監督規程を制定す～-03-24水火防衛服務規程を制定す
304	○	1893	2	-	1	(M26)	常願寺川に常願寺橋(浜黒崎村・西水橋町間)が架設さる
305	○	1893	2	-	2	(M26)	神通川に笹津橋(大沢野村・笹津村間)が架設さる
306	○	1893	3	17		(M26)	県、気象観測規程を制定す(-04-01施行)
307	○	1893	3	24		(M26)	県、火災消防上の必要により、出火の現場から1丁以内を消防線と定む
308	○	1893	3	-		(M26)	常願寺川の第一次改修工事が竣工す
309	○	1893	4	-		(M26)	富山市、災害時に水防や救護活動を行う通船夫制を実施し、54人に囑託を発令す
310	○	1893	5	12		(M26)	上新川郡東水橋町に大火、322戸焼失す
311	○	1893	6	1		(M26)	天気予報が射水郡伏木町で信号旗を、富山市で木板を利用して開始さる
312	○	1893	8	14		(M26)	内務省雇衛生技師バルトンが富山市の下水改良・水道敷設などについて調査を始む
313	○	1893	8	-		(M26)	イギリス人宣教師ウォルター・ウェストンが信濃大町からザラ峠越えて立山登山をす～1896(M29)『日本アルプス』をロンドンで刊行～□では-08-07とも
314	○	1893	9	25		(M26)	臨時県会(～-10-01)神通橋架け換え並びに水害復旧の土木費追加予算を議決す
315	○	1893	10	14		(M26)	暴風雨のため、新湊海岸で激浪起こり、家屋55戸全壊、50戸半壊、61戸浸水、道路34間・海岸堤防901間決壊。氷見・伏木・滑川の各町でも被害
316	○	1893	11	18		(M26)	津波のため、上新川郡滑川町で家屋43戸全半壊、60戸浸水、道路14間・波除堤防420間決壊
317	○	1893	11	-		(M26)	小矢部川に城光寺橋(伏木町・掛開発村間)が架設さる
318	○	1893	12	23		(M26)	通常県会、27年度予算41万2000円を可決す
319	○	1893	12	26		(M26)	下新川郡生地町に大火、100戸焼失す
320	○	1893	12	-		(M26)	片貝川に片貝橋(天神村・経田村間)が架設さる
321	○	1893	-	-		(M26)	26年度一般会計支出決算額40万2000円
322	○	1894	5	18		(M27)	県、消防組規則施行細則を制定す(27市町村消防組を設置し、その設置区域及び人員を定む。以後、県内各町村消防組が設置さる)
323	□	1894	5	20		(M27)	富山市勤業博覧会が山王町の富山市物産陳列場で開催
324	○	1894	6	9		(M27)	富山開市250年記念祭が柳町の於保多神社で開催さる
325	○	1894	8	1		(M27)	伏木港からロシア領沿海州・サガレン島及び朝鮮国との貿易のための民営船舶の出入及び貨物の積卸しが許可さる
326	○	1894	8	11		(M27)	神通川出水し、家屋1912戸浸水す
327	○	1894	9	7		(M27)	射水郡伏木町に大火、370戸焼失す
328	○	1894	9	11		(M27)	大暴風のため、県内各地で家屋が多数倒壊、高岡市の七本杉のうち5本折損す
329	○	1894	9	22		(M27)	臨時県会(～-09-28)道路・橋梁復旧の土木費予算追加並びに工芸学校・簡易農学校設立費を可決す
330	○	1894	10	4		(M27)	県、建物制限規則を制定し、富山市・高岡市・伏木町に施行することを布達す
331	□	1894	10	15		(M27)	県内大暴風で船舶30余隻遭難、農作物や家屋の被害多数
332	○	1894	11	11		(M27)	富山県尋常中学校校友会文武会が神通川原でベースボール会を開催
333	○	1894	11	14		(M27)	逓信大臣、中越鉄道(株)発起人吉田茂勝外31人に対し高岡市より礪波郡城端町に至る鉄道布設仮免状を下付す
334	○	1894	11	22		(M27)	通常県会(～-12-07)28年度地方税支出収入予算案を審議。土木費議案につき知事不信任案を可決、知事、県会の会議中止を命令～-12-17内務大臣、知事に県会の解散を命令す
335	○	1894	12	12		(M27)	暴風雨のため、滑川沿岸に高波起こり、家屋12棟、他の建物24棟など破壊
336	○	1894	12	13		(M27)	富山湾に激浪起こり、四方町で家屋20戸浸水、道路24間破壊
337	○	1894	-	-		(M27)	27年度一般会計支出決算額49万3000円
338	○	1895	2	26		(M28)	通常県会、28年度予算34万1000円を可決す
339	○	1895	3	10		(M28)	臨時県会(～-03-15)前年末の激浪のため破壊された道路堤防復旧の土木費追加予算を議決す
340	○	1895	3	27		(M28)	神通川出水し、家屋約2000戸浸水す、-03-29再出水
341	○	1895	4	23		(M28)	富山市に大火、443戸焼失す
342	○	1895	4	25		(M28)	中越鉄道(株)創業総会が開催さる
343	○	1895	7	28		(M28)	神通川・常願寺川・黒部川の各河川が出水し、神通川出水で家屋5732戸浸水す
344	○	1895	8	2		(M28)	県、市町村清潔法を制定し、市街と称する地域に適用することを訓令す
345	○	1895	8	4		(M28)	県内各河川が氾濫し、神通川出水で浸水区域27ヶ町に及び家屋1010戸浸水す
346	○	1895	8	6		(M28)	庄川出水し、東開発村で堤防92間破壊、310間決壊す
347	○	1895	8	8		(M28)	黒部川出水し、堤防80間決壊、山林流失、田畑流損
348	□	1895	8	20		(M28)	常願寺川改修を設計、監督したオランダ人技師ヨハネス・デレーケが再び来県、神通川の洪水被害を視察、流路の直線化を提言～1903-05-XX馳越工事完成
349	○	1895	10	21		(M28)	臨時県会(～-10-27)堤防復旧の土木費追加予算を議決。神通川取払案を可決。本県土木事業の進捗を要望する建議を可決(内務大臣に提出)。常願寺川筋の土木事業について知事の失政を内務大臣に具申する件を可決す
350	○	1895	11	9		(M28)	逓信大臣、中越鉄道(株)に高岡・城端間鉄道布設営業免許状下付

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
351	○	1895	11	20		(M28)	通常県会(～-12-19)29年度地方税支出収入予算案を可決。土木費予定価額の漏洩問題を審議
352	○	1895	12	19		(M28)	通常県会、29年度予算38万2000円を可決す
353	○	1895	12	22		(M28)	臨時県会(～-12-28)7月・8月の水害復旧の土木費追加予算並びに神通川取払費を議決
354	○	1895	-	-		(M28)	28年度一般会計支出決算額61万1000円
355	○	1896	1	17		(M29)	県、市町村の中央に里程標の建設を告示す
356	□	1896	1	24		(M29)	新湊の有力者8人、大臣に放生津潟港湾化の建議書を提出
357	○	1896	2	11		(M29)	暴風のため、富山湾沿岸で寄り回り波が起こり、婦負郡四方町で家屋21戸倒壊、堤防852間決壊、救助船遭難、死者5人
358	□	1896	2	19		(M29)	高岡市に商業会議所設立認可
359	□	1896	2	25		(M29)	細入村庵谷で雪崩、鉾山試掘小屋がつぶれ作業員10人が圧死
360	○	1896	4	7		(M29)	神通川出水し、家屋1126戸浸水す(～-04-08)
361	○	1896	4	11		(M29)	安藤謙介(前横浜地方裁判所検事正)が知事に就任す
362	○	1896	6	22		(M29)	臨時県会(～-06-28)4月の河川出水の急防・復旧の治水堤防費追加予算を議決。庄川・常願寺川・黒部川に河川法を実施するよう県から主務省へ要望する建議を可決す
363	○	1896	7	7		(M29)	神通川出水し、家屋4戸流失、1553戸浸水。黒部川出水し、堤防決壊など被害
364	○	1896	7	21		(M29)	神通川再出水し、家屋25戸流失、8471戸浸水、死者2人。庄川出水し、建物248棟全壊、家屋1569戸浸水破損
365	○	1896	8	2		(M29)	神通川再出水し、家屋4843戸浸水。庄川再出水し、新湊町で家屋1036戸浸水す
366	○	1896	8	11		(M29)	富山市会、県に対し神通川・常願寺川両河川の治水事業についての請願書提出を決定す
367	○	1896	8	30		(M29)	暴風のため、県内で家屋355棟全壊、172棟半壊、死者12人(～-08-31)
368	○	1896	9	2		(M29)	富山県治水同盟会が設立さる
369	○	1896	9	15		(M29)	大蔵大臣、勅裁をもって富山県水害土木費補助として30万円の支出を許可す
370	○	1896	10	3		(M29)	臨時県会(～-10-07)7月の水害復旧の土木費に使用する県債借入及び償還方法を議決す
371	○	1896	10	28		(M29)	氷見郡宇波村で大火、170戸焼失す
372	○	1896	11	3		(M29)	射水郡堀岡村で大火、128戸焼失す
373	○	1896	11	28		(M29)	通常県会(～-12-27)30年度歳入歳出予算案を可決。庄川河身改修に関する決議。伏木港を輸出入港に特定することを請う建議を可決(1897-01-XX内務大臣に提出)
374	○	1896	12	27		(M29)	通常県会、30年度予算51万2000円を可決
375	○	1896	-	-		(M29)	29年度一般会計歳出決算額143万5000円、うち河川費100万7627円(70.2%)
376	○	1897	2	15		(M30)	臨時県会(～-02-19)前年の水害復旧の土木費追加予算を議決す
377	○	1897	2	28		(M30)	下新川郡経田村で大火、161戸焼失す
378	○	1897	4	7		(M30)	石田貫之助(前衆議院議員)が知事に就任す
379	○	1897	4	-		(M30)	神通川の第一次改修工事が着手さる～1899-03-XX(M32)竣工す
380	○	1897	5	4		(M30)	中越鉄道(株)、黒田・福野間開通す
381	○	1897	6	-		(M30)	伏木新潟税関出張所が伏木新潟税関支署と改称さる
382	○	1897	7	7		(M30)	神通川出水し、家屋5402戸浸水
383	○	1897	7	13		(M30)	常願寺川・早月川・黒部川など出水し、堤防決壊など被害
384	○	1897	7	17		(M30)	神通川に萩浦橋(東岩瀬町・草島村間)が架設さる
385	○	1897	8	4		(M30)	北陸鉄道の倶利伽羅トンネル工事の貫通式が挙行さる～□では-08-01とも
386	○	1897	8	19		(M30)	中越鉄道(株)、福野・福光間開通す
387	○	1897	9	4		(M30)	伏木築港期成同盟会の第一回総会が高岡市の木津楼で開催さる
388	○	1897	10	3		(M30)	臨時県会(～-10-07)7月以来の水害復旧費を審議す
389	○	1897	10	31		(M30)	中越鉄道(株)、福光・城端間開通す
390	○	1897	11	19		(M30)	通常県会(～-12-18)第七回関西府県連合共進会を富山市に開設することを決議
391	○	1897	11	-		(M30)	富山市、下水改良工事に着手す～1900-03-XX(M33)竣工す
392	○	1897	12	5		(M30)	庄川改修期成同盟会が大法寺で開催さる
393	○	1897	12	18		(M30)	通常県会、31年度予算52万8000円を可決す
394	○	1897	-	-	1	(M30)	30年度一般会計歳出決算額189万7000円
395	○	1897	-	-	2	(M30)	立山登山者、約4000人と前年の3倍に急増す(8月末現在)
396	○	1898	1	2		(M31)	中越鉄道(株)、高岡・城端間全通す
397	○	1898	1	14		(M31)	県、伏木測候所規程を制定す
398	○	1898	1	24		(M31)	臨時県会(～-01-30)水害復旧の土木費追加予算を議決す
399	○	1898	2	5		(M31)	阿部浩(前衆議院議員)が知事に就任す
400	○	1898	2	-		(M31)	庄川の寺畑橋の跡に伏木橋が架設竣工す～1907-04-XX(M40)架換え
401	○	1898	3	11		(M31)	富山県高岡尋常中学校設置が告示さる～-04-XX開校す～1899-04-01(M32)富山県第二中学校と改称す～1901-10-04(M34)県立高岡中学校と改称す
402	○	1898	3	28		(M31)	県土木県債規則が制定さる
403	○	1898	3	-		(M31)	黒部川に黒部橋(大布施村・飯野村間)を架設す
404	○	1898	4	15		(M31)	城端町に大火、282戸焼失す。井波町にも大火、201戸焼失す
405	○	1898	4	-		(M31)	小矢部川に島分橋(石動町・松沢村間)を架設す
406	○	1898	6	16		(M31)	県内各河川出水し、神通川出水で家屋1002戸浸水。常願寺川・黒部川・庄川・小矢部川・井田川などの出水で堤防・道路欠損などの被害
407	○	1898	6	17		(M31)	氷見町に大火、180戸焼失す
408	○	1898	6	25		(M31)	神通川再出水す
409	○	1898	8	3		(M31)	金尾稜蔵(前衆議院議員)が知事に就任す
410	○	1898	9	30		(M31)	県、家屋建築規則・建物制限規則を廃し、市街地家屋建築規則を公布す
411	○	1898	10	6		(M31)	臨時県会(～-10-12)第7回関西府県連合共進会準備工事延期を議決、6月の水害復旧の土木費追加予算を議決す
412	○	1898	11	1		(M31)	官設北陸鉄道(北陸線)金沢・高岡間が開通し、石動駅・福岡駅・高岡駅が開業す
413	○	1898	11	16		(M31)	通常県会(～-12-15)第7回関西府県連合共進会会場位置の変更に関する建議を可決す(-12-24知事に提出)
414	○	1898	12	15		(M31)	通常県会、32年度予算69万2000円を可決す
415	○	1898	12	26		(M31)	県、第7回関西府県連合共進会規則を制定す
416	○	1898	-	-		(M31)	31年度一般会計歳出決算額136万円
417	○	1899	2	10		(M32)	臨時県会(～-02-16)第7回関西府県連合共進会の会場を県庁の敷地とするため、県庁・県会議事堂・物産陳列場などの移転を議決す
418	○	1899	3	7		(M32)	富山電燈(株)、大久保用水大久保発電所運転開始す
419	○	1899	3	20		(M32)	官設北陸鉄道(北陸線)高岡・富山間が開通し、小杉駅・富山駅が開業す
420	○	1899	3	-		(M32)	神通川の第一次改修工事が竣工す
421	○	1899	4	1		(M32)	富山電燈(株)、富山市内に送電を開始す～□市内で北陸初の電灯1000灯がつく
422	○	1899	4	2		(M32)	県庁が富山市山王町に移転さる
423	○	1899	5	10		(M32)	八尾町に大火、約200戸焼失す
424	○	1899	6	16		(M32)	逓信省告示により伏木海務署が射水郡伏木町に設置さる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
425	○	1899	6	27		(M32)	県、知事官房に秘書・文書の二掛を、内務部に第一～第五課を、監獄署に第一～第三課・医務所・教務所を設置す
426	○	1899	7	13		(M32)	勅令により伏木港が開港場に指定さる～08-04伏木税関支署、開港場としての事務を開始す
427	○	1899	8	1		(M32)	県、水害予防組合規約・水利組合規約を制定す
428	○	1899	8	12	1	(M32)	富山市に大火、4697戸焼失す
429	○	1899	8	12	2	(M32)	富山市大火による県庁舎焼失のため、富山市総曲輪の県師範学校内に県庁仮庁舎が開設さる～08-25富山市梅沢町の大法寺内へ移転
430	○	1899	8	24		(M32)	富山市会の市区改正調査委員会が防火を考慮した上、市区の改正などを決議す
431	○	1899	8	－		(M32)	富山市役所が総曲輪小学校内に仮設さる
432	○	1899	9	1		(M32)	県、富山市大火により市街地家屋建築規則を廃し、建物制限規則を制定す
433	○	1899	9	8		(M32)	台風のため、県内各河川が出水し、県内全域に被害。庄川出水で家屋1719戸浸水、堤防決壊、田地流失。神通川出水で家屋3715戸浸水す～09-09
434	○	1899	11	7		(M32)	臨時県会(～11-13)富山市大火により焼失した県庁舎・諸官署庁舎・学校の復旧策並びに第7回関西府県連合共進会会場の応急善後策を審議す
435	○	1899	12	23		(M32)	津波のため、下新川郡生地町で家屋2戸流失、37戸破壊、108戸浸水す
436	○	1899	12	26		(M32)	通常県会、33年度予算87万4000円を可決す
437	○	1899	12	－		(M32)	白岩川に立山橋が架設さる～1916-08-25(T05)東西橋と改称さる
438	○	1899	－	－		(M32)	32年度一般会計歳出決算額101万8000円
439	○	1900	1	6		(M33)	臨時県会(～01-12)昨秋の水害復旧の土木費追加予算を可決。災害土木費国庫補助規程改正(国庫補助率減少)に伴い国庫補助に関する建議を可決す(～01-12内務大臣に提出す)
440	○	1900	1	19		(M33)	桧垣直右(前徳島県内務部長)が知事に就任す
441	○	1900	3	3		(M33)	内務省告示により庄川が河川法施行河川に認定さる(～04-01施行)
442	○	1900	3	13		(M33)	庄川の一部の改修工事が施行さる～1912-XX-XX(T01)竣工し、庄川と小矢部川が分離
443	○	1900	3	31		(M33)	庄川に庄川橋(般若村・太田村間)が架設さる
444	○	1900	4	－		(M33)	富山遊園が上新川郡東田地方村に造成さる
445	○	1900	5	25		(M33)	婦負郡八尾町に大火、274戸焼失す
446	○	1900	6	2		(M33)	富山市で時鐘の代りに午砲(ドン)が始まる
447	○	1900	6	27		(M33)	高岡市に大火、3589戸焼失す
448	○	1900	7	1	1	(M33)	第7回関西2府15県連合共進会が上新川郡堀川村で開催さる
449	○	1900	7	1	2	(M33)	富山商業組合連合会が富山市の火防線路上で夜店を開店す
450	○	1900	7	5		(M33)	県庁が富山市総曲輪旧城内へ新築移転さる
451	○	1900	8	19		(M33)	東礪波郡出町に大火、家屋303戸焼失、倉庫・納屋138棟焼失
452	○	1900	9	26		(M33)	臨時県会(～10-02)高岡市及び東礪波郡出町の大火による道路拡張費・河川法施行による河川改良工事費などの追加予算を議決す
453	○	1900	11	19		(M33)	通常県会(～12-28)、34年度予算109万3000円を可決す
454	○	1900	12	21		(M33)	蒸気消防ポンプが富山市に設置さる
455	○	1900	12	29		(M33)	中越鉄道(株)、高岡・伏木間開通す
456	○	1900	－	－	1	(M33)	33年度一般会計歳出決算額205万2000円
457	○	1900	－	－	2	(M33)	伏木港第一期修築工事が着手さる～1912-XX-XX(T01)竣工す
458	○	1901	1	－		(M34)	神通川馳越線工事が着手さる～1903-05-21(M36)竣工す～参照「□1903-05-31」
459	○	1901	3	16		(M34)	富山駅で公衆電報取扱が開始さる
460	□	1901	3	27		(M34)	東礪波郡蓑谷、北野村(現城端町)で暴風下に大火、4km四方が焼け、42戸、学校1校焼失、死者9人、負傷者7人
461	○	1901	5	26		(M34)	東礪波郡青島村に大火、119戸焼失
462	○	1901	6	12		(M34)	県、小矢部川外7川に水害予防組合設置区域を告示す
463	○	1901	6	15		(M34)	氷見町に大火、約200戸焼失
464	○	1901	7	17		(M34)	黒部川出水し、下立村などの堤防60間破壊、田地10町歩流失す
465	○	1901	9	6		(M34)	県、河川取締巡查勤務規程を制定す
466	○	1901	10	18		(M34)	県、小矢部川の一部(庄川の支流と認定)を河川法施行河川に認定
467	□	1901	10	26		(M34)	初代県知事国重正文氏死去、62歳、6年間在任、富山中学開学など教育に力注ぐ
468	○	1901	11	27		(M34)	西礪波郡石動町に大火、113戸焼失す
469	○	1901	12	20		(M34)	通常県会、35年度予算116万円を可決す
470	○	1901	－	－		(M34)	34年度一般会計歳出決算額118万8000円
471	○	1902	2	8		(M35)	小倉久(前徳島県知事)が知事に就任す
472	○	1902	4	4	1	(M35)	県、水防委員設置規程・同職務規程を制定す
473	○	1902	4	4	2	(M35)	県、土石採取規程を制定す
474	○	1902	5	30		(M35)	県、神通川を河川法を準用する河川に認定す
475	○	1902	7	1		(M35)	下新川郡経田村に大火、120戸焼失す
476	○	1902	7	17		(M35)	富山市会、県に神通川馳越線工事の早期完成を陳情す
477	○	1902	8	2		(M35)	高岡市桜馬場が公園地となる
478	○	1902	9	1		(M35)	臨時県会(～09-07)土木費追加予算を議決す
479	○	1902	12	19		(M35)	通常県会、36年度予算110万2000円を可決す
480	○	1902	12	30		(M35)	李家隆介(前神奈川県内務部長)が知事に就任す
481	○	1902	－	－		(M35)	35年度一般会計歳出決算額131万円
482	○	1903	3	4		(M36)	常願寺川の大日橋が架け換えらる(利田村・島村間)
483	○	1903	4	13		(M36)	下新川郡石田村に大火、168戸焼失す
484	○	1903	5	1		(M36)	知事、富直鉄道敷設についての上申書を内閣総理大臣に提出す
485	○	1903	5	21		(M36)	神通川馳越線工事が竣工す～□1903-05-31(M36) 神通川馳越工事が完成、桜谷・呉羽地内で248戸を移転、神通川洪水排出路(現神通川)を新設
486	○	1903	5	－		(M36)	神通川の水路変更で神通大橋(愛宕村・畑中村間)が架設さる～□では05-25神通大橋開通式
487	○	1903	7	9		(M36)	神通川出水し、富山23町にわたり家屋2807戸浸水、いたち川・奥田用水も出水し、13町にわたり家屋335戸浸水す
488	○	1903	11	10		(M36)	通常県会(～12-09)富山・福井両県を石川県に合併する計画(政府の行財政整理策としての府県廃合案の一環)に反対する建議を可決す
489	○	1903	11	27		(M36)	府県廃合反対同盟会発会式が本願寺派富山別院で挙行さる
490	○	1903	12	9		(M36)	通常県会、37年度予算116万2000円を可決す
491	○	1903	－	－		(M36)	36年度一般会計歳出決算額175万9000円
492	○	1904	1	18		(M37)	高岡電燈(株)が高岡市一円及び射水郡下関村外3ヶ村に対し1278燈を供給す
493	○	1904	1	27		(M37)	伏木測候所、記録的な低温摂氏マイナス12.1度を記録す
494	○	1904	2	6		(M37)	海岸監視哨が伏木町に開設さる
495	○	1904	4	21		(M37)	庄川に新庄川橋(新湊町地内)が架設さる
496	○	1904	10	19		(M37)	県、土木費支弁及び補助規程を制定す～1905-04-01(M38)施行
497	○	1904	11	30		(M37)	通常県会、38年度予算106万7000円を可決す
498	○	1904	12	－	1	(M37)	早月川の早月橋(早月加積村・下中島村間)が架け換えらる
499	○	1904	12	－	2	(M37)	大雪、県内全域で家屋13戸全壊、死者3人
500	○	1904	－	－		(M37)	37年度一般会計歳出決算額111万7000円
501	○	1905	3	4		(M38)	砂防法(M30.3.30公布)に基づき常願寺川・湯川・小口川・和田川・称名川の各河川一帯が砂防設備地区に編入さる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
502	○	1905	4	1		(M38)	土木監督署官制の廃止により本県は内務省新潟土木出張所の管轄となる
503	○	1905	5	12		(M38)	県、砂防指定地取締規則を制定す
504	○	1905	8	8		(M38)	県東部を中心に各河川出水し、家屋流失・浸水、堤防損壊などの被害。小矢部川沿岸でも家屋流失・浸水、田地流失、堤防破壊
505	○	1905	11	22		(M38)	常願寺川に常盤橋(西三郷村・島村間)が架設さる
506	○	1905	11	30		(M38)	通常県会、39年度予算107万4000円を可決す
507	○	1905	11			(M38)	小矢部川に国東橋(国吉村・東五位村間)が架設さる
508	○	1905	12	14		(M38)	川上親晴(前警視庁官房主事)が知事に就任す
509	○	1905	-	-		(M38)	38年度一般会計歳出決算額125万9000円
510	○	1906	3	1		(M39)	常願寺川に新川橋(立山村・上滝町間)が架設さる
511	○	1906	3	23		(M39)	県、水車設置規程を制定す～04-01施行す
512	○	1906	4	20		(M39)	県、河川流木規程を制定す～05-01施行す
513	○	1906	7	12		(M39)	立山砂防工事が20ヶ年継続事業として着手さる
514	○	1906	7	24		(M39)	庄川に庄金剛寺橋(雄神村・中野村間)が架設さる
515	○	1906	7	30		(M39)	上新川郡東岩瀬町に大火、家屋171戸、土蔵・納屋23棟焼失す、死者1人
516	○	1906	8	5		(M39)	県、自転車事故の増加により自転車取締規則を制定、-08-21施行す
517	□	1906	10	12		(M39)	県、安政5年の富山大崩れの常願寺川上流真川の砂防工事に着工
518	○	1906	12	1		(M39)	富山郵便局が電話の通信・交換業務を開始す(加入者255人)同日、富山駅に公衆電話を設置す
519	○	1906	12	14		(M39)	通常県会、40年度予算103万1000円を可決す
520	○	1906	-	-		(M39)	39年度一般会計歳出決算額137万2000円
521	□	1907	1	24		(M40)	富山市は停車場用地として婦負郡愛宕、牛島地内の7万2326㎡を寄付、富山駅が田刈谷から移転
522	○	1907	1	-		(M40)	小矢部川に守山橋(守山村・西條村間)が架設さる
523	○	1907	4	-		(M40)	庄川の伏木橋が架換えらる
524	○	1907	6	1		(M40)	伏木町に大火、家屋など174戸、倉庫・納屋22棟焼失す
525	○	1907	7	12		(M40)	県、行政機構を改正し、従来の第一部～第三部を統合し、内務部(地方・土木・会計・教育・勸業・社寺兵事の各課)、第四部を警察部(警務・保安・衛生の3課)とす
526	□	1907	11	1		(M40)	高岡市に一般電話が開通
527	○	1907	12	4		(M40)	通常県会、41年度予算116万5000円を可決す
528	○	1907	-	-		(M40)	40年度一般会計歳出決算額141万2000円
529	○	1908	3	28		(M41)	宇佐美勝夫(前宗務局第一課長)が知事に就任す
530	○	1908	8	24		(M41)	富山電気(株)、上新川郡奥田村に火力発電所を開業す
531	○	1908	9	18		(M41)	県、予算定額内の郡庁舎・警察署舎の建築及び修繕工事について設計金額の基準を設け、郡長・警察署長に執行を委任す
532	○	1908	11	3		(M41)	北陸線呉羽駅が開業す
533	○	1908	11	15		(M41)	富直線富山・魚津間が開通し、東岩瀬駅・水橋駅・滑川駅・魚津駅が開業す
534	○	1908	11	27		(M41)	高波のため、経田海岸で被害～-11-28生地町芦崎海岸・伏木海岸・滑川海岸で被害
535	○	1908	12	15		(M41)	通常県会、42年度予算137万2000円を可決す
536	○	1908	-	-		(M41)	41年度一般会計歳出決算額146万6000円
537	○	1909	4	-		(M42)	神通川に神通新大橋(連隊橋、鉄砲町・東呉羽村間)が架設さる
538	○	1909	9	20		(M42)	氷見郡論田・熊無村に大地滑り
539	○	1909	9	29		(M42)	皇太子が本県に行啓さる
540	○	1909	9	-		(M42)	日赤富山病院が上新川郡東田地方村に竣工す
541	○	1909	10	1		(M42)	富山市立図書館が開館す
542	○	1909	11	21		(M42)	県会議事堂の落成式が挙行さる
543	○	1909	12	21		(M42)	通常県会、43年度予算127万8000円を可決す
544	○	1909	-	-	1	(M42)	42年度一般会計歳出決算額166万6000円
545	○	1909	-	-	2	(M42)	本県の本籍人口83万5720人(男42万6931人、女40万8789人)
546	○	1910	2	7		(M43)	臨時県会(～-02-08)庄川・神通川の河口工事についての諮問に答申す
547	○	1910	2	9		(M43)	大雪のため、交通機関途絶し、県内各地で潰家45戸、圧死者3人
548	○	1910	4	16		(M43)	富直線魚津・泊間が開通し、三日市駅・生地駅・入善駅・泊駅が開業す
549	○	1910	4	28		(M43)	出町電燈(株)が逓信省の事業認可を得る～1912-02-28(M45)開業す
550	○	1910	6	14		(M43)	浜田恒之助(前北海道庁内務部長)が知事に就任す
551	○	1910	7	7		(M43)	富山市長・富山商業会議所会頭らが飛越鉄道期成同盟会を設立す
552	○	1910	8	29		(M43)	上新川郡上市方面に竜巻が発生し、落雷・降雹・強雨を伴い幅1.5km、長さ12kmにわたり家屋・果樹・農作物に多大の被害
553	○	1910	9	7		(M43)	神通川出水し、家屋1323戸浸水、有沢橋・櫻橋流失す。庄川・黒部川なども大氾濫し、県全域で堤防244ヶ所決壊、道路・橋梁及び海岸波除101ヶ所破損流失す
554	○	1910	9	25		(M43)	伏木・新湊・高岡の官民有志により中越鉄道官営期成同盟会の発会式が高岡商業会議所で開催さる
555	○	1910	10	14		(M43)	県、道路の通行に関する件を制定し、道路の通行は左側とす
556	□	1910	12	4		(M43)	富山薬学専門学校が新築落成
557	○	1910	12	9		(M43)	通常県会、44年度予算138万2000円を可決す
558	○	1910	12	15		(M43)	臨時県会(～-12-20)水害復旧の土木費追加予算を議決す
559	○	1910	-	-		(M43)	43年度一般会計歳出決算額190万7000円
560	○	1911	1	-		(M44)	富山電気(株)、庵谷第一発電所運転開始す
561	○	1911	5	-		(M44)	新湊町の笹谷彦八らにより六渡寺渡船組合が結成さる～-09-01鹿子浦丸が六渡寺・伏木間就航す
562	○	1911	7	22		(M44)	神通川の川開き行事として花火大会が始まる
563	○	1911	8	14		(M44)	臨時県会(～-08-19)共進会敷地を富山市から上新川郡堀川村に変更を決定
564	○	1911	8	17		(M44)	伏木商工会が伏木・ウラジオストク間の直通定期航路開通の意見書を逓信大臣に提出す
565	○	1911	8	-		(M44)	石動電気(株)、子撫川宮島発電所運転開始
566	○	1911	9	22		(M44)	県、広告物取締法施行規則を制定す
567	○	1911	11	4		(M44)	小松電気(株)が下新川郡泊町への電気供給の許可を得る～1912-10-28(T01)事業開始
568	○	1911	12	14		(M44)	通常県会、45年度予算153万9000円を可決す
569	○	1911	-	-		(M44)	44年度一般会計歳出決算額208万3000円
570	○	1912	1	13		(M45)	氷見郡碓石村上余川に地滑り、家屋数戸倒壊、田畑2町4反・山林1町3反陥没す
571	○	1912	1	14		(M45)	立山軽便鉄道(株)が滑川町に設立さる
572	○	1912	1	-		(M45)	日本電気化学(株)、片貝第一発電所運転開始す
573	○	1912	2	26		(M45)	新湊町に大火、279戸焼失、死者1人
574	○	1912	4	3		(M45)	中越鉄道(株)、伏木・島尾間開通す
575	○	1912	4	16		(M45)	上新川郡東岩瀬町に大火、103戸焼失す
576	○	1912	7	22		(M45)	富山市以東の諸河川が出水し、堤防数十ヶ所破壊、死者21人、負傷者4人、家屋7102戸浸水、107戸流失全壊、橋梁108ヶ所流失、道路全壊、田畑流失などの被害
577	○	1912	7	30		(T01)	大正と改元す
578	○	1912	8	-		(T01)	大岩山電灯(株)、大岩発電所運転開始
579	○	1912	9	12		(T01)	知事、県主催府県連合共進会の開会延期を告諭す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
580	○	1912	9	19		(T01)	中越鉄道(株)、島尾・氷見間開通す
581	○	1912	9	23		(T01)	大暴風雨のため、富山・高岡・伏木で被害多く、死者4人、負傷者35人、家屋69棟全壊などの被害。伏木鉄橋付近で中越線の列車転覆、12人負傷
582	○	1912	10	13		(T01)	富直線泊・青海間が開通す
583	○	1912	10	29		(T01)	臨時県会(～-11-02)7月・9月の水害復旧の土木費追加予算を可決す
584	○	1912	11	1		(T01)	県、軽便鉄道及び軌道県補助規程を制定す
585	○	1912	11	6		(T01)	知事、富山市乗合自動車の営業を許可す～□富山市乗合自動車の富山駅前・兵営前(現富大前)に許可
586	○	1912	11	18		(T01)	通常県会(～-12-17)裏日本・朝鮮間定期航路開始に関する建議を可決す
587	○	1912	12	1		(T01)	福野町で礪波軽便鉄道(株)創立総会開催す
588	○	1912	12	17		(T01)	通常県会、2年度予算148万1000円を可決す
589	○	1912	-	-	1	(T01)	庄川の改修工事が竣工し、庄川と小矢部川が分離す
590	○	1912	-	-	2	(T01)	大正元年度一般会計歳出決算額233万4000円
591	○	1912	-	-	3	(T01)	氷見郡宮田村に島尾遊園地が開設さる
592	○	1912	-	-	4	(T01)	伏木港第一期修築工事竣工す
593	○	1913	2	13		(T02)	伏木・小樽間の定期航路の就航が開始さる
594	○	1913	4	1		(T02)	青海・糸魚川間が開通し、富直線が全通、同日、北陸本線と命名す
595	○	1913	4	6		(T02)	富山郵便局が長距離電話の通話を開始す
596	□	1913	4	20		(T02)	伏木の実業家藤并能三氏が死去、伏木港開港の恩人、県内初の小学校の創立者
597	○	1913	5	30		(T02)	富山電気鉄道(株)の創立総会が開催さる
598	○	1913	6	25		(T02)	立山軽便鉄道(株)(現地鉄)、滑川・五百石間の営業開始す～□では-06-18とす
599	○	1913	6	-		(T02)	礪波電気(株)、池川藁谷発電所運転開始す
600	○	1913	8	15		(T02)	県、電気軌道取締規則を制定す
601	○	1913	9	1	1	(T02)	1府8県連合共進会が上新川郡堀川村で開催さる～-10-20。-09-21第二会場の水族館が魚津に開館す
602	○	1913	9	1	2	(T02)	知事、1府8県連合共進会式典のため、自動車を取り寄せる
603	○	1913	9	1	3	(T02)	富山電気(株)がガス業務を開始す
604	○	1913	9	1	4	(T02)	富山電気鉄道(株)、本線富山駅前・共進会会場間と支線富山駅前・西町・総曲輪・富山駅前間営業開始す
605	○	1913	12	5		(T02)	富山市で富山軽便鉄道(株)創立総会開催さる～1915-10-24(T04)富山鉄道(株)と改称す
606	○	1913	12	15		(T02)	富山市公園が富山市於保多神社隣接地の上新川郡山室村館出に設置さる
607	○	1913	12	21		(T02)	通常県会、3年度予算139万円を可決す
608	○	1913	-	-	1	(T02)	2年度一般会計歳出決算額225万8000円
609	○	1913	-	-	2	(T02)	県内の電燈会社8社(本社6、支社2)点燈戸数2万4073戸、1戸平均1.8燈
610	○	1914	2	-		(T03)	富山市、ガソリン消防ポンプを購入す(全国で3番目)
611	○	1914	4	6		(T03)	中越自動車(株)が設立さる～-06-01出町・戸出間、高岡・新湊間、出町・津沢間の3路線の営業を開始す
612	○	1914	4	14		(T03)	高波のため、下新川郡沿岸で漁船が大量遭難、死者11人
613	○	1914	4	16		(T03)	高波のため、四方沖で漁船2艘転覆、死者10人
614	○	1914	4	-		(T03)	高岡瓦斯(株)が設立さる
615	○	1914	6	1		(T03)	魚津町立水族館の開館式が挙行さる～1944-XX-XX閉館
616	○	1914	8	13		(T03)	台風のため、県内大洪水、死者194人、負傷者33人、家屋884戸流失破壊、1万9263戸浸水、堤防8万9800間破壊、道路7万300間破壊、橋梁546流失
617	○	1914	11	5		(T03)	通常県会(～-12-04)岐阜県大野・吉城の2郡の本県への合併を要望する建議を可決す～-12-04内務大臣に提出す
618	○	1914	12	4		(T03)	通常県会、4年度予算141万8000円を可決す
619	○	1914	12	6		(T03)	富山軽便鉄道(株)、富山・笹津間の営業を開始す
620	○	1914	12	24		(T03)	臨時県会(～-12-28)8月の水害復旧の土木費追加予算・県債借入れ及び償還方法を可決す
621	○	1914	12	26		(T03)	県、水害地耕地整理事業費補助規程を制定す
622	○	1914	-	-		(T03)	3年度一般会計歳出決算額238万7000円
623	○	1915	3	13		(T04)	富山電気鉄道(株)が本線を堀川新まで延長す
624	○	1915	4	11		(T04)	融雪のため、神通川・常願寺川・山田川・井田川・庄川・熊野川・黒部川の各河川が出水し、橋梁流失、堤防決壊
625	○	1915	4	-		(T04)	北日本汽船会社が伏木・樺太間航路を開始す
626	○	1915	6	28		(T04)	富山市、御大典記念事業として呉羽山に公園を設置することを決定
627	○	1915	7	21		(T04)	礪波軽便鉄道(株)、福野・青島間の営業開始す
628	○	1915	8	12		(T04)	木間瀬策三(前大阪府内務部長)が知事に就任す
629	○	1915	8	-		(T04)	愛本電気(株)、黒西合口用水下立発電所運転開始
630	○	1915	11	26		(T04)	通常県会(～-12-25)神通川・常願寺川・黒部川の国費による河身改修早期完成に関する建議を可決す(内務大臣に提出す)
631	○	1915	12	25		(T04)	通常県会、5年度予算169万9000円を可決す
632	○	1915	-	-	1	(T04)	4年度一般会計歳出決算額425万7000円
633	○	1915	-	-	2	(T04)	別荘川に眼鏡橋(八尾町天満町・下新町間、本県初の永久橋)が架設さる
634	○	1916	2	28		(T05)	衆議院、神通川改修工事早期完成の建議を内閣総理大臣に送付す～-06-24閣議決定～-06-27神通川改修工事の指令案が出される
635	○	1916	4	21		(T05)	県、水防林造営補助規程を制定す
636	○	1916	5	-	1	(T05)	水越孝次郎が乗合自動車(高岡・氷見間)の営業を開始す
637	○	1916	5	-	2	(T05)	浅野総一郎がタム式発電所の建設のための庄川水利使用許可を県に出願す
638	○	1916	10	23		(T05)	県、廃川敷地下付申請規程を制定す
639	○	1916	11	14		(T05)	通常県会(～-12-13)飛越鉄道促進に関する建議を可決す
640	○	1916	11	22		(T05)	富山電気軌道(株)、呉羽公園下まで営業開始す
641	○	1916	12	8		(T05)	県、常願寺川・黒部川・白岩川・上市川・小川・井田川・支流山田川を河川法を準用する河川に認定す
642	○	1916	12	13		(T05)	通常県会、6年度予算178万2000円を可決す
643	○	1916	12	29		(T05)	高波のため、滑川町高月海岸で防波堤295間決壊、家屋12戸全壊、他の沿岸部にも被害
644	○	1916	-	-		(T05)	5年度一般会計歳出決算額442万9000円
645	○	1917	1	10		(T06)	明治24年以來の大雪のため、県内で汽車電車が混乱し、鉄道院は旅客に懷炉と食糧持参を呼び掛ける～□郵便物通送に利賀、平村で初のスキーを使用
646	○	1917	1	29		(T06)	井上孝哉(前東洋拓殖理事)が知事に就任す
647	○	1917	2	2		(T06)	県、早月川を河川法を準用する河川に認定す
648	○	1917	3	10		(T06)	臨時県会(～-03-14)高波による災害復旧費を審議し、国庫補助を受けず県支弁とすることを議決す
649	○	1917	3	14		(T06)	南原繁が射水郡長に就任す
650	○	1917	5	5		(T06)	県治水調査会規程が制定さる～-05-10第一回県治水調査会開催
651	○	1917	8	10		(T06)	県、発電用水力使用規程を制定す
652	○	1917	11	9		(T06)	通常県会(～-12-08)知事、予算案の説明に当たり、県政三大問題(神通川改修・県立薬専の官立移管・飛越鉄道の速成)及び水力電気開発の重要性を力説
653	○	1917	12	8		(T06)	通常県会、7年度予算206万2000円を可決す
654	○	1917	12	9		(T06)	臨時県会(～-12-12)神通川改修並びに県立薬専の官立移管に関する県費負担を可決す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
655	○	1917	12	27		(T06)	大雪、富山・高岡の両市で積雪151cm、富山市役所倒壊、高岡市で圧死者2人(翌年1月中積雪1m以上を記録)
656	○	1917	-	-		(T06)	6年度一般会計歳出決算額264万円
657	○	1918	1	8		(T07)	婦負郡大長谷村西ヶ原で雪崩のため家屋2戸倒壊、1戸が発火し、2世帯9人が焼死す
658	○	1918	1	27		(T07)	中越鉄道(株)、能町・新湊間開通す
659	○	1918	3	18		(T07)	氷見郡八代村国見・小滝・角間一帯で大地滑り
660	○	1918	3	25		(T07)	射水郡長南原繁、同郡の排水事業計画についての上申書を知事に提出す
661	○	1918	4	18		(T07)	富山商業会議所が富山・高山間の長距離電話架設についての建議書を逓信大臣に提出す
662	○	1918	4	-		(T07)	富山電気(株)、早月第一発電所運転開始
663	○	1918	5	24		(T07)	神通川改修工事施行が内務省より告示さる～1937-XX-XX(S12)竣工す
664	○	1918	5	-		(T07)	富山鉱業所、早月川白萩発電所運転開始
665	○	1918	7	9		(T07)	臨時県会(～-07-12)射水平野排水調査費・庄川筋合口用水費などの追加予算を可決す
666	○	1918	9	24		(T07)	台風のため、県西部と富山湾沿岸を中心に家屋全半壊、漁船転覆・破壊などの被害、死者2人
667	○	1918	11	15		(T07)	通常県会(～-12-14)飛越鉄道速成・神通川運河開削・中越鉄道国有に関する意見書を可決す(内務大臣に提出)。高伏運河速成を促す建議を可決、知事に提出
668	○	1918	12	14		(T07)	通常県会、8年度予算280万9000円を可決す
669	○	1918	12	15		(T07)	県、運河審議会規則を公布し、同審議会を設置す
670	○	1918	12	-		(T07)	浅野総一郎らが高伏運河(株)を設立す
671	○	1918	-	-		(T07)	7年度一般会計歳出決算額327万3000円
672	○	1919	3	-		(T08)	水防林の造林が小矢部川水系の西礪波郡西野尻村・東太美村、常願寺川水系の上新川郡島村・大庄村、中新川郡三郷村・利田村の総面積16町歩で始まる
673	○	1919	4	18	1	(T08)	県、自動車取締令施行規則を制定す
674	○	1919	4	18	2	(T08)	東園基光(前東京府内務部長)が知事に就任す
675	○	1919	6	-		(T08)	富山電気(株)、神通川庵谷第二発電所運転開始
676	○	1919	7	6		(T08)	いたち川出水し、家屋1107戸浸水。庄川・小矢部川・常願寺川流域でも家屋浸水、堤防決壊などの被害
677	○	1919	7	11		(T08)	富山市西部公設市場が本願寺派富山別院境内に設立さる
678	○	1919	7	-		(T08)	内務省直轄事業として神通川上流の宮川・高原川の砂防工事が着手さる～1930-XX-XX(S5)竣工す
679	○	1919	8	5		(T08)	野積川水力電気(株)が設立さる
680	○	1919	8	12		(T08)	伏木河口浚渫作業人夫、賃上げスト
681	○	1919	8	-		(T08)	県治水調査大要が発表さる
682	○	1919	9	10		(T08)	庄川水力電気(株)が設立さる
683	○	1919	9	17		(T08)	礪波軽便鉄道(株)が金福鉄道(株)(1914-02-03(T03)設立)と合併し、加越鉄道(株)となる
684	○	1919	11	11		(T08)	通常県会(～-12-10)中越鉄道の国移管・東岩瀬港築港・小矢部川改修の建議を可決す(内務大臣に提出)
685	○	1919	12	10		(T08)	通常県会、9年度予算364万5000円を可決す
686	○	1919	12	11		(T08)	臨時県会(即日閉会)道路法施行に基づき県道82路線認定を審議
687	○	1919	12	-	1	(T08)	大岩電気(株)、上市川滝橋発電所運転開始す
688	○	1919	12	-	2	(T08)	富山電気(株)、早月第二発電所運転開始す
689	○	1919	-	-	1	(T08)	8年度一般会計歳出決算額435万6000円
690	○	1919	-	-	2	(T08)	富山市袋町の長谷商会在タクシー業を開始す
691	○	1920	1	-	1	(T09)	越中電力(株)が設立さる
692	○	1920	1	-	2	(T09)	中越水電(株)、熊野川第一発電所運転開始す
693	○	1920	2	16		(T09)	臨時県会(～-02-21)知事、県営水力電気事業計画案を提出。常願寺川水系水力電気県営事業費並びにその県債借入れ及び償還方法を可決す
694	○	1920	2	20		(T09)	富山市に県立神通中学校設置が告示さる～-04-12開校す
695	○	1920	3	5		(T09)	県、伏木港取締規則を制定す
696	○	1920	3	6		(T09)	神通川電気(株)が逓信省より事業許可を得る
697	○	1920	4	1		(T09)	県、道路法により県道80路線の認定を告示す
698	○	1920	4	26		(T09)	知事、県営雄山鉄道免許申請書を内閣総理大臣に提出す～-07-06鉄道省、県営立山電気鉄道(雄山鉄道)敷設免許状を県に下付す
699	○	1920	4	-		(T09)	富山市東部公設市場が豊川町に設立さる
700	○	1920	5	14		(T09)	富山電気軌道(株)が軌道敷設特許権及び事業経営権を富山市に譲渡
701	○	1920	6	10		(T09)	「時の記念日」が実施され、正午に鐘と太鼓が一斉に打ち鳴らさる
702	○	1920	6	18		(T09)	県、電気局規程を制定し、電気局を設置す
703	○	1920	6	28		(T09)	神通川出水し、富山市・上新川郡で家屋860戸床下浸水・791戸床上浸水、橋梁2ヶ所流失、堤防決壊、死者十数人
704	○	1920	6	-		(T09)	県、内務・大蔵両大臣より県営電気事業のための常願寺川水利権(8ヶ所)を得る
705	○	1920	7	9		(T09)	県有舎宅貸付細則が制定さる
706	○	1920	8	1		(T09)	伏木測候所付属立山観測所が立山室堂で観測業務を開始す
707	○	1920	8	-	1	(T09)	野積川水力(株)、野積川獺師ヶ原発電所運転開始す
708	○	1920	8	-	2	(T09)	立山水力(株)、早月川中村発電所運転開始す
709	○	1920	9	1		(T09)	中越鉄道(株)が鉄道省に鉄道事業及び島尾遊園地経営事業の一切を譲渡す
710	○	1920	10	1		(T09)	はじめて国勢調査が実施さる。県内戸数14万1255戸、人口72万4276人(男35万4775人、女36万9501人)
711	○	1920	10	-		(T09)	神通川水電(株)、牛ヶ首用水五平定発電所・成子発電所運転開始す
712	○	1920	11	17		(T09)	通常県会(～-12-16)立山砂防工事並びに常願寺川改修工事の国費支弁を要望する建議を可決(-12-25内務大臣に提出)。神岡鉱山より神通川に流出する鉱毒防禦の建議を可決(-12-25知事に提出)
713	○	1920	11	18		(T09)	北陸汽船会社が伏木・七尾・ウラジオストク間の定期航路の就航を開始す
714	○	1920	12	1		(T09)	富山薬学専門学校が国に移管さる
715	○	1920	12	16		(T09)	通常県会、10年度予算438万2000円を可決す
716	○	1920	12	-		(T09)	山崎水電(株)、小川(山崎・辻用水)山崎発電所運転開始す
717	○	1920	-	-		(T09)	9年度一般会計歳出決算額601万9000円
718	○	1921	1	-	1	(T10)	高岡商工会議所・伏木商工会・新湊商工会が県に伏木港の設備完整・拡張についての建議書を提出す
719	○	1921	1	-	2	(T10)	加積電気(株)、早月川郷用水加積発電所運転開始す
720	○	1921	3	19		(T10)	立山鉄道(株)、五百石・立山間営業開始す
721	○	1921	3	27		(T10)	東礪波郡出町で上水道敷設工事に着手す～1924-04-18(T13)竣工式挙行
722	□	1921	4	13		(T10)	県立神通中学校(現・富山中部高校)が完成、開校式
723	○	1921	4	25		(T10)	県営鉄道、南富山・上滝間開通。-08-20岩嶺寺まで開通し、立山鉄道に接続す
724	○	1921	6	-		(T10)	内務省告示により伏木港が第二種重要港湾の指定を受く
725	○	1921	7	21		(T10)	県、山岳・河川・道路案内業取締規則を制定す
726	○	1921	7	-		(T10)	上中島水力(株)、下椿用水上中島水力発電所の運転開始す
727	○	1921	8	5		(T10)	常願寺川上流の県営砂防白岩堰堤工事で土砂崩れ死者7人、行方不明1人
728	○	1921	8	-		(T10)	富山市にロータリー式消防自動車ポンプが設備さる～-12-XX高岡市に同ポンプ設備～□では-08-31とも

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
729	○	1921	9	26		(T10)	台風のため、県内全域で家屋82棟全壊、圧死者8人、漁船150隻遭難、溺死者10人、行方不明105人
730	○	1921	10	11		(T10)	県営鉄道、上滝・横江間開通
731	○	1921	10	15		(T10)	県営住宅が富山市総曲輪に竣工す
732	○	1921	11	29		(T10)	県、住宅組合法施行細則を制定す
733	○	1921	11	－		(T10)	中越水電(株)、熊野川第二発電所の運転を開始す
734	○	1921	12	16		(T10)	通常県会、11年度予算497万8000円を可決す
735	○	1921	12	24		(T10)	信太時尚(前長崎県内務部長)が知事に就任す
736	○	1921	－	－	1	(T10)	10年度一般会計歳出決算額567万1000円
737	○	1921	－	－	2	(T10)	工業生産額(7272万9604円)が初めて農業生産額(6297万6971円)を上回る
738	○	1921	－	－	3	(T10)	別荘川水田(株)、別荘川滝ノ坂発電所の運転を開始す
739	○	1922	1	31		(T11)	庄川水力電気(株)が知事に庄川水系の堰堤式発電用水使用許可及び同工事実施認可の申請をす
740	□	1922	2	3		(T11)	北陸線親不知・青海間の勝山トンネル西口で大雪崩、200余人の除雪作業員を乗せた列車が埋まり死者90人
741	○	1922	3	15	1	(T11)	強風・波浪のため、富山湾内で漁船8隻遭難、漁夫44人行方不明
742	○	1922	3	15	2	(T11)	北陸本線に急行列車の運行が始まる
743	○	1922	3	－		(T11)	布施川水力(株)、布施川発電所運転開始す
744	○	1922	4	11		(T11)	県土木管区規程が制定さる
745	○	1922	4	－		(T11)	東岩瀬港の第一期修築工事が着手さる～1928-03-XX(S03)竣工す
746	○	1922	5	5		(T11)	県、処務細則を改正し、電気局に庶務・工務・鉄道の3課を設置す 上新川郡奥田村に全国唯一の官立薬学専門学校(現富山医薬大薬学部)の開校式
747	□	1922	5	10		(T11)	
748	○	1922	5	27		(T11)	内務省告示により東岩瀬港・魚津港が指定港湾となる
749	○	1922	7	21		(T11)	加越鉄道(株)、福野・石動間の営業を開始し、青島・石動間が全通
750	○	1922	7	24		(T11)	庄川水力電気(株)の小牧堰堤工事反対の村民大会が庄川両岸用水管理者らの発起により東礪波郡公会堂で開催さる
751	○	1922	8	3		(T11)	豪雨のため、立山登山道の鬼ヶ城付近が崩壊し、大門町青年団一行11人が常願寺川に転落、死者5人
752	○	1922	8	－		(T11)	富山電気(株)、片貝第二発電所の運転を開始す
753	○	1922	9	26		(T11)	伊東喜八郎(前福岡県内務部長)が知事に就任す
754	○	1922	11	5		(T11)	黒部鉄道(株)、三日市・下立間開通
755	○	1922	11	10		(T11)	金沢輜重兵第九大隊が岐阜県より城端町へ行軍中、五箇山の吊橋(細島橋)から墜落、死者9人
756	○	1922	12	23		(T11)	通常県会、12年度予算498万6000円を可決す
757	○	1922	12	－		(T11)	神通川水電(株)、牛ヶ首用水四津屋発電所の運転を開始す
758	○	1922	－	－	1	(T11)	11年度一般会計歳出決算額567万円
759	○	1922	－	－	2	(T11)	富山市営住宅(西中野町、愛宕新町、諏訪川原町)、高岡市営住宅(大坪町、定塚町)が竣工す
760	○	1923	2	15		(T12)	臨時県会(～-02-21)県道107路線認定を審議す
761	○	1923	2	20		(T12)	射水電気軌道(株)が設立さる、同日越中電気軌道(株)と改称す
762	○	1923	3	15		(T12)	富岩鉄道(株)が設立さる
763	○	1923	3	19		(T12)	広田用水普通水利組合が知事に広田用水開削についての請願書を提出す～12-06開削事業に着手～1924-XX-XX(T13)竣工
764	○	1923	4	9		(T12)	県道106路線の認定が告示さる
765	○	1923	4	20		(T12)	県営鉄道、岩峠寺・千垣間開通す
766	○	1923	4	－		(T12)	氷見港修築工事が着手さる～1928-XX-XX(S03)竣工
767	□	1923	5	15		(T12)	馬場はる氏が皇太子ご成婚記念の七年制富山高等学校の新設に100万円を寄付
768	○	1923	5	26		(T12)	伏木港拡築期成同盟会の発会式が伏木町で挙行さる
769	○	1923	6	22		(T12)	富山市会議長が内務大臣・知事に富山市の都市計画法適用の指定を要望する意見書を提出す～1924-06-01(T13)都市計画法適用が指定さる
770	○	1923	6	23		(T12)	神通川流域の漁業者約100人が県に発電用堰堤の改善を陳情す
771	○	1923	7	4		(T12)	富山商業会議所が飛越鉄道起工促進を鉄道大臣・名古屋鉄道局長・敦賀建設事務所長に建議す
772	○	1923	7	6		(T12)	県伏木港事務所が伏木町に設置さる
773	○	1923	9	1		(T12)	関東大地震の余波で県内に強震(震度4)
774	○	1923	9	3		(T12)	関東大震災の避難者の保護のため、救護所が国鉄高岡駅前に開設す(～09-22)、09-04富山駅前に開設
775	□	1923	10	8		(T12)	富山市中町(現中央通り)角に洋風木造3階建岡部呉服店が開業、県内デパートのはしり
776	○	1923	10	12		(T12)	県立の七年制富山高等学校設置が許可さる
777	○	1923	10	15		(T12)	北陸本線越中大門駅が開業す
778	○	1923	10	20		(T12)	黒部川電力(株)が設立さる
779	○	1923	11	21		(T12)	黒部鉄道(株)、下立・桃原間開通す
780	○	1923	12	20		(T12)	通常県会、13年度予算555万7000円を可決す
781	○	1923	12	－	1	(T12)	越中電力(株)、和田川竜谷発電所運転開始す
782	○	1923	12	－	2	(T12)	浅生川上浅生発電所(土肥庄平経営)運転を開始す
783	○	1923	12	－	3	(T12)	大越電気(株)、若栗用水若栗発電所運転開始す
784	○	1923	－	－		(T12)	12年度一般会計歳出決算額654万円
785	○	1924	2	11		(T13)	雪融け増水のため、小矢部川で堤防21ヶ所決壊、山田川・上市川・片貝川の各河川などで堤防決壊す
786	○	1924	4	1		(T13)	県営発電真川・和田川上滝発電所、松ノ木発電所、和田川中地山発電所が日本電力(株)へ送電を開始す
787	○	1924	4	15		(T13)	富山高等学校の入学式が挙行さる
788	○	1924	5	－		(T13)	城端電気(株)、山田川支流赤祖父川東西原発電所運転開始す
789	○	1924	6	1		(T13)	富山市に都市計画法適用の指定を受く
790	○	1924	6	8		(T13)	飛越鉄道期成同盟会の発会式が富山商業会議所で挙行さる
791	○	1924	6	10		(T13)	馬場はるが富山高校にヘルン文庫を寄贈す
792	○	1924	7	23	1	(T13)	岡正雄(前愛知県警察部長)が知事に就任す
793	○	1924	7	23	2	(T13)	富岩鉄道(株)、富山口・岩瀬港間開通す
794	○	1924	8	－	1	(T13)	全国的な干ばつで庄川水系を中心に被害、県内各地に水争いが起る
795	○	1924	8	－	2	(T13)	中越水電(株)、小口川第一発電所運転開始す
796	○	1924	9	9		(T13)	臨時県会(～-09-13)都市計画富山地方委員会委員を選出。伏木港修築費を可決す
797	○	1924	9	29		(T13)	台風のため、下新川郡生地町・泊町で漁船17隻、乗組員22人行方不明
798	○	1924	10	12		(T13)	越中電気軌道(株)、富山口・四方間営業開始す
799	○	1924	11	1		(T13)	伏木港の拡築事業が内務省より許可さる
800	○	1924	11	10		(T13)	皇太子、富山市に行啓される(～-11-11)
801	○	1924	11	20		(T13)	氷見郡八代村国見北端山腹で地滑り、田畑5反歩埋没す
802	○	1924	11	－		(T13)	富津自動車、富山・笹津間営業開始す
803	○	1924	12	21		(T13)	通常県会、14年度予算579万1000円を可決す
804	○	1924	－	－	1	(T13)	13年度一般会計歳出決算額673万5000円

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
805	○	1924	-	-	2	(T13)	宇奈月温泉が開湯す
806	○	1925	1	15		(T14)	昭和電力(株)が庄川祖山地内における発電許可を受く
807	□	1925	2	10		(T14)	富山市新庄・富山駅・呉羽間に電車型乗合自動車(註:トロリーバスのことか?)が運行され、好評
808	○	1925	3	27		(T14)	高岡市が都市計画法適用の指定を受く
809	○	1925	3	30		(T14)	第一回都市計画富山地方委員会が開催さる
810	○	1925	4	1		(T14)	県、熊野川を河川法を準用する河川に認定す
811	□	1925	4	18		(T14)	呉羽山にインクライン開通
812	○	1925	7	-		(T14)	立山電気(株)、長棟川第一発電所運転を開始す
813	○	1925	8	12		(T14)	第一回工業振興策調査委員会が富山商業会議所で開催され、富山市への廃川地払い下げの要望などを協議す
814	○	1925	8	29		(T14)	県、水利使用料徴収規程を制定す
815	○	1925	8	-		(T14)	日本電力(株)、宮川蟹寺発電所の運転を開始す
816	○	1925	9	7		(T14)	井波町に大火、276戸焼失す
817	○	1925	9	-		(T14)	二万七千石用水議員・庄川筋出材業者らが庄川の発電用堰堤工事に反対する請願書・陳情書を内務大臣・逓信大臣・知事に提出す
818	○	1925	10	1		(T14)	第二回国勢調査 県内世帯数14万5784戸、人口74万9243人(男36万8593人、女38万650人)
819	○	1925	10	13		(T14)	越中電気軌道(株)、四方・新湊間乗合自動車の営業を開始す
820	○	1925	12	25		(T14)	通常県会、15年度予算673万3000円を可決す
821	○	1925	-	-	1	(T14)	14年度一般会計歳出決算額713万9000円
822	○	1925	-	-	2	(T14)	県、電気局鉄道課を廃止す
823	○	1925	-	-	3	(T14)	都市研究会会長後藤新平ら都市計画事業関係者一行が富山市を視察
824	○	1925	-	-	4	(T14)	富山市営住宅(稲荷村、清水町、五福、牛島)68戸、高岡市営住宅(白銀後町)35戸が竣工す
825	○	1926	3	12		(T15)	県、道路維持奨励規程を制定す
826	○	1926	3	19		(T15)	県、河川法施行又は準用河川における筏流し並びに流木規程を制定す(-04-01施行)
827	○	1926	3	22		(T15)	第二回都市計画富山地方委員会が県会議事堂で開催され、内務大臣諮問の富山・高岡両市の都市計画区域案を可決す
828	○	1926	4	12		(T15)	内閣、富山市・高岡市の都市計画区域案を認可す
829	□	1926	4	26		(T15)	富山平野部に降雪、明治31年4月21日以来の晩雪
830	○	1926	5	22		(T15)	常願寺川の県営立山砂防工事が国に移管され、9ヶ年継続事業として着手さる
831	○	1926	5	28		(T15)	飛州木材(株)が知事に対して庄川水電(株)の発電工事認可取り消し請求の行政訴訟を起こす
832	□	1926	6	11		(T15)	庄川小牧ダム工事に対し北陸タイムスが警告、「呪はれた水電王国」の百回連載開始、庄川流木事件の口火を切る
833	○	1926	6	13		(T15)	伏木港拡築工事の起工式が挙行さる
834	○	1926	6	18		(T15)	内務省新潟土木出張所立山砂防事務所が上新川郡大山村有峰の立山温泉に設立さる
835	○	1926	6	21		(T15)	臨時県会(～-06-26)県営電気事業の計画変更予算を可決す
836	○	1926	6	-		(T15)	黒部川電力(株)、黒部川第一発電所運転開始す
837	□	1926	7	8		(T15)	日電の庄川砂利採取で沿岸3郡の農民、小牧ダムの撤廃を要求、反対運動
838	○	1926	7	14		(T15)	富岩鉄道(株)、富山口・東岩瀬間乗合自動車営業開始
839	○	1926	7	21		(T15)	越中電気軌道(株)、連隊橋・富山北口間、四方・打出浜間の営業を開始す
840	○	1926	7	27		(T15)	神通川・いたち川など出水し、富山市・上新川郡で家屋251戸床上浸水、990戸床下浸水、橋梁流失、道路欠損。射水郡で水田冠水、家屋浸水等の被害
841	○	1926	7	-		(T15)	高岡市、射水郡、東・西礪波郡の庄川沿岸農民代表が発電工事反対の総決起大会を弁才天川原で開催す
842	○	1926	8	11		(T15)	富山市営乗合自動車、富山駅前・南富山駅前間営業開始す
843	○	1926	9	28		(T15)	白上佑吉(前鳥取県知事)が知事に就任す
844	○	1926	9	-		(T15)	庄川沿岸漁民らが県に堰堤工事反対を陳情
845	○	1926	10	5		(T15)	藤原義江独唱会(富山音楽研究会主催)が県会議事堂で開催さる
846	○	1926	10	10		(T15)	全国自転車競争会(富山輪士会主催)が神通グラウンドで開催さる
847	○	1926	11	6		(T15)	下条川改修工事の起工式が小杉小学校で挙行さる～1932-03-15(S07)竣工す
848	○	1926	11	-	1	(T15)	庄川の発電工事反対派が加越線青島駅で庄電軌道との接続ポイントを切断す
849	○	1926	11	-	2	(T15)	中越水電(株)、熊野川第三発電所の運転を開始す
850	○	1926	12	10		(T15)	県、火災予防規則を制定す(-12-15施行)
851	○	1926	12	23		(T15)	通常県会、昭和2年度予算676万4000円を可決す
852	○	1926	12	25		(S01)	昭和と改元す
853	○	1926	12	-		(S01)	立山水力(株)、早月川箕輪発電所の運転を開始す
854	○	1926	-	-		(T15)	富山県史蹟名勝天然記念物調査会、「都市計画実施ニ際シ、…富山城址ヲ貫キタル直線道路を敷設シテ…石垣ヲ取り壊シ、内濠ヲ埋メ立テラレムトスルト聞クハ、マコトニ遺憾ナリ」と都市計画富山地方委員会に建議を提出す
855	○	1926	-	-	1	(S01)	昭和元年度一般会計歳出決算額757万円
856	○	1926	-	-	2	(S01)	本県の諸車保有台数 自動車303(乗用203、荷積用100)、自転車4万4753(自動157、通常4万4596)、馬車4、人力車647
857	○	1927	1	29		(S02)	黒部峡谷大谷に雪崩、日本電力(株)の飯場5棟倒壊、死者33人
858	○	1927	1	-		(S02)	大雪、県内各地で死者・負傷者多数(～-02-XX)伏木で積雪159cmを記録(-02-13現在)～□1927-01-18(S02) 18日から降り始めた雪は2月に富山市で2mを超え、40年来の大雪、北陸本線が20日間運休、工場は休業、死者47人～□1927-02-12(S02) 1月18日から降り続いた雪は明治26年以来の大雪となり、富山市の積雪は227cm、北陸線は20日間運休、電信不通、死者47人、負傷者20人、麦95%、果樹70%減収
859	○	1927	2	13		(S02)	越中電気軌道(株)が越中鉄道(株)と改称す
860	○	1927	2	15		(S02)	黒部奥山の出の清水で日本工業(株)の飯場4棟倒壊、死者4人
861	○	1927	3	7		(S02)	北丹後地震の余波で県内に強震(震度4)
862	○	1927	5	17		(S02)	白根竹介(前石川県知事)が知事に就任す
863	□	1927	6	5		(S02)	県営鉄道(南富山・粟巣野間)電化工事完成、昭和17年に地鉄に合併
864	○	1927	7	17		(S02)	東岩瀬港修築起工式が挙行さる
865	○	1927	9	1		(S02)	飛越線富山・越中八尾間が開通し、越中八尾駅・千里駅・速星駅・西富山駅が開業す
866	○	1927	10	15		(S02)	臨時県会(～-10-16)都市計画富山地方委員会委員を選出す
867	○	1927	11	24		(S02)	富山市、神通川廃川埋立て・運河開削及び街路新設拡張工事施行に関し県と覚書を交換す
868	○	1927	11	25	1	(S02)	第一期道路改良計画事業が5ヶ年継続事業として県会の承認を得る
869	○	1927	11	25	2	(S02)	通常県会(～-12-23)神通川廃川地処分及び運河開削事業の件・県道31路線認定の件を答申す。魚津漁港修築の建議を可決す(-12-29知事に提出)
870	○	1927	11	-		(S02)	日本電力(株)、黒部川柳河原発電所の運転を開始す
871	○	1927	12	1		(S02)	県、農業水利改良事務所3ヶ所(下条川沿岸排水事業事務所・庄川用水合口事業事務所・黒部川用水合口事業事務所)の設置を告示す
872	□	1927	12	4		(S02)	神通川の廃川地の処分案が県会で可決、富岩運河の掘削土砂で117haの土地を造成するもの
873	○	1927	12	15		(S02)	富岩鉄道(株)、富山駅・岩瀬港間貨物営業を開始す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
874	○	1927	12	23		(S02)	通常県会、3年度予算913万9000円
875	○	1927	12	24		(S02)	寄り回り波のため、滑川町高月で死者1人、家屋34戸浸水
876	○	1927	-	-	1	(S02)	2年度一般会計歳出決算額805万3000円
877	○	1927	-	-	2	(S02)	県、内務部に耕地課を設置す
878	○	1928	2	-		(S03)	立山電力(株)、長棟川第二発電所の運転を開始す
879	○	1928	3	14		(S03)	第三回都市計画富山地方委員会が開催され、富山都市計画事業及びその執行年度割を決定す
880	○	1928	3	26		(S03)	臨時県会(～-03-28)都市計画富山地方委員会の富山都市計画案を可決す
881	○	1928	3	27		(S03)	富山都市計画事業として富岩運河開削工事が内務省より認可さる
882	○	1928	3	-	1	(S03)	高岡市会、水道敷設・給水条例などを可決す
883	○	1928	3	-	2	(S03)	東岩瀬港の第一期修築工事が竣工す
884	○	1928	4	14		(S03)	大日本消防協会富山県支部の発会式が富山市の新富座で開催さる
885	□	1928	4	29		(S03)	富山・高岡間に乗合バスが登場、1区間5銭
886	○	1928	6	1		(S03)	県、土木出張所7ヶ所を設置す～入善・魚津・五百石・富山・高岡・石動・氷見
887	○	1928	7	11		(S03)	富岩鉄道(株)、富山駅・富山口間の営業を開始す
888	○	1928	9	21		(S03)	富山住宅資金貸付規程が制定さる
889	○	1928	9	-		(S03)	県、政府の地方財政についての訓令に基づき4年度県予算について整理緊縮方針を発表す
890	□	1928	10	17		(S03)	富山市東岩瀬の馬場はるさんの寄付で富山市蓮町に七年制高等学校が開校～1943に官立となる
891	○	1928	10	21		(S03)	富山市営軌道、西町・田地方間開通す
892	○	1928	11	23		(S03)	通常県会(～-12-22)飛越鉄道の速成を要望する建議を可決す(-11-28内務・鉄道両大臣に提出)、庄川筋発電事業堰堤完備に関し庄川水力・大同電力両社督励の建議を可決(-12-28内務大臣・知事に提出)
893	○	1928	11	-		(S03)	庄川沿岸民らが堰堤反対連合大会を開催す
894	○	1928	12	1		(S03)	高岡市上水道施設工事の起工式挙行～1931-06-22(S06)通水式挙行
895	○	1928	12	22		(S03)	通常県会、4年度予算969万円を可決す
896	○	1928	12	-		(S03)	富山電気(株)が日本海電気(株)と改称す
897	○	1928	-	-	1	(S03)	3年度一般会計歳出決算額847万9000円
898	○	1928	-	-	2	(S03)	県、内務部に都市計画課を設置す
899	○	1928	-	-	3	(S03)	常願寺川に常願寺橋(町袋・三郷村柴草間)が架設さる
900	○	1928	-	-	4	(S03)	富山都市計画事業のうち都心土地区画整理事業が着手さる(～1934(S09)年度)
901	○	1929	1	2		(S04)	寄り回り波のため、泊・宮崎など県東部各町村で家屋浸水、船舶流失、道路損壊などの被害、死者1人、負傷者19人～口では-01-03とある
902	○	1929	1	21		(S04)	内務省告示により東岩瀬港が第3種指定港湾に指定さる
903	○	1929	1	-		(S04)	高岡市、水道敷設のため市水道部及び水道敷設設置委員会を設置す
904	○	1929	2	6		(S04)	山中恒三(前北海道庁土木部長)が知事に就任す
905	○	1929	4	14		(S04)	黒部川用水合口事業地鎮祭並びに起工式が下立小学校で挙行さる～1932-06-05(S07)竣工式挙行
906	○	1929	4	22		(S04)	寄り回り波のため、伏木海岸で家屋約100戸浸水、堤防2ヶ所決壊、道路20間決壊などの被害
907	□	1929	4	27		(S04)	富山市二番町の消防組裏に高さ30m、エレベーター付きの県内一高い望楼完成
908	○	1929	4	-		(S04)	日本海電気(株)、小口川第二発電所の運転開始す
909	○	1929	7	2		(S04)	越中鉄道(株)、打出浜・堀岡間の営業開始す
910	○	1929	7	4		(S04)	県内で干害、東礪波郡・婦負郡を中心に被害田地が2300町歩に及ぶ
911	○	1929	7	-		(S04)	神岡水電(株)、高原川猪谷発電所の運転開始す
912	○	1929	8	5		(S04)	県、市町村財政整理緊縮についての要綱を市役所・町村役場に訓令
913	○	1929	10	1		(S04)	飛越線笹津・越中八尾間が開通し、笹津駅が開業す
914	○	1929	11	16		(S04)	第4回都市計画富山地方委員会が開催され、高岡都市計画事業街路計画を可決(1930-03-XX(S05)内閣が認可)、富山都市計画街路事業及び運河開削事業の執行年度割の変更を可決す
915	○	1929	11	18		(S04)	通常県会(～-12-20)庄川筋の小牧・祖山両発電所の発電開始促進に関する建議を可決す(-12-15内務大臣に提出)
916	○	1929	12	13		(S04)	高岡電燈(株)の神通川発電水利権拡張許可に伴う合口化に反対する神通川沿岸漁民250人が県庁内に乱入す、漁民65人検束、警官11人負傷～1930-08-29(S05)合口事業についての紛争が解決す
917	○	1929	12	20		(S04)	通常県会、5年度予算749万9000円を可決す
918	○	1929	12	-		(S04)	庄川流域保安維持同盟会が堰堤築造反対を県に陳情す
919	○	1929	-	-		(S04)	4年度一般会計歳出決算額743万5000円
920	○	1930	2	1		(S05)	県営真川発電所が竣工し、日本海電気(株)に送電を開始す
921	○	1930	2	11		(S05)	富山電気鉄道(株)が設立さる
922	○	1930	3	6		(S05)	県庁舎が焼失す
923	○	1930	3	18		(S05)	県参事会、富山市に県庁仮庁舎を建設する予算案を可決す
924	○	1930	3	-		(S05)	県庁舎焼失により県庁の高岡移転論が起こり県庁移転期成同盟会が組織さる
925	○	1930	4	10		(S05)	黒部鉄道(株)、三日市・石田港間営業開始～1940-05-30(S15)廃止
926	○	1930	4	15		(S05)	庄川水力発電(株)・昭和電力(株)両社と県との間に小牧発電所における水産資源保護についての覚書が取り交わさる～-04-19政府、小牧発電所の発電認可決裁～-11-XX小牧発電所が運転を開始
927	○	1930	4	22		(S05)	飛州木材(株)が庄川水力電気(株)に対し、大阪地方裁判所に小牧堰堤仮排水路閉鎖禁止等の仮処分を申請す
928	○	1930	5	8		(S05)	飛州木材(株)が庄川水力電気(株)に対し、大阪地方裁判所に流木権確認並びに妨害排除請求の訴訟を起こす
929	○	1930	5	9		(S05)	知事、失業防止と失業者救済のための公営事業施行について市役所・町村役場に訓令す
930	○	1930	5	12		(S05)	県、家屋賃貸価格調査事務取扱細則を制定す
931	○	1930	5	30		(S05)	県、地方財政の整理刷新に関し改正市制・町村制の趣旨徹底を市役所・町村役場に訓令す
932	□	1930	8	1		(S05)	高岡市の上水道が県内で初の給水
933	○	1930	9	5		(S05)	新湊町に大火、545戸焼失す
934	○	1930	9	14		(S05)	県営庄川川用水合口事業の地鎮祭及び起工式が東礪波郡中野村地内弁才天川原で挙行さる
935	○	1930	10	1		(S05)	第3回国勢調査、県内世帯数15万661戸、人口77万8953人(男38万1809人、女39万7144人)
936	○	1930	10	12		(S05)	越中鉄道(株)、堀岡・新湊東口間営業開始
937	○	1930	10	17		(S05)	石川県南部沿岸の地震の余波で県内に強震(震度4)
938	○	1930	11	18		(S05)	通常県会(～-12-17)県内失業者に対する救済策を要望する建議を可決す
939	○	1930	11	27		(S05)	飛越線猪谷・笹津間が開通し、猪谷駅・楡原駅が開業す
940	○	1930	11	-		(S05)	飛州木材(株)が流木を開始す～1931-02-XX(S06)
941	○	1930	12	17		(S05)	通常県会、6年度予算813万8000円を可決す
942	○	1930	12	-		(S05)	昭和電力(株)、庄川祖山発電所の運転を開始す
943	○	1930	-	-	1	(S05)	5年度一般会計歳出決算額804万9000円
944	○	1930	-	-	2	(S05)	上新川郡浜黒崎に常設競馬場が開場す
945	○	1931	1	10		(S06)	高波のため、下新川郡生地町で家屋約300戸浸水、新湊町・魚津町で漁船転覆などで溺死者5人

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
946	○	1931	3	20		(S06)	富山電気鉄道(株)が立山鉄道(株)を合併す
947	○	1931	4	15		(S06)	鈴木敬一(前内務大臣官房都市計画課長)が知事に就任す
948	○	1931	5	1		(S06)	県、和田川・角川・井田川を河川法を準用する河川として認定す
949	○	1931	5	14		(S06)	越中鉄道(株)、富山駅前・富山北口間、新湊駅前・新湊東口間で乗合自動車の営業を開始す
950	○	1931	5	19		(S06)	富山商工会議所が東京・新潟間の郵便航空路を富山へ延長することを要望する建議書を通信大臣及び東京・仙台・名古屋各通信局長に提出す
951	○	1931	6	12		(S06)	神通川廃川地の埋立て・富岩運河の開削工事の起工式が挙行さる
952	○	1931	8	15		(S06)	富山電気鉄道(株)、富山田地方・上市口間、寺田・五百石間の営業を開始す
953	○	1931	8	－		(S06)	県営小矢部川沿岸用水補給工事が着手さる
954	○	1931	10	16		(S06)	臨時県会(即日閉会)都市計画富山地方委員会委員を選出す
955	○	1931	10	－		(S06)	県営称名川第二発電所が竣工し、日本電力(株)へ送電を開始す
956	○	1931	11	1		(S06)	白岩川の砂防ダム工事が着手さる～1939-12-14(S14)竣工
957	○	1931	11	20		(S06)	通常県会(～-12-19)政友会・民政党の対立のため、7年度予算案が審議未了、日本海沿岸漁港の完成についての建議を可決す(知事に提出)
958	○	1931	11	－		(S06)	日本海電気(株)、小口川第三発電所の運転を開始す
959	○	1931	12	13		(S06)	富山市に自動式電話が開通す
960	○	1931	12	18		(S06)	県、水槽便所取締規則を制定す
961	○	1931	12	－		(S06)	通常県会で7年度予算案審議未了となったため、内務大臣の指揮により原案724万6000円の執行を決定す
962	○	1931	－	－		(S06)	6年度一般会計歳出決算額920万9000円
963	○	1932	1	12		(S07)	臨時県会(～-01-18)波浪や河川出水復旧の土木費予算追加を決議
964	○	1932	3	9		(S07)	富山商工会議所会頭が放送局設置を要望す
965	○	1932	4	19		(S07)	県対岸貿易拓殖振興会創立総会が挙行さる
966	○	1932	4	23		(S07)	県民献納飛行機愛国機立山号が富山市に飛来す
967	○	1932	5	1		(S07)	黒部鉄道(株)、愛本・石田港間で乗合自動車営業開始す
968	○	1932	5	17		(S07)	富山電鉄自動車(株)が設立さる
969	○	1932	5	26		(S07)	射水郡守山村より出火し、二上村に延焼、家屋130戸焼失、山林180町歩罹災
970	○	1932	5	31		(S07)	小杉町上水道敷設工事起工式が挙行さる～1933-08-26竣工、-09-01通水式
971	○	1932	5	－		(S07)	黒部川電力(株)、黒部川第四発電所の運転を開始す
972	○	1932	6	23		(S07)	内務省直轄事業として神通川上流上宝岳・焼ヶ岳付近の砂防工事が着手さる
973	○	1932	6	24		(S07)	集中豪雨でいたち川出水し、富山市で家屋3007戸浸水す
974	○	1932	6	28		(S07)	斎藤樹(前奈良県知事)が知事に就任す
975	○	1932	7	12		(S07)	臨時県会(～-07-14)伏木港修築費案を決議
976	○	1932	8	4		(S07)	伏木測候所で気温摂氏38度1分を記録す
977	□	1932	8	20		(S07)	金沢市のデパート宮市大丸が富山市西町で一部営業開始
978	○	1932	8	20		(S07)	飛越線杉原・猪谷間が開通す
979	○	1932	9	15		(S07)	臨時県会(～-09-21)時局匡救対策土木事業施行に関する建議を可決(知事に提出)
980	○	1932	10	－		(S07)	県営小見発電所の運転開始す
981	○	1932	11	9		(S07)	越中鉄道(株)、新湊東口・庄川口間の営業を開始す
982	○	1932	11	10		(S07)	宮市大丸富山店が開店す
983	○	1932	11	14		(S07)	台風のため、県西部の富山湾沿岸で家屋5戸倒壊、500戸一部破損、防波堤決壊、船舶大破などの被害
984	○	1932	11	21		(S07)	通常県会(～-12-17)北陸定期航空路開設に関する意見書を可決(-12-06通信・陸軍・海軍各大臣に提出)
985	○	1932	12	17		(S07)	通常県会、8年度予算968万8000円を可決す
986	○	1932	12	18		(S07)	県営牛ヶ首用水改良事業が着手さる
987	○	1932	12	20		(S07)	飛州木材(株)の小牧堰堤実施設計認可取消請求(1926-05-XX(T15))・祖山発電水利使用変更並びに工事実施認可取消請求(1927-05-XX(S02))などの行政訴訟事件に対し、大阪地裁が木材側敗訴の判決を下す
988	○	1932	12	22		(S07)	伏木測候所付属富山地震観測所が富山市の旧県庁構内に設立さる
989	○	1932	－	－	1	(S07)	7年度一般会計歳出決算額1069万4000円
990	○	1932	－	－	2	(S07)	井田川に落合橋(古里村・速星村間)が架設さる
991	○	1932	－	－	3	(S07)	県営赤祖父水郷用水補給事業として貯水池造成工事が着手さる
992	○	1932	－	－	4	(S07)	富山・高岡間の国道改修工事が着手さる～1941-12-XX(S16)竣工
993	○	1933	1	18		(S08)	越中鉄道(株)、庄川口・六渡寺間の乗合自動車の営業開始
994	○	1933	3	3		(S08)	富山市会、富山市に日満産業大博覧会開設を要望する意見書を知事に提出す
995	○	1933	3	7		(S08)	大阪地裁が飛州木材(株)からの流木権確認並びに妨害排除請求に対し飛州木材(株)側の流木権を認め、庄川水電(株)に対し20万円を支払うよう判決を下す
996	○	1933	3	31	1	(S08)	越中鉄道(株)、新湊・高岡間の乗合自動車営業開始
997	○	1933	3	31	2	(S08)	省営乗合自動車、富山・笹津間の運転開始
998	○	1933	4	1		(S08)	県、伏木港事務所を県伏木港務所と改称す
999	○	1933	4	1		(S08)	北陸汽船(株)、伏木・雄基間定期航路を開始す
1000	○	1933	4	4		(S08)	県政調査委員会規程が公布され、同委員会が設置さる
1001	○	1933	4	12		(S08)	富南鉄道(株)が富山鉄道(株)より富山・堀川新間の鉄道を譲受して設立さる～-04-20富山鉄道(株)、堀川新・笹津間の鉄道営業を廃止して解散す
1002	○	1933	4	25		(S08)	内務大臣、富山城趾を富山市都市計画風致地区とする内閣認可を公告す
1003	○	1933	4	－		(S08)	高岡市会、第一期都市計画事業として高岡・伏木線、高岡駅・長江線の街路事業案を可決す～-10-18内閣認可の公告～1934-03-03(S09)着工
1004	○	1933	5	3		(S08)	高岡大仏の開眼式が挙行さる(～-05-05)
1005	○	1933	5	7		(S08)	置県50周年記念資料展覧会(富山郷土研究会主催)が富山市立図書館で開催さる
1006	○	1933	5	9		(S08)	置県50周年記念式典が県会議事堂で挙行さる
1007	○	1933	5	13		(S08)	臨時県会(-05-19)県庁舎新築費及び時局匡救土木事業費補助などを可決す、常願寺川改修及び立山砂防工事についての意見書を可決す(内務大臣・知事に提出)、東岩瀬港開港に関する意見書を可決す(-05-18知事に提出)
1008	○	1933	6	1		(S08)	県、内務部に臨時県庁舎建築課を設置す
1009	○	1933	6	12		(S08)	干害のため、常願寺川流域35町歩枯渇～-07-04庄川流域135町歩亀裂～-07-11常西地区水田7000町歩枯渇
1010	○	1933	6	28		(S08)	県政調査委員会勧業委員会が知事諮問の日満産業大博覧会開催についての意見書を答申す
1011	○	1933	7	5		(S08)	黒部川支流音谷川ガラ谷の県営砂防事業に着手
1012	○	1933	8	12		(S08)	流木争議の和解が成立し、神岡水電(株)・昭和電力(株)・庄川水電(株)・飛州木材(株)の4社が内務省で共同声明書を発表す
1013	○	1933	9	5		(S08)	台風による高波のため、富山湾沿岸町村で家屋932戸浸水、50戸倒壊、漁船20隻流失、田畑冠水
1014	○	1933	9	14		(S08)	神通川合口用水事業が着手さる～1935-03-31(S10)竣工
1015	○	1933	9	21		(S08)	七尾湾地震の余波で県内に強震(震度4)
1016	○	1933	9	29		(S08)	県営鍛冶川排水事業の地鎮祭及び起工式が射水郡下村の加茂神社で挙行さる
1017	○	1933	10	8		(S08)	富山飛行場(婦負郡倉垣村)が開場す
1018	○	1933	10	18		(S08)	県参事会が新県庁舎の敷地を神通川廃川地とすることを決議す
1019	○	1933	10	－	1	(S08)	県営称名川発電所が運転を開始す
1020	○	1933	10	－	2	(S08)	大川寺公園竣工祝賀会が開催さる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1021	○	1933	11	6		(S08)	臨時県会(～-11-10)県営水力電気事業愛本発電所建設費を議決す
1022	○	1933	11	22		(S08)	通常県会(～-12-21)富山飛行場から東京・大阪・名古屋方面への定期航空路開設に関する意見書を可決す(-12-18逓信大臣に提出)、時局匡救農村振興土木事業の国庫助成の増額を要望する意見書を可決す～-12-21総理大臣外2大臣に提出
1023	○	1933	12	1		(S08)	県、富山風致地区規則を制定す
1024	○	1933	12	21		(S08)	通常県会、9年度予算962万円を可決す
1025	○	1933	12	25		(S08)	越中鉄道(株)、庄川口・新湊間開通す
1026	○	1933	-	-		(S08)	8年度一般会計歳出決算額1092万5000円
1027	○	1934	1	-		(S09)	高岡電燈(株)、牛ヶ首用水成子第二発電所の運転を開始す
1028	□	1934	2	14		(S09)	飛越線(現高山線)と北陸線で雪崩が多発、飛越線猪谷・杉原間で1万2000立方mの大雪崩が発生、第二宮川鉄橋の1／3が橋脚まで押し潰され、20日間不通
1029	○	1934	3	15		(S09)	県庁舎新築工事の起工式が挙行さる
1030	○	1934	5	15		(S09)	富山・東京間定期航空路が開設さる
1031	○	1934	5	22		(S09)	臨時県会(～-05-26)雪害対策を要望する意見書・時局匡救事業の10年度以降継続を要望する意見書を可決す～-05-26総理大臣外3大臣に提出
1032	○	1934	5	24		(S09)	県電気局、常願寺川水系の6発電所の竣工慶賀祭・竣工式を大川寺公園で挙行す
1033	○	1934	6	15		(S09)	高岡・伏木・新湊・能町の1市3町村が伏木港拡張期成同盟を組織
1034	○	1934	7	2		(S09)	富山・名古屋間定期航空路が開設さる
1035	○	1934	7	9		(S09)	県内各河川出水し、庄川・黒部川流域を中心に被害多く、県内全域で家屋9958戸浸水、78戸流失、死者・行方不明者31人、重傷者9人、軽傷者300人、道路28ヶ所決壊、橋梁40ヶ所流失(～-07-12)
1036	○	1934	7	14		(S09)	富山市会、大水害のため翌10年に予定の日満産業大博覧会の開催を1年間延期することを決定す
1037	○	1934	8	17		(S09)	県、7月の水害状況並びに善後措置についての報告書を内閣総理大臣に提出す
1038	○	1934	8	18		(S09)	水害に関する善後策について県会議事堂で全県会議員協議会が開催さる
1039	○	1934	9	20		(S09)	室戸台風のため、富山湾沿岸地域や県内農業関係を中心に大被害
1040	○	1934	10	24		(S09)	臨時県会(～-10-30)水害復旧の土木費追加予算を可決、小矢部・常願寺川改修促進に関する意見書を可決す～-10-30内務・大蔵両大臣に提出
1041	○	1934	10	25		(S09)	飛越線全線が開通し、飛越・高山両線を合流した高山本線の開通式が富山市で開催さる
1042	○	1934	11	13		(S09)	日米職業野球富山大会(米軍はペーブルースら、日本軍は沢村栄治ら)が神通グラウンドで開催さる
1043	○	1934	11	26		(S09)	通常県会(～-12-24)第11号国道改築に関する件を可決す(-12-14内務・大蔵両大臣に提出)、官設鉄道水見線の石川県七尾町までの延長に関する件を可決す(-12-24内務・大蔵・鉄道各大臣に提出)
1044	○	1934	12	2		(S09)	宮市大丸富山店が鉄筋コンクリート造り6階建の店舗を新築竣工す
1045	□	1934	12	4		(S09)	立山・黒部を含む「日本アルプス」を中部山岳国立公園に指定
1046	○	1934	12	9		(S09)	富山郵便局がアメリカ・カナダ・メキシコ・キューバの主要都市と電話通信を開始す～1935-07-01(S10)国際電話の通信網を欧州各国及びアフリカの一部まで拡大す
1047	○	1934	12	14		(S09)	県、小矢部川支流の礪波山田川・渋江川・子撫川・千保川の4河川を河川法を準用する河川として認定す
1048	○	1934	12	24		(S09)	通常県会、10年度予算869万4000円を可決す
1049	○	1934	12	-		(S09)	小矢部川改修工事が着手さる
1050	○	1934	-	-		(S09)	9年度一般会計歳出決算額1609万7000円
1051	○	1935	1	17		(S10)	富山商工会議所が富山都市計画の完成・富山駅拡張に関する建議書を鉄道大臣・名古屋鉄道局長・金沢運輸事務所に提出す
1052	○	1935	1	18		(S10)	県、行政機構を改正し、経済部(土木・商工・水産・農政・農産・林務・耕地の各課)を新設、内務部を廃し総務部を設置、電気局を内務部から分離し、知事官房(2課)、総務部(人事課を新設し7課)、経済部(6課)、電気局(3課)、学務部(4課)、警察部(8課)とす
1053	○	1935	1	-		(S10)	富岩運河が竣工す～□では-01-31とす
1054	○	1935	2	-		(S10)	井田川に十三石橋(八尾町・保内村間)が架設さる
1055	○	1935	3	1		(S10)	富山市簡易水道が経費10万円で起工さる
1056	○	1935	3	16		(S10)	下新川郡生地町に大火、住家198戸、非住家181棟焼失す
1057	○	1935	4	17		(S10)	下新川郡生地町に都市計画法が施行さる
1058	○	1935	4	-		(S10)	高岡電燈(株)、牛ヶ首用水下井沢発電所の運転を開始す
1059	○	1935	5	25		(S10)	土岐銀次郎(前大阪府総務部長)が知事に就任す
1060	○	1935	6	3		(S10)	県営愛本発電工事の土工は百数十人、スト
1061	○	1935	6	-		(S10)	大阪・富山・新潟間に定期航空路が開設さる～□では-06-05とも
1062	○	1935	7	15		(S10)	富山・立山山頂間に超短波による電信事務を開始さる
1063	□	1935	7	17		(S10)	神通川廃川地119haの市街化事業完成、新県庁も建ち、富山市が新町名を募集、新総曲輪、安住町などが決まる
1064	○	1935	8	17		(S10)	新県庁舎の竣工式が挙行さる(-08-23移転完了)
1065	○	1935	8	24		(S10)	臨時県会(～-08-30)県営有峰貯水池発電事業計画・同事業費を決議す
1066	○	1935	9	1		(S10)	県、総務部臨時県庁舎建築課を廃し、営繕課を設置す
1067	○	1935	9	11		(S10)	新県庁舎に県会議事堂が設置されたため、従来の県会議事堂が大正会館となる
1068	○	1935	10	1		(S10)	第4回国勢調査、県内世帯数15万4917戸、人口79万8890人(男38万8771人、女41万119人)
1069	○	1935	10	4		(S10)	氷見町・魚津町に都市計画法が施行さる
1070	○	1935	10	16		(S10)	臨時県会(即日閉会)都市計画富山地方委員会委員を選出す
1071	○	1935	11	7		(S10)	富山商工会議所会頭が富山城址の公園化とその外廓整備に関する建議書を知事・県会議長・富山市長・同市会議長に提出す
1072	○	1935	11	12		(S10)	寄り回り波のため、伏木・新湊・四方・水橋・滑川各町と倉垣村で家屋浸水、流失、全壊などの被害、死者1人
1073	○	1935	12	13		(S10)	NHK富山放送局が開局す
1074	○	1935	12	24		(S10)	通常県会、11年度予算994万2000円を可決す
1075	○	1935	-	-	1	(S10)	10年度一般会計歳出決算額1311万4000円
1076	○	1935	-	-	2	(S10)	県、本宮砂防ダム工事を内務省に委託し、着手す～1937-03-31(S12)竣工す
1077	○	1935	-	-	3	(S10)	神通川に成子橋(宮川村・神保村間)が架設さる
1078	○	1935	-	-	4	(S10)	日本電力(株)黒部川第二発電所建設工事場などで事故が多発し、前年8月着工以来1年間の死者53人、負傷者2452人
1079	○	1936	1	-		(S11)	大雪、猛吹雪で交通機関運休・通信機関途絶など県内各地で雪崩や家屋倒壊続出す
1080	○	1936	2	1		(S11)	神通川廃川地の町名が舟橋南町・舟橋北町・安住町・新総曲輪・新桜町などと設定さる
1081	□	1936	2	6		(S11)	県内は正月3日から大雪、伏木測候所開設以来55日間の長雪となり伏木122cm、山間部で506cmの積雪、圧死者7人、交通機関の運休、通信途絶など大被害
1082	○	1936	3	31	1	(S11)	県、広告物取締法施行規則を制定す
1083	○	1936	3	31	2	(S11)	県、道路愛護奨励規程を制定し、道路愛護会を組織す
1084	○	1936	4	8		(S11)	富山電気ビルディングの竣工式が挙行さる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1085	□	1936	4	13		(S11)	神通川に富山大橋(通称「連隊橋」)が完成、開通式
1086	○	1936	4	14		(S11)	昭和会館の竣工祝賀会が富山市で挙行さる
1087	○	1936	4	15	1	(S11)	日満産業大博覧会が富山市で開催さる(～-06-08)会期中の総入場人員数90万611人
1088	○	1936	4	15	2	(S11)	富山市営軌道、宮下線(赤十字病院角・電気ビル前間)開通し、環状線の運転を開始す
1089	○	1936	4	-		(S11)	黒部川に下黒部橋(村椿村・飯野村間)が架設さる
1090	○	1936	5	1		(S11)	全国道府県会議長会議が日満産業大博覧会の開催に合せ富山市で開催さる(～-05-03)
1091	○	1936	5	2		(S11)	日米対抗拳闘試合が昭和会館で開催さる
1092	○	1936	5	4		(S11)	全国都市計画協議会開催(～-05-09)
1093	○	1936	5	7		(S11)	第13回全国連合小学校教員大会が富山市で開催さる(～-05-08)
1094	○	1936	5	10	1	(S11)	全国市長会議開催(～-05-12)
1095	○	1936	5	10	2	(S11)	第16回全国小学校連合女教員大会が富山市で開催され、婦人公民権・参政権獲得などを決議す(～-05-12)
1096	○	1936	5	13		(S11)	全国町村長大会が開催さる
1097	○	1936	5	18		(S11)	日満博記念郷土文化展覧会が富山市で開催さる(～-05-29)
1098	○	1936	6	-		(S11)	県営黒部川愛本発電所の運転を開始す
1099	○	1936	7	-		(S11)	湯川砂防ダム群工事が着手さる～1941-02-XX(S16)竣工
1100	○	1936	8	1		(S11)	富山市設長岡墓地に隣接して富山市設北代墓地在設けらる
1101	○	1936	10	1	1	(S11)	東京・富山間、大阪・富山間の航空路が国営となる
1102	○	1936	10	1	2	(S11)	富山電気鉄道(株)、魚津・西三日市間の開通により全線開通し、電鉄魚津駅前では竣工式が挙行さる
1103	○	1936	10	10		(S11)	国営常願寺川改修工事の起工式が挙行さる
1104	○	1936	10	29		(S11)	県河川協会の創立総会が富山市で開催さる
1105	○	1936	10	-		(S11)	日本電力(株)、黒部川第二発電所の運転を開始す
1106	○	1936	12	19		(S11)	通常県会、12年度予算1036万8000円を可決す
1107	○	1936	12	27		(S11)	富岩鉄道(株)、西ノ宮・岩瀬埠頭間開通す
1108	○	1936	-	-	1	(S11)	11年度一般会計歳出決算額1947万1000円
1109	○	1936	-	-	2	(S11)	井田川に高善寺橋(保内村・杉原村間)が架設さる
1110	○	1936	-	-	3	(S11)	常願寺川に今川橋(水橋町・浜黒崎間)が架設さる
1111	○	1936	-	-	4	(S11)	日本電力(株)、黒部川第三発電所建設工事に着手す(高熱隧道の難工事)
1112	○	1937	1	15	1	(S12)	県、東岩瀬港務所の設置を告示す
1113	○	1937	1	15	2	(S12)	県港湾設備使用条例が制定さる
1114	○	1937	1	-		(S12)	高岡電燈(株)、牛ヶ首用水薄島発電所の運転を開始す
1115	○	1937	2	-		(S12)	黒部川に権蔵橋(小摺戸村・若栗村間)が架設さる
1116	○	1937	3	31		(S12)	本宮砂防ダムが竣工す
1117	○	1937	4	-	1	(S12)	県営片貝川砂防事業が着手さる
1118	○	1937	4	-	2	(S12)	百貨店丸越高岡店が鉄筋コンクリート造り5階建ての店舗で開店す
1119	○	1937	6	12		(S12)	国営黒部川改修工事が着手さる
1120	○	1937	6	-		(S12)	高岡市会、第二期都市計画事業として高岡駅・長江線など7路線の施行案を可決す
1121	○	1937	8	3		(S12)	知事・県会正副議長・県参事会員・関係部課長らが有峰発電工事執行について協議会を開催す
1122	○	1937	8	-		(S12)	東京・富山間、大阪・富山間の旅客航空輸送が中止さる
1123	○	1937	10	1		(S12)	県営鉄道、千垣・粟巣野間で営業開始す
1124	○	1937	10	25		(S12)	県防空委員会が結成さる～-11-01第1回委員会が県議場で開催され、県防空計画書について審議す
1125	○	1937	10	28		(S12)	中央气象台富山測候所が設立さる
1126	○	1937	11	20		(S12)	通常県会(～-12-15)高岡市の第二期都市計画事業費補助を議決す
1127	○	1937	12	15		(S12)	通常県会、13年度予算1037万3000円を可決す
1128	○	1937	12	-		(S12)	黒部川電力(株)、黒部川第五・第六発電所の運転を開始す
1129	○	1937	-	-		(S12)	12年度一般会計歳出決算額1416万7000円
1130	○	1938	1	-		(S13)	片貝川用水合口事業の工事が着手さる
1131	○	1938	2	8		(S13)	臨時県会(～-02-09)県営水力電気事業黒薙・柳又両発電事業費に関する案件を決議
1132	○	1938	3	1		(S13)	富山飛行場拡張工事施行のため婦負郡倉垣村富山飛行場内に事務所が設置さる
1133	○	1938	4	18		(S13)	矢野兼三(前岡山県総務部長)が知事に就任す
1134	○	1938	5	3		(S13)	県営森林造成事業施行規程が制定さる
1135	○	1938	5	4		(S13)	富山商工会議所が神通川・庄川間運河開削について知事・県会議長に建議す
1136	○	1938	5	15		(S13)	東京・富山間、大阪・富山間の旅客航空輸送が再開さる
1137	○	1938	8	9		(S13)	庄川の太田橋(礪波郡太田村)が架け換えらる
1138	○	1938	8	24		(S13)	富岩鉄道(株)、富山駅・日曹工場前間営業開始す
1139	○	1938	8	-		(S13)	越中鉄道(株)が新湊自動車(株)を設立す
1140	○	1938	9	6		(S13)	氷見町に大火、住家1309戸、非住家598棟焼失、死者6人、重軽傷者256人
1141	○	1938	10	10		(S13)	県政審議会が日本海経済時代実現に対応する本県の方策を知事に答申す
1142	○	1938	10	25		(S13)	県港政調査会規程が公布され、同調査会が設置さる
1143	○	1938	11	17		(S13)	通常県会(～-12-12)都市計画富山地方委員会委員を選出す
1144	○	1938	12	12		(S13)	通常県会、14年度予算977万4000円を可決す
1145	○	1938	12	24		(S13)	風雪のため、富山市を中心に県内で電線切断、電柱倒壊などにより電話1800回線に被害
1146	○	1938	12	27		(S13)	黒部峡谷仕合谷で雪崩が発生し、死者65人、負傷者18人
1147	○	1938	-	-	1	(S13)	13年度一般会計歳出決算額1402万3000円
1148	○	1938	-	-	2	(S13)	ガソリン配給制実施により県内のバス車両が木炭車に改造され始む
1149	○	1939	2	-		(S14)	上市川に白龍橋(上市町地内)が架設さる
1150	○	1939	3	11		(S14)	県富岩運河使用条例が制定さる
1151	○	1939	3	29		(S14)	内務省より東岩瀬港が開港場に指定され、伏木港・東岩瀬港を合せて伏木東岩瀬港と改称さる
1152	○	1939	4	1		(S14)	富山市の午砲(ドン)が廃止されサイレンとなる
1153	○	1939	4	11		(S14)	県、土木部を新設す、監理・道路・河港・砂防・都市計画の5課
1154	○	1939	4	12		(S14)	富山交通(株)が設立さる
1155	○	1939	5	25		(S14)	富山市会、内議會を開き、上水道敷設を可決す
1156	○	1939	7	1		(S14)	臨時県会(～-07-04)県営水力電気事業有峰貯水池計画発電事業費への変更を決議す、港湾計画樹立を要望する建議を可決す(-07-04知事に提出)
1157	○	1939	7	11		(S14)	伏木町の越中国分寺跡など7件が県の史跡・名勝に、高岡市桜馬場公園の櫻、口富山市浜黒崎の松並木など17件が県の天然記念物に指定さる
1158	○	1939	8	1		(S14)	臨時国勢調査が実施さる
1159	○	1939	8	5		(S14)	台風のため、上市川・片貝川・小矢部川が氾濫、下新川・中新川・東礪波・西礪波の各郡で被害、死者2人
1160	○	1939	8	19		(S14)	第二回富山県港政調査会が県提案の5000万円大港湾県政計画の事業計画を承認す
1161	○	1939	9	1		(S14)	省営乗合自動車、金沢・福光間全通す
1162	○	1939	10	14		(S14)	臨時県会(即日閉会)都市計画富山地方委員会委員を選出す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1163	○	1939	11	1		(S14)	伏木測候所が国に移管され、中央气象台伏木観測所となる
1164	○	1939	11	17		(S14)	通常県会(～12-13)県立図書館建設の予算案を可決す
1165	○	1939	12	13		(S14)	通常県会、15年度予算1092万7000円を可決す
1166	○	1939	12	14		(S14)	庄川左岸合口用水新水路が竣工す
1167	□	1939	12	25		(S14)	この日から30日にかけて県内豪雪、富山市で積雪208cm、死者53人、倒壊家屋32戸、非住家39戸
1168	○	1939	12	-	1	(S14)	日本海電気(株)、片貝川第三発電所運転開始
1169	○	1939	12	-	2	(S14)	日本拓業(株)、庄川中野発電所運転開始
1170	○	1939	-	-		(S14)	14年度一般会計歳出決算額1749万2000円
1171	○	1940	1	9		(S15)	黒部峡谷の日電阿菅原発工事場で雪崩が発生、死者28人
1172	○	1940	1	-	1	(S15)	大雪のため、県内で住家32戸・非住家39棟倒壊、死者53人、富山市で積雪208cmを記録す(-01-30現在)、交通機関は全面的に途絶
1173	○	1940	1	-	2	(S15)	日本海電気(株)、片貝川第四発電所の運転を開始す
1174	○	1940	2	1		(S15)	伏木観測所所管の県内観測に関する業務の一切が富山測候所に移管さる
1175	○	1940	2	10		(S15)	下新川郡泊町が都市計画法による都市計画区域に指定さる
1176	○	1940	2	12		(S15)	入善町・滑川町・上市町・大沢野町・八尾町・小杉町・出町・井波町・福野町・石動町が都市計画法による都市計画区域に指定さる
1177	○	1940	2	29		(S15)	県、富山都市計画事業東岩瀬工業土地区画整理設計書及び施行規程を公布す
1178	○	1940	4	1	1	(S15)	紀元2600年記念富山県立図書館が富山市総曲輪に設置さる～11-30開館式挙
1179	○	1940	4	1	2	(S15)	行
1180	○	1940	4	6		(S15)	県道10路線の認定が告示さる
1181	○	1940	4	10		(S15)	東岩瀬臨港工業地帯造成事務所を富山市東岩瀬町に設置することが告示さる
1182	○	1940	4	-		(S15)	東岩瀬臨港工業地帯造成事業起工式が同港第三期修築事業起工式並びに開港式を兼ねて挙
1183	○	1940	7	23		(S15)	式を兼ねて挙
1184	○	1940	10	1		(S15)	式を兼ねて挙
1185	○	1940	11	18		(S15)	内務省直轄事業庄川改修工事が着手さる
1186	○	1940	11	-		(S15)	全国砂防協会県支部発会式が昭和会館で挙
1187	○	1940	12	18		(S15)	行
1188	○	1940	-	-		(S15)	第五回国勢調査、県内世帯数15万9243戸、人口82万2569人(男40万1261人、女42万1308人)
1189	○	1941	1	7		(S16)	県総合運動場が呉羽村に完成し、会場式が挙
1190	○	1941	3	11		(S16)	行
1191	○	1941	4	16		(S16)	日本電力(株)、黒部川第三発電所の運転を開始す～□1940-11-22(S15) 黒部川第三発電所が発電開始、高熱隧道、表層雪崩などで発電所工事史上最悪の300人の死者
1192	○	1941	4	19		(S16)	通常県会、16年度予算1564万3000円を可決す
1193	□	1941	7	30		(S16)	15年度一般会計歳出決算額2273万4000円
1194	○	1941	11	21		(S16)	町村金五(前内務大臣官房人事課長)が知事に就任す
1195	○	1941	12	1		(S16)	強風のため、県内で住家全壊15戸・半壊81戸・一部損壊736戸、非住家41棟全半壊、倒木1605本、死者1人
1196	○	1941	12	8		(S16)	新湊町で大火、家屋など698戸、漁船など49隻焼失、死者1人、重軽傷者38人
1197	○	1941	12	26		(S16)	県、電気局に調査課を設置す
1198	○	1941	12	-		(S16)	北陸3県の12電力会社が北陸合同電力会社を創立
1199	○	1941	-	-		(S16)	富山合同乗合自動車(株)が設立さる
1200	○	1942	5	27		(S17)	富岩鉄道(株)・富南鉄道(株)が富山電気鉄道(株)に鉄道事業を譲渡し解散す
1201	○	1942	6	13		(S17)	通常県会、17年度予算1692万9000円を可決す
1202	○	1942	9	16		(S17)	第79回帝国議会で伏木港の第三期拡築工事の施工が決定さる
1203	○	1942	9	21		(S17)	日本電力(株)、久婦須川第二発電所の運転を開始す
1204	□	1942	10	10		(S17)	16年度一般会計歳出決算額2202万6000円
1205	○	1942	10	15		(S17)	臨時県会(即日閉会)県営電気事業設備出資並びに財産処分に関する議案の県参事会への委任を決議
1206	○	1942	10	-		(S17)	県、伏木港取締規則を制定す
1207	○	1942	11	1		(S17)	下新川乗合自動車(株)が設立さる
1208	○	1942	11	16		(S17)	高岡合同乗合自動車(株)が設立さる
1209	○	1942	11	20		(S17)	県財政のドル箱の県営電気事業が日本発送電に接收され、23年の幕を閉ず
1210	○	1942	11	24		(S17)	日本海瓦斯(株)が設立さる
1211	○	1942	12	6		(S17)	伏木港が日満船車連絡港に指定さる～12-XX国内貨物の日満鮮連絡輸送船指定航路発着港に指定さる
1212	□	1942	12	23		(S17)	県、行政機構を改正し、総務・学務両部を廃し、内政部を設置、土木部を廃し、各課を経済部に移管、電気局を廃し、臨時電気鉄道課を知事官房に設置、学務部職業課を警察部に、警察部衛生課を内政部に移管す
1213	○	1942	12	-		(S17)	全砺乗合自動車(株)が設立さる
1214	○	1942	-	-	1	(S17)	通常県会(～12-06)県営鉄道事業を富山電気鉄道(株)に譲渡の件を決議す
1215	○	1942	-	-	2	(S17)	富山電気鉄道(株)・黒部鉄道(株)・越中鉄道(株)・加越鉄道(株)の私鉄4社の合併認可申請書が通信大臣に提出さる～12-22認可
1216	○	1943	1	1		(S18)	通常県会、18年度予算1895万5000円を可決す
1217	○	1943	1	16		(S18)	県、置県50周年事業として県史7巻9冊を完成
1218	○	1943	4	1		(S18)	日本電力(株)、庄川小原発電所の運転を開始す
1219	○	1943	4	23		(S18)	17年度一般会計歳出決算額2244万2000円
1220	○	1943	6	1		(S18)	熊野川右岸(友杉・任海間)より土川への補給水路が竣工す
1221	□	1943	7	31		(S18)	交通事業大統合により富山地方鉄道(株)が設立さる
1222	○	1943	11	25		(S18)	内務省より東岩瀬港を富山港と改称することが告示さる
1223	○	1943	11	26		(S18)	富山高等学校が官立となる
1224	○	1943	12	4		(S18)	坂信弥(前大阪府警察部長)が知事に就任す
1225	○	1943	12	18		(S18)	富山地方鉄道(株)富岩線が国に移管され富山港線となる
1226	□	1943	12	25		(S18)	県内の十二、富山、中越、高岡の4銀行が北陸銀行として発足
1227	○	1943	-	-		(S18)	通常県会(～12-04)大火災後の魚津町復興策を要望する建議を可決す(-11-30知事に提出)
1228	□	1944	1	5		(S19)	魚津町に大火、253戸焼失、死者2人、負傷者4人～□では-11-27とも
1229	○	1944	1	11		(S19)	通常県会、19年度予算2559万3000円を可決す
1230	○	1944	2	25		(S19)	(株)宮市大丸と(株)丸越が合併し、(株)大和が金沢市片町に設立され、宮市大丸富山店・丸越高岡店が(株)大和の富山・高岡支店となる
1231	○	1944	4	-	1	(S19)	国道11号(現県道富山高岡線)の富山市五福・高岡市湊町間全通、工事は5年半、75万6000円
1232	○	1944	4	-	2	(S19)	18年度一般会計歳出決算額3157万6000円
1233	□	1944	5	6		(S19)	新湊で発動機船が漁船3隻を曳航して帰る途中、激浪で転覆、21人水死
1234	○	1944	5	7		(S19)	県雪害対策協議会規程が制定さる
1235	○	1944	5	-		(S19)	西村彰一(前農林省山林局長)が知事に就任す
1236	○	1944	7	5		(S19)	下新川乗合自動車・富山合同乗合自動車が富山地方鉄道(株)の経営となる
							伏木町の水道敷設工事が着手さる～1956-03-XX竣工す
							中新川郡白萩村蓬沢で大火、58戸のうち49戸全焼
							東礪波郡出町・庄下村・林村・若林村及び西礪波郡藪波村・水島村にわたり飛び火大火、240戸焼失
							日本電力(株)、庄川大牧発電所の運転を開始す
							県東部の中小河川などが出水し、家屋214戸床上浸水、903戸床下浸水、橋梁9ヶ所流失などの被害

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
							県、行政機構を改正し、経済二部制を実施、経済第一部・経済第二部を設置、知事官房秘書課から人事課が、文書課から統計課が分離独立して内政部の管轄となる
1237	○	1944	7	8		(S19)	
1238	○	1944	7	25		(S19)	岡本茂(前大阪府内政部長)が知事に就任す
1239	○	1944	9	17		(S19)	台風のため、礪波・氷見・下新川で工場・家屋の倒壊、漁船の行方不明などの被害、死者1人(～09-18)
1240	○	1944	12	3		(S19)	通常県会、20年度予算3245万円を可決す
1241	□	1944	12	25		(S19)	伏木港口の渡し舟が機関故障のため衝突転覆、乗客65人が水死
1242	○	1944	－	－		(S19)	19年度一般会計歳出決算額4342万円
1243	○	1945	1	－		(S20)	大雪(～-03-XX)県内各地に被害(最深積雪上新川郡真川で750cm)
1244	○	1945	2	－	1	(S20)	県、空襲応急対策実施要綱を制定す
1245	○	1945	2	－	2	(S20)	日本発送電(株)、常願寺川第一発電所の運転を開始す
1246	○	1945	4	18		(S20)	婦負郡四方町に大火、住宅507戸焼失、死者1人、負傷者42人
1247	○	1945	4	22		(S20)	富山市、防空対策審議会を設置す
1248	□	1945	5	24		(S20)	米軍機が伏木・新湊地区に機雷投下、伏木港を封鎖、以後6回、70機が襲来し、投下された機雷は400個
1249	□	1945	7	20		(S20)	県内に初の爆弾投下、富山市東岩瀬方面にB29が2機飛来、爆弾3個投下、通勤者47人死亡、負傷者40余人、家屋損壊50余戸
1250	○	1945	8	1		(S20)	県、防空法により防空空地を指定す～富山市＝約1万7500坪、高岡市＝約3万4400坪、氷見町＝約5500坪～この翌日富山大空襲
1251	○	1945	8	2		(S20)	富山大空襲(AM0:36～2:27の1時間51分)B29174機による投下爆弾1万2740個、照明弾41個、死者2275人(男848人、女1335人、不祥92人)重傷者約1900人、軽傷者約6000人、罹災世帯2万4914、罹災人口10万9592人、
1252	○	1945	8	2		(S20)	富山市長・助役が知事、県庁各課長と戦災処理について協議す、同日、富山市役所仮事務所が県庁内自動車車庫に設置され、食糧配給と戦災証明書交付業務を開始す、同日、県と富山市が死体収容所を神通中学校裏など5ヶ所に設け、死体の火葬を行う、戦災地周辺の10国民学校を一時避難所とする
1253	○	1945	8	3		(S20)	知事、富山市の罹災者への激励談話を北日本新聞に発表す
1254	○	1945	8	5		(S20)	富山市戦災対策本部が設置さる
1255	○	1945	8	15		(S20)	戦災後初の富山市会臨時会が県庁で開かる
1256	○	1945	8	18		(S20)	戦災後休業していた大和富山店が疎開先から商品を取り寄せ営業を開始す
1257	○	1945	8	28		(S20)	富山市が戦災復興住宅の制限を6坪以内から15坪以内とす
1258	○	1945	9	1		(S20)	富山市が復興部を新設す
1259	□	1945	9	18		(S20)	枕崎台風が通過、死者6人、住家52戸、非住家50棟全半壊
1260	○	1945	9	20		(S20)	富山市復興審議会を設置す
1261	○	1945	9	－		(S20)	富山市内の焼け跡に約8500戸の仮屋建つ
1262	○	1945	10	2		(S20)	住宅建設・上水道街路網調査などの専門事項を諮問するための復興審議会特別委員を委嘱
1263	○	1945	10	10		(S20)	下新川乗合・富山合同乗合・高岡合同乗合・全砺乗合の各自動車会社が富山地方鉄道(株)に統合さる
1264	○	1945	10	27		(S20)	吉武恵一、知事に就任す
1265	□	1945	10	28		(S20)	進駐軍221人が富山県入り、富山市電気ビルに富山軍政部、県庁内に富山県情報部設置
1266	○	1945	11	20		(S20)	戦災復興基本計画を決定す
1267	○	1945	11	23		(S20)	富山市の大和富山店6階を映画館として戦災富山市民に無料映画を公開す
1268	○	1945	11	26		(S20)	通常県会(～-12-15)知事、県政の重点目標として民生安定・食糧増産・戦災復興を表明す
1269	○	1945	11	－		(S20)	戦災復興院、富山市を含む全国119市を戦災都市に指定す
1270	○	1945	12	15		(S20)	県会、21年度一般会計当初予算2552万7756円を可決す
1271	○	1945	12	29		(S20)	戦災復興院告示第一号により富山復興都市計画街路が決定す
1272	○	1945	－	－		(S20)	20年度一般会計歳出決算額9219万7000円
1273	○	1946	1	14	1	(S21)	富山市、戦災復興事業第1号の杭打ち式を神通川右岸堤防上で挙行
1274	○	1946	1	14	2	(S21)	富山地鉄、富山軌道(富山駅前・南富山間)を復旧し運転を再開す～05-15 西町・新富山間復旧す
1275	○	1946	1	25		(S21)	田中啓一が知事に就任す
1276	○	1946	3	18		(S21)	経済部を経済部と土木部(管理・道路・河港・都市計画の各課)に分ける
1277	○	1946	3	28		(S21)	津沢町に大火、住宅29戸7590㎡を焼失、死者1人
1278	○	1946	5	1		(S21)	富山市、戦災復興のため復興部に計画課を設置す
1279	○	1946	5	21		(S21)	内山村宇奈月に大火、住宅261戸2万1269㎡を焼失す
1280	○	1946	5	－		(S21)	伏木港より北祐丸が小樽航路に就航す(北海道定期航路の再開)
1281	○	1946	7	1		(S21)	富山市中教院前の夜店が復活す～07-15高岡市の朝市・夜市が復活す
1282	○	1946	7	9		(S21)	石丸敬次、知事に就任す
1283	○	1946	7	14		(S21)	魚津町に大火、住宅114戸ほか焼失す
1284	○	1946	8	1		(S21)	戦災から1年を期して大施餓鬼を中心とする第一回富山市復興祭が行われる
1285	○	1946	8	15		(S21)	全国中等学校優勝野球大会富山大会が復活し、神通グラウンドで開催さる
1286	○	1946	9	1		(S21)	八尾町のおわら風の盆に約3万人の観光客が訪れる～-09-02
1287	○	1946	10	4		(S21)	富山県観光協会が設立さる～1956-05-02(S31)富山県観光連盟に改組さる
1288	○	1946	11	1		(S21)	第一回国民体育大会秋季大会(京都・大阪)に本県選手団が食糧持参で参加す
1289	○	1946	12	11		(S21)	富山復興都市計画事務所が設置さる
1290	◇	1946	12	－		(S21)	全建とやまが全日本建設技術協会富山県支部として発足～1959-05-XX(S34)社団法人富山県建設技術協会として再スタートす
1291	○	1946	－	－	1	(S21)	21年度一般会計歳出決算2億7794万7000円
1292	○	1946	－	－	2	(S21)	県人口93万2469人(-04-26現在)
1293	○	1946	－	－	3	(S21)	戦災都市富山市の人口11万3858人(-04-26現在)～1945-11-01(S20)以来およそ6ヶ月間で1万3218人増加す
1294	○	1947	1	2		(S22)	東岩瀬に大火、195棟全半焼す
1295	□	1947	1	10		(S22)	電力不足のため、富山市内で隔日10時間停電実施
1296	○	1947	2	24		(S22)	県会議員全体会議(～-2-28)最終日に県参事会で22年度予算1億2545万2880円を可決す
1297	○	1947	2	28		(S22)	羽根盛一、知事に就任す
1298	○	1947	2	－		(S22)	県、福野土木出張所を設置す
1299	○	1947	4	1		(S22)	細入村に大火、住宅29戸3066㎡焼失す
1300	○	1947	4	4		(S22)	県、土木部に砂防課を設置し、都市計画課を計画課と改称す
1301	○	1947	4	5		(S22)	公選による初の知事・市町村長選挙が実施さる、知事に館哲二が当選す～-04-19就任
1302	□	1947	4	8		(S22)	富山市芝園中学校が新制中学のトップを切り開校式
1303	○	1947	4	28		(S22)	富山市の戦災復興土地区画整理事業(554ha)が認可さる
1304	○	1947	4	30		(S22)	県議会議員選挙、10選挙区、定数44人
1305	○	1947	5	17		(S22)	富山港復興協議会が設立さる
1306	○	1947	5	29		(S22)	愛本村に大火、住宅74戸ほか焼失す
1307	○	1947	5	31		(S22)	県議会臨時会、総務・厚生・教育・経済・土木・戦災復興・農地・警察の8常任委員会を設置す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1308	○	1947	6	11		(S22)	県、戦災富山市の復興資金を募る富山県復興宝くじを日本勧業銀行に委託して発売す
1309	□	1947	7	10		(S22)	県内に豪雨、死者2人、床上浸水400戸、床下浸水800戸、田畑冠水2800ha、道路、橋損壊88ヶ所
1310	○	1947	10	1	1	(S22)	県、部設置条例を公布し、総務・教育民生・衛生・経済・土木・農地・警察の7部を設置す
1311	○	1947	10	1	2	(S22)	国勢調査、県人口97万9229人(男47万2829人、女50万6400人)世帯数19万1920
1312	○	1947	10	30		(S22)	天皇陛下、本県に行幸(～-11-02)
1313	○	1947	12	23		(S22)	県議会臨時会(～-12-24)都市計画富山地方委員会委員を選出す
1314	○	1947	12	26		(S22)	黒部川水系黒薙第二発電所が運転を開始す
1315	○	1947	-	-	1	(S22)	22年度一般会計歳出決算8億5850万6000円
1316	○	1947	-	-	2	(S22)	県、『富山県政史第5巻乙、第6巻甲・乙』を刊行す
1317	○	1948	1	1		(S23)	県、部設置条例により総務・民生・教育・経済・農林・土木・衛生・農地の8部を設置す
1318	○	1948	1	3		(S23)	NHK富山放送局がラジオ第二放送を開始す
1319	○	1948	1	20		(S23)	富山県消防協会が発足す
1320	○	1948	2	9		(S23)	県議会、産業用電力確保に関する意見書を議決す
1321	○	1948	2	11		(S23)	県公営事業調査会が設置さる
1322	○	1948	3	18		(S23)	県議会、23年度一般会計当初予算7億4158万928円を可決
1323	○	1948	6	6		(S23)	神通球場が開設さる～1950-02-17(S25)富山野球協会が同球場の富山市移管を決定す
1324	○	1948	7	25		(S23)	大雨による県内の死者行方不明8人、住家全半壊32戸、浸水1万6082戸、非住家被害594棟、堤防決壊、田畑流失～-07-26婦中町・熊野村に災害救助法適用
1325	○	1948	7	29		(S23)	県議会臨時会、水害対策特別委員会を設置す
1326	○	1948	8	18		(S23)	富山市の区画整理問題が紛糾し、本願寺派富山別院で市民大会が開かる
1327	□	1948	9	9		(S23)	第一回富山県民体育大会が富山市神通グラウンドを中心に開かる
1328	○	1948	11	20		(S23)	第二回知事選挙で高辻武邦当選す～-11-23就任
1329	○	1948	-	-		(S23)	23年度一般会計歳出決算23億4826万3000円
1330	○	1949	3	2		(S24)	富山県治山協会が発足す
1331	○	1949	3	25		(S24)	県議会、24年度一般会計当初予算29億1431万3188円を可決す
1332	○	1949	4	25		(S24)	富山・石川・福井3県の知事等が電気事業再編成と北陸地方の電源確保に関する陳情書を国会に提出す
1333	○	1949	4	28		(S24)	県議会定例会で町村災害復旧土木工事費県費補助促進に関する意見書を議決す
1334	○	1949	5	1		(S24)	戸出町に大火、82棟3248㎡を全半焼～-05-02災害救助法を適用す
1335	○	1949	5	23		(S24)	富山市営バレーボール専用コートが完成す～-05-27全日本実業団バレーボール女子選手権大会開催、-06-03同男子選手権大会開催さる
1336	○	1949	5	31		(S24)	富山大学開学、文理・教育・薬学・工学の4学部が設置さる(富山高等学校、富山・富山青年両師範学校、富山薬学・高岡工業両専門学校を包括)
1337	○	1949	6	30		(S24)	県議会定例会(～-07-02)総務・文教・商工労働・建設・農林・農地・民生・衛生警務の8常任委員会を設置す、土木疑獄に関し決議す
1338	○	1949	7	4		(S24)	黒部川冷水害対策期成同盟会、冷水害対策について県議会へ陳情書を提出す～-09-19県議会、黒部川冷水害対策に関する意見書を議決す
1339	□	1949	7	15		(S24)	新制富山大学開学、薬専・富高、高岡高専、師範、青年師範の5校が基盤で複合大学になる、新入生636人
1340	○	1949	9	1		(S24)	キティ台風により県内に強風・大雨、死者2人、家屋流失3戸、浸水3101戸、堤防決壊、道路損壊、田畑流失・冠水、泊町と上中島・山田・野積・熊野の4村に災害救助法を適用す
1341	○	1949	9	2		(S24)	高岡市、公共下水道事業に着手す～1965-04-01(S40)四屋下水処理場、1972-04-01(S47)伏木下水処理場の供用開始
1342	○	1949	9	19	1	(S24)	県議会、黒部川冷水害対策に関する意見書を議決す
1343	○	1949	9	19	2	(S24)	県議会臨時会、屋外広告物条例を可決す
1344	○	1949	10	6		(S24)	県、自転車登録条例を公布す
1345	○	1949	10	27		(S24)	県水防協議会条例が公布さる
1346	○	1949	11	1		(S24)	県、土木部河港課・砂防課を併せ河港砂防課を設置す
1347	○	1949	11	23		(S24)	アイリーン台風(～-11-24)により県内に強風・波浪、船舶流失22隻、家屋半壊8戸、浸水約1500戸、護岸堤防亀裂10ヶ所・陥没2ヶ所～-11-26高岡市に災害救助法を適用
1348	○	1949	12	19		(S24)	富山復興都市計画事業促進審議会が設立す
1349	○	1949	12	20		(S24)	県議会、元県営発電施設の本県復元に関する意見書を議決す
1350	○	1949	-	-		(S24)	24年度一般会計歳出決算34億7218万7000円
1351	○	1950	2	28		(S25)	県議会、25年度一般会計当初予算33億9793万455円を可決す
1352	○	1950	3	20		(S25)	知事、電気事業再編成計画について要望主意書・理由書を公益事業委員会に提出す
1353	□	1950	4	3		(S25)	富山・高岡間に地鉄バスが開通す
1354	○	1950	4	-		(S25)	富山県緑化推進委員会・県共催による第一回富山県植樹祭が大山町殿様林で開催さる
1355	○	1950	6	30		(S25)	県議会、水力発電事業促進に関する意見書を議決す
1356	○	1950	7	21		(S25)	県営富山球場が竣工す
1357	○	1950	9	1		(S25)	富山地鉄笹津線(南富山・大久保間7.1km)が開通す～10-01同線の車両、富山軌道線に乗り入れし西町までの直通運転開始
1358	○	1950	9	3		(S25)	ジェーン台風により県内に強風・大雨、死者4人、住家半壊986戸、浸水1122戸、非住家被害897棟、道路損壊、橋梁流失、堤防決壊、山崩れ、電柱倒壊、船舶流失～09-08県内全域、2市112町村に災害救助法適用す
1359	○	1950	10	1		(S25)	国勢調査、県人口100万8790人、男48万8850人、女51万9940人、世帯数19万2829
1360	○	1950	10	20		(S25)	県と富山市が復興都市計画による移転費融資を開始す
1361	○	1950	10	23		(S25)	加越能鉄道(株)が設立さる
1362	○	1950	12	31		(S25)	富山地鉄射水線の車両、富山軌道線に乗り入れし、西町までの直通運転を開始す～1961-07-18(S36)廃止す
1363	○	1950	-	-		(S25)	25年度一般会計歳出決算38億9377万9000円
1364	○	1951	1	19		(S26)	港湾法に基づき伏木港・富山港が重要港湾に指定さる
1365	○	1951	2	13		(S26)	電源確保富山県民大会が県議場で開催さる
1366	○	1951	2	18		(S26)	富山市石金に大火、工場、アパート8棟2万559㎡が焼失す
1367	○	1951	2	22		(S26)	大久保町に大火、99棟6953㎡を全半焼
1368	○	1951	3	17	1	(S26)	県議会、26年度一般会計当初予算37億3029万4340円を可決す
1369	○	1951	3	17	2	(S26)	県議会、県立中央病院設置条例を議決す～04-01不二越病院が県に移管され、県立中央病院として開設さる
1370	○	1951	4	1	1	(S26)	富山地鉄高岡軌道(米島口・新湊間3.6km)が開通、高岡・富山市西町間の直通運転開始
1371	◇	1951	4	1	2	(S26)	和田川ダム予備調査開始～1962-03-31(S37)
1372	○	1951	4	5	1	(S26)	県総合開発審議会条例が公布さる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1373	○	1951	4	5	2	(S26)	高岡産業博覧会が県・高岡市共催により古城公園で開催さる(～-05-25)
1374	○	1951	4	6		(S26)	富山市営競輪場の開場式並びに第一回競輪の開催
1375	○	1951	5	1		(S26)	電力事業再編成により北陸電力(株)が設立さる
1376	□	1951	6	1		(S26)	伏木海上保安部が誕生
1377	○	1951	7	16		(S26)	建設省地理調査所富山県支所が設置さる～1960-07-01(S35)同省国土地理院北陸地方測量部となる
1378	○	1951	8	16		(S26)	県、土木部に砂防課を設置す 県営黒部川沿岸冷水温障害改良事業(流水客土事業)が黒部川扇状地で着手さる
1379	○	1951	9	10		(S26)	伏木港が伏木富山港となる
1380	○	1951	9	22		(S26)	有峰林道の起工式が有峰林道促進委員会の主催により行われる
1381	○	1951	10	13		(S26)	ルース台風の北上で県内は暴風とフェーン現象、死者1人、家屋全壊29戸、交通機関は運転中止
1382	□	1951	10	15		(S26)	日米親善野球富山大会が県・富山市・読売新聞社の共催で県営富山球場で開催さる
1383	○	1951	10	31		(S26)	庄川水系成出発電所二号機の運転を開始す～-12-26一号機運転開始、-05-01成出ダム湛水開始
1384	○	1951	11	17		(S26)	中新川郡雄山町に大火、18棟3587㎡を全半焼す
1385	○	1951	11	21		(S26)	富山県災害復旧促進協会の結成大会が開かる
1386	○	1951	11	24		(S26)	県内大雪、着雪で電柱倒壊など4800本、断線5370ヶ所、変圧器118台故障
1387	□	1951	12	12		(S26)	26年度一般会計歳出決算51億244万円
1388	○	1951	-	-		(S26)	伏木富山港に安全宣言が公布さる
1389	○	1952	1	15		(S27)	県内に強い地震、富山市内電車が一時停止、ショーウィンドウ破損、震度富山、八尾4、伏木、魚津、滑川3、震源地は石川県大聖寺沖
1390	□	1952	3	7		(S27)	北日本放送が設立
1391	□	1952	3	14		(S27)	県議会、27年度一般会計当初予算53億7523万5850円を可決す
1392	○	1952	3	26		(S27)	富山市施行による富山南部土地区画整理事業(18. 2ha)が認可さる
1393	○	1952	3	31		(S27)	富山県総合開発計画が策定さる
1394	○	1952	3	-		(S27)	室牧ダム予備調査開始～1957-03-31(S32)
1395	◇	1952	4	1		(S27)	生地町に大火、85棟7013㎡全半焼、災害救助法が適用さる
1396	○	1952	4	17		(S27)	富山市、公共下水道事業に着手す～1962-10-01(S37)牛島浄化センター供用開始、1979-04-01(S54)浜黒崎浄化センターが供用開始
1397	○	1952	4	30		(S27)	立山開発鉄道(株)が設立さる～1954-08-01(S29)粟巣野・立山仮駅間が開通す
1398	○	1952	4	-		(S27)	北日本放送開局
1399	□	1952	7	1	1	(S27)	大雨による県内の死者行方不明12人、住家全半壊98戸、流失11戸、浸水1万6619戸、非住家被害1483棟、堤防決壊、橋梁流失、道路損壊、山・崖崩れ、田畑流失、冠水、県内4市16町50村に災害救助法が適用さる
1400	○	1952	7	1	2	(S27)	県議会臨時会、豪雨の応急措置について論議す
1401	○	1952	7	3		(S27)	富山地鉄笹津線が大久保・笹津間5. 3km開通す
1402	○	1952	8	15		(S27)	県議会、電気事業の復元に関する決議を可決す
1403	○	1952	8	31		(S27)	県、土木建設機械工事事務所を設置す～1956-07-XX(S31)車両整備工場と改称す～1964-07-XX(S39)車両センターと改称す
1404	○	1952	9	-		(S27)	第三回知事選挙で高辻武邦が再選さる
1405	○	1952	10	1		(S27)	県議会、鉄道敷設法による予定鉄道路線第66号富山県氷見より石川県羽咋に至る鉄道敷設の実現促進に関する意見書を可決す
1406	○	1952	11	28		(S27)	政令第477号により一級国道8号指定さる
1407	○	1952	12	4		(S27)	27年度一般会計歳出決算71億7146万7000円
1408	○	1952	-	-		(S27)	大雨と暖気で融雪出水、中新川郡で被害、家屋浸水427戸、堤防決壊8ヶ所
1409	□	1953	1	13		(S28)	氷見郡久目村触坂でため池決壊、6人死亡
1410	□	1953	1	31		(S28)	県議会、県と富山市の博覧会共催を可決す
1411	○	1953	3	24		(S28)	県議会、28年度一般会計当初予算68億971万4544円を可決す
1412	○	1953	3	25		(S28)	県庁組織規則の公布、土木部に管理・道路・河港・砂防・計画・建築の各課を設置す
1413	○	1953	4	1		(S28)	高岡市渡りに大火、58棟4254㎡を全半焼、高岡市に災害救助法が適用さる
1414	○	1953	4	29		(S28)	政令第96号により二級国道156号・160号が指定さる
1415	○	1953	5	18		(S28)	県主催の富山港振興に関する協議会が富山港務所で開かれる
1416	○	1953	5	21		(S28)	下新川郡南保村に大火、47棟3531㎡を全半焼、災害救助法適用さる
1417	○	1953	6	17	1	(S28)	知事・富山市長等の関係者が出席し、県庁で工場誘致研究会が開かれる
1418	○	1953	6	17	2	(S28)	厚生省、伏木富山港を検疫業務を行う指定港とす
1419	○	1953	8	20		(S28)	県議会定例会(～-08-30)県土木部の不祥事件などを論議す
1420	○	1953	8	29		(S28)	元県営発電施設復元貫徹の県民運動促進協議会が開催さる
1421	○	1953	9	2		(S28)	-26日にかけてテス台風により県内に強風・大雨・波浪、死者・行方不明8人、家屋全半壊47戸、流失5戸、浸水9186戸、耕地被害、道路・堤防決壊、橋梁流失、山崩れ、電柱倒壊、木材流失、船舶沈没・破損、定置網・漁具倉庫流失、同日県内2市8町4村に災害救助法を適用す
1422	○	1953	9	25		(S28)	早月川水系伊折発電所の運転開始
1423	○	1953	9	-		(S28)	国鉄富山民衆駅の竣工
1424	○	1953	11	1		(S28)	県議会臨時会(～-11-28)治山治水対策などを論議す
1425	○	1953	11	26		(S28)	県内海岸に寄り回り波、滑川、新湊、氷見で552戸浸水
1426	□	1953	11	28		(S28)	富山市総曲輪通りのアーケードが完成、北陸地方初
1427	□	1953	12	14		(S28)	文部省、富山大学学部集中統合の見地より経済学部富山市設置を決定す～1957-04-01富山市蓮町より同市五福へ移転す
1428	○	1953	12	24		(S28)	入善町芦崎海岸一帯に直径40mの竜巻発生、住宅38棟、漁船4隻大破
1429	□	1953	12	26		(S28)	28年度一般会計歳出決算82億3051万7000円
1430	○	1953	-	-	1	(S28)	早月川地区で国営農業水利事業着工～1962(S37)年度竣工
1431	○	1953	-	-	2	(S28)	神通川水系神通川第一発電所の運転を開始す～-02-XX神通川第二発電所運転開始、1953-10-31神一ダム湛水開始
1432	○	1954	1	-		(S29)	フェーン現象で富山市の最高気温21. 5度、融雪で各河川が出水、堤防の決壊47ヶ所
1433	□	1954	2	27		(S29)	県内は風雪強く、着雪で礪波地方で送電、電信電話線が断線、電柱の損傷、倒壊など2316本
1434	□	1954	3	5		(S29)	県議会、29年度一般会計当初予算73億8765万9700円を可決す
1435	○	1954	3	25		(S29)	県営富山庭球場が竣工
1436	○	1954	4	1	1	(S29)	富山地鉄笹津線の車両、富山軌道線に乗り入れし、富山駅前までの直通運転開始～1967-10-10廃止
1437	○	1954	4	1	2	(S29)	富山産業大博覧会が県・富山市共催により富山城址・魚津水族館が開かれる～-06-04
1438	○	1954	4	11	1	(S29)	富山市公会堂が一部開館す
1439	○	1954	4	11	2	(S29)	日本青年会議所第2回全国会員大会が富山市公会堂で開催さる
1440	○	1954	5	8		(S29)	第28回全国市議会議長定例総会、390都市の議会関係者が出席し富山市公会堂で開かれる
1441	○	1954	5	11		(S29)	第2回全国PTA大会が富山市公会堂で開催さる(～-05-16)
1442	○	1954	5	15		(S29)	東京芸術大学音楽部特別大演奏会が県・富山市・富山産業大博覧会事務局などの共催により富山市公会堂で開催さる
1443	○	1954	5	16		(S29)	

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1444	○	1954	5	20		(S29)	第3回全国公民館大会が文部省・全国公民館連絡協議会・富山県公民館連絡協議会共催により富山市公会堂で開催さる～-05-22
1445	○	1954	5	28		(S29)	日本連合教育会の第六回全国大会が富山市公会堂で開催～-05-29
1446	○	1954	8	1		(S29)	粟巣野・立山仮駅間が開通す
1447	○	1954	8	13		(S29)	立山ケーブルカー(千寿ヶ原・美女平間)の開通
1448	○	1954	9	26		(S29)	黒部市三日市に大火、160棟1万4708㎡全半焼、死者1人、同日、洞爺丸台風により県内に強風・波浪、死者1人、家屋全半壊55戸、黒部市生地護岸決壊、黒部市に災害救助法適用
1449	○	1954	10	13		(S29)	第8回全国都市計画協議会が富山市で開催さる
1450	○	1954	10	17		(S29)	富山市立郷土博物館が開館す～□では-11-17とも
1451	○	1954	-	-		(S29)	29年度一般会計歳出決算84億6610万2000円
1452	□	1955	1	9		(S30)	県東部海岸に高波、浜小屋倒壊16棟、堤防決壊18ヶ所
1453	□	1955	1	16		(S30)	県内に暴風雨、地鉄20本運休、西部で電信・電話マヒ状態
1454	○	1955	1	-		(S30)	神通川水系神通川第三発電所の運転を開始す～1956-01-XX第三左岸発電所の運転開始
1455	○	1955	2	20		(S30)	波浪により県東部海岸に被害、死者3人、非住家全半壊118棟、住家浸水30戸、耕地被害15.2ha、堤防決壊
1456	○	1955	3	1		(S30)	県議会定例会(～-03-19)立山有料道路問題などを論議す
1457	○	1955	3	10		(S30)	県、日本体育協会に本県での国体開催承諾書を提出す
1458	○	1955	3	19		(S30)	県議会、30年度一般会計当初予算76億7195万1000円を可決す
1459	○	1955	3	30		(S30)	富山都市計画街路の幹線である県庁線(城址大通り)が完成す
1460	○	1955	4	14		(S30)	全国ちんどんコンクールが桜まつりの一環として富山市で行われる(～-04-15)～1965-04-10(S40)全日本チンドン選手権大会と改称す
1461	○	1955	6	1		(S30)	県営発電所設置条例が公布さる
1462	○	1955	6	12		(S30)	井田川水系県営大長谷第一発電所の運転を開始す～1959-03-05第二発電所の運展開始
1463	○	1955	7	-		(S30)	県道美女平・弘法間と立山開発鉄道立山仮駅・立山間の開通により、鉄道・ケーブル・高原道路が接続す
1464	○	1955	8	15		(S30)	県、土木部に電力開発室を設置す
1465	○	1955	9	30	1	(S30)	県議会、航空路線北陸線の新設及びこれに伴う富山飛行場新設要望に関する意見書を可決す
1466	○	1955	9	30	2	(S30)	県議会定例会、公共事業の追加の見通し、井田川・小矢部川総合開発問題などを論議す
1467	○	1955	10	1	1	(S30)	国勢調査で県人口102万1121人(男49万4109人、女52万7012人)、世帯数19万9332、持ち家率89.1%で全国一(全国平均71.8%)
1468	○	1955	10	1	2	(S30)	国鉄富山操車場が開設さる
1469	○	1955	10	1	3	(S30)	世界動物大博覧会が北日本新聞社の主催により富山城址公園で開催さる(～-11-03)
1470	○	1955	12	1		(S30)	庄川に中田橋(中田町・戸出町間)が架設さる～1979-09-XX(S54)新中田橋が架設さる
1471	○	1955	12	20		(S30)	県議会定例会で道路補修問題などを論議す
1472	○	1955	-	-		(S30)	30年度一般会計歳出決算85億3872万3000円
1473	□	1956	1	10		(S31)	7日からの大雪で富山107cm、魚津130cmなど県東部で交通網が寸断、北陸本線マヒ状態、死者3人、行方不明1人
1474	○	1956	2	10		(S31)	宇奈月町黒部川第二発電所堰堤工事の飯場が雪崩のため埋没、死者21人、重軽傷者10人
1475	□	1956	2	12		(S31)	日本海大しけで県東部の海岸に大波、死者1人、浜小屋の全半壊58棟
1476	○	1956	3	24		(S31)	神通大橋(富山市神通町・畑中間)が架設さる
1477	○	1956	3	26		(S31)	県議会、31年度一般会計当初予算78億6833万6000円を可決す
1478	○	1956	3	-		(S31)	県、工場誘致に関する要綱を制定す
1479	○	1956	6	27		(S31)	県議会定例会、電源開発と冷水害問題などを論議す
1480	○	1956	7	1		(S31)	県、土木部計画課を計画観光課と改称す
1481	□	1956	7	17		(S31)	県東部で大雨、死者1人、水田冠水1087ha、道路、堤防、橋決壊39、崖崩れ12ヶ所
1482	○	1956	7	-		(S31)	美女平・弘法間県有料道路が日本道路公団に移管され、立山有料道路となる
1483	○	1956	8	27		(S31)	黒部川冷水害対策同盟会と関西電力(株)が冷水害補償として流水客土事業など4項目の協定を結ぶ
1484	○	1956	9	9		(S31)	富山市天文台が完成す
1485	○	1956	9	10		(S31)	魚津市に大火、1670棟17万5967㎡全半焼、死者5人、罹災者7078人、災害救助法を適用す
1486	○	1956	9	25		(S31)	第四回知事選挙で吉田実当選す～-10-01就任
1487	○	1956	9	28	1	(S31)	県議会定例会で知事、魚津大火の罹災者救助状況・復興計画について報告す
1488	○	1956	9	28	2	(S31)	知事、本県電力事業の行詰まり打開を図るため、県・北陸電力(株)・関西電力(株)間での覚書交換について県議会で報告す
1489	○	1956	10	26		(S31)	魚津市施行による火災復興土地区画整理事業(65.5ha)が決定さる
1490	□	1956	12	25		(S31)	富山市中央通りのアーケードが完成
1491	○	1956	-	-		(S31)	31年度一般会計歳出決算90億9791万8000円
1492	○	1956	-	-		(S31)	高岡市末広通りで耐火建築促進法に基づく路線防火建築帯事業に着手す～1957-XX-XX(S32)完了す
1493	□	1957	1	22		(S32)	氷見市八代城戸地区の21戸が地滑りのため、集団移転を決定
1494	○	1957	1	26		(S32)	富山・金沢間の市外通話がダイヤル方式となる～1959-02-01(S34)自動即時通話となる
1495	○	1957	2	28		(S32)	県議会定例会(～-03-26)港湾整備などを論議す
1496	○	1957	3	9		(S32)	国体準備委員会を国体実行委員会に改組す
1497	○	1957	3	26		(S32)	県議会、32年度一般会計当初予算88億6010万7000円を可決す
1498	◇	1957	4	1		(S32)	室牧ダム実施計画調査開始～1958-03-31(S33)
1499	○	1957	5	-		(S32)	国道41号庵谷トンネル(細入村)が竣工す
1500	○	1957	6	6		(S32)	全国図書館大会が富山市公会堂で開かれる
1501	○	1957	7	1		(S32)	県、電気局を設置す～1970-10-01(S45)企業局となる
1502	○	1957	7	5		(S32)	閣議、国体の本県開催を決定す
1503	○	1957	8	1		(S32)	県営富山陸上競技場が竣工す
1504	○	1957	9	-		(S32)	富山県総合開発修正四ヵ年計画が策定さる
1505	○	1957	12	19		(S32)	県議会定例会(～-12-20)経済情勢の動向・総合開発修正四ヵ年計画の推進などを論議す
1506	○	1957	12	-		(S32)	神通川に萩浦橋(千原崎・草島間)が架設さる
1507	○	1957	-	-	1	(S32)	32年度一般会計歳出決算108億6879万7000円
1508	○	1957	-	-	2	(S32)	魚津市中央通りで火災(1956-09-10,S31)を契機とする路線防火建築帯事業に着手す
1509	○	1958	3	1		(S33)	高山本線名古屋・高岡間に準急気動列車ひだ号運転開始
1510	○	1958	3	25		(S33)	県議会、33年度一般会計当初予算99億880万円を可決す
1511	◇	1958	4	1	1	(S33)	室牧ダム建設事業開始
1512	◇	1958	4	1	2	(S33)	上市川ダム予備調査開始～1959-03-31(S34)
1513	○	1958	5	31		(S33)	福岡町沢川に大火、41棟4026㎡全焼、死者1人

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1514	○	1958	8	11		(S33)	第40回全国高校野球選手権大会(～-08-17)に魚津高校が出場、準々決勝で徳島商業高校と延長18回戦引分け、翌日再試合を行い惜敗(しんきろう旋風を巻き起こす)
1515	○	1958	8	28		(S33)	新湊市、公共下水道事業に着手す～1974-11-01(S49)桜町下水処理場の供用開始
1516	○	1958	9	14		(S33)	第13回国体夏季大会が本県で開催さる(～-09-17)
1517	○	1958	9	26		(S33)	狩野川台風により県内に強風・波浪、家屋浸水70戸、新湊市に災害救助法適用す
1518	○	1958	9	29		(S33)	北陸本線小杉・呉羽間で複線化による運転を開始す～1960-05-31呉羽・富山間、1960-09-30石動・福岡間、1962-08-10福岡・西高岡間、1963-09-27高岡・越中大門間で複線化による運転を開始
1519	○	1958	9	30		(S33)	政令第281号により富山・名古屋間の2級国道155号が1級国道41号に指定さる
1520	○	1958	10	15		(S33)	NHK富山放送局が総合テレビ放送を開始す
1521	□	1958	10	18		(S33)	富山市体育館の完工式
1522	○	1958	10	19		(S33)	天皇皇后両陛下ご臨席のもとに秋季大会が開催さる(～-10-23)
1523	○	1958	10	-		(S33)	常願寺川に常盤橋(富山市本郷島・水橋町常願寺間)が架設さる～1978-07-XX(S53)自転車歩行者橋が架設さる
1524	○	1958	11	10		(S33)	土木部計画課を都市計画課と改称す
1525	○	1958	-	-	1	(S33)	33年度一般会計歳出決算115億6980万6000円
1526	○	1958	-	-	2	(S33)	富山港、伏木富山港となる
1527	□	1959	1	18		(S34)	4日からの雪は県内平野部で126cm、山沿いで160cmの大雪、死者4人、交通、通信マヒ、小中学校臨時休校
1528	○	1959	2	8		(S34)	黒部川第四発電所建設工事資材輸送道の大動脈黒部ルート(全長約10kmのトンネル)が貫通し、大町ルートと直結す、動員労働者延べ320万人(死者87人)
1529	○	1959	2	-		(S34)	県、富山新港調査費を予算計上す
1530	○	1959	3	1		(S34)	富山・東京間長距離電話が手動即時通話となる～1960-01-31富山・大阪間が開通す
1531	○	1959	3	20		(S34)	県議会、34年度一般会計当初予算99億8680万円を可決す
1532	◇	1959	4	1	1	(S34)	上市川ダム実施計画調査開始～1961-03-31(S36)
1533	○	1959	4	1	2	(S34)	富山地鉄(株)が高岡軌道高岡・新湊間、米島口・伏木港間及び高岡地区周辺バス事業を加越能鉄道(株)に譲渡す
1534	□	1959	4	16		(S34)	有峰ダム湛水式
1535	○	1959	6	12		(S34)	日本海都市対岸貿易漁業促進全国大会が高岡市で開催さる
1536	○	1959	6	25		(S34)	県議会定例会(～-06-26)立山黒部有峰開発・富山新港関連総合開発計画などを論議す
1537	□	1959	6	29		(S34)	富山・東京間の電話ダイヤル即時通話化
1538	○	1959	6	-		(S34)	常願寺川水系和田川第一・第二発電所が運転開始す～-04-16有峰ダム湛水開始
1539	○	1959	8	-		(S34)	常願寺川水系中地山発電所が運転開始す～-03-07新中地山ダム湛水開始
1540	○	1959	9	26		(S34)	伊勢湾台風(～-09-27)により県内に強風・波浪・高潮、死者1人、家屋全半壊264戸、流失4戸、浸水522戸、山・崖崩れ、田畑冠水、船舶沈没・流失・破損、通信被害、木材流失、新湊市に災害救助法適用
1541	○	1959	9	28		(S34)	県議会定例会(～-09-29)海岸侵食と防除対策・黒部川の流砂防止対策などを論議す
1542	○	1959	10	21		(S34)	日独陸上競技富山大会が県営陸上競技場で開催さる
1543	○	1959	10	29		(S34)	国鉄氷羽線(氷見・羽咋間)の着工式が氷見鉄道敷設促進期成同盟会の主催により富山・石川両県境の三尾峠で行わる(着工実現せず、幻の線となる)
1544	◇	1959	11	-		(S34)	室牧ダム定礎式
1545	○	1959	12	1		(S34)	北陸本線の新呉羽トンネルが開通す
1546	○	1959	12	4		(S34)	富山県治水期成同盟会が発足す
1547	○	1959	12	23		(S34)	県議会北陸地方開発促進についての意見書・富山新港建設促進に関する意見書を可決す
1548	○	1959	-	-		(S34)	34年度一般会計歳出決算120億3910万8000円
1549	○	1960	1	30		(S35)	県、富山港に水平引込式起重機(軌道走行式)を設置す
1550	□	1960	1	31		(S35)	富山・大阪間の電話、即時通話化
1551	○	1960	2	15		(S35)	婦中町議会臨時会、神通川中州飛行場設置反対についての意見書を議決す
1552	○	1960	2	29		(S35)	県議会定例会(～-03-25)貯木場施設・港湾施設の整備等を論議す
1553	○	1960	3	25		(S35)	県議会、35年度一般会計当初予算123億12万3000円を可決す
1554	○	1960	3	-		(S35)	境川水系境川第一・第二発電所の運転を開始す～1961-12-XX(S36)第三発電所の運転開始
1555	○	1960	5	8		(S35)	立山黒部有峰開発(株)が県・関西電力(株)・北陸電力(株)・立山開発鉄道(株)により設立さる
1556	○	1960	5	16		(S35)	県、土木部河港課を廃止し、河川課・港湾課を設置す
1557	□	1960	5	18		(S35)	国鉄北陸本線神通川の複線鉄橋の下り線が開通
1558	◇	1960	5	31		(S35)	室牧ダムの用地補償協定書調印式
1559	○	1960	6	27		(S35)	県、工場誘致に関する要綱を廃止し、工業・中小企業の振興並びに雇用の拡大に関する要綱を制定す
1560	○	1960	6	28		(S35)	県議会定例会(～07-02)工場誘致奨励要綱などを論議す
1561	○	1960	6	-		(S35)	常願寺川水系称名川第二発電所の運転を開始
1562	○	1960	8	-		(S35)	庄川に雄神橋(庄川町地内)が架設さる
1563	○	1960	9	11		(S35)	第五回知事選挙、吉田実再選さる
1564	○	1960	9	20		(S35)	県議会定例会(～-09-24)知事、「平和県政・山びこ県政・計画県政」を基本方針とし、県勢総合計画を基調に運営するとの所信を表明す
1565	○	1960	10	1	1	(S35)	国勢調査、県人口103万2614人(男50万545人、女53万2069人)、世帯数21万4099
1566	○	1960	10	1	2	(S35)	黒部ダムの湛水開始
1567	□	1960	10	8		(S35)	県内初のゴルフ場・呉羽ゴルフ場(現呉羽カントリークラブ)がオープン
1568	○	1960	11	-		(S35)	常願寺川水系小俣ダム発電所・小俣発電所の運転を開始す
1569	○	1960	12	7		(S35)	県道路交通法施行細則の制定によりタイヤチェーン等のすべり止め装置の装着が義務づけられる
1570	○	1960	12	26		(S35)	第九交響曲特別演奏会が大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏により富山市公会堂で開催さる
1571	○	1960	12	27		(S35)	北陸地方開発促進法が公布さる
1572	○	1960	12	28		(S35)	大雪(～1961-01-02(S36))により県内の国鉄・地鉄などに大被害～-12-30金沢管理局に雪害対策本部設置(1961-01-10解散)、知事、除雪など救援のため自衛隊に対し災害派遣を要請す
1573	○	1960	12	-	1	(S35)	常願寺川水系折立発電所の運転を開始す
1574	○	1960	12	-	2	(S35)	富山新港計画が国の港湾審議会で承認さる
1575	○	1960	-	-	1	(S35)	35年度一般会計歳出決算150億7743万4000円
1576	○	1960	-	-	2	(S35)	海岸法(1956(S31)公布)により下新川海岸が建設省の直轄海岸となる
1577	□	1961	1	1		(S36)	前年28日からの雪は年を越え、この日富山市では140cm、北陸本線で列車12本が立ち往生、乗客1万5000人が列車や駅で越冬

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1578	○	1961	1	15		(S36)	黒部川水系黒部川第四発電所の運転開始～1960-10-01(S35)黒部タムの湛水開始
1579	○	1961	1	－		(S36)	富山県勢総合計画が策定さる
1580	○	1961	2	20		(S36)	運輸大臣、県に対し富山飛行場の設置を許可す
1581	○	1961	2	28		(S36)	県議会定例会(～-03-24)公共事業と県単事業などを論議す
1582	○	1961	3	8		(S36)	(財)富山県住宅公社が発足す～1963-03-23(S38)(財)富山県開発公社と改称～1973-08-15(S48)(財)富山県土地開発公社と改称
1583	○	1961	3	24		(S36)	県議会、36年度一般会計当初予算159億3710万円を可決す
1584	◇	1961	3	30		(S36)	室牧ダム試験湛水開始
1585	○	1961	3	31		(S36)	県営補助競技場が竣工す
1586	○	1961	3	－	1	(S36)	射水地域総合開発計画により太閤山地区の新住宅都市開発計画が策定さる
1587	○	1961	3	－	2	(S36)	小矢部川に国東橋(高岡市荒屋敷・四日市間)が架設さる～1982-07-XX(S57)歩道橋架設
1588	○	1961	4	1	1	(S36)	NHK富山放送局が教育テレビ放送を開始す
1589	◇	1961	4	1	2	(S36)	上市川ダム建設事業開始
1590	○	1961	4	16		(S36)	富山・名古屋間の電話が手動即時通話となる
1591	○	1961	4	26		(S36)	井田川水系県営室牧発電所の運転を開始
1592	○	1961	5	12		(S36)	北陸本線の新倶利伽羅トンネルが貫通す
1593	□	1961	6	8		(S36)	北陸電力有峰ダムが完成、延べ600万人、374億円を投ず
1594	○	1961	6	22		(S36)	国鉄北陸本線富山・直江津間輸送力増強協議会が同区間の複線化・電化を目標として設立さる
1595	○	1961	6	24		(S36)	大雨(～-06-30)による県内の行方不明者1人、家屋全半壊49戸、浸水2238戸、水田流失、堤防決壊～-06-30氷見市に災害救助法適用
1596	□	1961	7	31		(S36)	国鉄北陸トンネルが貫通、日本最長、工費78億8000万円
1597	○	1961	8	10		(S36)	北陸自動車道建設促進同盟会が本県を含む関係5県により結成さる
1598	○	1961	9	11		(S36)	県と新湊・越の潟両漁協が富山新港建設に伴う漁業補償契約を締結す～09-13
1599	○	1961	9	15		(S36)	県と堀岡漁協が契約締結
							富山新港の起工式が行わる
							風水害(第2室戸台風)により死者9人、負傷者178人、家屋全壊124戸、半壊396戸、床下浸水687戸、一部損壊3857戸～-09-28県議会、第2室戸台風災害対策に関する意見書を可決す
1600	○	1961	9	16		(S36)	県議会定例会(～-09-28)富山新港事業の推進・工場用地造成に伴う諸問題などを論議す
1601	○	1961	9	26		(S36)	富山県新産業都市建設促進協議会が県内3市4町2村により設立される
1602	○	1961	10	2		(S36)	第12回全国統計大会が富山市公会堂で開催さる～『経済指標のかんどころ』(富山県統計協会)が発刊さる
1603	○	1961	10	4		(S36)	第23回全国都市問題会議が全国市長会・東京市政調査会・富山市主催により富山市公会堂で開かれる
1604	○	1961	10	10		(S36)	富山市体育館で全日本産業安全大会が開かれ、皇太子御夫妻が初めてご来県
1605	□	1961	10	14		(S36)	国土開発縦貫自動車道建設法の一部改正により北陸自動車道が予定路線として法制化さる
1606	○	1961	11	15		(S36)	室牧ダム竣工式、本県河川総合開発事業の先駆け、我が国第5番目のアーチ型ダム
1607	◇	1961	11	29		(S36)	県議会、北陸本線の輸送力増強に関する意見書を可決す
1608	○	1961	12	21		(S36)	36年度に県の室牧ダム建設を含む井田川総合開発事業完了す
1609	○	1961	－	－	1	(S36)	36年度一般会計歳出決算193億5259万円
1610	○	1961	－	－	2	(S36)	県、小規模緊急治山事業を開始す
1611	○	1961	－	－	3	(S36)	井田川水系県営仁歩発電所の運転を開始す
1612	○	1962	2	6		(S37)	富山・神戸間、富山・京都間の電話が手動即時通話となる
1613	○	1962	3	4		(S37)	県議会、全国総合開発計画による拠点開発地点の指定に関する意見書を可決す
1614	○	1962	3	8		(S37)	県議会、37年度一般会計当初予算198億7318万円を可決す
1615	○	1962	3	23		(S37)	県営軟式野球場が竣工す
1616	○	1962	3	25		(S37)	富山大学文理学部が富山市五福に移転す
1617	○	1962	3	31		(S37)	庄川に大門大橋(大門町地内)が架設さる～1972-03-XX歩道橋が架設さる
1618	○	1962	3	－		(S37)	県、総務部から統計調査課・総合開発室を分離し、総合開発室を計画課・開発課に分け、3課をもって総合計画部を設置す～1970-10
1619	○	1962	4	1	1	(S37)	県立大谷技術短期大学が開学す～1972-04-01県立技術短期大学と改称す
1620	○	1962	4	1	2	(S37)	利賀川ダム予備調査開始～1964-03-31(S39)
1621	◇	1962	4	1	3	(S37)	和田川ダム実施計画調査開始～1964-03-31(S39)
1622	◇	1962	4	1	4	(S37)	県、公営造林整備事業を開始す
1623	○	1962	4	－		(S37)	精神文化高揚国際富山県大会が20ヶ国代表の参加により富山市公会堂で開催さる
1624	○	1962	5	20		(S37)	県議会定例会(～-06-19)富山新港計画の推進と地元負担金・中小企業の育成と金融対策などを論議す
1625	○	1962	6	18		(S37)	災害対策基本法(1961-11-15公布)に基づき県防災会議が設置され、地域防災計画が作成さる～1979-02-09同地震編の作成～1982-12
1626	○	1962	7	10		(S37)	NHK総合テレビと北日本放送でカラーテレビ放送が開始さる
1627	○	1962	7	22		(S37)	低開発地域工業開発促進法に基づき、滑川市が開発地区に指定さる～-09-15
1628	○	1962	9	5		(S37)	上市町・城端町・庄川町・井波町・福野町・福光町・井口村が指定さる～1965-03-31(S40)入善町・朝日町が指定さる
1629	○	1962	9	26		(S37)	県議会定例会(～-09-29)新産業都市の建設計画などを論議す
1630	○	1962	9	29		(S37)	県災害対策本部条例が公布さる
1631	○	1962	10	1		(S37)	県、総務部に交通安全室を設置す
1632	◆	1962	10	1		(S37)	上市川ダム定礎式
1633	○	1962	10	18		(S37)	有峰林道が竣工す～1951-10-13(S26)起工式
1634	○	1962	12	－		(S37)	神通川水系奥山発電所の運転を開始す
1635	○	1962	－	－		(S37)	37年度一般会計歳出決算225億2948万1000円
1636	○	1963	1	7		(S38)	波浪(～-01-08)による県内の家屋全半壊19戸、浸水247戸、堤防決壊、小型船舶被害、新湊市に災害救助法適用
1637	○	1963	1	31		(S38)	県議会臨時会、豪雪災害に関する意見書・除雪活動並びに通信機関の確保に関する感謝決議を可決す
1638	○	1963	1	－		(S38)	38豪雪(～-02-06)県内の死者行方不明14人、家屋全半壊74戸、浸水944戸など被害、北陸本線は1月23日から28日までほぼ全面運休(-01-11金沢鉄道管理局に雪害対策本部設置、-02-22解散)～-01-21知事から自衛隊に対し災害派遣を要請す、-01-31北陸地方豪雪非常災害対策本部長河野建設大臣が現地視察のため来県す～-02-11福野町に災害救助法適用、-02-12福光町に同法適用
1639	○	1963	2	28		(S38)	県議会定例会(～03-20)冬期間の輸送網の整備強化などを論議す
1640	○	1963	3	20	1	(S38)	県議会、38年度一般会計当初予算233億6418万円を可決す
1641	○	1963	3	20	2	(S38)	県議会、北陸本線富山・直江津間の複線化促進に関する意見書を可決す
1642	○	1963	3	25		(S38)	県文化財保護条例が公布さる～-04-01施行
1643	○	1963	4	1		(S38)	県、土木部建築課を建築住宅課と営繕課に分ける
1644	○	1963	4	21		(S38)	第3回全日本競歩大会が全日本陸上競技連盟・県・富山市等の主催により県営陸上競技場で開催さる
1645	○	1963	5	11		(S38)	常願寺川に立山橋(立山町岩峠寺・大山町上滝間)が架設さる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1646	○	1963	5	29		(S38)	井田川水系県営八尾発電所の運転を開始す
1647	○	1963	5	－		(S38)	片貝川水系片貝東又発電所の運転を開始す
1648	□	1963	6	5		(S38)	関西電力の黒部川第四発電所が完成、高さ186mの日本最大、世界第4位のアーチ型ダム、毎時23万4000kWの発電能力、工費513億円、工期約7年、延べ990万人の労働者、171人の犠牲者
1649	○	1963	6	－		(S38)	早月川水系馬場島発電所の運転を開始す
1650	○	1963	7	12		(S38)	閣議、新産業都市として富山・高岡地区を含む全国13地区を指定
1651	○	1963	7	15	1	(S38)	一般自動車道弥陀ヶ原・天狗の鼻間が開通す～1964-06-20(S39)追分・室堂間が開通
1652	□	1963	7	15	2	(S38)	富山市に「タイヨー」など5店開店、本格的なスーパー店時代が幕開け
1653	○	1963	7	16		(S38)	富山新港公共補償審査会が設置さる
1654	○	1963	7	26		(S38)	県議会定例会(～-07-31)新産業都市の区域指定について論議す
1655	○	1963	8	4		(S38)	第9回全日本ソフトボール総合選手権大会が県営球場で開催さる
1656	○	1963	8	20		(S38)	富山空港が開港す～-08-21羽田空港との定期便が開始さる～-10-01中日本航空(株)の名古屋便が就航す(～1965-11-30(S40))
1657	○	1963	9	1		(S38)	県、総合計画部に地域開発課を設置す
1658	○	1963	9	21		(S38)	県議会臨時会、富山高岡新産業都市の区域として6市12町5村で申請することを可決す
1659	○	1963	10	3		(S38)	県議会、北陸自動車道建設促進に関する決議を可決す
1660	○	1963	10	7		(S38)	黒部川水系新黒部川第三発電所が運転を開始す～1966-09-29(S41)第二発電所が運転開始
1661	○	1963	12	－		(S38)	小矢部川に城光寺橋(高岡市米島・城光寺間)が架設さる
1662	○	1963	－	－	1	(S38)	38年度、射水地区で国営農業水利事業着工す～1976-XX-XX51年度完了
1663	○	1963	－	－	2	(S38)	38年度一般会計歳出決算270億7229万8000円
1664	□	1964	1	28		(S39)	北陸電力、富山市草島に初の火力発電所を建設、第一号機(15万6000kW)の火入れ
1665	○	1964	1	30		(S39)	北陸本線親不知トンネルが開通す
1666	○	1964	1	－		(S39)	神通川水系新猪谷発電所が運転を開始す
1667	○	1964	2	8		(S39)	常願寺川に今川橋(富山市横越・水橋町辻ヶ堂間)が架設さる
1668	○	1964	2	29		(S39)	県議会定例会(～-03-24)新産業都市事業・富山新港建設事業の推進などを論議す
1669	○	1964	3	12		(S39)	有沢橋(富山市布瀬・有沢間)の永久化工事が完成す～1972-03-XX(S47)新有沢橋が架設さる
1670	○	1964	3	21		(S39)	上市川水系県営上市川発電所が運転を開始す
1671	○	1964	3	24		(S39)	県議会、39年度一般会計当初予算271億1943万円可決す
1672	□	1964	3	26		(S39)	黒部峡谷が特別名勝、特別天然記念物に指定さる
1673	○	1964	3	31		(S39)	地方産業開発審議会、富山・高岡地区の新産業都市指定を決定す～-04-04官報告示、同日、県、新産業都市建設協議会条例公布
1674	○	1964	3	－		(S39)	常願寺川水系常願寺第三・第四発電所が運転を開始す～-04-XX第二発電所が運転開始
1675	○	1964	4	1	1	(S39)	県、屋外広告物条例を公布す～-07-01施行
1676	○	1964	4	1	2	(S39)	県、総務部に管財課を設置す、総合計画部用地経理課・建設課を経理課・用地課・建設調査課に改組す、出納室を出納課と改称す
1677	○	1964	4	1	3	(S39)	県、臨海工業地帯建設事務所を設置す～1965-04-01(S40)臨海工業地帯建設局と改称～1977-04-01(S52)富山新港管理局と改称
1678	◇	1964	4	1	4	(S39)	利賀川ダム実施計画調査開始～1967-03-31(S42)
1679	◇	1964	4	1	5	(S39)	和田川ダム建設事業開始
1680	○	1964	5	－		(S39)	県、太閤山ニュータウンの造成工事に着手す～1966-08-16(S41)新住宅市街地開発法に基づき事業認可
1681	○	1964	6	1		(S39)	富山空港から国内航空(株)の大阪便が就航す(～1966-06-30(S41))
1682	○	1964	6	23		(S39)	県議会定例会(～-06-26)黒部ルートの開放問題について論議す
1683	○	1964	7	1		(S39)	NHK富山放送局がFM放送を開始す
1684	□	1964	7	8		(S39)	礪波地方中心に全県的に豪雨、行方不明1人、982戸浸水、水田流失、埋没49ha、道路損壊42ヶ所、立山登山者600人が山小屋で足止め
1685	○	1964	7	14		(S39)	立山高原パークライン美女平・室堂間が開通す
1686	○	1964	7	16		(S39)	氷見市胡桃地内で地滑り災害発生、150ha被災、家屋全半壊87戸、学校1棟、畜舎全半壊44棟、河川・水路・溜池・農道・橋)
1687	○	1964	7	17		(S39)	大雨(～-07-18)による県内の死者行方不明5人、家屋全半壊23戸、浸水1万4309戸、水田流失埋没、田畑冠水、道路損壊、橋梁流失、堤防決壊、山崩れ、-07-18高岡市・小杉町に災害救助法適用
1688	○	1964	7	23		(S39)	富山県有峰青少年の家の開所式が行われる
1689	○	1964	8	2		(S39)	富山県民会館が会館す、博物館・美術館を併設す
1690	○	1964	8	5		(S39)	第15回全国高校対抗選手権自転車競技大会が富山競輪場で開催さる～-08-08
1691	◇	1964	8	30		(S39)	上市川ダム竣工式
1692	○	1964	9	15		(S39)	第六回知事選挙で吉田実3選
1693	◆	1964	9	15		(S39)	上市川ダム試験湛水開始
1694	○	1964	10	1		(S39)	北陸本線金沢・富山間の電化完成、富山・梅田間のコンテナ輸送開始す～-12-25国鉄特急雷鳥号が大阪・富山間に、特急しらさぎ号が名古屋・富山間で運転を開始す
1695	○	1964	10	3		(S39)	県議会、国立登山センターの設置に関する意見書を可決す
1696	○	1964	10	9		(S39)	日本海沿岸地帯振興連盟が関係11県により設立され、県庁に事務局が設置さる
1697	○	1964	11	1		(S39)	～-12-08日本海沿岸地帯振興促進議員連盟が設立さる
1698	○	1964	11	18		(S39)	富山・東京間の電話が自動即時通話となる
1699	○	1964	11	18		(S39)	高山本線強化促進同盟会が設立さる
1699	○	1964	12	15		(S39)	県議会定例会(～-12-18)新産業都市事業に伴う諸問題等を論議す
1700	○	1964	12	16		(S39)	神通川に成子橋(婦中町成子・富山市押上間)が架設さる
1701	○	1964	12	25	1	(S39)	富山高岡新産業都市建設基本計画(第一次)が承認さる
1702	○	1964	12	25	2	(S39)	立山黒部貫光(株)が設立さる
1703	○	1964	12	28		(S39)	県、富山地鉄射水線の切断に伴う営業補償に関し富山地鉄(株)と調印す
1704	○	1964	－	－	1	(S39)	39年度に県営圃場整備事業が県内4地区で開始さる
1705	○	1964	－	－	2	(S39)	39年度一般会計歳出決算312億34万2000円
1706	○	1964	－	－	3	(S39)	県の上市川ダム建設を含む上市川総合開発事業が完了す
1707	○	1965	2	－		(S40)	県内の自動式交換局と全国386地域とのダイヤル即時通話が開始
1708	□	1965	3	3		(S40)	国道8号宮崎トンネルが貫通
1709	○	1965	3	24		(S40)	県議会、40年度一般会計当初予算324億588万円を可決す
1710	◇	1965	4	1		(S40)	白岩川ダム予備調査開始～1967-03-31(S42)
1711	□	1965	4	28		(S40)	富山商工会議所ビル落成式
1712	○	1965	5	18		(S40)	国鉄北陸本線強化促進同盟会、同線の強化促進に関する陳情を決議
1713	○	1965	6	12		(S40)	第10回全国建具業者大会が富山市公会堂で開催さる
1714	○	1965	6	14		(S40)	高岡市総合市場青果部が業務を開始す～-09-20水産部が業務開始～1972-12-22(S47)高岡地方卸売市場となる
1715	○	1965	6	21		(S40)	富山・直江津間輸送力増強協議会が輸送力増強に関する陳情を決議

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1716	○	1965	7	14		(S40)	県議会定例会(～-07-17)元県営電気復元問題・富山新港港口切断に伴う諸問題の解決などを論議す、県営渡船条例を可決す
1717	○	1965	7	24		(S40)	小矢部川水系県営小矢部川第二発電所の運転を開始す～1966-04-01(S41)第一発電所の運転開始
1718	○	1965	9	4		(S40)	高山本線強化促進同盟会、同線の強化促進に関する陳情を行う
1719	□	1965	9	11		(S40)	台風23号の被害、死者4人、負傷者56人、住宅全半壊81戸、被害額27億円
1720	○	1965	9	14		(S40)	高岡市施行による高岡駅南土地区画整理事業(42.7ha)が決定さる
1721	○	1965	9	17		(S40)	強風・大雨・波浪(～-09-18)自衛隊、小矢部川堤防構築作業のため小矢部市津沢に出動す
1722	○	1965	9	27		(S40)	常願寺川に大日橋(富山市大中島・立山町間)が架設さる
1723	○	1965	10	1	1	(S40)	県庁前公園の大噴水が完成す
1724	○	1965	10	1	2	(S40)	国勢調査、県人口102万5465人、男49万1662人、女53万3803人、世帯数23万297
1725	○	1965	10	1	3	(S40)	北陸本線富山操車場・糸魚川間の電化完成
1726	○	1965	10	4		(S40)	県議会、黒部ルート開放に関する決議、特別会計国営灌漑排水事業の促進に関する意見書を可決す
1727	□	1965	10	19		(S40)	富山駅前の須田ビルで火災、31商店全焼
1728	○	1965	11	1		(S40)	富山県中部衛生センター組合が上市町・立山町・富山市により設立さる～1983-03-20(S58)屎尿処理施設竣工す
1729	○	1965	11	25		(S40)	国道8号城山・横尾両トンネル(朝日町)の開通式が行わる
1730	○	1965	12	25		(S40)	国道156号戸出バイパス(高岡市内)が開通す～1979-11-08(S54)4車線で一部開通す
1731	○	1965	12	-		(S40)	国道41号猪谷トンネル(細入村)が竣工す
1732	○	1965	-	-		(S40)	40年度一般会計歳出決算341億6298万1000円
1733	○	1966	1	-		(S41)	早月川に月形橋(滑川市栗山・魚津市有山間)が架設さる
1734	○	1966	3	23		(S41)	県議会、41年度一般会計当初予算359億5718万円を可決す
1735	○	1966	3	31		(S41)	山村振興法に基づき利賀村が振興山村に指定さる～-12-20上平村、1967-12-15(S42)平村、1968-12-28(S43)上市町・朝日町、1969-12
1736	○	1966	3	-	1	(S41)	第三次富山県勢総合計画が策定さる
1737	○	1966	3	-	2	(S41)	北陸本線・富山地鉄立山線の稲荷町跨線橋(富山市内)が架設さる
1738	◇	1966	4	1	1	(S41)	熊野川ダム予備調査開始～1970-03-31(S45)
1739	○	1966	4	1	2	(S41)	県、魚津・富山・高岡・礪波の4ヶ所に農地林務事務所を設置す
1740	○	1966	4	1	3	(S41)	県、太閤山住宅団地建設事務所を設置す
1741	○	1966	4	1	4	(S41)	県、農地部を農地林務部と改称す、農林水産部から林政課・治山課を農地林務部に移管し、庶務課を設置、農林水産部を農業水産部に改称す
1742	◇	1966	4	1	5	(S41)	子撫川ダム予備調査開始～1969-03-31(S44)
1743	◇	1966	4	2		(S41)	和田川ダムの用地補償協定書調印式
1744	○	1966	4	5		(S41)	富山地鉄射水線の堀岡鉄橋切断により堀岡で折り返し運転となる
1745	○	1966	4	-		(S41)	新河川法の施行により庄川が一級河川に指定さる
1746	○	1966	5	6		(S41)	(社)富山県造林公社が設立さる
1747	○	1966	7	4		(S41)	第9回港湾都市協議会の総会が全国市長会主催により富山電気ビルで開催さる
1748	◇	1966	7	20		(S41)	庄川水系工事実施基本計画が決定す
1749	○	1966	8	1		(S41)	県、企業の設備投資を促進し、産業経済の発展と地域の発展を図るため工業奨励規則を制定す～1971-07-23(S46)改正
1750	○	1966	8	8	1	(S41)	県、土木部高速道路室を設置す～1970-10-01(S45)高速道路課と改称す
1751	◇	1966	8	8	2	(S41)	富山県北陸自動車建設推進本部が設置さる(1995-05-24廃止)～富山県北陸自動車道建設推進本部設置規程(富山県訓令第8号)
1752	☆	1966	8	16		(S41)	新住宅市街地開発法に基づき太閤山ニュータウンが事業認可さる
1753	○	1966	9	30		(S41)	富山市戦災復興事業完成式が県民会間で行わる
1754	○	1966	9	-		(S41)	黒部川に下黒部橋(黒部市荒俣・入善町高畠間)が架設さる
1755	○	1966	10	6		(S41)	国鉄神岡線(猪谷・神岡間)の運転を開始す～1984-09-30(S59)廃止
1756	○	1966	10	20		(S41)	北陸自動車道、東海北陸自動車道及び北陸関東産業道路富山県建設促進協議会が設立さる
1757	□	1966	11	20		(S41)	北陸経済連合会発足
1758	◇	1966	11	21		(S41)	和田川ダム定礎式
1759	○	1966	12	1		(S41)	国鉄高岡民衆駅が竣工す
1760	○	1966	12	19		(S41)	県議会定例会(～-12-22)臨海工業地帯の用地取得などを論議す
1761	○	1966	12	22		(S41)	県議会、植樹行事及び国土緑化大会誘致に関する決議を可決す
1762	○	1966	-	-		(S41)	41年度一般会計歳出決算372億8934万4000円
1763	○	1967	2	25		(S42)	庄川水系新祖山発電所の運転を開始す
1764	○	1967	3	10		(S42)	国と新湊漁協が富山新港建設に伴う漁業補償契約を結ぶ
1765	○	1967	3	14		(S42)	県議会、42年度一般会計当初予算388億8740万円を可決す
1766	○	1967	3	24		(S42)	庄川水系雄神発電所の運転開始
1767	○	1967	3	30		(S42)	射水郷衛生施設組合(1963-04-10(S38)設置)の射水郷衛生センター竣工
1768	◇	1967	4	1	1	(S42)	角川ダム予備調査開始～1969-03-31(S44)
1769	◇	1967	4	1	2	(S42)	白岩川ダム実施計画調査開始～1970-03-31(S45)
1770	◇	1967	4	1	3	(S42)	布施川ダム予備調査開始～1970-03-31(S45)
1771	◇	1967	4	1	4	(S42)	利賀川ダム建設事業開始
1772	○	1967	4	-		(S42)	県、大気汚染観測局を富山市蓮町・高岡市伏木に設置す
1773	○	1967	5	16		(S42)	県議会臨時会(～-05-18)富山新港新川南砺地区開発・交通安全対策・電源観光開発・基幹交通対策など6つの特別委員会を設置す
1774	□	1967	5	22		(S42)	福光町の小矢部川刀利多目的ダムの完工式
1775	○	1967	6	26		(S42)	県議会定例会(～-06-30)黒部ルート開放見通し、朝日発電計画、富山新港の開港見通しと工場誘致等を論議す
1776	○	1967	6	28		(S42)	県議会、北陸新幹線鉄道建設に関する意見書を可決す
1777	○	1967	6	-		(S42)	常願寺川、小矢部川が一級河川に指定さる
1778	○	1967	9	25		(S42)	県議会定例会(～-29)県単独道路改良事業費の増額・高速自動車道の建設促進・交通安全対策などを論議す
1779	□	1967	10	27		(S42)	台風34号で県内に暴風雨、死者・不明3人、被害家屋410戸
1780	○	1967	11	15		(S42)	新湊市議会、富山新港港口切断に同意す～-11-23港口本切断工事の開始によりフェリーボート就航
1781	○	1967	11	17		(S42)	富山港とウラジオストク港の定期航路の指定第1船としてソ連船エリトン号が原木を満載して入港す
1782	□	1967	11	23		(S42)	富山新港の港口切断始まる
1783	○	1967	11	27		(S42)	建設省直轄砂防事業によりアーチ式の黒部川水系祖母谷第1号砂防ダムが完成す
1784	○	1967	12	6		(S42)	国道8号倶利伽羅トンネルが完成す
1785	○	1967	12	8		(S42)	北回り新幹線建設促進同盟会が結成さる～1972-07-27(S47)北陸新幹線促進同盟会と改称
1786	○	1967	12	12		(S42)	県議会定例会(～-12-16)県営電気復元問題、道路整備等を論議す
1787	○	1967	12	24		(S42)	立山貫光ターミナル(株)が設立さる
1788	○	1967	-	-	1	(S42)	42年度に刀利ダム建設を含む国営小矢部川農業水利事業が完了す
1789	○	1967	-	-	2	(S42)	42年度一般会計歳出決算412億7134万円
1790	○	1967	-	-	3	(S42)	この年、自動車台数12万1243台(年末現在)

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1791	○	1967	-	-	4	(S42)	この年、富山市内の歩道橋は、国道8号北陸銀行新庄支店前(-03-10架設)、日之出町地内八人町小学校付近(-03-23架設)、県道堀川小泉線県立富山女子高校前(-04-01架設)、国道8号泉町地内(-11-20架設)、県道富山港線奥田小学校前(-12-12架設)
1792	○	1967	-	-	5	(S42)	県の和田川ダム建設を含む和田川総合開発事業が完了す
1793	○	1968	2	6		(S43)	協同組合高岡問屋センターが設立さる～1977-06-29(S52)団地の完成
1794	◇	1968	2	8		(S43)	小矢部川水系工事実施基本計画が決定す
1795	○	1968	2	29		(S43)	県議会定例会(～-03-22)小矢部川のメチル水銀検出調査、富山新港用地売却と工場誘致、富山・高岡バイパスの早期開通、山村振興対策などを論議す
1796	○	1968	3	12		(S43)	富山テレビ放送(株)の設立～1969-04-01(S44)UHFテレビ放送開始
1797	○	1968	3	21		(S43)	県議会、富山・金沢・福井間快速電車運行に関する意見書を可決す
1798	○	1968	3	22		(S43)	県議会、43年度一般会計当初予算461億1371万円を可決す
1799	○	1968	3	27		(S43)	小杉町、公共下水道事業に着手す～1970-10-01太閤山下水処理場の供用開始
1800	○	1968	3	-	1	(S43)	黒部川に権蔵橋(黒部市中坪・入善町小摺戸間)が架設さる
1801	◇	1968	3	-	2	(S43)	和田川ダム竣工式
1802	○	1968	4	1	1	(S43)	県、総合計画部計画課・地域開発課を統合し、開発課を設置す、土木部道路課を道路建設課・道路維持課に分ける
1803	□	1968	4	1	2	(S43)	県公害防止条例が施行になる
1804	◇	1968	4	2		(S43)	和田川ダム試験湛水開始
1805	○	1968	4	21		(S43)	富山新港が開港す(36～45年度までの港湾事業費97億2000万円、工場用地造成事業費221億1000万円)
1806	○	1968	6	1		(S43)	富山新港の港口拡張事業に着手す
1807	○	1968	8	3		(S43)	日本海石油(株)と四方漁協がシーバース(原油の沖取り施設)のボーリング調査に関する漁業補償に調印す
1808	○	1968	9	1		(S43)	一般国道8号の富山高岡バイパスの工事が着手さる
1809	○	1968	9	26		(S43)	第7回知事選挙で吉田実が4選
1810	○	1968	11	14		(S43)	中部圏開発整備法(1966-07-01公布)により都市開発区域として富山市・高岡市・新湊市・礪波市・小矢部市・婦中町・小杉町・大門町・福岡町・大島村・舟橋村・下村が指定さる
1811	○	1968	11	19		(S43)	和田川水系泉宮庄東第一発電所の運転を開始す～-12-14第二発電所運転開始
1812	○	1968	12	12	1	(S43)	県議会、交通安全に関する決議を可決す
1813	○	1968	12	12	2	(S43)	県議会定例会(～-12-18)臨海工業用地の売却などを論議す
1814	○	1968	-	-	1	(S43)	43年度一般会計歳出決算484億3809万4000円
1815	○	1968	-	-	2	(S43)	氷見市中央町で防災建築街区造成法に基づき国道拡幅に伴う防災建築街区造成事業に着手す～1972-XX-XX完了
1816	□	1969	1	8		(S44)	富山市で積雪110cm、県内の交通2日から9日までマヒ状態、死者3人、負傷者11人
1817	□	1969	2	13		(S44)	富山テレビがサービス放送を開始～-04-01から営業放送開始
1818	○	1969	2	27		(S44)	県議会定例会(～-03-22)議会の審議をより深めるため予算特別委員会を設置す
1819	○	1969	3	22		(S44)	県議会、44年度一般会計当初予算532億8627万2000円を可決す
1820	○	1969	4	1	1	(S44)	県、総合計画部県勢計画課を設置す
1821	○	1969	4	1	2	(S44)	県、土木出張所を土木事務所と改称す
1822	□	1969	4	1	3	(S44)	富山・高岡地区が新産業都市に指定さる
1823	◇	1969	4	1	4	(S44)	角川ダム実施計画調査開始～1972-03-31(S47)
1824	◇	1969	4	1	5	(S44)	子撫川ダム実施計画調査開始～1972-03-31(S47)
1825	◇	1969	4	1	6	(S44)	上市川第二ダム予備調査開始～1971-03-31(S46)
1826	◇	1969	4	1	7	(S44)	城端ダム予備調査開始～1972-03-31(S47)
1827	○	1969	4	-	1	(S44)	県と大建工業(株)が富山新港臨海工業用地の売買契約を結ぶ
1828	○	1969	4	-	2	(S44)	神通川が一級河川に指定さる
1829	○	1969	5	26		(S44)	第20回全国植樹祭が天皇・皇后両陛下ご臨席のもとに礪波市頼成山で行われる
1830	○	1969	5	-		(S44)	県道富山立山公園線の恒生寺トンネルが貫通す～-10-XX美女平トンネルが貫通
1831	○	1969	6	13		(S44)	礪波市施行による出町地区土地区画整理事業(12ha)が決定さる
1832	◆	1969	6	18		(S44)	和田川ダム竣工式
1833	○	1969	6	24		(S44)	県議会定例会(～-07-02)利賀川総合開発・和田川総合開発事業、富山新港背後地の工場誘致、中小河川の改修、県議会議事堂建設などを論議す
1834	○	1969	7	2		(S44)	富山大橋(富山市安野屋・鶴島間)の橋脚が沈下し、通行禁止とす～1970-06-XX復旧なる
1835	○	1969	7	20		(S44)	黒部ケーブルカー(黒部平・黒部湖間)が開通～-12-09立山トンネルが全線開通す
1836	○	1969	8	8		(S44)	大雨(～-08-11)により県内の死者行方不明6人、家屋全半壊142戸、浸水9602戸、田畑流失・埋没・冠水～-08-09県内3市6町に災害救助法適用、知事、自衛隊に災害派遣要請(～-08-11)、県水害対策本部を設置す
1837	○	1969	8	21		(S44)	県、広域市町村圏振興整備措置要綱に基づき、礪波地区広域市町村圏を設定す(礪波市、城端町、庄川町、井波町、福野町、福光町、平村、上平村、利賀村、井口村により構成～-1970-07-16礪波広域圏事務組合を設置)
1838	○	1969	8	25		(S44)	県議会臨時会、豪雨災害の復旧対策に関する被災者救援・災害通報体制の確立、ダム管理問題などを論議す
1839	○	1969	9	20		(S44)	県議会定例会(～-30)桂台・美女平道路大規模崩土による復旧対策、朝日発電計画と黒部ルート問題などを論議す
1840	□	1969	9	22		(S44)	県立図書館完成、30万冊の大書庫、100人収容の閲覧室
1841	○	1969	10	1	1	(S44)	新神通大橋(富山市神通町・畑中間)が架設さる
1842	○	1969	10	1	2	(S44)	北陸本線の全線が複線化・電化完成、富山・福井間に快速列車こしじ号が運転開始
1843	○	1969	10	-		(S44)	庄川に礪波大橋(礪波市権正寺・東開発間)が架設さる
1844	○	1969	11	17		(S44)	日本道路公団、北陸自動車道の本県部分建設のための礪波市庄下地内で起工式を行う
1845	○	1969	11	-		(S44)	国道41号最勝寺バイパスが開通す
1846	○	1969	12	4		(S44)	政令第280号により一般国道304号が指定さる
1847	□	1969	12	15		(S44)	立山トンネル(室堂・二の沢間3565m)が3年5ヶ月ぶりに貫通、工事費75億円
1848	○	1969	12	27		(S44)	第8回知事選挙で中田幸吉当選～-12-30就任
1849	○	1969	12	-		(S44)	県と富山共同火力発電(株)が富山新港臨海工業用地の売買契約締結
1850	○	1969	-	-	1	(S44)	44年度一般会計歳出決算604億8299万4000円
1851	○	1969	-	-	2	(S44)	小矢部市中央通りで都市計画街路の拡幅に伴う防災建築街区造成事業に着手す～1977-XX-XX完了
1852	○	1970	2	1		(S45)	寄り回り波(～-02-02)により県内で住家半壊18戸、浸水392戸、非住家損壊、船舶流失、田畑冠水などの被害～□では-01-02とある
1853	○	1970	2	27		(S45)	県議会定例会(～-03-23)新産業都市特別会計収支、交通事故防止対策、工場誘致奨励要綱などを論議す
1854	○	1970	2	-		(S45)	県とアイシン軽金属(株)が富山新港臨海工業用地の売買契約を結ぶ
1855	○	1970	3	23		(S45)	県議会、45年度一般会計当初予算669億9881万円を可決す
1856	◇	1970	3	31		(S45)	神通川水系工事実施基本計画が決定す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1857	◇	1970	4	1	1	(S45)	熊野川タム実施計画調査開始～1974-03-31(S49)
1858	○	1970	4	1	2	(S45)	日本道路公団、美女平・追分間の道路を県に移管す
1859	◇	1970	4	1	3	(S45)	白岩川ダム建設事業開始
1860	◇	1970	4	1	4	(S45)	布施川ダム実施計画調査開始～1979-03-31(S54)
1861	□	1970	4	6		(S45)	宇奈月町仏石で関電黒部鉄道に雪崩、作業員12人が重軽傷
1862	○	1970	4	7		(S45)	魚津市施行による加積土地区画整理事業(32.8ha)が決定さる
1863	○	1970	4	16		(S45)	県、総合計画部公害課を廃止し、知事直属の公害課を設置す
1864	○	1970	4	－		(S45)	黒部川が一級河川に指定さる
1865	○	1970	6	6		(S45)	県議会定例会(～-06-15)利賀川総合開発工事の着手、加越線廃止問題、道路改良問題などを論議す
1866	○	1970	7	1		(S45)	富山・大町間貫通ルートが立山黒部アルペンルートとなる～-07-25立山ロープウェイ大観峰・黒部平間が開通～□では-07-24に開通式
1867	○	1970	7	15		(S45)	国鉄及び名鉄の車両、富山地鉄立山線に乗り入れし直通運転を開始
1868	○	1970	7	16		(S45)	国、県と新湊漁協が富山新港建設に伴う漁業補償契約を結ぶ
1869	○	1970	7	21		(S45)	県、新川地区広域市町村圏を設定す(魚津市・黒部市・宇奈月町・入善町・朝日町により構成)を設定す～1971-04-01新川広域圏事務組合を設置
1870	○	1970	7	－		(S45)	全日空の富山・東京間にYS-11型機が就航す(1往復)～1972-10-XX2往復となる
1871	○	1970	8	25		(S45)	本県と岐阜県との県境白木峰地内における境界確定について、八尾町長と岐阜県河合村長が覚書を取り交わす～09-04両県知事が国土地理院長に地形図への境界線記入申請の副申をする
1872	○	1970	8	－		(S45)	県公害対策本部が設置さる～-09-XX県公害行政推進協議会の設置～-11-01県公害審査会を設置
1873	○	1970	9	19		(S45)	県議会定例会(～-09-28)桂台・美女平間有料道路問題について論議す
1874	○	1970	10	1	1	(S45)	県、知事直属の企画室、公害部を設置す、農地農林部に圃場整備課を設置す
1875	○	1970	10	1	2	(S45)	県、伏木・富山の各港務所を伏木港・富山港管理事務所とそれぞれ改める
1876	○	1970	10	1	3	(S45)	国勢調査で県人口102万9695人、男49万2492人、女53万7203人、世帯数24万8345
1877	○	1970	10	21		(S45)	県政バス教室が開始
1878	○	1970	10	－		(S45)	県、電子計算機の導入により行政事務の電算処理を開始
1879	○	1970	11	30		(S45)	県公安委員会、桂台・美女平間一般自動車道の車両通行禁止及び制限を告示す～-12-15施行
1880	○	1970	11	－		(S45)	第4次富山県勢総合計画が策定さる
1881	○	1970	12	－		(S45)	県、地下水利用の消雪装置を富山市石金の県道に敷設す
1882	○	1970	－	－	1	(S45)	45年度一般会計歳出決算734億2713万6000円
1883	○	1970	－	－	2	(S45)	県、広域営農団地農道(スーパー農道)整備事業に着手す
1884	○	1970	－	－	3	(S45)	県内の自動車数、20万2243台
1885	○	1971	1	8		(S46)	富山共同火力発電所1号機の運転開始
1886	○	1971	1	25		(S46)	県議会議事堂が竣工す～□-02-10(S46) 県議会議事堂の完工式
1887	○	1971	2	20		(S46)	県議会定例会(～-03-08)新産業都市特別会計の収支見通し、加越線廃止問題などを論議す
1888	○	1971	3	8		(S46)	県議会、46年度一般会計当初予算772億4190万4000円を可決す
1889	◇	1971	3	26		(S46)	黒部川水系工事実施基本計画が決定す
1890	○	1971	3	－		(S46)	北陸本線の芹川高架橋(小矢部市地内)が架設さる
1891	○	1971	4	1	1	(S46)	(財)富山県業務公社が設立さる
1892	○	1971	4	1	2	(S46)	(財)富山県道路公社が設立さる
1893	◇	1971	4	1	3	(S46)	境川ダム予備調査開始～1973-03-31(S48)
1894	◇	1971	4	1	4	(S46)	上市川第二ダム実施計画調査開始～1975-03-31(S50)
1895	◇	1971	4	1	5	(S46)	朝日小川ダム予備調査開始～1973-03-31(S48)
1896	○	1971	4	15		(S46)	県、土木部に河川開発課を設置す
1897	☆	1971	4	25		(S46)	立山トンネルバス(室堂～大観峰間)が営業開始し、立山黒部アルペンルートが全線開通す
1898	○	1971	4	30		(S46)	富山市宮城址公園駐車場が竣工す～-05-01営業開始
1899	○	1971	5	11		(S46)	射水郷広域水道連絡協議会が新湊市、小杉町、大門町、大島町、下村により発足す
1900	○	1971	5	20		(S46)	桂台・美女平間、追分・室堂間の両自動車道が(財)富山県道路公社に譲渡さる
1901	○	1971	5	31		(S46)	富山県対岸貿易推進協議会が発足す
1902	○	1971	6	1		(S46)	桂台・美女平間、追分・室堂間の両自動車道が立山有料道路として供用開始、同日、立山黒部アルペンルートが全線開通す
1903	□	1971	6	4		(S46)	元富山市長山崎定義氏死去、日満産業大博覧会、富岩運河、高山線の開通に尽力
1904	○	1971	7	9		(S46)	県、高岡地区広域市町村圏を設定す(高岡市、氷見市、小矢部市、福岡町により構成～-09-25高岡地区広域市町村圏協議会を設置)、富山地区広域市町村圏を設定す(富山市、滑川市、大沢野町、大山町、上市町、立山町、八尾町、婦中町、舟橋村、山田村、細入村により構成～1972-07-01富山地区広域圏事務組合を設置)
1905	○	1971	7	－		(S46)	県営和田川工業用水道の一部給水が開始さる
1906	○	1971	9	11		(S46)	県議会定例会(～-21)過疎化をたどる地域交通問題などを論議す
1907	○	1971	9	23		(S46)	富山新港共同火力発電所第1号機の運転開始～1972-06-01(S47)第2号機運転開始
1908	○	1971	9	27		(S46)	豪雪地帯対策特別措置法に基づき、大山町・上市町・宇奈月町・山田村・平村・上平村・利賀村が特別豪雪地帯に指定さる～1973-04-10(S48)立山町・八尾町が指定さる～1976-04-09(S51)細入村が指定さる～1979-04-02(S54)城端町・庄川町・福光町が指定さる
1909	○	1971	10	26		(S46)	滑川市施行による駅前土地区画整理事業(37.9ha)が決定す
1910	○	1971	10	－		(S46)	県と県漁連が富山新港浚渫工事に関する覚書を取り交わす
1911	○	1971	11	16		(S46)	富山地鉄(株)が射水線・笹津線・富山軌道の一部廃止の許可を申請
1912	○	1971	－	－		(S46)	46年度一般会計歳出決算873億5927万2000円
1913	○	1972	1	29		(S47)	福光町、公共下水道事業に着手す～1982-01-18(S57)流域関連公共下水道事業の認可
1914	□	1972	2	3		(S47)	県内平野部で1月2日以来32日間の無積雪記録
1915	○	1972	2	5		(S47)	加越線廃止反対期成同盟会、県のバス代替案に同意す～-05-22沿線の関係市町が廃線後の代替運行同意を県に伝える
1916	○	1972	2	17		(S47)	富山市総曲輪商店街の火災、17棟4279㎡全半焼
1917	○	1972	2	29		(S47)	県議会定例会(～-03-22)国の景気刺激財政政策に呼応した積極的な県財政運営などについて論議す
1918	○	1972	3	22		(S47)	県議会、47年度一般会計当初予算905億1129万4000円を可決す
1919	○	1972	3	30		(S47)	新川広域圏消防センター及び消防施設整備事業が完了す
1920	○	1972	3	－		(S47)	北陸本線繁久寺橋(高岡市地内)が架設さる
1921	◇	1972	4	1	1	(S47)	角川ダム建設事業開始
1922	◇	1972	4	1	2	(S47)	久婦須川ダム予備調査開始～1976-03-31(S51)
1923	○	1972	4	1	3	(S47)	県、知事直轄の自然保護室を設置す、土木部用地課を廃止し、土地開発課を設置す、知事直轄の秘書課を秘書室に改称
1924	◇	1972	4	1	4	(S47)	子撫川ダム建設事業開始

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
1925	○	1972	4	1	5	(S47)	射水上下水道企業団が設立され、給水を開始す
1926	◇	1972	4	1	6	(S47)	城端ダム実施計画調査開始～1982-03-31(S57)
1927	○	1972	4	-		(S47)	県、生活環境保全林造成事業に着手す
1928	□	1972	5	5		(S47)	北陸新幹線が鉄道建設審議会で認めらる
1929	◇	1972	5			(S47)	利賀川ダム定礎式
1930	○	1972	6	15		(S47)	(株)富山県木材管理センターが設立さる
1931	○	1972	6	24		(S47)	県議会定例会(～-06-30)立山有料道路のマイカー乗り入れ問題などについて論議す
1932	○	1972	7	1		(S47)	県自然環境保全条例を公布～-11-01同審議会を設置す
1933	○	1972	7	6		(S47)	県土砂採取規制条例が公布さる～-09-30施行
1934	○	1972	7	11		(S47)	県、射水地区広域市町村圏を設定す(新湊市、小杉町、大門町、大島町、下村で構成～1975-04-01(S50)射水地区広域圏事務組合を設置)
1935	□	1972	7	13		(S47)	県内に大雨、水田冠水1200ha、道路、堤防、橋損壊190ヶ所
1936	○	1972	8	1	1	(S47)	(財)富山県民福祉公園が設立さる
1937	○	1972	8	1	2	(S47)	(社)富山県農地開発公社が設立さる
1938	○	1972	8	-		(S47)	小矢部川に三日市橋(福岡町地内)が架設さる
1939	○	1972	9	1	1	(S47)	運輸審議会、加越線(石動・青島間19.5km)の廃止を認める～-09-08名古屋陸運局、同線の代替バスの運行を認可す～-09-11県・沿線市町・加越能鉄道(株)が代替バスの運行に関する協定書に調印す～-09-16同線が廃止され、バス運行が始まる
1940	○	1972	9	1	2	(S47)	県、山村地域工業振興条例に基づき6市13町5村(48地域)を振興地域に指定す
1941	○	1972	9	30		(S47)	県議会定例会(～-10-11)神通川流域カドミウム汚染対策特別委員会を設置す
1942	○	1972	9	-		(S47)	小矢部川に五位橋(福岡町向野・高岡市上渡間)が架設さる
1943	○	1972	10	31		(S47)	県と岩瀬漁業協同組合が富山港航路の漁業制限に伴う損失補償協定を結ぶ
1944	□	1972	11	6		(S47)	福井県の北陸本線北陸トンネル内で急行北国が火災、県人41人を含む乗客761人のうち30人死亡、714人重軽傷
1945	◆	1972	11	25		(S47)	白岩川ダム定礎式
1946	☆	1972	12	2		(S47)	2日朝から3日未明にかけて、滑川市で高さ7m、朝日町で高さ10mの寄り回り波が押し寄せる、住宅半壊、床上浸水、護岸決壊の被害が発生す、戦後最大
1947	○	1972	-	-	1	(S47)	47年度一般会計歳出決算1031億7000万4000円
1948	○	1972	-	-	2	(S47)	県、山村振興事業補助金交付要綱に基づき、氷見市仏生寺、小矢部市宮島を振興山村地域に指定す～1973(S48)年度に大沢野町、細入村、1974(S49)年度に礪波市、八尾町、1975(S50)年度に上市町、福光町、1976(S51)年度に小矢部市南谷を指定
1949	○	1972	-	-	3	(S47)	自治省、1972(S47)年度モデルコミュニティ地区に高岡市西部地区を指定す～1973(S48)年度に入善南部地区を指定
1950	○	1973	1	17		(S48)	第31回国体冬季大会スキー競技会の本県開催が国体委員会で決定さる
1951	○	1973	1	23		(S48)	県、富山地鉄笹津線廃止問題で富山地鉄(株)と地元との調停会議を開く
1952	○	1973	1	-		(S48)	県、小矢部川流域下水道計画を公表す
1953	◇	1973	2	17		(S48)	角川ダム用地補償協定書調印式
1954	○	1973	2	28		(S48)	県議会定例会(～-03-23)基幹交通問題、土地利用計画等を論議す
1955	○	1973	3	23		(S48)	県議会、48年度一般会計当初予算1105億8719万円を可決
1956	○	1973	3	25		(S48)	平・上平衛生施設組合の衛生センターが竣工す
1957	○	1973	3	26		(S48)	富山市中央卸売市場が掛尾に開設さる～05-04青果部の業務開始、1981-06-XX水産部の業務開始
1958	○	1973	3	31		(S48)	礪波広域圏事務組合の粗大ごみ処理プラントが完成す
1959	○	1973	3	-	1	(S48)	庄川に高岡大橋歩道橋(大門町北野・高岡市三女子間)が架設さる
1960	○	1973	3	-	2	(S48)	庄川に南郷大橋(高岡市上伏間江・大門町広上間)が架設さる
1961	◇	1973	4	1	1	(S48)	境川ダム実施計画調査開始～1976-03-31(S51)
1962	○	1973	4	1	2	(S48)	県、県民公園建設事務所を設置す
1963	○	1973	4	1	3	(S48)	県、知事直轄の土地対策室を設置す、土木部に検査室を設置、土木部土地開発課を用地課と改称す
1964	○	1973	4	1	4	(S48)	射水消防組合が小杉町ほか2市1村により設立さる
1965	◇	1973	4	1	5	(S48)	朝日小川ダム実施計画調査開始～1978-03-31(S53)
1966	○	1973	5	9		(S48)	置県90周年記念事業として『富山県のあゆみ』が発刊さる
1967	○	1973	5	15		(S48)	(財)花と緑の銀行が設立さる
1968	○	1973	6	2		(S48)	県、工場環境整備事業補助金交付要綱を制定す
1969	□	1973	6	29		(S48)	富山駅前と駅北口とを結ぶ都市計画道路の駅構内地下道開通
1970	○	1973	9	14	1	(S48)	県議会定例会(～-09-26)土地対策などを論議す
1971	◇	1973	9	14	2	(S48)	子撫川ダムの用地補償協定書調印式
1972	○	1973	9	24		(S48)	富山市中心街で歩行者天国が実施さる
1973	○	1973	9	-		(S48)	高岡市二上校下小矢部川流域下水道終末処理場反対期成同盟会、二次公害発生等の理由で二上浄化センター設置反対を県に陳情す
1974	○	1973	10	1	1	(S48)	県警、交通部交通指導課に高速道路交通警察隊を付置し、礪波分駐隊を設置す
1975	◇	1973	10	1	2	(S48)	利賀川ダム試験湛水開始
1976	○	1973	10	16		(S48)	北陸自動車道礪波・小杉間が開通す
1977	○	1973	10	-		(S48)	県、「住みよい富山県をつくる総合計画」を策定す
1978	○	1973	11	13		(S48)	運輸大臣、北陸新幹線整備計画決定及び建設を指示す
1979	○	1973	11	-	1	(S48)	国道304号梨谷トンネル(平村)が完成す
1980	○	1973	11	-	2	(S48)	北陸本線の県道臨港線立体橋(小杉町・大島町間)が架設さる
1981	○	1973	12	2		(S48)	第9回知事選挙で中田幸吉再選
1982	○	1973	12	8	1	(S48)	高岡市営白銀駐車場が竣工す～-12-10営業開始
1983	○	1973	12	8	2	(S48)	庄川水系利賀川第二発電所が運転を開始す(-11-02千束ダム湛水開始)、-12-15第一発電所運転開始(-11-09利賀川ダム湛水開始)
1984	○	1973	12	12		(S48)	国道160号氷見バイパスの一部(氷見市内)が開通す
1985	○	1973	-	-	1	(S48)	48年度一般会計歳出決算1166億8633万3000円
1986	○	1973	-	-	2	(S48)	県、農村総合整備モデル事業を開始す
1987	○	1973	-	-	3	(S48)	富山新港の年間貨物取扱量377トンとなり伏木港を上回る
1988	○	1974	2	15		(S49)	運輸省と新湊・堀岡・海老江の3漁協が富山新港建設に伴う漁業補償契約を結ぶ
1989	○	1974	3	25	1	(S49)	環境庁、立山を含む全国の国立公園6地区を自動車利用適性化要綱に基づくモデル地区に指定す
1990	○	1974	3	25	2	(S49)	県議会、49年度一般会計当初予算1248億4976万円を可決
1991	○	1974	3	25	3	(S49)	礪波広域圏事務組合の平・上平清掃センターが完成
1992	○	1974	3	30		(S49)	県営西部水道用水供給事業が認可さる
1993	○	1974	3	-		(S49)	庄川に新庄川橋(新湊市庄川本町・庄西町間)が架設さる
1994	◇	1974	4	1	1	(S49)	熊野川ダム建設事業開始
1995	○	1974	4	1	2	(S49)	県、知事直轄の知事公室、土木部下水道課、出納事務局を設置、公害部を廃止し、環境部を設置す
1996	○	1974	4	1	3	(S49)	県、冬季国体事務局を県庁内に設置す
1997	◇	1974	4	1	4	(S49)	黒川ダム予備調査開始～1980-03-31(S55)
1998	○	1974	4	11	1	(S49)	(財)富山県消防協会の県防災センターが業務を開始す
1999	○	1974	4	11	2	(S49)	高岡市施行の高岡南部土地区画整理事業(96.6ha)が決定さる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
							中央サイクリングロード(富山市・小杉町間)開通す～1977-04-30小杉町・大門町間開通す
2000	○	1974	4	27		(S49)	角川ダム定礎式
2001	◇	1974	5	27		(S49)	利賀川ダム竣工式
2002	◇	1974	6	26		(S49)	日本鉄建公団富山新幹線建設準備事務所が設置さる
2003	○	1974	7	1		(S49)	県議会定例会(～-07-17)小矢部川流域下水道計画、富山新港臨海工業用地の処分などを論議す
2004	○	1974	7	9	1	(S49)	富山駅周辺開発協議会の結成総会が開かる
2005	○	1974	7	9	2	(S49)	県内に豪雨、河川氾濫、崖崩れ、死者2人、浸水416戸、耕地冠水1238ha、道路、橋、鉄橋など損壊112ヶ所、土木被害20億円
2006	□	1974	7	10		(S49)	県公安委員会、富山市西町交差点にスクランブル方式を採用す
2007	○	1974	8	1		(S49)	県、神通川流域左岸地域を農用地土壌汚染対策地域に指定す
2008	○	1974	8	27		(S49)	県公安委員会、富山市内にバス専用レーンを設定す
2009	○	1974	9	21		(S49)	県、災害対策本部条例に基づく防災行政無線電話を設置す
2010	○	1974	9	27		(S49)	白岩川ダム試験湛水開始
2011	◇	1974	10	16		(S49)	富山新港火力発電所1号機の運転開始
2012	○	1974	10	18		(S49)	北陸自動車道金沢東・礪波間が開通す
2013	○	1974	10	29		(S49)	大沢野町議会、富山地鉄笹津線廃止に条件付きで同意す
2014	○	1974	11	6		(S49)	政令第364号により一般国道359号・360号が指定さる
2015	○	1974	11	12		(S49)	白岩川ダム竣工式、本県初のロックフィルダム
2016	◇	1974	11	15		(S49)	国土庁、平村・利賀村を山村振興計画地域に指定す
2017	○	1974	11	20		(S49)	富山県北陸新幹線対策連絡協議会が結成さる
2018	○	1974	11	26		(S49)	礪波広域圏事務組合の西部清掃センターが完成
2019	○	1974	11	30		(S49)	県・大沢野町・富山市・富山地鉄(株)が笹津線の廃止に調印す
2020	○	1974	12	2		(S49)	国道8号富山高岡バイパスが暫定2車線で全線開通す
2021	○	1974	12	17		(S49)	49年度一般会計歳出決算1464億6294万円
2022	○	1974	-	-	1	(S49)	県の利賀川ダム建設を含む利賀川総合開発事業、白岩川ダムを含む白岩川総合開発事業が完了す
2023	○	1974	-	-	2	(S49)	県営熊野川水道用水供給事業が開始さる
2024	○	1974	-	-	3	(S49)	運輸審議会、富山地鉄(株)申請の笹津線廃止を認可す～-04-01同線南富山・笹津間の廃止により富山駅前・笹津間にバス増発
2025	○	1975	2	25		(S50)	県議会、50年度一般会計当初予算1483億729万6000円を可決す
2026	○	1975	3	7		(S50)	熊野川ダムの用地補償協定書調印式
2027	◇	1975	3	8		(S50)	庄川水系新成発電所の運転を開始す
2028	○	1975	3	20		(S50)	常願寺川水系工事実施基本計画が決定す
2029	◇	1975	3	31	1	(S50)	富山市施行による堀川西(根塚)土地区画整理事業(198. 2ha)が決定さる
2030	○	1975	3	31	2	(S50)	黒部川水系工事実施基本計画を改定す
2031	◇	1975	4	1	1	(S50)	上市川第二ダム建設事業開始
2032	◇	1975	4	1	2	(S50)	県、富山港臨海工業地帯を岩瀬環境緑化促進地域に指定す
2033	○	1975	4	17		(S50)	富山市総曲輪地区で都市再開発法(1969(S44)施行)に基づき火災を契機とする市街地再開発事業に着手す～1976-07-02完了
2034	○	1975	4	23		(S50)	県民公園頼成の森が開園す
2035	○	1975	4	28		(S50)	富山市西荒屋に富山刑務所が完成
2036	□	1975	5	13		(S50)	県内の物流貨物体系の実態を掌握し、物流近代化に対処するため、富山県における物流近代化計画調査研究会が発足す
2037	○	1975	6	19		(S50)	県議会定例会(～-07-02)神通川流域カドミウム汚染対策特別委員会を設置す
2038	○	1975	6	20		(S50)	国勢調査、県人口107万791人、男51万4991人、女55万5800人、世帯数26万9323
2039	○	1975	10	1		(S50)	北陸自動車道の小杉・富山間が開通す
2040	○	1975	10	4		(S50)	県、神通川流域右岸地域を農用地土壌汚染対策地域に指定す
2041	○	1975	10	17		(S50)	子撫川ダム定礎式
2042	◇	1975	10	31		(S50)	高岡古城公園が開園100周年の記念式
2043	□	1975	11	15		(S50)	真川橋(大山町粟巣野・立山町千寿ヶ原間)が架設さる
2044	○	1975	11	-		(S50)	県議会定例会(～-12-20)角川ダム汚職事件などを論議す
2045	○	1975	12	13		(S50)	小矢部川流域下水道都市計画が建設大臣より認可さる
2046	○	1975	12	23		(S50)	50年度一般会計歳出決算1623億8979万8000円
2047	○	1975	-	-	1	(S50)	県、上市川第二ダムを含む上市川総合開発事業に着手す
2048	○	1975	-	-	2	(S50)	知事、富山空港整備計画を発表す
2049	○	1976	1	6		(S51)	おおよま国体にご出席のため皇太子御夫妻が15年振りにご来県
2050	□	1976	2	13		(S51)	第31回国体冬季大会スキー競技会(おおよま国体)が大山町で開催さる(～-02-17)
2051	○	1976	2	14		(S51)	氷見市、公共下水道事業に着手す～1983-04-01環境浄化センターの供用開始
2052	○	1976	3	13		(S51)	県、産業廃棄物処理計画を策定す
2053	○	1976	3	18	1	(S51)	県議会、51年度一般会計当初予算1682億3528万円を可決
2054	○	1976	3	18	2	(S51)	県、地下水の採取に関する条例を公布す～-06-18県地下水審議会が発足す
2055	○	1976	3	27		(S51)	環境庁、第1回緑の国勢調査結果をまとめる～本県の植生自然度は北海道、沖縄に次いで全国第3位
2056	○	1976	3	-	1	(S51)	庄川に新太田橋(礪波市安川・太田間)が架設さる
2057	○	1976	3	-	2	(S51)	久婦須川ダム実施計画調査開始～1988-03-31(S63)
2058	◇	1976	4	1	1	(S51)	境川ダム建設事業開始
2059	◇	1976	4	1	2	(S51)	県、環境部を生活環境部と改称、県民生活課を設置、土木部道路建設課・道路維持課を統合し、道路課を設置す、土木部検査班を土木部検査室と改称す
2060	○	1976	4	1	3	(S51)	県議会定例会(～-06-29)富山市南西部の土地利用計画とカドミウム汚染田との関連、小矢部川流域下水道問題などを論議す
2061	○	1976	6	21		(S51)	神通川水系庵谷発電所の運転を開始す
2062	○	1976	7	-		(S51)	県道有沢西二俣線の呉羽トンネルが開通す
2063	○	1976	8	12		(S51)	大雨(～-08-16)により県内の死者4人、家屋全半壊21戸、浸水家屋1870戸、耕地流失・冠水、道路損壊、山・崖崩れ
2064	○	1976	8	14		(S51)	早稲田小劇場が東京から利賀村へ移転し、合掌造りの元民家で利賀山房の劇場開きを行う～1980-08-XX新利賀山房が完成
2065	○	1976	8	23		(S51)	県議会定例会(～-22)立山有料道路のマイカー規制などを論議す
2066	○	1976	9	10		(S51)	富山市新保校下町内会が富山空港拡張反対の意を表明す
2067	○	1976	9	11		(S51)	県議会、北陸新幹線建設の早期着工に関する意見書を可決す
2068	○	1976	9	22		(S51)	県、貯木場としての機能を失った富岩運河の船だまり(富山市湊入船町)の使用を禁止す
2069	○	1976	9	30		(S51)	県営富山駐車場が竣工す～-11-01営業開始
2070	○	1976	10	25		(S51)	二上校下小矢部川流域下水道終末処理場反対期成同盟会が住民の反対署名簿を県に提出す
2071	○	1976	10	30		(S51)	(財)富山県公営企業振興団が設立さる
2072	○	1976	11	1		(S51)	礪波広域水道用水の給水開始(1973-05-01礪波広域水道企業団設立、-11-08厚生省、礪波広域水道用水給水事業を認可)
2073	○	1976	11	-		(S51)	庄川に湯出島橋(上平村地内)が架設さる
2074	○	1976	12	-		(S51)	51年度一般会計歳出決算1840億5995万4000円
2075	○	1976	-	-	1	(S51)	県、境川ダム建設を含む境川総合開発事業に着手す
2076	○	1976	-	-	2	(S51)	

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
2077	○	1976	-	-	3	(S51)	県営西部水道用水供給事業(境川水源)が着工さる
2078	○	1976	-	-	4	(S51)	常願寺川地区で国営農業水利事業着工(1979(S54)年度竣工)
2079	○	1977	1	7		(S52)	県、小矢部川流域下水道計画の見直しを決定す
2080	○	1977	1	14		(S52)	県営極楽坂 Gondolas キー場が開設
2081	○	1977	1	-		(S52)	大雪(～2月)による県内の死者14人、住家半壊26戸、浸水322戸、非住家倒壊56棟、国鉄・地鉄の運休、富山空港欠航
2082	○	1977	3	18		(S52)	富山高岡新産業都市建設基本計画(第2次)が承認さる～1981-12-25第3次計画承認
2083	○	1977	3	19	1	(S52)	県議会、52年度一般会計当初予算1933億7750万5000円を可決す
2084	○	1977	3	19	2	(S52)	県議会、立山黒部アルペンルートの公共性確保に関する決議を可決
2085	◇	1977	3	29	1	(S52)	上市川第二ダムの用地補償協定書調印式
2086	○	1977	3	29	2	(S52)	氷見市五十谷で約40haに及ぶ大地滑り発生、家屋全壊5戸、耕地埋没、山林崩壊～-03-30知事、自衛隊に災害派遣を要請
2087	○	1977	3	-		(S52)	寺尾ダム(1973-03-23完成)を含む県営余川川地区防災ダム事業が完了す
2088	○	1977	4	20		(S52)	県、富山空港拡張対策連絡会議を設置す
2089	○	1977	4	-	1	(S52)	県、緑化センターを婦中町に開設す
2090	○	1977	4	-	2	(S52)	県営かんがい排水事業・防災ダム事業(打尾川地区)に着手す～1983-09-XX日中ダム建設工事に着手
2091	○	1977	4	-	3	(S52)	県埋蔵文化財センターを設置す
2092	○	1977	5	31		(S52)	袴腰林道(城端町・上平村間)が全線開通す
2093	○	1977	6	14		(S52)	富山地鉄射水線問題で三者協議会(県、富山市、新湊市)と富山地鉄(株)が射水線存続で合意す
2094	○	1977	8	31		(S52)	富山地鉄射水線の一部車両、富山市内へ乗り入れを再開す
2095	○	1977	9	30		(S52)	県立都市公園条例による岩瀬スポーツ公園(サッカーラグビー場・庭球場・補助競技場)が設置さる
2096	○	1977	9	-		(S52)	国道156号大牧トンネル(利賀村)が完成す
2097	○	1977	10	21		(S52)	県施工の建設省補助砂防事業による早月川水系高島砂防ダムが完成
2098	□	1977	11	24		(S52)	北陸電力の有峰第一、第二、第三発電所の起工式が行わる、合計出力40万kW
2099	○	1977	11	27		(S52)	第10回知事選挙で中田幸吉が3選
2100	○	1977	12	8		(S52)	高岡市長、小矢部川流域下水道計画について地元自治会、反対期成同盟会に見直し案を提示す
2101	○	1977	12	9		(S52)	県、カドミウム汚染田の復元工法4種類を選定す
2102	○	1977	12	10		(S52)	県議会定例会(～-12-19)カドミウム汚染田対策事業などを論議す
2103	○	1977	-	-	1	(S52)	52年度一般会計歳出決算2161億7374万1000円
2104	○	1977	-	-	2	(S52)	県内の加入電話が30万台を突破す
2105	○	1977	-	-	3	(S52)	氷見地区で国営農業水利事業着工
2106	□	1978	2	3		(S53)	富山市で積雪88cm、死者3人、地鉄75本、国鉄45本運休
2107	○	1978	2	28		(S53)	県議会定例会(～-03-20)景気浮揚策の一環としての公共事業受け入れとその波及効果・消化見通しなどを論議す
2108	○	1978	3	7		(S53)	宇奈月町、特定環境保全公共下水道事業に着手す
2109	○	1978	3	20		(S53)	県議会、53年度一般会計当初予算2251億2705万4000円を可決す
2110	○	1978	3	-		(S53)	県、「住みよい富山県をつくる総合計画修正計画」を策定す
2111	○	1978	4	1	1	(S53)	県、生活環境部公園緑地課を自然公園課と改称す
2112	◇	1978	4	1	2	(S53)	朝日小川ダム建設事業開始
2113	□	1978	5	11		(S53)	常陸宮ご夫妻をお迎えして全国野鳥保護のつどいが富山市・礪波市で開かる
2114	◇	1978	6	6		(S53)	子撫川ダム竣工式
2115	□	1978	6	22		(S53)	高岡市宮城光寺陸上競技場がオープン
2116	○	1978	7	-		(S53)	全日空の富山・東京間定期便が1日3往復となる
2117	○	1978	8	22		(S53)	組合施行による上市町の上経田土地区画整理事業(25.8ha)が認可さる
2118	○	1978	9	12		(S53)	第1回全国土地改良大会が県民会館で開催さる
2119	○	1978	9	18		(S53)	県議会定例会(～-29)北陸新幹線と富山駅前周辺再開発などを論議す
2120	○	1978	9	-		(S53)	国道156号上梨トンネル(平村)が完成す
2121	◇	1978	10	1		(S53)	子撫川ダム試験湛水開始
2122	◇	1978	10	4		(S53)	角川ダム試験湛水開始
2123	□	1978	10	12		(S53)	北陸自動車道の金沢東・同西インターチェンジ間が開通、富山・敦賀間を結ぶ
2124	○	1978	10	26		(S53)	庄川水系赤尾発電所の運転開始(-09-26赤尾ダム湛水開始)
2125	◇	1978	10	30	1	(S53)	角川ダム竣工式
2126	○	1978	10	30	2	(S53)	常願寺川に新常願寺橋(富山市大場・立山町西大森間)が架設さる
2127	○	1978	11	8		(S53)	県・富山市が新保校下自治振興会に対し空港拡張計画の変更及び地域振興計画を説明す
2128	○	1978	11	18		(S53)	高岡市、小矢部川流域下水道計画についての意見書を県に提出す
2129	○	1978	11	21		(S53)	国土開発幹線自動車道建設審議会が東海北陸自動車道県内初の整備計画(福光・礪波間)を決定す
2130	○	1978	11	22		(S53)	宮川原橋・火の川原橋(国道156号上平地内)が完成す
2131	○	1978	11	27		(S53)	福光町中央通りにおいて市街地再開発事業に着手す
2132	○	1978	12	7		(S53)	県議会定例会(～-12-14)水産漁港課汚職問題、身障者等への立山有料道路の開放などを論議す
2133	○	1978	-	-	1	(S53)	53年度一般会計歳出決算2431億6092万円
2134	○	1978	-	-	2	(S53)	県、朝日小川ダム建設を含む朝日小川総合開発事業に着手す
2135	○	1978	-	-	3	(S53)	県の子撫川ダム建設を含む子撫川総合開発事業、角川治水ダム建設事業が完了す
2136	○	1979	2	1		(S54)	県、知事公室に新幹線対策室を設置す
2137	○	1979	2	21		(S54)	県議会定例会(～-03-09)北陸新幹線の着工見通しと駅周辺再開発などを論議す
2138	◇	1979	2	27		(S54)	中田知事、県議会で富岩運河の上流から国道8号(がめ川河口)までを埋立て、都市計画道路(幅員25m)などの整備を行う旨述認
2139	○	1979	3	1		(S54)	県、小矢部川流域下水道計画について、県と関係市町村で合意した見直し案を公表す
2140	○	1979	3	9		(S54)	県議会、54年度一般会計当初予算2533億4108万円を可決
2141	□	1979	4	1	1	(S54)	強風波浪の滑川海岸で釣り1人が死亡、2人が行方不明、救助に当たった県警機動隊員1名が死亡
2142	◇	1979	4	1	2	(S54)	布施川ダム建設事業開始
2143	◇	1979	4	1	3	(S54)	片貝川ダム予備調査開始～1986-03-31(S61)
2144	◇	1979	4	4		(S54)	神通川水系工事実施基本計画を改定す
2145	□	1979	4	5		(S54)	日本海側随一の富山市の浜黒崎浄化センターが一部供用開始
2146	○	1979	4	9		(S54)	県営神通川工業用水道の一部給水開始、県営西部水道用水(子撫川水源)の一部給水開始(県営子撫川水道用水供給事業として47年度開始)
2147	○	1979	4	11		(S54)	福光町に大火、116棟、1万4214㎡全半焼、災害救助法適用、県災害対策本部設置～-04-13知事、自衛隊に災害派遣を要請す
2148	○	1979	4	17		(S54)	立山山麓レクリエーション開発(株)が県・富山市・大山町・立山町ほか関係民間企業の出資により設立さる
2149	○	1979	4	25		(S54)	二上校下小矢部川流域下水道終末処理場反対期成同盟会・二上地区連合自治会・小矢部川流域下水道反対住民協議会が一本化し、新たに小矢部川流域下水道対策協議会が結成さる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
2150	□	1979	4	27		(S54)	高岡市、開町370年、市制施行90周年を記念して古城公園芸術の森がオープン
2151	○	1979	4	－	1	(S54)	県、林業集落総合整備事業・森林総合整備事業を開始
2152	○	1979	4	－	2	(S54)	国道8号魚津バイパス建設事業開始～1985-11-21起工
2153	□	1979	5	27		(S54)	中日友好代表団員600人を乗せた中国客船門華号が富山新港に入港、北陸3県を視察
2154	○	1979	6	15		(S54)	県議会定例会(～-06-25)射水線の存続問題、富山空港の拡張と地元振興対策などを論議す
2155	○	1979	6	－		(S54)	県、小矢部川流域下水道対策協議会に対し見直し計画案を説明す
2156	□	1979	7	3		(S54)	県内で大雨、水田冠水、土砂崩れ等被害10億4000万円
2157	○	1979	8	20		(S54)	国道8号の富山高岡バイパスの一部が4車線で開通す
2158	□	1979	8	21		(S54)	県内豪雨で土木、農林関係で5億5000万円の被害～-08-23
2159	○	1979	8	－		(S54)	県道高岡氷見線新津々羅トンネルが完成す
2160	□	1979	9	4		(S54)	台風12号で被害、死者1人、重軽症社11人、建物全半壊158棟、稲の倒伏1万2500ha
2161	○	1979	9	－		(S54)	庄川に新中田橋が架設さる～1955-12-01に架けられた中田橋(中田町・戸出町間)の架け換え
2162	□	1979	10	1		(S54)	台風16号で死者3人、土木関係13億100万円、田畑890haに被害
2163	□	1979	10	11		(S54)	富山市、市制90周年を迎え、市公会堂で記念式典を挙る
2164	○	1979	10	12		(S54)	県議会定例会(～-10-24)水力発電の開発などを論議す
2165	○	1979	10	17		(S54)	滑川市、公共下水道事業に着手す
2166	○	1979	10	25		(S54)	小杉流通業務団地造成事業に着手～1983-10-XX第一期分譲開始
2167	○	1979	11	8		(S54)	国道8号境バイパス(朝日町)が開通す
2168	◇	1979	11	16		(S54)	熊野川ダム定礎式
2169	○	1979	11	21		(S54)	飛越合掌ライン(国道156号庄川町・岐阜県白川村間)の開通式が行われる
2170	○	1979	12	8		(S54)	県議会定例会(～-12-18)カドミウム汚染田の復元事業等を論議す
2171	○	1979	12	10		(S54)	大山町、公共下水道事業に着手す
2172	○	1979	－	－	1	(S54)	54年度一般会計歳出決算2654億9569万円
2173	○	1979	－	－	2	(S54)	この年、県内の自動車台数40万9572台
2174	○	1979	－	－	3	(S54)	建設省、宇奈月ダム建設工事に着手す
2175	○	1979	－	－	4	(S54)	県、布施川治水ダム建設事業に着手す
2176	○	1979	－	－	5	(S54)	黒部川を水源として魚津市など5市町にわたる県営東部水道用水供給事業が開始さる
2177	○	1980	1	19		(S55)	二上地区連合自治会が二上浄化センター設置に条件付きで合意する意見書を県に提出す
2178	○	1980	1	29		(S55)	富山市新保校下自治振興会が富山空港の整備拡張について県と富山市に要請書を提出し、条件付き受け入れを表明す～-12-30県と同振興会が富山空港拡張整備事業に係る地元振興策について調印
2179	○	1980	2	6		(S55)	県、神通川流域農用地土壌汚染対策について、第一次地区と費用負担計画を発表す～-10-XX事業着手
2180	□	1980	2	11		(S55)	高岡市末広飲食街から出火、13店舗を全半焼
2181	○	1980	3	21		(S55)	県議会、55年度一般会計当初予算2698億8151万4000円を可決す
2182	○	1980	3	24		(S55)	運輸大臣、県申請の富山空港施設変更を許可す
2183	○	1980	3	－		(S55)	礪波広域圏事務組合、高岡地区広域市町村圏協議会がそれぞれ新広域市町村圏計画を策定す
2184	○	1980	4	1	1	(S55)	過疎地域振興特別措置法に基づき山田村、平村、上平村、利賀村が過疎地域に指定さる
2185	○	1980	4	1	2	(S55)	県、土木部に空港建設室を設置す
2186	◇	1980	4	1	3	(S55)	黒川ダム実施計画調査開始～1985-03-31(S60)
2187	○	1980	4	1	4	(S55)	庄川水系新小原発電所の運転開始
2188	○	1980	4	1	5	(S55)	富山地鉄射水線(新港東口・新富山間14.4km)の廃止により、新港東口・富山駅間に代替バスの運行開始
2189	○	1980	4	7		(S55)	北陸自動車道敦賀・米原間の開通により名神高速道路と接続す
2190	□	1980	4	12		(S55)	富山市新総曲輪に地下1階、地上9階の富山県農協会館が完成
2191	□	1980	4	13		(S55)	高岡市制90周年、開町370年記念事業の市庁舎が完成、工費約38億円
2192	○	1980	5	2		(S55)	全日空富山・東京間定期便が週3日間4便に増便さる～1981-05-XX一日4便となる
2193	□	1980	5	28		(S55)	黒部峡谷の硫黄沢左岸で土砂崩れ、約40万立方mが流出、小屋平堰堤などで堆積
2194	○	1980	7	25		(S55)	県営高岡駐車場が竣工す～-08-01営業開始
2195	○	1980	9	24		(S55)	県議会定例会(～-10-04)北陸新幹線ルート問題などを論議す
2196	○	1980	9	26		(S55)	小矢部市石動町地区において市街地再開発事業に着手す～1984-01-04(S59)完了す
2197	○	1980	9	28		(S55)	中田知事(-09-18死亡)の県葬が県民会館で挙行さる
2198	○	1980	10	1		(S55)	国勢調査、県人口110万3459人、男53万2686人、女57万773人、世帯数29万1388
2199	○	1980	10	7		(S55)	県立近代美術館条例が公布さる
2200	○	1980	11	9		(S55)	第11回知事選挙で中沖豊が当選す～-11-11就任
2201	◇	1980	11	11		(S55)	中沖知事、初登庁、就任す
2202	◇	1980	11	14		(S55)	北陸治水大会が富山市で開かれる
2203	□	1980	11	25		(S55)	神通川流域カドミウム汚染田の第一次復元パイロット事業に着手
2204	◇	1980	11	26	1	(S55)	中沖知事、日本海沿岸地帯振興連盟世話人代表に就任す
2205	◇	1980	11	26	2	(S55)	中沖知事、北陸新幹線建設促進同盟会会長に就任す
2206	◇	1980	11	27		(S55)	地域振興整備公団により八尾中核工業団地造成工事が着手さる、145ha
2207	○	1980	11	28		(S55)	国鉄再建法成立に伴い、国鉄神岡線が廃止の対象となる～1981-09-18運輸省、同線の廃止を知事に通達
2208	◇	1980	12	2		(S55)	布施川ダムの用地補償協定書調印式
2209	○	1980	12	6		(S55)	県議会定例会(～-12-16)知事の県政に取り組む基本姿勢、富山港の総合利用計画などを論議す
2210	○	1980	12	19		(S55)	北陸自動車道富山・滑川間が開通す
2211	◇	1980	12	22		(S55)	カドミウム汚染田復元客土採取用地買収の調印が行わる
2212	□	1980	12	24		(S55)	県内は夕方から翌未明にかけて低気圧で強風、富山湾一帯に高波、高岡・氷見・入善等で昭和10年以来の高波被害
2213	◇	1980	12	30		(S55)	富山空港拡張交渉が全面解決し、用地取得の調印が行わる～拡張面積28.2ha
2214	○	1980	12	－	1	(S55)	常願寺川に立山自歩道橋(立山町岩峠寺・大山町上滝間)架設さる
2215	○	1980	12	－	2	(S55)	梨谷川に梨谷大橋(平村地内)が架設さる
2216	○	1980	－	－		(S55)	55年度一般会計歳出決算2808億2363万8000円
2217	◇	1981	1	6		(S56)	38豪雪以来の大雪、雪害対策本部を設置す
2218	◇	1981	1	9		(S56)	政府豪雪調査団(原国土庁長官ほか)来県す
2219	◇	1981	1	12		(S56)	雪害対策本部、自衛隊出動を要請、県道高岡伏木線など3路線で徹夜除雪作業
2220	□	1981	1	14	1	(S56)	北陸本線、大雪で6日以来の連続運休、遅延、38豪雪以来初の特急、急行全面運休、マヒの異常事態続く
2221	◇	1981	1	14	2	(S56)	「地域ぐるみ除排雪運動」を提唱し、市町村へ除排雪経費を助成す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
2222	◇	1981	1	21		(S56)	衆議院災害対策特別本部委員会調査団が来県す
2223	□	1981	1	31		(S56)	政府は北陸の豪雪を「56豪雪」として政令指定に決定
2224	○	1981	1	－		(S56)	56豪雪(1980-12-27～1981-01-20)県内の死者12人、重軽傷者731人、住家全半壊39戸、浸水1439戸、非住家全壊124棟、公共用建物42ヶ所に被害～01-06県、雪害対策本部を設置す、01-12自衛隊、緊急生活道路の確保作業のため高岡市に出動す(～01-15)、01-16八尾町柝折峠に出動す(～01-22)
2225	◇	1981	2	4	1	(S56)	参議院災害対策特別本部委員会調査団が来県す
2226	□	1981	2	4	2	(S56)	政府は「56豪雪」に対し天災融資法発動を決定、発動は4月以降
2227	◇	1981	2	19		(S56)	科学技術庁豪雪研究会が富山県で開催さる
2228	○	1981	2	21		(S56)	県・関係市町村と二上地区連合自治会が二上浄化センター建設に関する協定書に調印す
2229	◇	1981	2	23		(S56)	海洋総合利用対策調査委員会が富山県で初会合
2230	○	1981	2	28		(S56)	県議会定例会(～03-20)北陸新幹線の地元負担方式問題などを論議す
2231	◇	1981	3	10		(S56)	雪に強い県土づくりに関する調査研究を行う雪対策研究基金を創設
2232	○	1981	3	20	1	(S56)	県議会、56年度一般会計当初予算2939億4384万3000円を可決す
2233	○	1981	3	20	2	(S56)	県議会、豪雪に対する恒久対策推進に関する意見書を可決す
2234	○	1981	3	20	3	(S56)	射水地区広域圏事務組合の射水郷清掃センター粗大ごみ処理プラントが竣工す
2235	◇	1981	3	20	4	(S56)	56豪雪の県雪害対策本部を解散す～口被害は、死者22人、重傷者202人、軽傷者965人、直接、間接の被害額1217億5415万円、積雪累計719cm、38豪雪では568cm
2236	○	1981	3	24		(S56)	宇奈月・朝日両町の境界線(黒部奥山・白馬岳県境)問題について、両町議会が境界線決定の知事裁定案を可決す
2237	◇	1981	3	25		(S56)	北陸自動車道の魚津・朝日間の用地買収の調印が行わる
2238	◇	1981	3	27		(S56)	未解決だった朝日町と宇奈月町の境界問題が知事の斡旋により92年ぶりに解決す
2239	◇	1981	3	30		(S56)	上市川水系工事実施基本計画、下条川水系工事実施基本計画、仏生寺川水系工事実施基本計画、高橋川水系工事実施基本計画及び阿尾川水系工事実施基本計画が認可さる
2240	○	1981	3	31		(S56)	魚津市施行による魚津駅西土地地区画整理事業(27.5ha)が決定さる
2241	○	1981	4	1	1	(S56)	県、企業誘致を積極的・効率的に推進するため企業誘致推進本部を設置す
2242	○	1981	4	1	2	(S56)	県、知事公室に総合計画室を設置す
2243	◇	1981	4	1	3	(S56)	知事公室に総合計画室を設置す
2244	◇	1981	4	2		(S56)	企業誘致推進本部を設置す
2245	□	1981	4	10		(S56)	魚津市三ヶに新魚津水族館がオープン
2246	□	1981	4	19		(S56)	昭和の大修理を終えた高岡大仏の完工式と落慶法要
2247	○	1981	4	20		(S56)	中沖知事、知事と語るつどい・まちまわりを利賀村で行う～知事のまちまわりがスタート
2248	○	1981	4	30	1	(S56)	政令第153号により一般国道415号が指定さる
2249	◇	1981	4	30	2	(S56)	富山・射水平野県営園場整備事業の完工式が行わる
2250	◇	1981	5	6		(S56)	県政バス教室がスタートす
2251	○	1981	5	19		(S56)	県営富山軟式庭球場が竣工す～05-20開設
2252	○	1981	5	－		(S56)	常願寺川水系有峰第三発電所の運転開始
2253	◇	1981	6	2		(S56)	自然博物館「ねいの里」がオープンす
2254	◇	1981	6	3		(S56)	県営総合体育センターの建設用地取得の調印が行わる
2255	○	1981	6	4		(S56)	通産省、テクノポリス(高度技術集積都市)候補地に富山など全国16ヶ所を決定す
2256	◇	1981	6	10		(S56)	広域林道大牧線、全線開通す
2257	◇	1981	6	11		(S56)	総合雪対策研究会議発足す
2258	○	1981	6	30		(S56)	県議会、国鉄神岡線に関する意見書を可決す
2259	□	1981	7	2		(S56)	県東部で豪雨、魚津、滑川で被害多発
2260	○	1981	7	4		(S56)	県立近代美術館が開館す～07-05一般公開
2261	◇	1981	7	15		(S56)	高山本線強化促進同盟会総会が開かる
2262	◇	1981	8	4	1	(S56)	国道304号五箇山第二トンネルに着工す、2170m、工事費15億7200万円
2263	◇	1981	8	4	2	(S56)	国道304号梨谷大橋完成す、245m、工事費7億5600万円
2264	◇	1981	9	14		(S56)	テクノポリス推進協議会が発足す
2265	○	1981	9	19		(S56)	県議会定例会(～29)置県百年記念事業の取り組みなどを論議す
2266	○	1981	9	28		(S56)	県、無雪害まちづくり事業として富山市・高岡市・魚津市・大門町・城端町に施設整備の実施を決定す
2267	○	1981	10	1	1	(S56)	県、知事公室に置県百年記念事業推進事務局を設置す～11-18同県民会議・同本部を設置す
2268	◇	1981	10	1	2	(S56)	置県百年記念事業推進事務局を設置す
2269	◇	1981	10	14		(S56)	テクノポリス建設構想委員会が発足す
2270	◇	1981	10	17		(S56)	大規模林道大山・福光線の起工式が行わる
2271	□	1981	10	29		(S56)	新湊市制30周年を記念して運輸省航海訓練所の大型帆船海王丸が入港
2272	○	1981	10	－		(S56)	神通川に大沢野大橋(八尾町・大沢野町間)が架設さる
2273	○	1981	11	1		(S56)	富山新港火力発電所2号機が運転を開始す
2274	○	1981	11	5		(S56)	県、小矢部川流域下水道事業に着手す～12-30小矢部川流域下水道終末処理場用地の買収に関し、県と高岡市二上土地所有者協議会が調印す
2275	◇	1981	11	13		(S56)	花と緑の大会開催さる
2276	○	1981	11	16		(S56)	県、行財政改革検討委員会を設置す
2277	○	1981	12	9		(S56)	県議会定例会(～12-19)入札制度のあり方、行財政改革の取り組みなどを論議す
2278	○	1981	12	14		(S56)	公共事業建設工事の談合による入札に関し、県及び富山市が関係団体に入札の適正化を求める通達を出す
2279	□	1981	12	15		(S56)	寄り回り波が北陸本線市振駅構内に押し寄せ、土砂で埋まり、全面ストップ、16日にかけダイヤ混乱
2280	◇	1981	12	21		(S56)	大長谷第三発電所の竣工式が行わる
2281	◇	1981	12	24		(S56)	北陸新幹線建設促進総決起大会が開催さる
2282	◇	1981	12	30		(S56)	小矢部川流域下水道浄化センター建設用地(高岡市二上)の買収調印式が行わる
2283	○	1981	12	－		(S56)	井田川水系県営大長谷第三発電所が運転を開始す
2284	○	1981	－	－	1	(S56)	56年度一般会計歳出決算3138億1808万2000円
2285	○	1981	－	－	2	(S56)	県、地域ぐるみ除排雪推進モデル地区として滑川・小矢部・宇奈月・井波の4市町に5地区を指定す
2286	◇	1981	－	－	3	(S56)	昭和56年の伏木富山港貨物取扱量は、1075万t(伏木地区253万t、富山地区495万t、新湊地区327万t)
2287	○	1982	1	11		(S57)	県着工の建設省補助砂防事業による神通川水系猿越砂防ダムが完成
2288	○	1982	2	27		(S57)	県議会定例会(～03-20)公共事業の取り組みなどを論議す
2289	○	1982	3	6		(S57)	旋回式の黒部漁港生地中橋が完成す
2290	◇	1982	3	10		(S57)	富山空港ターミナルビル設立発起人大会が開催さる
2291	○	1982	3	20		(S57)	県議会、57年度一般会計当初予算3121億4294万3000円を可決す
2292	◇	1982	3	24		(S57)	富山テクノポリス構想案まとまる
2293	○	1982	3	25	1	(S57)	県営灌漑排水事業(射水山麓地区)の古洞ダムが完成す
2294	◇	1982	3	25	2	(S57)	太閤山ランドの調印式が行わる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
							日本鉄建公団、北陸新幹線の環境影響評価を実施するため駅・ルートの概要を公表す～1983-02-XX知事、環境影響評価報告書案に関する意見書を公団総裁に提出す
2295	○	1982	3	30		(S57)	
2296	○	1982	4	1	1	(S57)	県、土木部検査室と農地林務部検査室を統合して土木部工事検査室を設置す
2297	◇	1982	4	1	2	(S57)	城端ダム建設事業開始
2298	○	1982	4	12		(S57)	いきいき富山観光キャンペーン実施協議会が発足す～1983-04-25同キャンペーン事業を実施(～-08-25)
2299	○	1982	4	20		(S57)	富山空港ターミナルビル(株)が発足す
2300	◇	1982	4	23		(S57)	月岡グリーンタウン住宅祭が行わる
2301	◇	1982	4	28		(S57)	富山県植樹祭が行わる
2302	○	1982	4	-		(S57)	井田川水系県営若土発電所の運転開始
2303	◇	1982	5	1		(S57)	入札結果の公表を始める(入札の翌日から1ヶ月間)
2304	○	1982	5	15		(S57)	組合施行による大島町の小島土地区画整理事業(19ha)が認可される
2305	◇	1982	5	18		(S57)	北陸新幹線建設促進期成同盟会総会が開かる
2306	◇	1982	5	25		(S57)	テクノポリス推進協議会が開催さる
2307	◇	1982	6	11		(S57)	有峰発電所の竣工式が行わる
2308	○	1982	6	18		(S57)	県議会定例会(～-06-29)立山黒部アルペンルートのマイカー規制などを論議す
2309	◇	1982	7	6		(S57)	小矢部川流域下水道促進期成同盟会総会が開かる
2310	◇	1982	7	13		(S57)	高山線強化促進同盟会総会が開かる
2311	○	1982	7	15		(S57)	中新川公共下水道事務組合が立山町・上市町・舟橋村の3町村により設立さる
2312	○	1982	7	24		(S57)	第一回世界演劇祭利賀フェスティバル'82が開催さる、6ヶ国11演劇グループが参加(～-08-07)
2313	◇	1982	7	26		(S57)	総合雪対策研究会議が開催さる
2314	◇	1982	8	2	1	(S57)	称名道路が全線開通す(13年ぶり)
2315	◇	1982	8	2	2	(S57)	富山県北陸新幹線対策連絡協議会総会が開催さる
2316	◇	1982	8	2	3	(S57)	北陸自動車道等国道富山県建設促進協議会が開催さる
2317	○	1982	8	4		(S57)	通産省、テクノポリス建設について富山など全国19の候補地を開発構想策定地域に指定す
2318	◇	1982	8	20		(S57)	北陸関東産業道路建設促進同盟会総会が開催さる
2319	◇	1982	9	6		(S57)	富山県総合防災訓練が氷見漁港ほかで行わる
2320	◇	1982	9	9		(S57)	テクノポリス建設促進連絡協議会が開催さる
2321	□	1982	9	20		(S57)	富山市、城山にファミリーパーク建設に着工、総事業費約20億円、自然保護団体は反対
2322	○	1982	10	1	1	(S57)	県民公園新港の森の一部を供用開始～1983-07-10完成
2323	◇	1982	10	1	2	(S57)	白岩川水系工事実施基本計画及び黒瀬川水系工事実施基本計画が認可さる
2324	◇	1982	10	19		(S57)	上市川第二ダム定礎式
2325	□	1982	10	22		(S57)	国道304号五箇山第二トンネルが貫通
2326	◇	1982	10	26		(S57)	花と緑の大会が開催さる
2327	◇	1982	10	27		(S57)	第31回富山県総合開発審議会が開かれ答申が行わる
2328	○	1982	10	30		(S57)	県道押水福岡線堀切トンネルが開通す
2329	◇	1982	11	5		(S57)	入札制度検討委員会を設置す(委員長:副知事)
2330	◇	1982	11	10		(S57)	北陸電力の朝日小川ダムの起工式が行わる
2331	◇	1982	11	29		(S57)	関西電力新愛本発電所の起工式が行わる
2332	□	1982	12	4		(S57)	環境影響評価に基づく北陸新幹線の県内ルートの最終案を提示
2333	◇	1982	12	9		(S57)	富山新港東埋立事業に伴う漁業補償覚書の調印式が行わる
2334	◇	1982	12	24		(S57)	総合雪対策研究会議第二次中間報告が出さる
2335	○	1982	-	-	1	(S57)	57年度一般会計歳出決算3263億1966万2000円
2336	○	1982	-	-	2	(S57)	県、礪波山田川ダム建設を含む礪波山田川総合開発事業に着手す
2337	◇	1982	-	-	3	(S57)	昭和57年の伏木富山港貨物取扱量は、1051万t(伏木地区253万t、富山地区460万t、新湊地区339万t)
2338	◇	1983	1	25		(S58)	富山空港ターミナルビル新築工事起工式が行わる
2339	◇	1983	1	25		(S58)	富山県営総合体育センター新築工事起工式が行わる
2340	○	1983	2	10		(S58)	小矢部市、流域関連公共下水道事業に着手す
2341	○	1983	2	24		(S58)	県議会定例会(～-03-12)北陸新幹線ルート沿線住民の反対意見への対応・地元負担金問題、情報公開制度などを論議す
2342	○	1983	3	12		(S58)	県議会、58年度一般会計当初予算3229億1810万円を可決
2343	◇	1983	3	18		(S58)	富山新港東埋立事業起工式が行わる
2344	○	1983	3	24		(S58)	日本道路公団、東海北陸自動車道福光・礪波間の路線を発表～1985-07-08中心杭打ち式
2345	◇	1983	3	25		(S58)	高岡交通管制センターの点灯式が行わる
2346	◇	1983	3	28		(S58)	(主)朝日宇奈月線の宇奈月トンネル工事の修祓式が行わる
2347	○	1983	3	31	1	(S58)	県道朝日宇奈月線の宇奈月トンネルが供用開始さる
2348	◇	1983	3	31	2	(S58)	城端ダムの用地補償協定書調印式
2349	◇	1983	4	1	1	(S58)	県庁前公園に花時計が完成す
2350	○	1983	4	1	2	(S58)	置県百年記念花時計が県庁前公園に設置さる
2351	◇	1983	4	1	3	(S58)	置県百年記念事業が始まる
2352	◇	1983	4	1	4	(S58)	富山県民総合計画が策定さる
2353	◇	1983	4	5	1	(S58)	にっぽん新世紀博覧会起工式が行わる
2354	○	1983	4	5	2	(S58)	八尾町施行による福島土地区画整理事業(37ha)が決定さる
2355	◇	1983	4	22		(S58)	21世紀の森が開園す
2356	◇	1983	4	25		(S58)	いきいき富山観光キャンペーン開始さる
2357	◇	1983	4	28		(S58)	第34回富山県植樹祭が滑川市で行わる
2358	○	1983	4	-		(S58)	富山県民総合計画が策定さる
2359	◇	1983	5	7		(S58)	花と緑の大会が行わる
2360	○	1983	5	9		(S58)	置県百年記念式典が県民会館で行われる
2361	◇	1983	6	23		(S58)	富山県民総合計画に関する報告会が開催さる
2362	○	1983	6	29		(S58)	県議会定例会(～-07-09)富山市南西部土地利用計画の抜本的見直し、伏木外港計画の縮小、富山八尾中核工業団地の用地価格などを論議す
2363	◇	1983	7	1		(S58)	富山県文化的環境づくり委員会が発足す
2364	◇	1983	7	10		(S58)	県民公園新港の森が開園す
2365	◇	1983	7	11		(S58)	高岡婦中線(南郷道路)が開通す
2366	○	1983	7	15		(S58)	県民公園太閤山ランドの開園式が行われる～-07-16供用開始
2367	○	1983	7	16		(S58)	にっぽん新世紀博覧会が県民公園太閤山ランドで開催さる(～-09-15)、-08-28置県百年記念のタイムカプセルを埋設す
2368	□	1983	7	27		(S58)	小矢部市内山の国道359号で地滑り、1200mにわたって数ヶ所で陥没
2369	○	1983	7	28		(S58)	高岡市、流域関連公共下水道事業に着手す
2370	□	1983	8	1		(S58)	7月15日からの豪雨で公共土木、農業関係で約45億円の被害
2371	□	1983	8	28		(S58)	にっぽん新世紀博覧会の太閤山ランドで置県百年記念のタイムカプセルを埋設す～開封は100年後の2083年8月予定
2372	◇	1983	9	5		(S58)	テクノポリスシンポジウムが開催さる
2373	◇	1983	9	6		(S58)	県総合防災訓練が行わる
2374	◇	1983	9	7		(S58)	富山産業展示館が竣工す、北陸機械工業展が開幕す
2375	◇	1983	9	15		(S58)	にっぽん新世紀博覧会が閉幕す
2376	◇	1983	9	16		(S58)	全日本花いっぱい富山大会が開かる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
2377	○	1983	9	17		(S58)	富山空港が休港す～1984-03-17(S59)
2378	□	1983	9	28		(S58)	台風10号で高山線不通、県内で床上下浸水208戸、道路、河川決壊、山崩れなど13ヶ所
2379	○	1983	9	29		(S58)	福岡町、流域関連公共下水道事業に着手す
2380	◇	1983	10	1		(S58)	国立高岡短期大学が開学す
2381	◇	1983	10	2		(S58)	皇太子ご夫妻、全国育樹祭ご臨席のためご来県、県内各地をご視察～10-04
2382	○	1983	10	3		(S58)	第7回全国育樹祭が立山山麓家族旅行村で行われる
2383	○	1983	10	6		(S58)	県、富山八尾中核工業団地第一期分公募を開始、昭和無線工業(株)等3社が立地を申し込み
2384	○	1983	10	8		(S58)	北陸新幹線着工促進富山県民協議会が結成さる～10-20同着工準備富山作業所の開設
2385	◇	1983	10	11		(S58)	国道359号津沢バイパスが開通す
2386	◇	1983	10	22		(S58)	北陸新幹線着工準備作業所の開設祝賀会が行わる
2387	○	1983	10	27		(S58)	県、小矢部川流域下水道二上浄化センター建設工事に着手す～12-27県及び関係の4市6町1村と同センターが公害防止協定を結ぶ
2388	◇	1983	10	28		(S58)	小杉流通団地の分譲がはじまる
2389	○	1983	10	-		(S58)	国鉄氷見線の対港橋(高岡市内)が架設さる
2390	◇	1983	11	8		(S58)	北陸新幹線の小杉・高岡間の環境アセスメントが行わる
2391	○	1983	11	18		(S58)	県、富山テクノポリス開発計画を発表す
2392	◇	1983	11	22		(S58)	テクノポリス推進協議会が開かる
2393	◇	1983	11	24		(S58)	国鉄神岡線の第三セクターによる運営が合意さる
2394	◇	1983	11	25		(S58)	テクノポリス開発計画が政府に提出さる
2395	○	1983	11	26		(S58)	県、富山八尾中核工業団地への企業立地推進のため補助金交付要綱を制定す自治省、民間活力を導入する地域経済活性化対策推進地域に新川地区広域市町村圏を選定す～1984-12-26高岡地区広域市町村圏を選定
2396	○	1983	12	1		(S58)	国道8号滑川富山バイパスの一部(富山市金泉寺・水橋金尾新間)が開通す
2397	○	1983	12	6		(S58)	県総合雪対策研究会議、総合雪対策に関する報告書を知事に提出す
2398	○	1983	12	9		(S58)	北陸自動車道滑川・朝日間が開通す
2399	○	1983	12	13		(S58)	置県百年記念公開シンポジウム「21世紀をめざす無雪害まちづくり」が開催さる
2400	○	1983	12	14		(S58)	県議会定例会(～12-24)カドミウム汚染田の復元費用問題などを論議す
2401	○	1983	12	16		(S58)	高岡市新横町地区において市街地再開発事業に着手す
2402	○	1983	12	28		(S58)	高岡市新横町地区において市街地再開発事業に着手す
2403	◇	1983	12	-	1	(S58)	ホスト集中型積算システムが本格稼働す(旧積算システム)
2404	○	1983	12	-	2	(S58)	県、行政事務(土木設計積算)の電算によるオンライン処理を開始
2405	○	1983	12	-	3	(S58)	日本電信電話公社富山電気通信部が県内で自動車電話サービスを開始す
2406	○	1983	-	-	1	(S58)	58年度一般会計歳出決算3353億2797万5000円
2407	◇	1983	-	-	2	(S58)	昭和58年の伏木富山港貨物取扱量は、961万t(伏木地区245万t、富山地区412万t、新湊地区304万t)
2408	○	1984	1	18		(S59)	県スパイクタイヤ使用自粛要綱を制定す、自粛期間は毎年3月15日から12月10日まで
2409	◇	1984	1	20		(S59)	神岡鉄道(株)創立総会が開催さる
2410	○	1984	1	21		(S59)	県民公園太閤山ランドにファミリー・スポーツ・プラザ(多目的体育館)が開館す
2411	□	1984	2	3		(S59)	県内に猛吹雪、今冬初の大雪警報、56豪雪でも休まなかった富山市内軌道もダウン
2412	◇	1984	2	10		(S59)	雪害対策本部を設置す
2413	◇	1984	2	11		(S59)	政府調査団(国土庁長官ほか)が来県す
2414	○	1984	2	16		(S59)	(財)富山県スポーツ振興財団が設立され、県営体育施設の管理運営を委託される
2415	◇	1984	2	20		(S59)	富山県行財政改革検討委員会から改善報告書が提出さる
2416	◇	1984	2	24		(S59)	衆議院災害対策特別委員会雪害調査団が来県す
2417	○	1984	2	29		(S59)	県議会定例会(～03-23)河川堤防を利用した道路整備等を論議す
2418	○	1984	3	10		(S59)	国道304号五箇山トンネルが開通す(3072mで県内最長)
2419	◇	1984	3	12		(S59)	中沖知事、県議会で富岩運河は埋立ての考え方もあるが、この貴重な水面を活用していきたい旨表明す
2420	□	1984	3	13		(S59)	県内で1日から連続13日間の降雪記録、3月としては昭和46年の12日間を上回る新記録
2421	◇	1984	3	14	1	(S59)	富山新空港、ターミナルビル、県道富山空港線の竣工式が行わる
2422	□	1984	3	14	2	(S59)	立山一帯の積雪は天狗平で7.5m、弥陀ヶ原で7mと56豪雪より1m以上多く、46年のアルペンルート開通以来の積雪量
2423	◇	1984	3	17		(S59)	富山中部スーパー農道の新保大橋が竣工す
2424	○	1984	3	18		(S59)	新富山空港が開港、富山・東京間にB737型機4往復就航す～07-01新ダイヤの実施により日帰りビジネスが可能となる
2425	◇	1984	3	20		(S59)	熊野川ダム試験湛水開始
2426	○	1984	3	23	1	(S59)	県議会、59年度一般会計当初予算3313億3488万円を可決
2427	□	1984	3	23	2	(S59)	59豪雪の県雪害対策本部を解散、死者22人で全国最多、重軽傷者87人、直接間接の被害額418億6400万円、富山市の累計降雪量694cm
2428	○	1984	3	24	1	(S59)	通産・建設・国土・農水の4省庁、富山・高岡・八尾・婦中・小杉・大門の2市4町を範囲とする富山テクノポリス開発計画を承認す
2429	◇	1984	3	24	2	(S59)	富山テクノポリス開発計画が承認さる
2430	◇	1984	3	30		(S59)	北陸自動車道の朝日町(上横尻～大平)地内の用地取得の調印が行わる
2431	□	1984	3	31		(S59)	富山市内軌道山室線が廃線
2432	○	1984	4	1		(S59)	県、総務部情報公開準備室を設置す
2433	◇	1984	4	23		(S59)	富山エフエム放送(株)が発足す
2434	○	1984	4	28		(S59)	富山市ファミリーパークが開園す
2435	○	1984	5	9		(S59)	本県と中国遼寧省が友好県省締結協定書に調印す
2436	◇	1984	5	11		(S59)	第35回富山県植樹祭が黒部市で行わる
2437	◇	1984	5	17		(S59)	道路整備促進緊急総決起大会が開催さる
2438	◇	1984	5	20		(S59)	富山空港モニュメントの除幕式が行わる
2439	◇	1984	5	24		(S59)	OECD工業委員会が富山テクノポリスを視察す
2440	◇	1984	5	30		(S59)	新笹川トンネルの起工式が行わる
2441	◇	1984	5	31	1	(S59)	県総合体育センターの竣工式が行わる
2442	◇	1984	5	31	2	(S59)	富山湾総合利用研究会議が開催さる
2443	○	1984	6	1		(S59)	県総合体育センター(スポーツパレス)が開設さる～1985-06-01室内プールが完成す
2444	◇	1984	6	14		(S59)	整備新幹線着工実現総決起大会が開催さる
2445	◇	1984	6	16		(S59)	熊野川ダム竣工式
2446	○	1984	6	18		(S59)	県議会定例会(～06-29)北陸新幹線着工問題などを論議す
2447	○	1984	7	1	1	(S59)	県、総合雪対策研究会議を改組し同推進会議を設置す
2448	◇	1984	7	1	2	(S59)	富山空港の運用時間が延長さる
2449	◇	1984	7	2		(S59)	富山空港周辺緩衝緑地帯造成事業に関し、公害防止事業団との調印式が行わる
2450	◇	1984	7	12	1	(S59)	高山本線強化促進同盟会総会が開催さる
2451	◇	1984	7	12	2	(S59)	北陸新幹線建設促進同盟総会が開催さる
2452	◇	1984	7	16		(S59)	北陸自動車道等四道建設促進協議会総会が開催さる
2453	◇	1984	7	21		(S59)	富山空港にボーイング767型機が就航す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
2454	◇	1984	7	23		(S59)	第一回総合雪対策推進会議が開催さる 県緑花推進県民会議が設置さる～1985-02-19同会議が65年度を目標とするグリーンプランを承認す
2455	○	1984	7	25		(S59)	県緑化計画策定委員会でグリーンプラン案を策定す
2456	◇	1984	8	22		(S59)	礪波市、流域関連公共下水道事業に着手す
2457	○	1984	8	－		(S59)	県総合防災訓練が高岡市で行わる
2458	◇	1984	9	4	1	(S59)	第一回緑化推進県民会議が開催さる
2459	◇	1984	9	4	2	(S59)	県議会定例会(～-27)富山空港、雪対策、港湾整備などを論議す
2460	○	1984	9	11		(S59)	能越自動車道建設富山県総決起大会が開催さる
2461	◇	1984	9	26		(S59)	射水地区広域圏事務組合の射水郷清掃センター竣工す
2462	○	1984	9	29		(S59)	神岡鉄道(株)、第三セクター方式で営業を開始す
2463	○	1984	10	1		(S59)	富山駅北の勤労者総合福祉センター(ボルファートとやま)の竣工式が行わる
2464	○	1984	10	3		(S59)	常願寺川緑地公園の開園式が行わる
2465	◇	1984	10	6		(S59)	県、常願寺川公園を開設す
2466	○	1984	10	7		(S59)	県・八尾町・地域振興整備公団・富士通(株)が富山八尾中核工業団地の立地に 関する協定を結ぶ
2467	○	1984	10	18		(S59)	第12回知事選挙で中沖豊再選
2468	○	1984	10	28		(S59)	県営富山八尾中核工業団地工業用水道の一部給水開始
2469	○	1984	10	－	1	(S59)	片貝川・布施川に落合橋(魚津市経田・黒部市石田間)が架設さる
2470	○	1984	10	－	2	(S59)	富山新港・ソ連ポストーチヌイ港間に日ソ・コンテナ定期航路が開設され、富山新 港に第1船が入港す
2471	○	1984	11	2		(S59)	県営圃場整備事業雄神地区、若林地区が完工す
2472	◇	1984	11	6		(S59)	黒部市施行による牧野土地区画整理事業(24.7ha)が決定さる
2473	○	1984	11	16		(S59)	総合雪対策に関する県民懇談会が富山市、高岡市で開催さる
2474	◇	1984	11	19		(S59)	カドミ汚染田パイロット第一次工事が完了す
2475	◇	1984	11	20		(S59)	上市川第二ダム試験湛水開始
2476	◇	1984	11	30		(S59)	滑川市、特定環境保全公共下水道事業に着手す
2477	○	1984	11	－		(S59)	国道8号小矢部バイパスが開通す
2478	○	1984	12	6		(S59)	北陸新幹線着工実現総決起大会が開催さる
2479	◇	1984	12	24		(S59)	昭和60年度政府予算編成において北陸新幹線が昭和60年8月を目途に着工 が決定
2480	◇	1984	12	28		(S59)	福野町、流域関連公共下水道事業に着手す
2481	○	1984	12	－		(S59)	59年度一般会計歳出決算3399億8313万9000円
2482	○	1984	－	－	1	(S59)	この年、県内の自動車台数は50万8220台
2483	○	1984	－	－	2	(S59)	県の熊野川ダム建設を含む熊野川総合開発事業が完了す
2484	○	1984	－	－	3	(S59)	黒部川地区で国営農業水利事業に着工
2485	○	1984	－	－	4	(S59)	昭和59年の伏木富山港貨物取扱量は、1043万t(伏木地区240万t、富山地区 443万t、新湊地区360万t)
2486	◇	1984	－	－	5	(S59)	本県の出生率、2年連続46位となる～1972(S47)年をピークに出生率は次第に低 下し、56、57年には全国最低となる
2487	○	1984	－	－	6	(S59)	環境庁、名水百選に黒部川扇状地湧水群(黒部市、入善町)、穴の谷の霊水(上 市町黒川)を選定す～03-28瓜裂の清水(庄川町金屋)、立山玉殿の湧水(立山町 室堂平)を追加選定
2488	○	1985	1	4		(S60)	県、地域ぐるみ除排雪活動小型機械等整備事業を県内16市町村20地区で実施 す
2489	○	1985	1	12		(S60)	今冬3度目の大雪警報、富山108cm、魚津128cm、福光、上市で雪害対策本部 設置、国鉄、航空、北陸道マヒ状態
2490	□	1985	1	14		(S60)	専決処分による除雪費を追加補正す
2491	◇	1985	1	17		(S60)	富山県総合雪対策条例要綱案を公表す
2492	◇	1985	1	23		(S60)	総合雪対策に関する市町村長会議が開かる
2493	◇	1985	1	24		(S60)	総合雪対策に関する関係団体長会議が開かる
2494	◇	1985	1	25		(S60)	県営上市川第二発電所が一部営業運転を開始す
2495	◇	1985	1	27		(S60)	前年末28日からの大雪で富山市の降雪量累計561cmで38豪雪の555cmを超 える、最深積雪も138cmと56豪雪の160cmに次ぐ
2496	□	1985	1	30		(S60)	上市川水系県営上市川第二発電所の運転を開始す
2497	○	1985	1	－		(S60)	総合雪対策推進会議が「総合的な雪対策に関する条例の制定について」報告書 を提出す
2498	◇	1985	2	1		(S60)	「富山県史」刊行記念式が行わる
2499	◇	1985	2	5		(S60)	「雪と人・くらし」公開シンポジウムが開催さる
2500	◇	1985	2	17		(S60)	第2回富山県緑花推進県民会議において「富山県グリーンプラン」が決まる
2501	◇	1985	2	19		(S60)	富山ターミナルビル(株)設立発起人会が開かる
2502	◇	1985	2	20		(S60)	小川水系工事実施基本計画及び余川川水系工事実施基本計画が認可さる
2503	◇	1985	2	26		(S60)	県議会定例会(～-03-22)北陸新幹線の着工問題などを論議す
2504	○	1985	2	28		(S60)	県議会、60年度一般会計当初予算3440億3735万2000円を可決す
2505	○	1985	3	22		(S60)	県、産業廃棄物埋立センター条例を公布す
2506	○	1985	3	26	1	(S60)	県、総合雪対策条例を公布す～-09-01施行
2507	○	1985	3	26	2	(S60)	昭和59年度の富山空港利用者数は39万9583人
2508	◇	1985	3	31		(S60)	「とやま21世紀水公園神通川プラン(仮称)」が策定さる、この中にカナルパーク (富岩運河環水公園)が位置づけらる
2509	◇	1985	3	－	1	(S60)	常願寺川水系雄山第一・第二発電所の運転を開始す
2510	○	1985	3	－	2	(S60)	新川広域圏事務組合が新広域市町村計画を策定す
2511	○	1985	3	－	3	(S60)	県、知事公室に水雪対策室を設置す
2512	○	1985	4	1	1	(S60)	黒川ダム建設事業開始
2513	◇	1985	4	1	2	(S60)	知事公室内に「水雪対策室」が設置さる
2514	◇	1985	4	1	3	(S60)	湯道丸ダム予備調査開始～1992-03-31(H04)
2515	◇	1985	4	1	4	(S60)	百瀬ダム予備調査開始～1991-03-31(H03)
2516	◇	1985	4	1	5	(S60)	富山エフエム放送(株)が放送を開始す
2517	○	1985	4	1	6	(S60)	富山駅前再開発の一環である富山ターミナルビルの設立総会が開かれる
2518	○	1985	4	2		(S60)	高志会館新築工事着工す
2519	◇	1985	4	17		(S60)	神通川水系獺師ヶ原発電所の運転を開始す
2520	○	1985	4	24		(S60)	第36回県植樹祭が福光町で行わる
2521	◇	1985	4	25		(S60)	富山県日中友好団体連合会が本県と遼寧省の友好県省締結1周年を記念し、 「日中友好富山県民の翼」一行を遼寧省に派遣す
2522	○	1985	5	7		(S60)	県、伏木富山港と中国大連港との友好港提携協議書に調印す
2523	○	1985	5	8		(S60)	行革検討委員会が報告書を提出
2524	◇	1985	5	31		(S60)	関西電力新愛本発電所の出し平ダムの湛水式、総工費780億円、工期約3年
2525	□	1985	6	4		(S60)	全国治水大会が富山市公会堂で開催さる
2526	○	1985	6	6		(S60)	立山砂防60周年記念式典が挙行さる
2527	◇	1985	6	13		(S60)	中小企業庁の商店街活性化事業のコミュニティマート構想に富山市中央商店街 が指定さる
2528	□	1985	6	14		(S60)	中沖知事、県議会で富岩運河の船だまり地区を駅北の開発と関連させながら水 に親しむ文化地区と位置付け、水を活用した公園～カナルパークとしていきたい旨 表明す
2529	◇	1985	6	26		(S60)	

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
							県内に大雨、宇奈月で235mm、家屋全壊4、床上浸水55戸、床下浸水506戸、非住家損壊55、道路41、河川一部損壊11、水田冠水500ha、県道富山高岡線、地鉄立山線で土砂崩れのため通行止め
2530	□	1985	6	30		(S60)	高山線強化促進同盟会総会が開催さる
2531	◇	1985	7	4		(S60)	東海北陸自動車道の福光インターチェンジで中心杭打ち式が行わる
2532	◇	1985	7	8	1	(S60)	北陸自動車道等建設促進同盟会総会が開催さる
2533	◇	1985	7	8	2	(S60)	新潟県青海町と朝日町横尾間が豪雨で土砂崩れ、全面通行止め
2534	□	1985	7	10		(S60)	県庁別館が起工さる
2535	◇	1985	7	12		(S60)	県内に豪雨、死者1人、負傷者3人、住宅全半壊9戸、床上浸水99戸、床下浸水1689戸、公共土木113億2500万円、田畑冠水1147ha、農林業68億1900万円など計181億5900万円の被害
2536	□	1985	7	14		(S60)	黒部川水系新愛本発電所が運転開始(-06-04出し平ダム湛水開始)～-09-27音沢発電所と改称
2537	○	1985	7	18		(S60)	富山県とブラジル・サンパウロの友好県締結調印式が現地で行われ、中沖知事が出席
2538	□	1985	7	19		(S60)	能越自動車道建設促進総決起大会が開催さる
2539	◇	1985	7	22		(S60)	県・八尾町・地域振興整備公団・国際電気(株)が富山八尾中核工業団地の立地に関する協定を結ぶ
2540	○	1985	8	5		(S60)	総合雪対策推進会議が開催さる
2541	◇	1985	8	6		(S60)	海洋総合利用研究会議が開催さる
2542	◇	1985	8	7		(S60)	魅力あるまちづくり委員会が開かる
2543	◇	1985	8	12		(S60)	北陸新幹線建設促進同盟会総会が開かる
2544	◇	1985	8	20		(S60)	’85まちづくりシンポジウムが開催さる
2545	◇	1985	8	28		(S60)	県総合防災訓練が黒部市で行わる
2546	◇	1985	9	3		(S60)	北陸新幹線着工促進富山県民協議会総会が開催さる
2547	◇	1985	9	6		(S60)	上市川第二ダム竣工式
2548	◇	1985	9	7		(S60)	総合雪対策推進会議が開催さる
2549	◇	1985	9	12		(S60)	北アルプス文化センターが上市町に開館す
2550	○	1985	9	18		(S60)	臼中ダムの定礎式が行わる
2551	◇	1985	9	30	1	(S60)	富山大学工学部が高岡市から富山市五福に移転す
2552	○	1985	9	30	2	(S60)	県民公園野鳥の園が開園す
2553	◇	1985	10	1	1	(S60)	国勢調査、県人口111万8369人、男53万8955人、女57万9414人、世帯数30万526
2554	○	1985	10	1	2	(S60)	富山高校の創立100周年記念式典が行わる
2555	◇	1985	10	1	3	(S60)	第1回富山県育樹祭が頼成の森で開催さる
2556	○	1985	10	8		(S60)	県、公文書センターの起工式を行う
2557	○	1985	10	12		(S60)	日本雪氷学会秋季大会が富山市で開催さる
2558	◇	1985	10	14	1	(S60)	林道別又・僧ヶ岳線が竣工す
2559	◇	1985	10	14	2	(S60)	日本雪氷学会秋季大会が富山市で開催さる
2560	○	1985	10	15	1	(S60)	北陸の雪を考えるシンポジウムが開かる
2561	◇	1985	10	15	2	(S60)	富山県総合雪対策推進会議が開かる
2562	◇	1985	10	18	1	(S60)	能登半島沖地震、富山市が震度3
2563	□	1985	10	18	2	(S60)	建設省直轄砂防事業による常願寺川水系真川第4号砂防ダムが完成
2564	○	1985	10	28		(S60)	富山空港の乗降客が開港以来200万人を突破
2565	○	1985	10	31		(S60)	庄川町、流域関連公共下水道事業に着手す
2566	○	1985	10	-		(S60)	NHK富山放送局の放送開始50周年記念式典が行わる
2567	◇	1985	11	1	1	(S60)	第13回花と緑の大会が開かる
2568	◇	1985	11	1	2	(S60)	富山大学工学部統合移転祝賀会が行わる
2569	◇	1985	11	1	3	(S60)	大規模運動公園基本計画の策定業務に着手、国体の主会場となる面積約50haの運動公園の内容について検討、建設位置についての検討～1986-03-25(S61)
2570	◇	1985	11	12		(S60)	総合雪対策推進会議が開催さる
2571	◇	1985	11	14		(S60)	富山県東海北陸自動車道建設促進同盟会が設立さる
2572	○	1985	11	21		(S60)	総合雪対策推進会議が報告書を提出す
2573	◇	1985	11	26		(S60)	県、富山市五福地内県道の歩道で地熱利用のヒートパイプ融雪装置の実験を行う
2574	○	1985	11	30		(S60)	う
2575	◇	1985	12	2		(S60)	行政改革委員会から「県の行政改革推進についての基本方針」が報告さる
2576	◇	1985	12	3		(S60)	全国初の豪雪対策図上訓練が行わる
2577	○	1985	12	6		(S60)	県議会定例会(～-12-18)人口問題、富山新港東西埋立て地の利用などを論議す
2578	◇	1985	12	16		(S60)	12月中旬のドカ雪としては史上最高の積雪
2579	◇	1985	12	24		(S60)	整備新幹線着工実現総決起大会が開催さる
2580	○	1985	12	25		(S60)	日本鉄建公団、北陸新幹線工事実施計画(高崎・小松間)の認可申請書を運輸省に提出す
2581	◇	1985	12	-	1	(S60)	年末の政府予算案において富山駅北地区が新都市拠点整備事業調査費補助として採択が認めらる～とやま都市MIRAI計画のはじまり
2582	○	1985	12	-	2	(S60)	井波町、流域関連公共下水道事業に着手す
2583	○	1985	12	-	3	(S60)	魚津市、公共下水道事業に着手す
2584	○	1985	-	-	1	(S60)	60年度一般会計歳出決算3614億8849万3000円
2585	○	1985	-	-	2	(S60)	県、黒川治水ダム建設事業に着手す
2586	◇	1985	-	-	3	(S60)	昭和60年の伏木富山港貨物取扱量は、1111万t(伏木地区234万t、富山地区441万t、新湊地区436万t)
2587	◇	1986	1	7		(S61)	五福公園の都市計画を変更(面積12.4ha→15.6haに拡張)
2588	□	1986	1	16		(S61)	NTT富山支社が富山・高岡間で光ファイバーケーブルの運用開始
2589	◇	1986	1	17	1	(S61)	全国克雪シンポジウムが富山で開催さる
2590	◇	1986	1	17	2	(S61)	全国克雪利雪産業技術見本市が開催さる
2591	◇	1986	2	20	1	(S61)	うるおいのある環境づくり委員会が開催さる
2592	◇	1986	2	20	2	(S61)	緑花推進県民会議が開かる
2593	◇	1986	2	25		(S61)	北陸自動車道泊トンネルの貫通式が行わる
2594	◇	1986	2	27		(S61)	山田村、特定環境保全公共下水道事業に着手す～1990-03-31(H02)山田村浄化センターの供用開始
2595	◇	1986	2	28		(S61)	滑川市施行による駅南土地地区画整理事業の事業計画決定
2596	◇	1986	3	16		(S61)	北陸新幹線富山駅周辺環境整備事業の起工式が行わる
2597	◇	1986	3	22		(S61)	県議会、61年度一般会計当初予算3619億7300万円、うち土木部一般会計当初予算811億7100万円を可決す
2598	◇	1986	3	25		(S61)	富山県屋外広告物条例一部改正(講習会手数料を3,000円へ)
2599	◇	1986	3	31	1	(S61)	(一)田中横尾線、新笹川トンネル開通す
2600	◇	1986	3	31	2	(S61)	昭和60年度の富山空港利用者数は45万4575人
2601	◇	1986	4	1	1	(S61)	「県管理道路と市町村道との消雪施設共同利用要領」を策定、適用実施す
2602	◇	1986	4	1	2	(S61)	岩瀬スポーツ公園の管理棟、園路広場の一部供用開始(面積8.1ha→8.8ha)
2603	◇	1986	4	1	3	(S61)	五福公園の変更供用開始(多目的広場追加、東側園地除外)(面積12.4ha→13.5ha)
2604	◇	1986	4	1	4	(S61)	市町村への県単補助事業である「無雪害街づくり事業」を「無雪害街づくり事業パートⅡ」としてリニューアル
2605	◇	1986	4	1	5	(S61)	知事公室と生活環境部を再編整備し、「企画県民部」を設置す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
2606	◇	1986	4	1	6	(S61)	土木部用地課を廃止し、企画用地課を設置す(管理、企画調整、用地指導、雪対策、高速・市町村道の5係)
2607	◇	1986	4	1	7	(S61)	片貝川ダム実施計画調査開始
2608	□	1986	4	23		(S61)	北陸自動車道の親不知トンネル(2.3km)の貫通式
2609	◇	1986	4	30		(S61)	高志会館:パレ・プラン竣工す
2610	◇	1986	4	-	1	(S61)	とやまURUOI委員会が設置さる
2611	◇	1986	4	-	2	(S61)	都市景観形成モデル事業の創設
2612	◇	1986	5	7		(S61)	(主)金沢井波線の医王トンネルが開通す
2613	◇	1986	5	8		(S61)	第37回富山県植樹祭が行わる
2614	□	1986	5	28		(S61)	富山駅周辺地域整備の一環として地上11階建ての電鉄富山駅ビル建設着工
2615	◇	1986	5	30		(S61)	総合雪対策推進会議が開催さる
2616	◇	1986	5	31		(S61)	国立高岡短期大学開学記念式典が行わる～1986-04より学生を受け入れず
2617	◇	1986	6	1		(S61)	市道滑川富山線の伊遠乃見橋が開通(滑川市)
2618	◇	1986	6	2	1	(S61)	とやまURUOI会議が開催さる
2619	◇	1986	6	2	2	(S61)	広域基幹林道能越線が竣工す
2620	◇	1986	6	14		(S61)	滑川市施行による駅前土地区画整理事業の換地処分
2621	◇	1986	6	17		(S61)	伏木富山港が特定重要港湾に指定さる～全国で19番目
2622	◇	1986	6	19		(S61)	'86まちづくりシンポジウムが開催さる
2623	◇	1986	7	1		(S61)	宇奈月町宇奈月浄化センターの通水式が行わる
2624	□	1986	7	9		(S61)	北方電力(株)は常願寺、神通、手取など11水系にある計116の水力発電所の全てを無人化
2625	◇	1986	7	21		(S61)	北陸新幹線着工促進富山県民協議会総会が開催さる
2626	◇	1986	7	26	1	(S61)	組合施行による小矢部市石動駅南第一土地区画整理事業の都市計画決定
2627	◇	1986	7	26	2	(S61)	伏木富山港港湾計画(改訂)が公示さる
2628	◇	1986	7	30		(S61)	県庁東別館が竣工す～情報公開の準備が進む
2629	□	1986	8	3		(S61)	建設省が「日本の道百選」に八尾町の町道諏訪町本通りなど50ヶ所を選定
2630	◇	1986	8	11		(S61)	境川総合開発の開津橋が竣工す
2631	◇	1986	8	18	1	(S61)	「日本の道100選」の建設大臣顕彰伝達式が行わる
2632	◇	1986	8	18	2	(S61)	立山町施行による中前沢土地区画整理事業の都市計画決定
2633	◇	1986	8	20		(S61)	整備新幹線早期着工総決起大会が開催さる
2634	◇	1986	9	3		(S61)	県総合防災訓練が行わる
2635	◇	1986	9	12		(S61)	21世紀中部圏フォーラムが富山で開催さる
2636	◇	1986	9	13		(S61)	朝日小川ダム定礎式
2637	◇	1986	10	1	1	(S61)	高岡新横町市街地再開発ビルが竣工す
2638	◇	1986	10	1	2	(S61)	富山県高岡文化ホールが開館す
2639	◇	1986	10	2		(S61)	滑川市施行による駅前土地区画整理事業の完工式
2640	◇	1986	10	3		(S61)	富山県東海北陸自動車道建設促進同盟会総会が開かる
2641	◇	1986	10	4		(S61)	常願寺川公園テニスコート、野球広場が供用開始(面積14.0ha→19.0ha)
2642	◇	1986	10	6		(S61)	国営黒部川沿岸農業水利事業が起工す
2643	◇	1986	10	7		(S61)	国営氷見農業水利事業五位ダムの定礎式が行わる
2644	◇	1986	10	8		(S61)	第2回県育樹祭が行わる
2645	◇	1986	10	15		(S61)	県営土地改良総合整備事業高岡地区が起工す
2646	◇	1986	10	16		(S61)	富山新港に帆船海王丸が入港す
2647	◇	1986	10	18		(S61)	県営圃場整備事業蟹谷地区が起工す
2648	◇	1986	10	20		(S61)	組合施行による滑川市上小泉西土地区画整理事業の都市計画決定
2649	◇	1986	10	24	1	(S61)	城端ダムの本体起工
2650	◇	1986	10	24	2	(S61)	緑花推進県民会議が開かる
2651	◇	1986	10	28		(S61)	第2回URUOI会議が開催さる
2652	◇	1986	10	30	1	(S61)	県営射水地区灌漑排水事業が完工す
2653	◇	1986	10	30	2	(S61)	第14回花と緑の大会が開かる
2654	◇	1986	11	8		(S61)	県営上市川第三発電所が運転を開始す
2655	◇	1986	11	18	1	(S61)	組合施行による小矢部市石動駅南第一土地区画整理事業の事業計画決定
2656	◇	1986	11	18	2	(S61)	北陸新幹線建設促進議員連盟役員会が開かる
2657	◇	1986	11	19		(S61)	第1回高度情報推進会議が開かる
2658	◇	1986	11	25		(S61)	組合施行による高岡市能町土地区画整理事業の完工式
2659	◇	1986	11	28	1	(S61)	海洋総合利用研究会議が開かる
2660	◇	1986	11	28	2	(S61)	県営広域営農団地農道整備事業新川黒部大橋が竣工す
2661	◇	1986	11	28	3	(S61)	第4次特定交通安全施設等五箇年計画(S61～H02)が閣議決定さる
2662	◇	1986	11	30		(S61)	立山黒部アルペンルートの入り込み客が12年ぶりに100万人を突破す
2663	◇	1986	11	-		(S61)	黒部市、公共下水道事業に着手す～1992-01-01(H04)黒部浄化センターの供用開始
2664	◇	1986	12	3		(S61)	雪害対策連絡会議が開かる
2665	◇	1986	12	4		(S61)	北陸自動車道境トンネルが貫通す(1988年秋全面開通へ)
2666	◇	1986	12	9		(S61)	国道8号滑川富山バイパスが開通す
2667	◇	1986	12	14		(S61)	富山県屋外広告物審議会の建議(「富山駅周辺における屋外広告物の規制と誘導について」)
2668	◇	1986	12	20		(S61)	地下水保全の観点から消雪用水源に関する文書を各土木事務所に通知す
2669	◇	1986	12	25	1	(S61)	(都)桜馬場長慶寺線(高岡市中川地内)の着手(～H04)
2670	◇	1986	12	25	2	(S61)	岩瀬スポーツ公園の都市計画決定の変更(面積9.4ha→20.6haに拡張)
2671	◇	1986	12	25	3	(S61)	組合施行による滑川市上小泉西土地区画整理事業の事業計画決定
2672	◇	1986	12	25	4	(S61)	北陸新幹線整備促進議員連盟総決起大会が開かる
2673	◇	1986	12	27		(S61)	富山県総合運動公園建設位置が富山市新保地区に決定、地元と覚書を交換す
2674	◇	1986	12	-		(S61)	大沢野町、公共下水道事業に着手す～1992-04-01(H04)大沢野浄化センターの供用開始
2675	◇	1986	-	-	1	(S61)	3年続けての大雪(61大雪)
2676	◇	1986	-	-	2	(S61)	昭和61年の伏木富山港貨物取扱量は、1076万t(伏木地区208万t、富山地区433万t、新湊地区435万t)
2677	◇	1986	-	-	3	(S61)	昭和61年度一般会計歳出決算3767億5400万円、うち土木部一般会計歳出決算825億3800万円
2678	◇	1986	-	-	4	(S61)	昭和61年度上半期発注目標率80.1%、発注実績率80.2%
2679	◇	1987	1	14		(S62)	(都)万葉線(氷見市本町～本町)の着手(～H01)
2680	◇	1987	1	16		(S62)	国土政策懇談会が富山で開催さる
2681	◇	1987	2	10		(S62)	行政改革委員会が開かる
2682	◇	1987	2	13		(S62)	北陸新幹線建設促進議員連盟役員会が開かる
2683	◇	1987	3	13		(S62)	県議会、62年度一般会計当初予算3767億4900万円、うち土木部一般会計当初予算847億300万円を可決す
2684	◇	1987	3	18		(S62)	(都)三日市新光寺線(黒部市三日市～三日市)の着手(～H06、駅前広場3,200㎡含む)
2685	◇	1987	3	25		(S62)	庄川水系工事実施基本計画を改定す
2686	◇	1987	3	26		(S62)	第36回総合開発審議会が開かる～後期事業計画が策定さる
2687	◇	1987	3	27		(S62)	県公文書館が竣工す
2688	◇	1987	3	28	1	(S62)	2000年国体誘致推進会議が県体協に設置さる
2689	◇	1987	3	28	2	(S62)	さよなら国鉄記念講演会が開かる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
2690	◇	1987	3	31	1	(S62)	昭和61年度の富山空港利用者数は51万1739人(単年度で50万人突破ははじめて)
2691	◇	1987	3	31	2	(S62)	富山県屋外広告物条例施行規則一部改正(日本国有鉄道民営化に伴うもの)
2692	◇	1987	3	－	1	(S62)	富山県第五期住宅建設五箇年計画を策定す(計画期間S61～H02)
2693	◇	1987	3	－	2	(S62)	富山県都市景観形成ガイドラインの策定
2694	◇	1987	3	－	3	(S62)	富山市高志会館周辺地区都市景観形成モデル事業完了
2695	◇	1987	4	1	1	(S62)	岩瀬スポーツ公園の芝生広場の供用を開始す(面積8. 8ha→9. 4ha)
2696	◇	1987	4	1	2	(S62)	五福公園の東側駐車場ほかの供用を開始す(面積13. 5ha→15. 6ha)
2697	◇	1987	4	1	3	(S62)	財務会計オンライン始動す
2698	◇	1987	4	1	4	(S62)	情報公開制度始まる
2699	◇	1987	4	1	5	(S62)	都市計画課内に総合運動公園建設班を設置す
2700	□	1987	4	6		(S62)	富山南総合公園内に富山能楽堂が完成
2701	◇	1987	4	24		(S62)	花総合センター「エレガガーデン」竣工す
2702	◇	1987	4	28	1	(S62)	空港スポーツ緑地開園(面積6. 8ha)A地区3. 5ha(陸上競技場、多目的舗装広場)、B地区3. 3ha(硬式テニスコート6面、管理事務所、展望広場、池・流れの広場他)
2703	◇	1987	4	28	2	(S62)	常願寺川公園サッカー広場が供用開始(面積＝19. 0ha→21. 0ha)
2704	◇	1987	5	8		(S62)	第38回富山県植樹祭が小杉町で行わる
2705	◇	1987	5	11		(S62)	小矢部市内山地すべり災害復旧工事竣工式
2706	◇	1987	5	13		(S62)	総合雪対策推進会議が開かる
2707	◇	1987	5	19		(S62)	上市川第三発電所が竣工す
2708	□	1987	5	20		(S62)	日本海発電(株)がミニ発電所として大山町に熊野川発電所を完成
2709	◇	1987	5	30		(S62)	(都)富山駅北線の都市計画決定
2710	◇	1987	6	3		(S62)	県営灌漑排水久婦須地区が完工す
2711	◇	1987	6	11		(S62)	第55回(2000年)国体誘致委員会設立総会が開かる
2712	◇	1987	6	12		(S62)	緑花推進県民会議が開かる
2713	□	1987	6	15		(S62)	北陸自動車道の市振トンネル(3318m)の貫通式
2714	◇	1987	6	23		(S62)	富山県総合運動公園基本設計の策定～1988-03-25(S63)
2715	◇	1987	6	30	1	(S62)	第四次全国総合開発計画が閣議決定さる
2716	◇	1987	6	30	2	(S62)	能越自動車道、中部縦貫自動車道が高規格幹線道路網計画に組み入れらる
2717	◇	1987	6	30	3	(S62)	立山黒部地区が国際観光モデル地区に指定さる
2718	◇	1987	7	1	1	(S62)	空港スポーツ緑地のC地区(多目的芝生広場、ゲートボール広場4面、駐車場他)供用開始(面積6. 8ha→9. 7ha)
2719	◇	1987	7	1	2	(S62)	新湊漁港(東地区)が開港す
2720	◇	1987	7	1	3	(S62)	大山町大山処理場の通水式が行わる
2721	◇	1987	7	1	4	(S62)	富山空港の運用時間が13時間に延長さる
2722	◇	1987	7	2		(S62)	北陸新幹線着工促進富山県民協議会総会が開催さる
2723	◇	1987	7	6		(S62)	第3回URUOI会議が開催さる
2724	◇	1987	7	16		(S62)	高山本線強化促進同盟会総会が開かる
2725	◇	1987	7	17		(S62)	木の住まい展が開かる
2726	◇	1987	7	21		(S62)	まちづくりシンポジウムが開催さる
2727	◇	1987	7	－		(S62)	落合橋歩道橋完成(婦中町)
2728	◇	1987	8	1		(S62)	富山・東京便にボーイング767ストレッチ型機就航
2729	◇	1987	8	3		(S62)	国道359号、婦中大橋開通す(県内初の有料橋)
2730	◇	1987	8	4		(S62)	北陸新幹線建設促進同盟会総会が開催さる
2731	☆	1987	8	24		(S62)	富山市の松川で観光遊覧船の試乗会が行われ、F. モレシャンさん等が参加
2732	◇	1987	8	28		(S62)	富山駅周辺地区の新都市拠点整備事業調査協議会が開かる
2733	□	1987	8	31		(S62)	台風12号県内で猛威ふるい、井波町で瞬間最大風速33. 3mを記録、富山市西町でアーケードの天井が落下
2734	□	1987	9	1		(S62)	県総合雪対策条例が施行、都道府県レベルでは全国初
2735	◇	1987	9	4		(S62)	県総合防災訓練が行わる
2736	◇	1987	9	12		(S62)	富山駅南にターミナルビル「マリエとやま」がオープンす
2737	◇	1987	9	24	1	(S62)	組合施行による礪波市中村土地区画整理事業の都市計画決定
2738	◇	1987	9	24	2	(S62)	組合施行による礪波市鍋島中央土地区画整理事業の都市計画決定
2739	◇	1987	9	24	3	(S62)	富山空港の滑走路端のターニングパッドを拡幅す
2740	☆	1987	10	1		(S62)	富山観光遊覧船(株)が設立さる
2741	◇	1987	10	5		(S62)	城端・氷見線活性化推進協議会が開かる
2742	◇	1987	10	6	1	(S62)	第三回富山県育樹祭が行わる
2743	◇	1987	10	6	2	(S62)	富山県東海北陸自動車道建設促進同盟会総会が開催さる
2744	◇	1987	10	6	3	(S62)	北陸自動車道富山県建設促進協議会総会が開催さる
2745	◇	1987	10	17	1	(S62)	組合施行による小矢部市津沢第一土地区画整理事業の事業計画決定
2746	◇	1987	10	17	2	(S62)	富山県下水道公社設立発起人会が開かる～11-01設立になる
2747	◇	1987	10	31		(S62)	第2回線引き都市計画の全体見直し
2748	◇	1987	10	－		(S62)	町道下轡田西本郷線開通(婦中町)
2749	◇	1987	11	1		(S62)	(財)富山県下水道公社が設立さる
2750	◇	1987	11	5		(S62)	第5回花と緑の大会が開かる
2751	□	1987	11	12	1	(S62)	海岸部を通る高速道路橋として日本最長の北陸自動車道親不知海岸高架橋の連結式が新潟県青海町の現地で行わる
2752	◇	1987	11	12	2	(S62)	県営灌漑排水事業片貝川左岸地区完工式が行わる
2753	◇	1987	11	12	3	(S62)	国道8号富山高岡バイパス全線4車線化記念式が行わる
2754	◇	1987	11	17		(S62)	富山県総合雪対策推進会議が開催さる
2755	◇	1987	11	20		(S62)	建築百選発表記念式典が行わる
2756	◇	1987	11	30		(S62)	渡船「こしのかた」が竣工す
2757	◇	1987	12	1		(S62)	富山県道路除雪対策本部が設置さる
2758	◇	1987	12	5	1	(S62)	(都)栄町新又線(礪波市中村～新又)の着手(～H05)
2759	◇	1987	12	5	2	(S62)	組合施行による礪波市中村土地区画整理事業の事業計画決定
2760	◇	1987	12	5	3	(S62)	電鉄富山駅ビル「エスタ」がオープンす
2761	◇	1987	12	10		(S62)	赤江川ふるさとの川整備事業(富山市)が指定さる
2762	◇	1987	12	15		(S62)	県内初めての下水処理水を利用した消雪パイプが県道富山魚津線富山市浜黒崎地内で施行さる
2763	◇	1987	12	21		(S62)	都市計画道路大泉線の鉄道との立体交差事業が竣工す
2764	◇	1987	12	23	1	(S62)	北陸新幹線着工実現総決起大会が開催さる
2765	□	1987	12	23	2	(S62)	富山・東京間を結ぶ高速路線バス運行、東京までの所要時間は7時間30分
2766	◇	1987	12	24	1	(S62)	高岡市施行による旅屋西通り土地区画整理事業の都市計画決定
2767	◇	1987	12	24	2	(S62)	組合施行による高岡市立野東部土地区画整理事業の都市計画決定
2768	◇	1987	12	30		(S62)	富山県総合運動公園用地取得に関する覚書調印式が行わる
2769	◇	1987	12	－		(S62)	電鉄富山駅ビル(エスタ)の完成
2770	◇	1987	－	－	1	(S62)	昭和62年の伏木富山港貨物取扱量は、1006万t(伏木地区184万t、富山地区423万t、新湊地区399万t)
2771	◇	1987	－	－	2	(S62)	昭和62年度一般会計歳出決算4042億1000万円、うち土木部一般会計歳出決算1021億1400万円
2772	◇	1987	－	－	3	(S62)	昭和62年度上半期発注目標率82. 7%、発注実績率82. 9%
2773	◇	1988	1	13		(S63)	富山県総合運動公園の都市計画決定
2774	◇	1988	1	14	1	(S63)	安川発電所が運用を開始す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
2775	◇	1988	1	14	2	(S63)	組合施行による礪波市鍋島中央土地区画整理事業の事業計画決定
2776	◇	1988	1	29		(S63)	北陸雪氷技術シンポジウムが開かる
2777	◇	1988	1	－		(S63)	平等橋完成(婦中町)
2778	◇	1988	2	2		(S63)	県営上市南地区圃場整備事業の竣工式が行わる
2779	◇	1988	2	15		(S63)	都市景観連続フォーラムがはじまる
2780	◇	1988	2	16		(S63)	整備新幹線の着工優先順位専門検討委員会が開かる
2781	□	1988	2	19		(S63)	NTTの北陸日本海光ルートが全線開通
2782	◇	1988	2	20	1	(S63)	組合施行による高岡市立野東部土地区画整理事業の事業計画決定
2783	□	1988	2	20	2	(S63)	横浜、新潟、小樽など港や運河をもつ7都市・8つの市民団体が神戸市で水辺の再生をテーマに「ウォーターフロントサミット」を開催
2784	◇	1988	2	28		(S63)	中新川公共下水道事務組合、公共下水道事業に着手す～1995-03-22(H07)中新川浄化センターの供用開始
2785	◇	1988	3	4	1	(S63)	高度情報化推進会議が開かる
2786	◇	1988	3	4	2	(S63)	富山県での2000年国体の開催が内定す～国体開催申請書提出順序承認
2787	◇	1988	3	8		(S63)	(都)綾田北代線(富山市牛島本町～田刈屋)の着手(～H06)
2788	◇	1988	3	12		(S63)	組合施行による高岡市能町土地区画整理事業の換地処分
2789	◇	1988	3	15		(S63)	吉田川水系工事実施基本計画が認可さる
2790	◇	1988	3	19		(S63)	東海北陸自動車道用地取得調印式が行わる
2791	◇	1988	3	23		(S63)	小矢部川水系工事実施基本計画を改定す
2792	◇	1988	3	24	1	(S63)	(都)大手線(富山市大手町～越前町)の着手(～H01)
2793	◇	1988	3	24	2	(S63)	県議会、63年度一般会計当初予算4061億9000万円、うち土木部一般会計当初予算1000億900万円を可決す
2794	◇	1988	3	28		(S63)	安房トンネル建設促進同盟会総会が開かる
2795	◇	1988	3	29	1	(S63)	小矢部川流域下水道二上浄化センターの通水式が行わる
2796	◇	1988	3	29	2	(S63)	第1回とやま新都市拠点整備事業推進協議会が開かる
2797	◇	1988	3	30		(S63)	市長村道整備促進期成同盟会設立総会が開催さる
2798	◇	1988	3	31		(S63)	昭和62年度の富山空港利用者数は590,766人
2799	◇	1988	3	－	1	(S63)	とやま都市MIR面積I推進協議会の発足
2800	◇	1988	3	－	2	(S63)	朝日町、福岡町都市景観形成ガイドプランの策定
2801	◇	1988	4	1	1	(S63)	岩瀬スポーツ公園の硬式テニスコートの新設及び軟式テニスコート12面の教育委員会から所管替えによる供用開始(面積9.4ha→11.7ha)
2802	◇	1988	4	1	2	(S63)	久婦須川ダム建設事業開始
2803	◇	1988	4	1	3	(S63)	常願寺川公園ラグビー広場の供用を開始す(面積21.0ha→24.0ha)
2804	◇	1988	4	1	4	(S63)	大谷ダム建設事業開始
2805	◇	1988	4	14		(S63)	国道304号新蔵原トンネルが開通す
2806	◇	1988	4	21		(S63)	富山新港開港20周年記念式典が行われる
2807	☆	1988	4	－		(S63)	富山市の松川に観光遊覧船が就航す
2808	◇	1988	5	10		(S63)	第39回富山県植樹祭が入善町で行わる
2809	◇	1988	5	12		(S63)	海王丸を富山に呼ぶ県民の会総会が開かる
2810	◇	1988	5	17		(S63)	氷見市小境海岸のCCZ(コースタル・コミュニティ・ゾーン)整備計画が建設大臣認定を受ける
2811	◇	1988	5	18		(S63)	総合雪対策推進会議が開かる
2812	◇	1988	5	27		(S63)	第10次道路整備五箇年計画(S63～H04)が閣議決定さる
2813	◇	1988	6	1	1	(S63)	第1回緑花フェスティバルが開かる～-06-06
2814	◇	1988	6	1	2	(S63)	遼寧省の城市建设視察団が来県す
2815	◇	1988	6	17		(S63)	東海北陸自動車道の起工式が行わる
2816	◇	1988	6	21		(S63)	(都)社内上野本線(小矢部市中央町～八和町)の着手
2817	◇	1988	6	29		(S63)	高岡市施行による旅屋西通り土地区画整理事業の事業計画決定
2818	◇	1988	7	1		(S63)	能越自動車道の県内重点区間の路線計画及び整備方針が決定す
2819	◇	1988	7	8		(S63)	まちづくりシンポジウムが行わる
2820	◇	1988	7	19		(S63)	北陸自動車道全線開通記念の北陸サミットが開催さる
2821	◇	1988	7	20		(S63)	北陸自動車道(名立谷浜～朝日)供用開始
2822	◇	1988	7	26		(S63)	第55回国体富山県準備委員会設立発起人会が開かる
2823	◇	1988	7	27	1	(S63)	(都)総曲輪線(富山市石金～町村)の着手
2824	◇	1988	7	27	2	(S63)	(都)堀川線(富山市大町～堀)の着手
2825	◇	1988	7	29		(S63)	五福公園にオブジェ「波」が完成、公園の拡張及び改修工事の完了(野球場、陸上競技場、広場、園路等)
2826	◇	1988	7	－	1	(S63)	国道471号の新檜尾トンネル開通す
2827	◇	1988	7	－	2	(S63)	富山駅前景観会議の発足
2828	◇	1988	8	2	1	(S63)	片原町伏間江線(高岡市片原町～高岡市定塚町)の着手(～H05、沿道区画整理型街路事業)
2829	◇	1988	8	2	2	(S63)	北陸新幹線対策連絡協議会総会が開かる
2830	◇	1988	8	8	1	(S63)	境川ダム定礎式
2831	◇	1988	8	8	2	(S63)	実習船「雄山」の竣工式が行わる
2832	◇	1988	8	9		(S63)	北陸新幹線着工促進会議が開かる
2833	◇	1988	8	10		(S63)	富山港岩瀬船だまり開港式が行わる
2834	◇	1988	8	11		(S63)	北陸関東産業道路建設促進同盟会総会が開かる
2835	◇	1988	8	16		(S63)	(都)駅前新富町線(礪波市中神地内)の着手(～H07)
2836	◇	1988	8	20		(S63)	富山空港開港25周年記念式典が行わる
2837	◇	1988	8	22		(S63)	北陸新幹線着工促進会議が開かる
2838	◇	1988	8	30		(S63)	第55回国体準備委員会設立総会・第1回総会が開かる
2839	◇	1988	8	31		(S63)	北陸新幹線の最優先着工が決定す
2840	◇	1988	9	2		(S63)	富山県総合防災訓練が新湊市で行わる
2841	◇	1988	9	28		(S63)	北陸新幹線建設促進同盟会総会が開かる
2842	◇	1988	9	29	1	(S63)	上市川改修事業の完成式が行わる
2843	◇	1988	9	29	2	(S63)	第16回花と緑の大会が開かる
2844	◇	1988	9	30	1	(S63)	県営灌漑排水事業庄西大井川地区完工式が行わる
2845	◇	1988	9	30	2	(S63)	常願寺川公園堤防道路の完成式が行わる
2846	◇	1988	9	－		(S63)	城端町、流域関連公共下水道事業に着手す～1995-04-01(H07)供用開始
2847	☆	1988	10	5		(S63)	小境海岸C.C.Z.の記念式が行わる
2848	◇	1988	10	6		(S63)	昭和63年度全国道路交通情勢調査(道路交通センサス)が行わる
2849	◇	1988	10	8		(S63)	第4回富山県育樹祭が行わる
2850	◇	1988	10	11		(S63)	(都)双代線(富山市田中町～富山市石金)の着手(～H09)
2851	◇	1988	10	13		(S63)	富山県総合運動公園の起工式が行わる
2852	◇	1988	10	14		(S63)	東海北陸自動車道の福野・小矢部地区用地取得覚書調印式が行わる
2853	◇	1988	10	20		(S63)	県営圃場整備事業東山地区が完工す
2854	◇	1988	10	23		(S63)	第13回知事選挙で中沖豊三選
2855	◇	1988	10	25		(S63)	渡船「海竜」が竣工す
2856	◇	1988	10	27		(S63)	常願寺川公園スポーツハウス等供用開始(面積24.0ha→27.9ha)
2857	◇	1988	11	1		(S63)	(主)立山山田線、成子大橋開通す
2858	◇	1988	11	2		(S63)	(都)桜馬場長慶寺線(高岡市新横町～大手町)の着手(～H04)
2859	◇	1988	11	9		(S63)	総合雪対策推進会議が開かる
2860	◇	1988	11	10		(S63)	城端ダム定礎式
2861	◇	1988	11	15		(S63)	除雪作業の効率化を目指し「富山県除雪情報システム」が一部稼働

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
2862	◇	1988	11	16		(S63)	緑花推進県民会議が開かる
2863	◇	1988	11	22		(S63)	国道8号滑川富山バイパスが開通す
2864	◇	1988	11	28		(S63)	JR富山駅周辺を地価監視区域に指定す
2865	◇	1988	11	－		(S63)	成子大橋完成(婦中町)
2866	◇	1988	12	22		(S63)	北陸新幹線着工促進会議が開かる
2867	◇	1988	12	24		(S63)	外貿定期コンテナ(航路)東南アジア航路が開設さる
2868	◇	1988	－	－	1	(S63)	昭和63年の伏木富山港貨物取扱量は、1084万t(伏木地区166万t、富山地区456万t、新湊地区462万t)
2869	◇	1988	－	－	2	(S63)	昭和63年度一般会計歳出決算4175億5000万円、うち土木部一般会計歳出決算1035億3400万円
2870	◇	1988	－	－	3	(S63)	昭和63年度上半期発注目標率74.3%、発注実績率73.1%
2871	◇	1989	1	7	1	(S64)	昭和天皇崩御、平成と改元す
2872	◇	1989	1	7	2	(S64)	東海北陸自動車道の礪波市分用地取得調印式が行わる
2873	◇	1989	1	17		(H01)	北陸新幹線高崎・軽井沢間の平成元年度本格着工及び難工事区間として金沢・高岡間の加越トンネルの着手が決定す
2874	◇	1989	1	28		(H01)	(都)礪波線(井波町北川地内)の着手
2875	◇	1989	2	1		(H01)	大門町、特定環境保全公共下水道事業に着手す～1994-04-01(H06)南郷管理センターの供用開始
2876	◇	1989	2	9		(H01)	中川和田線(高岡市北島～高岡市羽広)の着手(～H03)
2877	◇	1989	2	14	1	(H01)	都市公園カナルパークの都市計画決定(A=9.7ha)
2878	□	1989	2	14	2	(H01)	引退する帆船海王丸を富山県と大阪市で交互に保存展示することで合意
2879	◇	1989	2	16		(H01)	富山駅西街区第二地区第一種市街地再開発事業の起工式が行わる
2880	◇	1989	2	22	1	(H01)	カナルパーク事業認可になる
2881	◇	1989	2	22	2	(H01)	全日空の富山・東京便が一日6便になることが決定す
2882	◇	1989	3	1		(H01)	とやまうるおいシンポジウムが開かる
2883	◇	1989	3	15		(H01)	「富山県(富山地域)」頭脳立地集積促進計画が承認さる～地域産業の高度化に寄与す特定事業の集積の促進に関する法律(頭脳立地法)
2884	◇	1989	3	17		(H01)	新都市拠点整備事業総合整備計画「とやま都市MIRAI計画」が建設大臣から承認さる
2885	◇	1989	3	18		(H01)	富山空港ジェット化5周年記念式典が行わる
2886	◇	1989	3	23	1	(H01)	県議会、元年度一般会計当初予算4458億500万円、うち土木部一般会計当初予算1108億9900万円を可決す
2887	◇	1989	3	23	2	(H01)	組合施行による富山市山室北土地区画整理事業の換地処分
2888	☆	1989	3	24		(H01)	下条川中小河川改修事業に伴う行政代執行(県内初)～1989-3-25(H01),1989-10-6(H01)～1989-10-11(H01)
2889	◇	1989	3	28	1	(H01)	朝日小川トンネル開通式が行わる
2890	◇	1989	3	28	2	(H01)	練習帆船海王丸を富山県と大阪市とで交互保存活用が決定す
2891	◇	1989	3	29	1	(H01)	(主)礪波細入線、雄神大橋開通す
2892	◇	1989	3	29	2	(H01)	雄神大橋の開通式が行わる
2893	◇	1989	3	30		(H01)	(都)曙町奥井町線(富山市曙町～奥井町)の着手(～H02)
2894	◇	1989	3	31		(H01)	昭和63年度の富山空港利用者数は59万7404人
2895	◇	1989	3	－	1	(H01)	小矢部市、城端町都市景観形成ガイドプランの策定
2896	◇	1989	3	－	2	(H01)	富山市県庁南側松川通り都市景観形成モデル事業完了
2897	◇	1989	4	1	1	(H01)	空港スポーツ緑地のD地区(レインボー広場、モニュメント、コスモス広場、駐車場他)、E地区(園地、児童遊園、駐車場他)供用開始(面積9.7ha→13.2ha)
2898	◇	1989	4	1	2	(H01)	消費税の導入に伴う県営住宅の家賃改定(消費税3%分の値上げ)
2899	◇	1989	4	1	3	(H01)	組合施行による高岡市下牧野土地区画整理事業の都市計画決定
2900	◇	1989	4	1	4	(H01)	組合施行による高岡市中田土地区画整理事業の都市計画決定
2901	◇	1989	4	1	5	(H01)	都市計画課総合運動公園建設班を廃止し、総合運動公園建設室を設置す
2902	◇	1989	4	14		(H01)	(主)高岡環状線の二上大橋開通す
2903	◇	1989	4	30		(H01)	富山駅前桜町街区(アミューズ)第一種市街地再開発事業の工事が完了す
2904	◇	1989	4	－	1	(H01)	下条川災害復旧助成事業が竣工
2905	◇	1989	4	－	2	(H01)	国土庁の雪の補助事業である「雪国快適環境総合整備事業」がスタート、富山県からは井波町が全国3箇所の新規採択の一つとして事業採択さる
2906	◇	1989	5	10		(H01)	第40回富山県植樹祭が行わる
2907	◇	1989	5	24		(H01)	(都)富山駅南北線の都市計画決定
2908	◇	1989	5	27		(H01)	カナルパーク(のちの富岩蓮河環水公園)基本デザイン協議審査により、仙田満東京工業大学教授の案が最優秀に選ばれる
2909	◇	1989	5	30	1	(H01)	組合施行による高岡市下牧野土地区画整理事業の事業計画決定
2910	◇	1989	5	30	2	(H01)	北陸電力(株)本店ビルが竣工す
2911	◇	1989	5	31		(H01)	組合施行による高岡市中田土地区画整理事業の事業計画決定
2912	◇	1989	6	1		(H01)	高岡法科大学開学式典が行わる
2913	◇	1989	6	6		(H01)	高橋川・仁助川ふるさとの川整備事業(黒部市)が指定さる
2914	◇	1989	6	7		(H01)	県営大長谷第四発電所の竣工式が行わる
2915	◇	1989	6	12		(H01)	富山市施行による富山駅北土地区画整理事業の都市計画決定
2916	◇	1989	6	13	1	(H01)	緑花推進県民会議が開かる
2917	□	1989	6	13	2	(H01)	高岡ケーブルネット設立、都市型CATVで1991(H03)開局
2918	□	1989	6	15		(H01)	富山市が市制百周年の記念式典
2919	◇	1989	7	12		(H01)	帆船海王丸記念財団設立発起人会が開かる
2920	◇	1989	7	13		(H01)	黒部川桜づつみモデル事業(黒部市)及び下条川桜づつみモデル事業(小杉町)が認定さる
2921	◇	1989	7	14		(H01)	富山空港ターミナルビルの増改築竣工式が行わる
2922	◇	1989	7	20		(H01)	称名滝の滝見台が竣工す
2923	◇	1989	7	22		(H01)	富山空港の東京便が1日6往復となり、増便就航記念式典が行わる
2924	□	1989	7	25		(H01)	日本の都市公園百選として高岡古城公園と県民公園太閤山ランドが選ばれる
2925	◇	1989	8	1		(H01)	富山港開港50周年記念式典が行わる
2926	◇	1989	8	2		(H01)	北陸新幹線高崎・軽井沢間の起工式が行わる
2927	◇	1989	8	18		(H01)	北陸新幹線加越トンネル工事安全祈願祭が行わる
2928	◇	1989	8	21	1	(H01)	(財)帆船海王丸記念財団が設立さる
2929	◇	1989	8	21	2	(H01)	北陸新幹線建設促進同盟会総会・北陸新幹線着工祝賀会が開催さる
2930	◇	1989	8	24		(H01)	組合施行による富山市山室北土地区画整理事業の完工式
2931	◇	1989	8	25		(H01)	組合施行による礪波市鍋島土地区画整理事業の換地処分
2932	◇	1989	9	5		(H01)	県総合防災訓練が行わる
2933	◇	1989	9	5		(H01)	組合施行による礪波市鍋島土地区画整理事業の完工式
2934	◇	1989	9	5		(H01)	伏木外港建設同意の調印式が行わる
2935	◇	1989	9	7		(H01)	組合施行による礪波市太郎丸西部区画整理事業の都市計画決定
2936	◇	1989	9	12	1	(H01)	帆船海王丸記念財団理事会・設立記念パーティが開かる
2937	◇	1989	9	12	2	(H01)	富山市施行による富山駅北土地区画整理事業の事業計画決定
2938	◇	1989	9	28		(H01)	組合施行による高岡市戸出南部土地区画整理事業の完工式
2939	◇	1989	9	30	1	(H01)	根塚県営住宅が竣工す
2940	◇	1989	9	30	2	(H01)	伏木富山港でコンテナ専用クレーンが供用開始す
2941	◇	1989	10	4		(H01)	第五回富山県育樹祭が行わる
2942	◇	1989	10	5		(H01)	県営灌漑排水事業射水山麓地区の完工式が行わる
2943	◇	1989	10	6		(H01)	(都)本町線(福光町東町～本町)の着手

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
2944	◇	1989	10	25		(H01)	中川和田線(高岡市羽広～高岡市清水町)の着手
2945	◇	1989	10	26		(H01)	中部縦貫自動車道安房トンネルの起工式が行わる
2946	□	1989	10	28		(H01)	終戦直後から「ヤミ市」と呼ばれ親しまれてきた富山駅前商店街が再開発で40年の歴史にピリオド
2947	◇	1989	10	31		(H01)	朝日小川ダム試験湛水開始
2948	◇	1989	11	6		(H01)	布施川ダム定礎式
2949	◇	1989	11	24		(H01)	県立中央病院改築起工式が行わる
2950	◇	1989	11	27	1	(H01)	下条川の災害復旧助成事業の完工式が行わる
2951	◇	1989	11	27	2	(H01)	国道8号滑川・富山バイパスの金泉寺高架橋開通す
2952	◇	1989	11	28	1	(H01)	第10回富山県総合雪対策推進会議が開かる
2953	◇	1989	11	28	2	(H01)	伏木外港建設の起工式が行わる
2954	◇	1989	11	30		(H01)	富山県総合運動公園の基本デザイン及び陸上競技場の基本設計の策定～1990-03-31(H02)
2955	◇	1989	12	8		(H01)	富山市大手町6番地区(富山市民プラザ)優良再開発建築物整備促進事業が竣工す
2956	◇	1989	12	22	1	(H01)	県営 Gondolas キー場整備事業が完了す
2957	◇	1989	12	22	2	(H01)	県立大学の設置が認可さる
2958	◇	1989	12	22	3	(H01)	通商産業大臣からジャパンエキスポ制度第1号の認定を受け、富山県博覧会推進本部を設置す(推進会議は解消)
2959	□	1989	12	22	4	(H01)	富山市の新庁舎起工式
2960	◇	1989	12	25		(H01)	組合施行による礪波市鍋島北土地区画整理事業の都市計画決定
2961	◇	1989	-	-	1	(H01)	記録的な暖冬少雪、1月の雪日数は7日で気象台観測開始以来最も少ない2月の気温は気象台観測開始以来最も高く、累計降雪深は、2番目の記録であった
2962	◇	1989	-	-	2	(H01)	平成元年度一般会計歳出決算4662億5400万円、うち土木部一般会計歳出決算1127億3700万円
2963	◇	1989	-	-	3	(H01)	平成元年度上半期発注目標率72.0%、発注実績率69.8%
2964	◇	1989	-	-	4	(H01)	平成元年の伏木富山港貨物取扱量は、1115万t(伏木地区174万t、富山地区459万t、新湊地区482万t)
2965	◇	1990	1	12	1	(H02)	県庁前公園で第1回雪美のひろば「スノーアート」実施さる(平成5年度まで毎年実施)～-03-11
2966	◇	1990	1	12	2	(H02)	組合施行による礪波市太郎丸西部区画整理事業の事業計画決定
2967	◇	1990	1	12	3	(H02)	伏木外港の埋立工事に着工す
2968	◇	1990	2	22		(H02)	総合開発審議会に新しい総合計画を諮問す
2969	◇	1990	2	27		(H02)	山田村山田浄化センターの通水式が行わる
2970	◇	1990	2	28	1	(H02)	高岡万葉歴史館の竣工式が行わる
2971	◇	1990	2	28	2	(H02)	富山県立大学(本部棟・教育棟・講義棟)新築工事完成す
2972	◇	1990	3	7		(H02)	外貿定期コンテナ(航路)韓国航路が開設さる
2973	◇	1990	3	8		(H02)	富山空港に進入角指示灯(PAPI)、旋回灯(CGL)を設置す
2974	◇	1990	3	9		(H02)	海王丸入港歓迎式を行う
2975	◇	1990	3	12		(H02)	(財)伏木富山港振興財団が設立さる
2976	□	1990	3	19		(H02)	(財)日本さくらの会選定の「さくらの名所百選」に県内から富山市松川公園と高岡市古城公園が選ばれる
2977	◇	1990	3	23		(H02)	県議会、2年度一般会計当初予算4797億5200万円、うち土木部一般会計当初予算1116億9800万円を可決す
2978	◇	1990	3	26	1	(H02)	県庁前公園花時計始動式が行わる
2979	◇	1990	3	26	2	(H02)	富山県屋外広告物条例一部改正(許可手数料の引き上げ)
2980	◇	1990	3	29	1	(H02)	富山ジャパンエキスポ協会設立会議が開催さる
2981	◇	1990	3	29	2	(H02)	伏木富山港新湊地区北ふ頭2号、3号岸壁及び富山地区10号岸壁が竣功す
2982	◇	1990	3	30		(H02)	富山新港の臨港道路新港大橋が竣功す
2983	◇	1990	3	31		(H02)	平成元年度の富山空港利用者数は70万3853人
2984	◇	1990	3	-	1	(H02)	滑川市、礪波市都市景観形成ガイドプランの策定
2985	◇	1990	3	-	2	(H02)	高岡市駅南41号線(八丁道)都市景観形成モデル事業完了
2986	◇	1990	4	1	1	(H02)	岩瀬スポーツ公園のパークセンター、ソフトボール場2面、園路広場供用開始(面積11.7ha→13.6ha)
2987	◇	1990	4	1	2	(H02)	港湾課内に臨海公園建設班を設置す
2988	◇	1990	4	1	3	(H02)	市町村への県単補助事業である「雪国快適まちづくり事業」を創設、初年度は7市町村に補助を実施
2989	◇	1990	4	1	4	(H02)	池川ダム予備調査開始～1991-03-31(H03)
2990	◇	1990	4	1	5	(H02)	富山ジャパンエキスポ協会を設立し、県博覧会推進局を設置す
2991	◇	1990	4	2		(H02)	富山ジャパンエキスポ協会事務局が開設さる
2992	◇	1990	4	7		(H02)	西町商店街アーケードが竣工、披露さる
2993	□	1990	4	12		(H02)	日本の滝百選に称名滝が選ばれる
2994	◇	1990	4	21		(H02)	富山・名古屋週末特別便第一便就航記念式が行わる
2995	◇	1990	4	25		(H02)	立山黒部アルペンルート開通式～20周年記念式典、富山長野同時開通す
2996	◇	1990	4	26		(H02)	(都)北島牧野線の米島大橋が竣工す
2997	◇	1990	4	28		(H02)	富山新港北埠頭で帆船「海王丸」が公開され、記念式典が行わる
2998	◇	1990	4	-		(H02)	市道幹2-9号線の山王橋完成(新湊市)
2999	◇	1990	5	1		(H02)	全国初の交通事故分析研究班発足す
3000	◇	1990	5	10		(H02)	第41回富山県植樹祭が山田村で行わる
3001	◇	1990	5	18		(H02)	富山県総合運動公園基本デザインが決定す
3002	◇	1990	5	24		(H02)	滑川市滑川浄化センターの通水式が行わる
3003	◇	1990	5	30	1	(H02)	新山の神トンネルが竣工す
3004	◇	1990	5	30	2	(H02)	八尾中核工業団地が完売す
3005	◇	1990	6	1		(H02)	富山県立大学開学記念式が行わる
3006	◇	1990	6	2		(H02)	第三回花と緑のフェスティバルが行わる
3007	◇	1990	6	4		(H02)	ジャパンエキスポ富山'92の会場予定地(太閤山ランド)の視察が行わる
3008	◇	1990	6	5		(H02)	富山国際大学の開学式典が行わる
3009	◇	1990	6	7		(H02)	日本港湾協会第62回通常総会が富山市で開催さる
3010	◇	1990	6	11	1	(H02)	町道泊桜町線全線開通(朝日町)
3011	◇	1990	6	11	2	(H02)	富山県環境影響評価要綱が制定さる～-10-01施行
3012	◇	1990	6	14		(H02)	北陸新幹線建設促進同盟会総会が開催さる
3013	◇	1990	6	23		(H02)	能越自動車道の起工式が行わる
3014	◇	1990	6	30		(H02)	組合施行による高岡市戸出南部土地区画整理事業の換地処分
3015	◇	1990	7	5		(H02)	'90まちづくりシンポジウム富山が開催さる
3016	◇	1990	7	5		(H02)	庄川桜づつみモデル事業(礪波市)が認定さる
3017	◇	1990	7	9		(H02)	今泉安養寺線(富山市今泉～掛尾町)の着手(～H04)
3018	◇	1990	7	12		(H02)	ジャパンエキスポ富山'92の基本計画が承認さる、シンボルマークが決定す
3019	◇	1990	7	16		(H02)	緑花推進県民会議が開かる
3020	◇	1990	7	19		(H02)	(都)問屋線(富山市上富居地内)の着手(～H06)
3021	◇	1990	7	20		(H02)	富山空港ターミナルビル第2期増改築工事の竣工式が行わる
3022	◇	1990	7	23		(H02)	富山県国際立県プランを発表す
3023	◇	1990	7	26		(H02)	治水砂防協会設立50周年総会が開かる
3024	◇	1990	7	27		(H02)	庄川町水記念公園が竣工、同水資料館が開館す
3025	◇	1990	7	30		(H02)	黒部川が4年連続で清流河川全国第二位となる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3026	◇	1990	7	31		(H02)	北陸新幹線親不知トンネルの技術調査に着手す
3027	◇	1990	8	4		(H02)	町道1106号線「花見橋」完成(小杉町)
3028	◇	1990	8	6		(H02)	富山市施行による新庄南土地区画整理事業の都市計画決定
3029	◇	1990	8	10	1	(H02)	新総合計画の市町村懇談会が開催さる
3030	◇	1990	8	10	2	(H02)	北陸自動車道等富山県建設促進協議会総会・富山県東海北陸自動車道建設促進同盟会総会が開かる
3031	◇	1990	8	18		(H02)	立山八郎坂旧登山道開通記念イベントが行わる
3032	◇	1990	8	23		(H02)	(都)桜馬場長慶寺線(高岡市中川本町～中川町)の着手
3033	◇	1990	8	30		(H02)	第1回土地問題懇談会が開かる
3034	◇	1990	9	1		(H02)	魅力ある地域づくり全国大会が開かる
3035	◇	1990	9	6		(H02)	県総合防災訓練が行わる
3036	◇	1990	9	12		(H02)	総合開発審議会顧問会議、新富山県民計画策定有識者懇談会が東京で開かる
3037	◇	1990	9	19		(H02)	台風19号により死者2名、住宅全壊1戸、部分壊8戸、床上浸水4戸、床下浸水52戸、道路227箇所、橋りょう14箇所、河川183箇所、港湾施設9箇所、砂防施設37箇所の損壊
3038	◇	1990	9	28		(H02)	八丁道歴史的景観整備事業完成(高岡市)
3039	◇	1990	9	29		(H02)	(主)礪波細入線の井栗谷トンネル開通す
3040	◇	1990	10	2		(H02)	平成2年度全国道路交通情勢調査(道路交通センサス)が行わる
3041	◇	1990	10	5		(H02)	臼中ダム of 完工式が行わる
3042	◇	1990	10	8	1	(H02)	第六回富山県育樹祭が行わる
3043	◇	1990	10	8	2	(H02)	富山空港利用者500万人達成記念式典が行わる
3044	◇	1990	10	11		(H02)	(主)新湊庄川線(礪波市畑野～庄川町青島)の着手
3045	◇	1990	10	15		(H02)	諏訪町本通り線(八尾町寺山～八尾町諏訪町)の着手(身近なまちづくり支援街路事業)
3046	□	1990	10	28		(H02)	万葉集をテーマにした全国初の万葉歴史館が開館
3047	◇	1990	11	1		(H02)	地価監視区域を富山市の市街化区域全域に拡大す
3048	◇	1990	11	2	1	(H02)	朝日丘稲積線(氷見市朝日丘～氷見市朝日丘)の着手
3049	◇	1990	11	2	2	(H02)	氷見市論田・熊無地区地すべり対策保全整備事業竣工式(押え盛土工事により生じた平地を天狗林健康広場として整備)
3050	◇	1990	11	2	3	(H02)	氷見田江線(氷見市伊勢大町～氷見市伊勢大町)の着手(～H08)
3051	◇	1990	11	6		(H02)	富山県総合開発審議会から新富山県民総合計画が答申さる
3052	◇	1990	11	7		(H02)	富山県総合雪対策推進会議から新富山県総合雪対策計画が答申さる
3053	◇	1990	11	8		(H02)	朝日小川ダム竣工式、RCD工法による補助ダムとしては全国で最初に完成
3054	◇	1990	11	9		(H02)	第18回花と緑の大会が行わる
3055	◇	1990	11	14		(H02)	国道359号婦中バイパスが開通す
3056	◇	1990	11	19		(H02)	富山の自然100選選定記念式が行わる
3057	◇	1990	11	24		(H02)	(都)青島線竣工式が行わる(庄川町)
3058	◇	1990	11	27		(H02)	立山黒部アルペンルート入込み客数が過去最高の139万人となる
3059	◇	1990	11	30		(H02)	組合施行による高岡市立野土地区画整理事業の完工式
3060	◇	1990	11	－		(H02)	県内初めての工場排水を利用した消雪パイプが県道富山環状線富山市赤田地内で施行さる
3061	◇	1990	12	7		(H02)	北陸新幹線の並行在来線について角田JR西日本社長に申し入れす
3062	◇	1990	12	15		(H02)	北陸新幹線高岡金沢間の建設着工調整費が認めらる
3063	◇	1990	12	21		(H02)	整備新幹線建設促進大会が東京で行わる
3064	□	1990	12	27		(H02)	日本開発銀行設備投資研究所の「豊かさ」総合評価で富山県は東京都に次いで2位にランキング
3065	◇	1990	－	－	1	(H02)	平成2年度一般会計歳出決算5017億4200万円、うち土木部一般会計歳出決算1163億9700万円
3066	◇	1990	－	－	2	(H02)	平成2年度上半期発注目標率72.7%、発注実績率72.8%
3067	◇	1990	－	－	3	(H02)	平成2年の伏木富山港貨物取扱量は、1167万t(伏木地区164万t、富山地区529万t、新湊地区474万t)
3068	◇	1991	1	8		(H03)	(都)草島西線(富山市田刈屋～畑中)の着手
3069	◇	1991	1	11		(H03)	井口村、流域関連特定環境保全公共下水道事業に着手す～1994-03-29(H06)供用開始
3070	◇	1991	1	17		(H03)	スノーアートとやま'91点灯式が行わる
3071	◇	1991	1	23		(H03)	上市町西中町地区(カミール)第一種市街地再開発事業工事が完了
3072	◇	1991	1	31		(H03)	第1回北陸新幹線整備問題検討会が開かる
3073	◇	1991	2	4		(H03)	とやま21世紀水ビジョン策定委員会から「とやま21世紀水ビジョン」が答申さる
3074	□	1991	2	5		(H03)	県産業創造センター(高岡テクノドーム)が高岡市に完成
3075	◇	1991	2	9		(H03)	花と緑の冬のフェスティバルが開催さる
3076	◇	1991	2	12		(H03)	第1回「とやまのみちBIG作戦」検討委員会が開かる
3077	◇	1991	2	22		(H03)	組合施行による礪波市鍋島北土地区画整理事業の事業計画決定
3078	◇	1991	3	5		(H03)	市道清水藁輪線の津沢大橋開通(小矢部市)
3079	◇	1991	3	7	1	(H03)	(都)双代線(富山市上富居～鍋田)の着手(～H06)
3080	◇	1991	3	7	2	(H03)	富山空港の進入路指示灯(RAI)の改良
3081	◇	1991	3	13		(H03)	県議会、3年度一般会計当初予算5134億100万円、うち土木部一般会計当初予算1177億7300万円を可決す
3082	◇	1991	3	14	1	(H03)	富山県総合運動公園陸上競技場の建設～1993-09-20(H05)
3083	◇	1991	3	14	2	(H03)	「富山県全県域下水道化構想」の最終報告がなさる
3084	◇	1991	3	15	1	(H03)	富山空港21世紀ビジョン懇話会が開かる
3085	◇	1991	3	15	2	(H03)	富山南県営住宅が竣工す
3086	◇	1991	3	19		(H03)	富山県が立山カルデラ(民有地約1,068ha)を取得(契約調印)
3087	◇	1991	3	20		(H03)	新富山県民総合計画「県民フォーラム」が開催さる
3088	◇	1991	3	30		(H03)	富山市施行による新庄南土地区画整理事業の事業計画決定
3089	◇	1991	3	31		(H03)	平成2年度の富山空港利用者数は78万2163人
3090	◇	1991	3	－	1	(H03)	高岡市、黒部市都市景観形成ガイドプランの策定
3091	◇	1991	3	－	2	(H03)	長寿社会の住宅づくり調査研究報告書がまとまる
3092	◇	1991	3	－	3	(H03)	富山県総合雪対策条例に基づき「新富山県総合雪対策計画(基本計画)」が策定さる
3093	◇	1991	3	－	4	(H03)	富山市県庁前通り都市景観形成モデル事業完了
3094	◇	1991	4	1	1	(H03)	「スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律」によりスパイクタイヤの使用が禁止さる(適用除外地域:庄川町、井波町、井口村、城端町、福光町、平村、上平村、利賀村)
3095	◇	1991	4	1	2	(H03)	舟川ダム予備調査開始～1993-03-31(H05)
3096	◇	1991	4	1	3	(H03)	新富山県民総合計画がスタートす
3097	◇	1991	4	1	4	(H03)	池川ダム建設事業開始
3098	◇	1991	4	1	5	(H03)	百瀬ダム実施計画調査開始～1994-03-31(H06)
3099	◇	1991	4	1	6	(H03)	富山県住みよい家づくり資金融資制度要綱を改正し、融資対象住宅に「長寿社会対応住宅」を追加
3100	◇	1991	4	7		(H03)	町道大野八木山線開通(大沢野町)
3101	◇	1991	4	20		(H03)	久婦須川ダムの用地補償協定書調印式
3102	◇	1991	4	23	1	(H03)	太閤山ランド内でこどもみらい館起工
3103	◇	1991	4	23	2	(H03)	第1回ジャパンエキスポ富山'92総合起工式が行わる
3104	◇	1991	4	23	3	(H03)	富山・名古屋便にフオッカー50型機就航(1日2往復)、就航記念式典が行わる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3105	◇	1991	4	23	4	(H03)	富山県総合運動公園陸上競技場の起工式
3106	◇	1991	4	－		(H03)	夜間景観整備モデル事業の創設
3107	◇	1991	5	12		(H03)	第42回富山県植樹祭が大島町で行わる
3108	◇	1991	5	22		(H03)	伏木富山港ポートセールス推進協議会の設立総会が開かる
3109	◇	1991	5	29		(H03)	富山県中央植物園の起工式が行わる
3110	◇	1991	6	1	1	(H03)	富山・札幌便にボーイング767型機就航(1日1往復)、記念式典が行わる
3111	□	1991	6	1	2	(H03)	となみ衛星通信テレビが福野町で開局
3112	◇	1991	6	6		(H03)	2000年国体の会場市町村が決定す
3113	◇	1991	6	10	1	(H03)	上市町、公共下水道事業に着手す～1992-12-01(H04)石仏浄化センターの供用開始
3114	◇	1991	6	10	2	(H03)	富山県緑花推進県民会議が開かる
3115	◇	1991	6	11		(H03)	インターハイ会場市町村が決定す
3116	◇	1991	6	18		(H03)	北陸新幹線建設促進富山県民協議会総会が開かる
3117	◇	1991	7	4		(H03)	組合施行による富山市堀川南土地区画整理事業の換地処分
3118	◇	1991	7	5		(H03)	ジャパンエキスポ旗授与式が行わる
3119	◇	1991	7	11		(H03)	富山県ソ連極東経済事情視察団の結団式が行わる、西側民間航空機として初めて直行便でウラジオストク空港に乗り入れる
3120	◇	1991	7	14		(H03)	富山空港・ウラジオストク空港の友好提携調印式が行わる
3121	◇	1991	7	16		(H03)	北陸新幹線建設促進同盟会総会が東京で開かる
3122	◇	1991	7	17		(H03)	富山県ゴルフ練習場「シティゴルフ富山」が竣工す
3123	□	1991	7	21		(H03)	世界5大陸11ヶ国の作家が集う「いなみ国際木彫刻キャンプ」が井波町の閑乗寺公園で開かる～08-10
3124	◇	1991	7	23	1	(H03)	(都)綾田北代線(富山市田刈屋～安養坊)の着手
3125	◇	1991	7	23	2	(H03)	(都)富山駅東線(富山市桜町～桜橋通り)の着手(～H04、電線共同溝)
3126	◇	1991	7	24		(H03)	富山駅前広場の都市計画変更
3127	◇	1991	7	31		(H03)	安房トンネル作業坑が貫通す
3128	◇	1991	8	1		(H03)	北陸自動車道等富山県建設促進協議会総会、富山県東海北陸自動車道建設促進同盟会総会が開かる
3129	◇	1991	8	9		(H03)	中部縦貫自動車道建設促進期成同盟会総会が開かる
3130	◇	1991	8	27		(H03)	41道府県知事による新国土形成研究会設立総会が開催さる
3131	◇	1991	9	3		(H03)	富山県総合防災訓練が小矢部市で行わる
3132	◇	1991	9	11		(H03)	大長谷第五発電所が竣工す
3133	◇	1991	9	12		(H03)	新湊公共マリーナ建設同意覚書調印式が行わる
3134	◇	1991	9	18		(H03)	県営新桜町駐車場起工式が行わる
3135	□	1991	9	28		(H03)	台風19号で平均15mの強風下、小矢部市で大火、倉庫・住宅など31棟が全焼、14世帯・55人が被災
3136	◇	1991	10	1	1	(H03)	魚津市魚津浄化センターの通水式行わる
3137	◇	1991	10	1	2	(H03)	消費税法の一部改正に伴う県営住宅の家賃改定(県営住宅の家賃は非課税となる)
3138	◇	1991	10	2	1	(H03)	江尻坪川線(滑川市清水町～滑川市清水町)の着手(～H07)
3139	◇	1991	10	2	2	(H03)	第7回富山県育樹祭が行わる
3140	◇	1991	10	21		(H03)	神通川左岸流域下水道事業合意協定調印式が行わる
3141	◇	1991	10	23		(H03)	広域共同プロジェクト基礎調査実施地域として、富山県福光町及び石川県金沢市の地域が選定さる
3142	◇	1991	10	28	1	(H03)	組合施行による富山市堀川南土地区画整理事業の完工式
3143	◇	1991	10	28	2	(H03)	八尾町施行による福島土地区画整理事業の完工式
3144	◇	1991	10	31		(H03)	運輸省、北陸新幹線高岡・金沢間着工ルート変更案を承認、鉄建公団に技術調査を指示す
3145	◇	1991	11	1		(H03)	県立立山博物館が開館す
3146	◇	1991	11	6		(H03)	組合施行による高岡市立野東部土地区画整理事業の完工式
3147	◇	1991	11	10		(H03)	第19回花と緑の大会が福野町で行わる
3148	◇	1991	11	13		(H03)	近畿大学水産研究所が開所す
3149	◇	1991	11	15		(H03)	’91とやま夜間景観シンポジウムが開かる
3150	◇	1991	11	19		(H03)	’91国民生活白書で「生活の豊かさ総合指標」で富山県が豊かさ全国第三位となる
3151	◇	1991	11	29		(H03)	第5次特定交通安全施設等五箇年計画(H03～07)が閣議決定さる
3152	◇	1991	11	－		(H03)	海水利用の流雪溝が県道魚津生地入善線魚津市火の宮町地内で施行さる
3153	◇	1991	12	2		(H03)	北陸新幹線高岡・金沢間地質調査が開始さる
3154	◇	1991	12	3	1	(H03)	新湊公共マリーナ起工式が行わる
3155	◇	1991	12	3	2	(H03)	第1回立山カルデラ砂防展示施設検討委員会が開かる
3156	◇	1991	12	3	3	(H03)	能越自動車道氷見・七尾間基本計画が承認さる
3157	◇	1991	12	3	4	(H03)	布施川ダム試験湛水開始
3158	◇	1991	12	4		(H03)	(都)能町庄川線(高岡市野村～蓮花寺)の着手
3159	◇	1991	12	5		(H03)	富山空港国際定期便開設促進協議会が設立さる
3160	◇	1991	12	6		(H03)	城端ダム試験湛水開始
3161	◇	1991	12	18	1	(H03)	東海北陸自動車道上平・福光間路線発表さる
3162	◇	1991	12	18	2	(H03)	富山・高岡地区第5次新産業都市建設基本計画が承認さる
3163	◇	1991	12	20		(H03)	整備新幹線建設促進総決起大会が開催さる
3164	◇	1991	12	26		(H03)	富山市西町のスクランブル交差点に無散水消雪が完成
3165	◇	1991	12	－		(H03)	富山県第六期住宅建設五箇年計画を策定す(計画期間H03～H07)
3166	◇	1991	－	－	1	(H03)	平成3年度一般会計歳出決算5328億3100万円、うち土木部一般会計歳出決算1220億1600万円
3167	◇	1991	－	－	2	(H03)	平成3年度上半期発注目標率72.0%、発注実績率69.8%
3168	◇	1991	－	－	3	(H03)	平成3年の伏木富山港貨物取扱量は、1216万t(伏木地区179万t、富山地区542万t、新湊地区495万t)
3169	◇	1992	1	1		(H04)	黒部市黒部浄化センターの通水式が行わる
3170	◇	1992	1	10		(H04)	警察本部庁舎新築工事起工式が行わる
3171	◇	1992	1	14	1	(H04)	(都)山見中央線(井波町山見地内)の着手、交通広場3,190㎡含む
3172	◇	1992	1	14	2	(H04)	富山新港・韓国釜山港定期コンテナ第一便が入港す
3173	◇	1992	1	16	1	(H04)	スノーアートとやま’92点灯式が行わる
3174	◇	1992	1	16	2	(H04)	富山・岐阜県交流会議が開催さる、梶原岐阜県知事が来県、両県知事の対談が行わる
3175	◇	1992	1	17	1	(H04)	日本雪工学会大会が開かる
3176	◇	1992	1	17	2	(H04)	富山県高度情報通信ネットワーク開局記念式典が行わる
3177	◇	1992	2	3		(H04)	富山駅北地区ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業の指定
3178	◇	1992	2	8		(H04)	組合施行による高岡市立野土地区画整理事業の換地処分
3179	◇	1992	2	15		(H04)	第2回花と緑の冬のフェスティバルが開催さる
3180	◇	1992	2	27		(H04)	上平村、特定環境保全公共下水道事業に着手す～1995-04-01(H07)西赤尾浄化センターの供用開始
3181	□	1992	3	15		(H04)	旧須田ビル跡地の再開発ビル「シック」が完成、地下1階、地上15階、延べ3万1918㎡、事業費105億円
3182	□	1992	3	19		(H04)	富山駅前にCicビルがオープン、初日に5万人の入出
3183	◇	1992	3	23		(H04)	平成3年の県内観光地への観光客入込人数は過去最高の2320万人を記録す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3184	◇	1992	3	25	1	(H04)	県議会、4年度一般会計当初予算5300億3700万円、うち土木部一般会計当初予算1223億3400万円を可決す
3185	◇	1992	3	25	2	(H04)	県道羽咋平湯線、新湊高山線の国道昇格が決定す
3186	◇	1992	3	26	1	(H04)	神通川左岸流域下水道新湊浄化センター(仮称)地元堀岡地区の合意を得る
3187	◇	1992	3	26	2	(H04)	富山県屋外広告物条例の一部改正(罰金の上限の引き上げ)
3188	◇	1992	3	27		(H04)	富山県屋外広告物条例に基づく禁止地域の指定変更(東海北陸自動車道の供用に伴うもの)
3189	◇	1992	3	28		(H04)	東海北陸自動車道福光インターチェンジ～小矢部礪波ジャンクション間が供用開始
3190	◇	1992	3	31	1	(H04)	大沢野町大沢野浄化センターの通水式が行わる
3191	◇	1992	3	31	2	(H04)	富山空港のエプロンを拡張す、平成3年度の利用者数は93万7137人
3192	◇	1992	3	－	1	(H04)	小矢部市石動駅前広場都市景観形成モデル事業完了
3193	◇	1992	3	－	2	(H04)	礪波市宮沢町柳瀬線都市景観形成モデル事業完了
3194	◇	1992	3	－	3	(H04)	福野町、井波町、富山市都市景観形成ガイドプランの策定
3195	◇	1992	4	1	1	(H04)	「スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律」の罰則規定が施行さる
3196	◇	1992	4	1	2	(H04)	港湾課空港係を廃止し、航空対策室を設置す
3197	◇	1992	4	1	3	(H04)	第1回ジャパンエキスポ富山'92開幕100日前イベント(県庁前公園花時計始動式等)が行わる
3198	◇	1992	4	1	4	(H04)	湯道丸ダム実施計画調査開始
3199	◇	1992	4	6		(H04)	富山空港が植物検疫特定空港となる
3200	◇	1992	4	15		(H04)	魚津・糸魚川間の並行在来線が第三セクター方式により存続方針が決定す
3201	◇	1992	4	20		(H04)	富山空港ジェット化後の利用客500万人達成記念式が行わる
3202	□	1992	4	21		(H04)	北陸新幹線高岡・金沢間のルートの概略が決まる、高岡・石動間は在来線活用、石動・金沢間は新線建設となる
3203	◇	1992	4	22		(H04)	富山・ソウル便が正式決定す
3204	◇	1992	4	23		(H04)	太閤山稲積線鷹寺橋竣工式が行わる
3205	◇	1992	4	28	1	(H04)	「医王山麓シンフォニーの郷プラン」(富山県福光町、石川県金沢市)が広域共同プロジェクトとして選定さる
3206	◇	1992	4	28	2	(H04)	「富山県(富山地域)」テクノポリス開発計画の変更が承認さる～高度技術工業集積地域開発促進法(テクノポリス法)
3207	◇	1992	4	28	3	(H04)	片貝川桜つつみモデル事業(魚津市)が認定さる
3208	◇	1992	4	29		(H04)	富山県植樹祭が魚津市で開かる
3209	◇	1992	4	30		(H04)	北陸新幹線高岡・金沢間のルートが公表さる
3210	◇	1992	5	1		(H04)	畠中松沢線の竣工式が行わる
3211	□	1992	5	6		(H04)	伏木港開港以来初のロシア客船ペトロパブロフスク(4870トン)が入港
3212	◇	1992	5	15		(H04)	北陸新幹線高岡・金沢間環境影響評価報告書案の説明会が開催さる
3213	◇	1992	5	22		(H04)	氷見の新漁港の開港式が行わる
3214	◇	1992	5	26		(H04)	あさひ海岸なぎさリフレッシュ事業(朝日町)が認定さる
3215	◇	1992	5	28		(H04)	組合施行による高岡市下牧野土地区画整理事業の完工式
3216	□	1992	5	30		(H04)	市制百周年記念事業として富山市役所の新庁舎が開庁、完成式典
3217	◇	1992	6	1	1	(H04)	県営富山中央駐車場が竣工す
3218	◇	1992	6	1	2	(H04)	県立中央病院の新病棟がオープンす
3219	◇	1992	6	4		(H04)	飛越協議会設立総会が開催さる
3220	◇	1992	6	6		(H04)	高岡市末広町商店街アーケードが完成す
3221	◇	1992	6	8		(H04)	高山本線強化促進同盟会総会が開かる
3222	◇	1992	6	9		(H04)	第10回土砂災害防止月間推進の集い全国大会が開かる
3223	◇	1992	6	11	1	(H04)	(都)魚津中央線(魚津市上口地内)の着手(～H08)
3224	◇	1992	6	11	2	(H04)	北陸新幹線建設促進富山県民協議会総会が開催さる
3225	◇	1992	6	19		(H04)	ソウル便開設決定記念チャーター便出発式が行わる
3226	◇	1992	6	26		(H04)	都市計画法及び建築基準法の一部を改正(用途地域が8種類から12種類になる)
3227	□	1992	7	1		(H04)	富山市民球場(アルペンスタジアム)が完成、総事業費50億円、日本海側最大の広さ、-07-04に記念のプロ野球ナイター広島・阪神戦が行わる
3228	◇	1992	7	2	1	(H04)	高岡市雨晴海岸のCCZ(コースタル・コミュニティ・ゾーン)整備計画が建設大臣認定を受く
3229	◇	1992	7	2	2	(H04)	氷見市の小境海岸CCZ「海辺のふれあいゾーン」が開園
3230	◇	1992	7	3		(H04)	富山空港第二搭乗橋が竣工す
3231	◇	1992	7	4		(H04)	第1回ジャパンエキスポ富山'92総合完成式、総合結団式が行わる
3232	◇	1992	7	5		(H04)	海王丸パーク、日本海交流センターがオープンす
3233	◇	1992	7	7	1	(H04)	(主)新湊平岡線・富山戸出小矢部線のバイパスが開通す
3234	◇	1992	7	7	2	(H04)	富山県こどもみらい館が開館す
3235	◇	1992	7	8		(H04)	富山新港にサンタマリア号が寄港、歓迎式が行わる
3236	◇	1992	7	10		(H04)	第1回ジャパンエキスポ富山'92が県民公園太閤山ランドで開催され、開会式典には秋篠宮同妃両殿下がご来場になる～-09-27
3237	◇	1992	7	20		(H04)	(都)運動公園線(大沢野町上大久地内)の着手
3238	◇	1992	7	29	1	(H04)	(主)八尾古川線の正間トンネル(八十島～正間)が開通す
3239	◇	1992	7	29	2	(H04)	北陸新幹線建設促進同盟会総会が東京で開かる
3240	◇	1992	7	31		(H04)	東海北陸自動車道建設促進同盟会総会が開かる
3241	◇	1992	8	1	1	(H04)	岩瀬スポーツ公園の健康スポーツドーム、駐車場(西側)、園路広場供用開始(面積13.6ha→15.8ha)
3242	◇	1992	8	1	2	(H04)	県庁、土曜日閉庁を実施す
3243	◇	1992	8	3		(H04)	(都)牛島城川原線(富山市牛島本町～木場町)の着手
3244	◇	1992	8	5		(H04)	中部縦貫自動車道建設促進期成同盟会総会、安房トンネル建設促進期成同盟会総会が開催さる
3245	◇	1992	8	6		(H04)	広域共同プロジェクト基礎調査実施地域として、富山県及び岐阜県の地域が選定さる
3246	◇	1992	8	8		(H04)	第一回川サミットが開催さる
3247	◇	1992	8	21		(H04)	布施川ダム竣工式
3248	◇	1992	8	24		(H04)	称名滝のプロムナードが完成す
3249	◇	1992	8	25		(H04)	伏木富山港・ウラジオストク商業港の友好港提携調印
3250	◇	1992	8	26		(H04)	(都)双代線(富山市中田～石金)の着手
3251	◇	1992	8	27	1	(H04)	富山空港ターミナルビル第一期国際線ビル起工式が行わる
3252	◇	1992	8	27	2	(H04)	北陸新幹線小矢部市・金沢市間建設工事の起工式が行わる(運動開始から数えて25年を経て着工)
3253	◇	1992	8	31		(H04)	城端ダム竣工式
3254	◇	1992	9	11		(H04)	八尾町施行による福島土地区画整理事業の換地処分
3255	◇	1992	9	16		(H04)	まちのかおつくり国際シンポジウムが開催さる
3256	◇	1992	9	17		(H04)	全国知事会議で日本海を縦断す新しい「日本海国土軸」の形成を首相に要望
3257	◇	1992	9	27		(H04)	第1回ジャパンエキスポ富山'92が閉会～入場者数236万人
3258	◇	1992	9	28		(H04)	富山北大橋開通式が行わる
3259	◇	1992	10	6		(H04)	魚津駅前吉島地区(東京第一ホテル魚津)第一種市街地再開発事業工事が完了す
3260	◇	1992	10	8		(H04)	第8回富山県育樹祭が行わる
3261	◇	1992	10	10	1	(H04)	高岡御旅屋第一街区市街地再開発事業の起工式が行わる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3262	◇	1992	10	10	2	(H04)	町道上田上飯野線の拡幅改良(入善町)
3263	◇	1992	10	13		(H04)	新川文化ホールの起工式が行わる
3264	◇	1992	10	16	1	(H04)	県営富岡プールの起工式が行わる
3265	◇	1992	10	16	2	(H04)	富山空港国際定期便開設促進協議会が開催さる
3266	◇	1992	10	25		(H04)	第14回知事選挙で中沖豊四選
3267	◇	1992	10	30	1	(H04)	第20回花と緑の大会が行わる
3268	◇	1992	10	30	2	(H04)	礪波市施行による出町土地区画整理事業の完工式
3269	◇	1992	10	31		(H04)	組合施行による小矢部市石動駅南第一土地区画整理事業の完工式
3270	◇	1992	10	-		(H04)	市道280号線の東橋が完成(新湊市)
3271	◇	1992	11	1		(H04)	市道高割興法寺線の合口橋が開通(小矢部市)
3272	◇	1992	11	5		(H04)	湯谷橋が竣功す
3273	◇	1992	11	10	1	(H04)	富山・岐阜サミット(テーマは日本の心のふるさとゾーン整備構想、広域交通体系の整備)
3274	◇	1992	11	10	2	(H04)	富山市水橋浄化センターの通水式が行わる
3275	◇	1992	11	15		(H04)	この年から除雪委託単価に待機補償料が計上さる
3276	◇	1992	11	16		(H04)	第11次道路整備五ヶ年計画策定富山県総決起大会が開催さる
3277	◇	1992	11	24		(H04)	広域営農団地農道整備事業新川地区の阿古屋野トンネルが開通す
3278	◇	1992	11	26		(H04)	富山県高度情報通信ネットワーク整備工事が竣工す
3279	◇	1992	11	27		(H04)	第14回富山県総合雪対策推進会議が開かる
3280	◇	1992	12	3		(H04)	境川ダム試験湛水開始
3281	◇	1992	12	8		(H04)	組合施行による礪波市礪波駅南土地区画整理事業の都市計画決定
3282	◇	1992	12	11		(H04)	組合施行による小矢部市石動駅南第二土地区画整理事業の都市計画決定
3283	◇	1992	12	18	1	(H04)	国民文化祭基本構想検討委員会が開かる
3284	◇	1992	12	18	2	(H04)	整備新幹線建設促進総決起大会、北陸新幹線建設促進会議が開かる
3285	◇	1992	12	23		(H04)	神通川左岸流域下水道幹線管渠工事に着手
3286	◇	1992	-	-	1	(H04)	平成4年度一般会計歳出決算5565億700万円、うち土木部一般会計歳出決算1414億6400万円
3287	◇	1992	-	-	2	(H04)	平成4年度上半期発注目標率77.8%、発注実績率79.6%
3288	◇	1992	-	-	3	(H04)	平成4年の伏木富山港貨物取扱量は、1197万t(伏木地区170万t、富山地区544万t、新湊地区482万t)
3289	◇	1993	1	8		(H05)	組合施行による高岡市中保土地区画整理事業の都市計画決定
3290	◇	1993	1	18		(H05)	雪美の広場・スノーアートとやま'93が始まる~-02-28
3291	□	1993	2	7		(H05)	県内では40年振りの震度4、震源地は能登半島沖、マグニチュード6.6、富山市内の一部で停電したが、大きな被害はなかった
3292	◇	1993	2	8	1	(H05)	(都)中保南北線(高岡市立野~中保)の着手(~H08)
3293	◇	1993	2	8	2	(H05)	組合施行による高岡市中保土地区画整理事業の事業計画決定
3294	◇	1993	2	8	3	(H05)	組合施行による小矢部市石動駅南第一土地区画整理事業の換地処分
3295	◇	1993	2	8	4	(H05)	組合施行による礪波市礪波駅南土地区画整理事業の事業計画決定
3296	◇	1993	2	8	5	(H05)	立山黒部アルペンルートの室堂・大観望間のトロリーバス化が認可さる
3297	◇	1993	2	13		(H05)	第3回花と緑の冬のフェスティバルが開会す
3298	◇	1993	2	15		(H05)	組合施行による高岡市下牧野土地区画整理事業の換地処分
3299	◇	1993	2	19	1	(H05)	組合施行による小矢部市津沢第一土地区画整理事業の換地処分
3300	◇	1993	2	19	2	(H05)	立山カルデラ砂防総合展示施設基本問題検討委員会が開かる
3301	◇	1993	2	20		(H05)	北陸新幹線倶利伽羅トンネルの工事安全祈願祭が行わる
3302	◇	1993	2	25		(H05)	立山カルデラ砂防総合展示施設構想の策定
3303	◇	1993	2	-		(H05)	平村、特定環境保全公共下水道事業に着手す~1997-07-01(H09)黎明浄化センターの供用開始
3304	◇	1993	3	8		(H05)	組合施行による小矢部市石動駅南第二土地区画整理事業の事業計画決定
3305	□	1993	3	22		(H05)	農林水産省の「第一回美しい日本の村景観コンテスト」に利賀村が選ばれる
3306	◇	1993	3	23		(H05)	ウラジオストクからの客船航路が開設され、第一便が伏木富山港に入港す
3307	◇	1993	3	24	1	(H05)	県議会、5年度一般会計当初予算5414億6800万円、うち土木部一般会計当初予算1295億900万円を可決す
3308	◇	1993	3	24	2	(H05)	大谷ダムの用地補償協定書調印式
3309	◇	1993	3	25		(H05)	(主)若栗生地線の飯沢跨線橋が開通す
3310	◇	1993	3	26		(H05)	富山県屋外広告物条例一部改正(許可手数料の引き上げ)
3311	◇	1993	3	29		(H05)	全国都市緑化とやまフェア準備委員会を設立す
3312	◇	1993	3	31	1	(H05)	滑川中央線竣工式が行わる
3313	◇	1993	3	31	2	(H05)	富山空港の第1期国際線ターミナルビルが竣工す、平成4年度の利用者数は96万5999人
3314	◇	1993	3	-	1	(H05)	高岡市、氷見市、婦中町まちづくり交通計画調査実施
3315	◇	1993	3	-	2	(H05)	市道84号線の新西橋が完成(新湊市)
3316	◇	1993	3	-	3	(H05)	長寿社会対応住宅「リフォーム編」を作成す
3317	◇	1993	3	-	4	(H05)	氷見市、魚津市都市景観形成ガイドプランの策定
3318	◇	1993	4	1	1	(H05)	舟川ダム建設事業開始
3319	◇	1993	4	1	2	(H05)	全国都市緑化とやまフェア準備委員会事務局が開設さる
3320	◇	1993	4	1	3	(H05)	富山県河川情報システムの稼働開始
3321	◇	1993	4	7		(H05)	「飛越合掌ふれあいの郷郷プラン」(富山県大沢野町、細入村、八尾町、平村、上平村、利賀村、岐阜県白川村、河合村、宮川村、神岡町、上宝村)が広域共同プロジェクトとして選定さる
3322	◇	1993	4	8		(H05)	経済企画庁の新国民生活指標で富山県が「住む」「遊ぶ」分野で日本一となる
3323	◇	1993	4	12	1	(H05)	富山・岐阜広域プロジェクトとして「飛越合掌ふれあいの郷プラン」が自治省・建設省から選定さる
3324	◇	1993	4	12	2	(H05)	防災情報システム竣工式、記念シンポジウムが行わる
3325	◇	1993	4	21		(H05)	富山空港第一期国際線旅客ターミナルビルが竣工す
3326	◇	1993	4	22		(H05)	湊入船町1号線の都市計画決定
3327	◇	1993	4	23		(H05)	国土地理院が「日本のへそは富山湾沖」と発表す
3328	◇	1993	4	26		(H05)	富山・ソウル便が開設され、ボーイング737型機が就航(週3往復)、記念式典が行わる
3329	◇	1993	4	27	1	(H05)	太閤山ランドがリニューアルオープンす、第1回ジャパンエキスポ富山'92(JET)を契機に公園内に各種施設が大幅に拡充され、JET跡地の整備も完了
3330	◇	1993	4	27	2	(H05)	富山県西部地域が地方拠点都市の地域指定を受ける
3331	◇	1993	4	27	3	(H05)	富山県総合運動公園陸上競技場の定礎式
3332	◇	1993	4	28		(H05)	第44回富山県植樹祭が福光町で行わる
3333	◇	1993	5	14		(H05)	整備新幹線建設促進総決起大会が東京で開かる
3334	◇	1993	5	18		(H05)	新湊漁港東西連絡道路奈呉の浦大橋が竣工す
3335	◇	1993	5	19	1	(H05)	氷見市国見地区災害関連緊急地すべり対策事業完成式
3336	◇	1993	5	19	2	(H05)	富山市施行による山室第2土地区画整理事業の事業計画決定
3337	◇	1993	5	27		(H05)	北陸新幹線建設促進富山県民総決起大会が開かる
3338	◇	1993	5	28	1	(H05)	第11次道路整備五箇年計画(H05~09)が閣議決定さる
3339	◇	1993	5	28	2	(H05)	第10次積雪寒冷特別地域道路交通確保五箇年計画が閣議決定さる
3340	◇	1993	6	2	1	(H05)	(都)福野駅前線(福野町松原新地内)の着手、駅前広場3,400㎡含む
3341	◇	1993	6	2	2	(H05)	(都)湊入船町1号線(富山市湊入船町地内)の着手
3342	◇	1993	6	3		(H05)	(都)富山駅根塚線(富山市新富町~安住町)の着手(~H08)
3343	◇	1993	6	14		(H05)	建設大臣から全国都市緑化とやまフェア開催を承認さる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3344	◇	1993	6	18		(H05)	(都)南線(黒部市牧野～岡)の着手
3345	◇	1993	6	19		(H05)	県民公園頼成の森水生植物園が竣工す
3346	◇	1993	6	24	1	(H05)	国民文化祭実行委員会が東京で開かる
3347	◇	1993	6	24	2	(H05)	北鬼江吉島線の竣工式が行わる(魚津市)
3348	◇	1993	6	26		(H05)	富山県漕艇場が竣工す
3349	◇	1993	7	5		(H05)	日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会総会が開かる
3350	◇	1993	7	9		(H05)	緑花推進県民会議が開かる
3351	◇	1993	7	12		(H05)	国民文化祭富山県実行委員会設立総会が開かる
3352	◇	1993	7	19		(H05)	東部山麓道路建設促進期成同盟会設立総会が開かる
3353	◇	1993	7	22		(H05)	富山空港国際便開設促進協議会総会が開かる
3354	◇	1993	7	30	1	(H05)	能越自動車道高岡北・氷見間の整備計画が決定す
3355	◇	1993	7	30	2	(H05)	北陸自動車道上越・朝日間4車線化計画の変更が認可さる
3356	◇	1993	8	1		(H05)	東海北陸自動車道建設促進同盟会総会が開かる
3357	◇	1993	8	10	1	(H05)	'93出会いふれあいの道フェスティバルが開かる
3358	◇	1993	8	10	2	(H05)	(都)富山駅東線(富山市桜町～桜橋通り)の着手
3359	◇	1993	8	25		(H05)	(主)礪波細入線の杉原橋開通す
3360	◇	1993	8	30		(H05)	北陸新幹線建設促進同盟会が東京で開かる
3361	◇	1993	9	7		(H05)	第一回立山カルデラ砂防総合展示施設基本計画策定委員会が開かる
3362	◇	1993	9	8		(H05)	富山空港夜間駐機が建設省から基本的に了解さる
3363	◇	1993	9	9		(H05)	とやま21世紀水ビジョン推進会議が開かる
3364	◇	1993	9	19		(H05)	富山空港開港30周年・空の記念事業が行わる
3365	◇	1993	9	24		(H05)	組合施行による高岡市立野東部土地区画整理事業の換地処分
3366	◇	1993	10	1	1	(H05)	富山県総合運動公園の一部を開園(面積23ha)、陸上競技場、補助競技場、芝生スポーツ広場など
3367	◇	1993	10	1	2	(H05)	富山県中央植物園が開園す
3368	□	1993	10	1	3	(H05)	県内民放第3局「テレビユー富山」(愛称「チューリップテレビ」)が開局
3369	◇	1993	10	6		(H05)	第9回富山県育樹祭が行わる
3370	◇	1993	10	7	1	(H05)	境川総合開発事業の境川ダム竣工式、当時RCD工法では堤高日本一、全国で最初の雪対策ダム
3371	◇	1993	10	7	2	(H05)	大規模林道朝日・大山線の起工式が行わる
3372	◇	1993	10	13	1	(H05)	組合施行による礪波市中村土地区画整理事業の完工式
3373	◇	1993	10	13	2	(H05)	組合施行による礪波市鍋島中央土地区画整理事業の完工式
3374	◇	1993	10	13	3	(H05)	北陸新幹線糸魚川・魚津間建設工事起工式が行わる
3375	□	1993	10	23		(H05)	高岡市内で最大級のショッピングセンター高岡サティがオープン
3376	◇	1993	10	28		(H05)	日本海国土軸推進大会が東京で開かる
3377	◇	1993	10	29		(H05)	(主)高岡羽咋線の赤毛トンネルが開通す
3378	◇	1993	11	4	1	(H05)	組合施行による滑川市上小泉西土地区画整理事業の完工式
3379	◇	1993	11	4	2	(H05)	入札制度検討委員会が再開、第1回入札制度検討委員会を開催す
3380	◇	1993	11	5		(H05)	(都)環状南線(氷見市南大町～窪)の着手(～H07)
3381	◇	1993	11	17		(H05)	第一回全県域下水道化構想推進委員会が開かる
3382	◇	1993	11	19		(H05)	東海北陸自動車道上平・清見間の施行命令が出さる
3383	◇	1993	11	26		(H05)	(都)草島東線(富山市荒川地内)の着手
3384	◇	1993	11	29		(H05)	富山県総合雪対策推進会議が開かる
3385	◇	1993	12	6		(H05)	平成5年度雪崩防災週間シンポジウム開催
3386	◇	1993	12	27	1	(H05)	大島町、流域関連公共下水道事業に着手す
3387	◇	1993	12	27	2	(H05)	八尾町、流域関連公共下水道事業に着手す
3388	◇	1993	12	27	3	(H05)	婦中町、流域関連公共下水道事業に着手す
3389	◇	1993	-	-	1	(H05)	平成5年度一般会計歳出決算5947億8700万円、うち土木部一般会計歳出決算1470億7500万円
3390	◇	1993	-	-	2	(H05)	平成5年度上半期発注目標率79.0%、発注実績率80.1%
3391	◇	1993	-	-	3	(H05)	平成5年の伏木富山港貨物取扱量は、1182万t(伏木地区173万t、富山地区549万t、新湊地区460万t)
3392	◇	1994	1	1		(H06)	物価上昇等に伴う県営住宅の家賃改定
3393	◇	1994	1	10		(H06)	「とやま都市MIRAI地区」地区計画の決定
3394	◇	1994	1	14		(H06)	神通川左岸流域下水道新湊浄化センターの起工式
3395	◇	1994	1	17		(H06)	雪美のひろば・スノーアートとやま'94点灯式が行わる
3396	◇	1994	1	20		(H06)	整備新幹線建設促進総決起大会が東京で行わる
3397	◇	1994	1	26		(H06)	富山・ウラジオストク便開設が決定す
3398	◇	1994	2	9		(H06)	大谷川総合開発事業大谷ダム建設工事で初の制限付き一般競争入札を実施
3399	◇	1994	2	11		(H06)	花と緑の冬のフェスティバルが始まる～-02-13
3400	◇	1994	2	15		(H06)	6年度政府予算で富山空港の整備充実・百瀬ダムの新規建設などが認めらる
3401	◇	1994	2	21		(H06)	(都)下伏間江福田線(高岡市佐野～六家)の着手
3402	◇	1994	2	22	1	(H06)	住まいとまちづくり推進協議会設立総会が開催さる
3403	◇	1994	2	22	2	(H06)	雪対策協議会設立総会が開催さる
3404	◇	1994	2	23		(H06)	テクノスーパーライナー研究懇談会が開かる
3405	□	1994	2	28		(H06)	黒部川の出し平ダムで世界初の排砂実験
3406	◇	1994	3	1		(H06)	警察本部庁舎新築工事の定礎式が行わる
3407	◇	1994	3	16		(H06)	富山県西部地方拠点都市地域の基本計画が承認さる
3408	◇	1994	3	17		(H06)	高岡市御旅屋第一街区(御旅屋セリオ)第一種市街地再開発事業工事が完了す
3409	◇	1994	3	18		(H06)	富山空港ジェット化10周年記念行事が行わる
3410	◇	1994	3	24		(H06)	立山カルデラ砂防総合展示施設基本計画の策定
3411	◇	1994	3	25		(H06)	県議会、6年度一般会計当初予算5537億100万円、うち土木部一般会計当初予算1308億2700万円を可決す
3412	◇	1994	3	28		(H06)	県営高岡プール新築工事完成す
3413	◇	1994	3	30		(H06)	富山県警察本部庁舎新築工事完成す
3414	◇	1994	3	31	1	(H06)	海王丸を富山で恒久展示することが決定す
3415	◇	1994	3	31	2	(H06)	平成5年度の富山空港利用者数は94万9035人
3416	◇	1994	3	-	1	(H06)	新湊市、宇奈月町都市景観形成ガイドプランの策定
3417	◇	1994	3	-	2	(H06)	富山県公共賃貸住宅建替促進計画を策定す
3418	◇	1994	3	-	3	(H06)	富山高岡広域都市計画区域について都市計画基礎調査を実施
3419	◇	1994	3	-	4	(H06)	富山市、礪波市まちづくり交通計画調査実施
3420	◇	1994	3	-	5	(H06)	福岡町養川親水公園都市景観形成モデル事業完了
3421	◇	1994	3	-	6	(H06)	福野町厳浄閣周辺地区都市景観形成モデル事業完了
3422	◇	1994	4	1	1	(H06)	港湾課臨海公園建設班を廃止す、砂防課内にカルデラ博物館建設班を設置す、都市計画課内に緑化フェア準備班を設置す
3423	◇	1994	4	1	2	(H06)	百瀬ダム建設事業開始
3424	◇	1994	4	1	3	(H06)	富山・東京便の夜間駐機実施、富山・ソウル便が週4往復に増便
3425	□	1994	4	12		(H06)	台風並みの低気圧で県内に最大瞬間風速38mの強風が吹き、大沢野町で2人が行方不明
3426	◇	1994	4	19		(H06)	第13回全国都市緑化とやまフェア実行委員会を設立す
3427	◇	1994	4	22		(H06)	黒瀬川桜つつみモデル事業(黒部市)が認定さる
3428	□	1994	4	27	1	(H06)	とやま都市MIRAI地区内にインテックビルが完成、地下1階、地上23階、高さは111mで県内一の高さ、総事業費約200億円
3429	◇	1994	4	27	2	(H06)	第45回富山県植樹祭が行わる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3430	◇	1994	5	1		(H06)	海王丸フェスティバルが行わる～-05-05
3431	◇	1994	5	9		(H06)	富山県置県111年を記念して、「とやま川の年」記念事業を実施～1995-06-28(H07)全建建設事業イメージアップ優秀賞を受賞
3432	◇	1994	5	14		(H06)	宮崎漁港臨海道路の宮の崎橋が完成(朝日町)
3433	◇	1994	5	20		(H06)	警察本部庁舎竣工式が行わる
3434	◇	1994	6	1		(H06)	富山県屋外広告物審議会に条例の一部改正を諮問
3435	◇	1994	6	3		(H06)	小矢部川津沢地区改修事業(小矢部市)が竣工(S57～)
3436	◇	1994	6	3		(H06)	停車場東草野線竣工式が行わる
3437	◇	1994	6	8		(H06)	組合施行による滑川市上小泉西土地区画整理事業の換地処分
3438	◇	1994	6	15		(H06)	富山県総合運動公園陸上競技場でJリーグのナイトゲームが初めて開催さる
3439	◇	1994	6	25		(H06)	入善町の水の小径が開通す
3440	◇	1994	7	1	1	(H06)	県営住宅条例設置条例と県営住宅管理条例とを一本化し、県営住宅条例に改称
3441	◇	1994	7	1	2	(H06)	富山県屋外広告物条例の一部改正(都市計画法の用途地域細分化に伴うもの)
3442	◇	1994	7	1	3	(H06)	林道小口川線が開通す
3443	◇	1994	7	5		(H06)	富山市安住町2番街区(北日本スクエア)優良再開発建築物整備促進事業が竣工す
3444	□	1994	7	13		(H06)	梅雨が明けたこの日から県内は64日間連続の真夏日が続き、水不足で県西部で給水制限が相次ぐ
3445	◇	1994	7	15		(H06)	富山・ウラジオストク便が開設され、ツボレフ154型機が週1往復就航す
3446	◇	1994	7	22		(H06)	(主)富山外郭環状線の富南大橋が開通す
3447	◇	1994	7	25		(H06)	伏木富山港テクノスーパーライナー誘致期成同盟会を設立す
3448	◇	1994	7	28		(H06)	(主)富山立山魚津線バイパス(辻～正印)の弓庄橋が開通す
3449	◇	1994	7	31		(H06)	富山県総合運動公園で全国高校総合体育大会夏季大会が皇太子同妃両殿下をお迎えして開会す～-08-24
3450	◇	1994	7	-		(H06)	環日本海諸国図(通称「逆さ地図」)を作成す
3451	◇	1994	8	1		(H06)	富山県総合運動公園で全国高校総体陸上競技大会～-08-04(H06)
3452	◇	1994	8	6		(H06)	「とやま川の年」リバーランドフェスティバルが行わる～-08-07
3453	◇	1994	8	10	1	(H06)	組合施行による礪波市中村土地区画整理事業の換地処分
3454	◇	1994	8	10	2	(H06)	組合施行による礪波市鍋島中央土地区画整理事業の換地処分
3455	◇	1994	8	31		(H06)	富山県新川文化ホール新築工事完成す
3456	◇	1994	9	28		(H06)	平成6年度全国道路交通情勢調査(道路交通センサス)が行わる
3457	◇	1994	10	8		(H06)	富山県利賀芸術公園が開園す
3458	◇	1994	10	13		(H06)	第10回富山県育樹祭が行わる
3459	◇	1994	10	26		(H06)	宇奈月町黒部川水系宇奈月谷水と緑豊かな溪流砂防事業竣工式
3460	◇	1994	10	28		(H06)	国道8号魚津バイパス開通す
3461	◇	1994	10	-	1	(H06)	千保川中小河川改修事業が完了(S27～)
3462	◇	1994	10	-	2	(H06)	長沢橋歩道橋完成(婦中町)
3463	◇	1994	11	1	1	(H06)	とやま川の年記念シンポジウムが行わる
3464	◇	1994	11	1	2	(H06)	岩瀬PBS(プレジャーボートスポット)の一部が供用開始す
3465	◇	1994	11	1	3	(H06)	富山・福岡便が開設になり、エアバス320型機が1日1往復就航
3466	◇	1994	11	4		(H06)	組合施行による福野町寺家新屋敷土地区画整理事業の完工式
3467	◇	1994	11	16	1	(H06)	(一)阿弥陀堂魚津停車場線の天神山トンネルが貫通す
3468	◇	1994	11	16	2	(H06)	(都)環状南線の竣工式が行わる
3469	◇	1994	11	22		(H06)	立山町施行による中前沢土地区画整理事業の完工式
3470	◇	1994	12	13	1	(H06)	草島西線2工区(富山市五福～富山市五福末広)の着手
3471	◇	1994	12	13	2	(H06)	礪波福光線2工区(福野町松原新～福野町二日町)の着手
3472	◇	1994	12	16		(H06)	地域高規格道路の路線指定が行われ、本県では候補路線として4路線(富山高山連絡道路、高岡環状道路、富山高岡連絡道路、富山外郭環状道路)、その中から計画路線として2路線(富山高山連絡道路、高岡環状道路)が指定さる
3473	◇	1994	-	-	1	(H06)	平成6年度一般会計歳出決算5914億8300万円、うち土木部一般会計歳出決算1354億1000万円
3474	◇	1994	-	-	2	(H06)	平成6年度上半期発注目標率75.8%、発注実績率75.5%
3475	◇	1994	-	-	3	(H06)	平成6年の伏木富山港貨物取扱量は、1201万t(伏木地区179万t、富山地区553万t、新湊地区469万t)
3476	◇	1995	1	9		(H07)	富山県スキージャンプ場(立山ジャンツェ)竣工式が行わる
3477	□	1995	1	17		(H07)	阪神淡路大震災で県内各地の自治体、企業、ボランティア団体が被災地に救援隊を派遣
3478	◇	1995	1	21		(H07)	県庁前公園でスノーアート改め「雪美の庭」実施さる(現在まで毎年実施)～-02-28
3479	◇	1995	1	30		(H07)	(都)湊入船町線(富山市木場町～湊入船町)の着手
3480	◇	1995	2	10		(H07)	第5回花と緑の冬のフェスティバルが行わる～-02-12
3481	◇	1995	3	15		(H07)	県議会、7年度一般会計当初予算5717億1900万円、うち土木部一般会計当初予算1331億4900万円を可決す
3482	◇	1995	3	16		(H07)	富山県新川地域が地方拠点都市の地域指定を受ける
3483	◇	1995	3	22	1	(H07)	新交通管制センター運用開始す
3484	◇	1995	3	22	2	(H07)	中新川公共下水道事務組合の浄化センターの通水式が行わる
3485	◇	1995	3	24		(H07)	上平村西赤尾浄化センターの通水式が行わる
3486	◇	1995	3	25		(H07)	庄川左岸堤防道路(中田橋～戸出石代)完成(高岡市)
3487	◇	1995	3	31	1	(H07)	富山県屋外広告物条例施行規則一部改正(事務委任の一部変更)
3488	◇	1995	3	31	2	(H07)	平成6年度の富山空港利用者数は102万9859人(はじめて百万人を突破す)
3489	◇	1995	4	1	1	(H07)	小矢部川流域下水道区域の全市町村で供用開始になる
3490	◇	1995	4	1	2	(H07)	都市計画課内の緑化フェア準備班を緑化フェア推進班と改称す
3491	◇	1995	4	6		(H07)	組合施行による富山市町村東土地区画整理事業の都市計画決定
3492	◇	1995	4	11		(H07)	富山・ウラジオストク便が週2往復で再開、記念行事が行わる
3493	◇	1995	4	20	1	(H07)	県立病院診療棟が竣工す
3494	◇	1995	4	20	2	(H07)	組合施行による高岡市中田東部土地区画整理事業の都市計画決定
3495	◇	1995	4	25		(H07)	町道墓の木小杉線の拡幅改良(入善町)
3496	◇	1995	4	28	1	(H07)	第13回全国都市緑化とやまフェアの実施計画を決定す
3497	◇	1995	4	28	2	(H07)	第13回全国都市緑化フェアのみつばちキャラバン隊出発式
3498	◇	1995	4	28	3	(H07)	地域高規格道路「高岡環状道路」の高岡市上伏間江～六家間の約5kmが整備区間に指定さる
3499	◇	1995	5	10		(H07)	組合施行による大門町二口土地区画整理事業の都市計画決定
3500	◇	1995	5	22		(H07)	建設省北陸地建主催による「フォーラム・越のくにつくり」が富山市のタワー111で開催さる(出席者:糠谷国土庁計画・調整局長、入江北陸地建局長、中沖富山県知事、平山新潟県知事ほか)
3501	◇	1995	5	23		(H07)	神通川桜つつみモデル事業(富山市)が認定さる
3502	◇	1995	5	25	1	(H07)	(主)朝日宇奈月線の小川橋が開通す
3503	◇	1995	5	25	2	(H07)	北陸新幹線富山駅整備調整事業起工式が行わる
3504	◇	1995	6	1		(H07)	富山県震災建築物応急危険度判定士認定制度要綱の策定
3505	◇	1995	6	7		(H08)	建設省北陸地建主催による「第2回フォーラム・越のくにつくり」が新潟市のNEXT21で開催さる(出席者:塩谷国土庁計画・調整局長、土屋北陸地建局長、中沖富山県知事、平山新潟県知事ほか)
3506	◇	1995	6	13	1	(H07)	パソコン通信「ハローネットとやま」の運用を開始す
3507	◇	1995	6	13	2	(H07)	富山駅根塚線(富山市安住町～丸の内)の着手(電線共同溝)

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3508	◇	1995	6	23		(H07)	県道宮島峡公園線(2町道の廃止)(福岡町)
3509	◇	1995	6	30	1	(H07)	阪神大震災により大規模災害の被災者について県営住宅の入居資格を緩和
3510	◇	1995	6	30	2	(H07)	富山県立山博物館新築工事完成す
3511	◇	1995	6	-		(H07)	定期公募型指名競争入札の試行を開始
3512	◇	1995	7	5		(H07)	栃津川放水路が完成
3513	◇	1995	7	7	1	(H07)	梅雨前線豪雨により、床上浸水1戸、床下浸水127戸のほか、非住家1戸、道路97箇所、橋りょう1箇所、河川174箇所、砂防26箇所の損壊、崖くずれ1箇所また、黒部川上流の出し平ダムから猫又谷、樺平周辺に約560万立方mの土砂が堆積特に猫又地区では、黒部峡谷鉄道などが土砂で埋塞すなどの被害を受く
3514	◇	1995	7	7	2	(H07)	富山市施行による土地区画整理山室第二事業の都市計画決定
3515	◇	1995	7	7	3	(H07)	立山博物館野外施設「まんだら遊苑」が開苑す
3516	□	1995	7	12		(H07)	富山県と岐阜県とを結ぶ山間地の大規模林道高山・天山間の飛越トンネルが完成す
3517	◇	1995	7	13		(H07)	富山・岐阜両県知事懇談会、日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会総会が行わる
3518	◇	1995	7	21		(H07)	組合施行による礪波市鍋島北土地区画整理事業の換地処分
3519	◇	1995	8	4		(H07)	国道359号(礪波市本町～広上町)の着手
3520	□	1995	8	6		(H07)	豪雨災害で全面運休していた黒部峡谷鉄道が34日ぶりに一部区間の運転を再開
3521	◇	1995	8	7		(H07)	町道一宿福島国道線が完成(入善町)
3522	◇	1995	8	12		(H07)	TSL(テクノスーパーライナー)実験船「飛翔」が伏木富山港に寄港す
3523	◇	1995	8	23		(H07)	地域高規格道路「富山高山連絡道路」の細入村地内の約7kmが調査区間に指定さる
3524	◇	1995	8	29		(H07)	(主)高岡羽咋線の国吉大橋が開通す
3525	◇	1995	8	31		(H07)	早月ダム計画検討会設置、～1997-02-28(H09)早月ダムの当面中止を決定、公表
3526	◇	1995	9	4	1	(H07)	(主)高岡小杉線、4車線化さる
3527	◇	1995	9	4	2	(H07)	まちのかお建築系・都市計画系大学院生等見学会が行わる
3528	◇	1995	9	13		(H07)	町道中老田高岡線(現東老田高岡線)開通(小杉町)
3529	◇	1995	9	29		(H07)	富山県中央植物園新築工事完成す
3530	◇	1995	10	11		(H07)	組合施行による礪波市鍋島北土地区画整理事業の完工式
3531	◇	1995	10	12		(H07)	(主)富山魚津線の滑川バイパス開通す
3532	◇	1995	10	20		(H07)	組合施行による高岡市中田東部土地区画整理事業の事業計画決定
3533	◇	1995	10	27		(H07)	黒部川出し平ダムで第1回緊急排砂が実施さる(約175万立方mを排砂)～-10-31
3534	◇	1995	11	7		(H07)	(一)阿弥陀堂魚津停車場線の天神山トンネル開通す
3535	◇	1995	11	10	1	(H07)	平成7年度富山県道路除雪対策協議会が開かる
3536	◇	1995	11	10	2	(H07)	立山町施行による中前沢土地区画整理事業の換地処分
3537	◇	1995	11	16		(H07)	(一)笹津安養寺線の興南大橋開通す
3538	◇	1995	11	20	1	(H07)	組合施行による大門町二口土地区画整理事業の事業計画決定
3539	◇	1995	11	20	2	(H07)	富山県における空港の将来ビジョンと今後の整備構想を検討する「富山県空港整備構想検討委員会」が発足す
3540	◇	1995	11	21		(H07)	魚津市施行による駅西土地区画整理事業の完工式
3541	◇	1995	11	24		(H07)	組合施行による高岡市中田土地区画整理事業の換地処分
3542	◇	1995	11	27		(H07)	富山県屋外広告物審議会の開催(条例一部改正について)
3543	◇	1995	11	30		(H07)	黒部市施行による牧野土地区画整理事業の完工式
3544	□	1995	12	6		(H07)	五箇山相倉、菅沼合掌造り集落が世界遺産に指定、登録さる
3545	◇	1995	12	15		(H07)	組合施行による富山市町村東土地区画整理事業の事業計画決定
3546	◇	1995	12	20	1	(H07)	組合施行による富山市荒川南土地区画整理事業の都市計画決定
3547	◇	1995	12	20	2	(H07)	富山県西部地方拠点都市地域のアクションプログラムが公表さる
3548	◇	1995	12	-	1	(H07)	新しい全国総合開発計画の基本的考え方「21世紀の国土のランドデザイン」が国土審議会計画部会で取りまとめらる
3549	◇	1995	12	-	2	(H07)	町道新田牛滑線の道島橋が完成(婦中町)
3550	◇	1995	-	-	1	(H07)	平成7年度一般会計歳出決算6011億2000万円、うち土木部一般会計歳出決算1518億8100万円
3551	◇	1995	-	-	2	(H07)	平成7年度上半期発注目標率78.0%、発注実績率78.0%
3552	◇	1995	-	-	3	(H07)	平成7年の伏木富山港貨物取扱量は、1197万t(伏木地区173万t、富山地区526万t、新湊地区498万t)
3553	◇	1996	1	7		(H08)	富山県市町村会館竣工式が行わる
3554	◇	1996	1	10		(H08)	組合施行による礪波市深江土地区画整理事業の都市計画決定
3555	◇	1996	1	11		(H08)	第13回全国都市緑化とやまフェア開幕100日前プレイベントを開催す(富山県民会館)
3556	□	1996	1	29		(H08)	この日夜からの雪は2月2日まで続き、積雪は富山市で74cm、高岡市で58cmと10年振りの大雪
3557	◇	1996	1	31		(H08)	曙町県営住宅が竣工す
3558	◇	1996	2	1		(H08)	富山県屋外広告物審議会に条例の一部改正について諮問
3559	◇	1996	2	8		(H08)	組合施行による朝日町沼保新土地区画整理事業の都市計画決定
3560	◇	1996	2	10		(H08)	第六回花と緑のフェスティバルが行わる～-02-12
3561	◇	1996	3	5		(H08)	魚津市施行による駅西土地区画整理事業の換地処分
3562	◇	1996	3	13		(H08)	富山県屋外広告物条例に基づく禁止地域の指定変更(能越自動車道の供用、富山市の中核市移行に伴うもの)
3563	◇	1996	3	22		(H08)	引船「日本海」竣工す
3564	◇	1996	3	25		(H08)	県議会、8年度一般会計当初予算5840億5100万円、うち土木部一般会計当初予算1377億7800万円を可決す
3565	◇	1996	3	27		(H08)	富山県屋外広告物条例一部改正(許可期間延長、広告物の種類の明確化、地区制度の創設など)
3566	◇	1996	3	28		(H08)	能越自動車道福岡インターチェンジ・小矢部礪波ジャンクション間が開通す
3567	◇	1996	3	31		(H08)	平成7年度の富山空港利用者数は112万6885人
3568	◇	1996	3	-		(H08)	富山県住宅マスタープランを策定す(計画期間H08～H017)
3569	◇	1996	4	1	1	(H08)	建設工事標準請負契約約款の改正、工事完成保証人の廃止及び新しい履行保証制度の実施
3570	◇	1996	4	1	2	(H08)	白岩川桜つつみモデル事業(富山市)が認定さる
3571	◇	1996	4	1	3	(H08)	分散型積算システム本格稼働(新積算システム)
3572	□	1996	4	1	4	(H08)	富山市が政令指定都市に準じた「中核市」としてスタート
3573	□	1996	4	1	5	(H08)	ケーブルテレビ富山が開局、自主制作の地元向けコミュニティチャンネルも本放送を開始す
3574	◇	1996	4	3		(H08)	消防防災ヘリコプターの就航式が行わる
3575	◇	1996	4	8		(H08)	黒部市施行による三日市保育所周辺土地区画整理事業の都市計画を決定
3576	◇	1996	4	12	1	(H08)	国道415号の萩浦橋開通す
3577	□	1996	4	12	2	(H08)	魚津、泊で20cm、富山、高岡で4cmの積雪、富山地方気象台が昭和14年に観測を始めて以来最も遅い積雪を観測
3578	◇	1996	4	20		(H08)	第13回全国都市緑化とやまフェアの開会式が礪波市文化会館で行われ、礪波チューリップ公園会場が開幕す～-09-01
3579	◇	1996	4	22		(H08)	白川郷・五箇山合掌造り集落世界遺産登録記念式典が行わる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3580	◇	1996	4	24	1	(H08)	組合施行による高岡市中田土地区画整理事業の完工式
3581	◇	1996	4	24	2	(H08)	立山カルデラ砂防博物館(仮称)新築工事起工式
3582	◇	1996	4	25		(H08)	全国花のまちづくりシンポジウム富山大会が開かる
3583	◇	1996	4	26		(H08)	富山県中央植物園が全面開園、第13回全国都市緑化とやまフェア・富山県中央植物園会場が開幕～-06-14
3584	◇	1996	4	-	1	(H08)	国土庁の補助事業「個性と活力に満ちた雪国創造事業」がスタート、富山県からは庄川町が全国2箇所の新規採択の一つとして事業採択さる
3585	◇	1996	4	-	2	(H08)	新富山県民総合計画の後期事業計画が策定さる
3586	◇	1996	5	8		(H08)	北陸新幹線建設促進富山県民総決起大会が開かる
3587	◇	1996	5	23		(H08)	富山空港の第2取付誘導路、コンピューター機用エプロン新設、駐車場の拡張が行わる
3588	◇	1996	6	6		(H08)	第1回黒部ルート見学会が関電の工事用軌道を使って行わる
3589	◇	1996	6	11	1	(H08)	大門川河川環境整備が竣工
3590	◇	1996	6	11	2	(H08)	富山県新川地方拠点都市地域の基本計画が承認さる
3591	◇	1996	6	15		(H08)	第13回全国都市緑化とやまフェア・県民公園太閤山ランド会場開幕～-07-11
3592	◇	1996	6	21	1	(H08)	第13回全国都市緑化とやまフェア・県民公園頼成の森会場開幕～-06-30
3593	◇	1996	6	21	2	(H08)	富山市大手町地区第一種市街地再開発事業の都市計画決定
3594	◇	1996	6	24		(H08)	泉川水系工事実施基本計画、古川水系工事実施基本計画及び高橋川工事実施基本計画(変更)が認可さる
3595	◇	1996	6	27		(H08)	黒部川出し平ダムで第2回緊急排砂が実施さる(約80万m3排砂)～-06-29
3596	◇	1996	6	28		(H08)	富山県屋外広告物条例施行規則の一部を改正(条例の一部改正に伴うもの)
3597	◇	1996	7	1	1	(H08)	とやま都市MIRAI地区において北陸アーバンビルオープン
3598	◇	1996	7	1	2	(H08)	富山県屋外広告物条例に基づく禁止地域の指定変更(条例一部改正に伴うもの)
3599	◇	1996	7	5		(H08)	富山・函館便が開設になり、フォッカー50型機が就航(週4往復、季節運航～10月)
3600	◇	1996	7	7	1	(H07)	クルーズ客船「飛鳥」富山新港に初寄港す
3601	◇	1996	7	7	2	(H08)	河川法制定100年を記念して7月7日が「川の日」となる
3602	□	1996	7	9		(H08)	富山市東田地方から牛島本町へ移転した、富山日赤病院の新病院が完成
3603	◇	1996	7	10	1	(H08)	(主)高岡青井谷線の大門大橋歩道橋が開通、地元では山車が繰り出して祝ってくれる
3604	◇	1996	7	10	2	(H08)	とやま都市MIRAI地区内で富山赤十字病院が竣工す
3605	◇	1996	7	10	3	(H08)	雨晴海岸・松田江の長浜(高岡市・氷見市)と宮崎・境海岸(朝日町)が「日本の渚・百選」に選定さる
3606	◇	1996	7	10	4	(H08)	庄川町落シ災害関連地すべり対策事業竣工式
3607	◇	1996	7	12	1	(H08)	バリアフリーモデル住宅の展示を開始す(富山市月岡地内、高岡市おとぎの森公園内)
3608	◇	1996	7	12	2	(H08)	第13回全国都市緑化とやまフェアのメイン会場高岡古城公園会場・高岡おとぎの森公園会場が開幕す～-09-01
3609	◇	1996	7	12	3	(H08)	平成8年度全国都市緑化祭が開催され、秋篠宮同妃両殿下ご来場(高岡市民会館)
3610	◇	1996	7	19		(H08)	朝日町の朝日海岸が「海と緑の健康地域(健康海岸)」に指定さる
3611	□	1996	7	23	1	(H08)	富山市民球場で地方都市では初のプロ野球オールスター戦が開かる
3612	◇	1996	7	23	2	(H08)	外貿定期コンテナ(航路)中国航路が開設さる
3613	◇	1996	8	2	1	(H08)	組合施行による朝日町沼保新土地地区画整理事業の事業計画決定
3614	◇	1996	8	2	2	(H08)	平成8年度全国花と緑のフェスティバルが開催さる～-08-03
3615	◇	1996	8	7		(H08)	新国土形成研究会の平成8年度事務局県として、総会、トップ懇談会及び自民党加藤幹事長への要望活動等を実施
3616	◇	1996	8	8		(H08)	大谷ダム定礎式
3617	◇	1996	8	19		(H08)	組合施行による富山市荒川南土地地区画整理事業の事業計画決定
3618	◇	1996	8	30	1	(H08)	(一)笹津安養寺線開通す
3619	◇	1996	8	30	2	(H08)	地域高規格道路「富山高山連絡道路」の大沢野町小系～細入村楡原間の約7kmが整備区間に、細入村～富山市間の約10kmが調査区間に指定さる
3620	◇	1996	8	-		(H08)	町道速星駅熊野十五町線開通(婦中町)
3621	◇	1996	9	1		(H08)	第13回全国都市緑化とやまフェア閉会式が行わる
3622	◇	1996	9	3		(H08)	富山県総合防災訓練が行わる
3623	◇	1996	9	6	1	(H08)	国道415号の中新湊道路改築事業及び商店街近代化事業が完成す
3624	◇	1996	9	6	2	(H08)	黒部市浄化センター「きららの滝(アクアパーク整備事業)」が建設省のいきいき下水道賞を受賞す
3625	◇	1996	9	13		(H08)	組合施行による礪波市深江土地地区画整理事業の組合設立認可
3626	◇	1996	9	22	1	(H08)	とやま都市MIRAI地区において高度情報センターがオープン
3627	◇	1996	9	22	2	(H08)	とやま都市MIRAI地区において新しい公会堂「富山市芸術文化ホール」(オーバードホール)がオープン
3628	◇	1996	9	28		(H08)	第11回国民文化祭とやま'96が皇太子同妃両殿下をお迎えして始まる～-10-07
3629	◇	1996	10	1		(H08)	富山・関西便が開設になり、エアバス320型機が就航(1日1往復)、初便出発式が行わる
3630	◇	1996	10	9		(H08)	とやま国際トイレシンポジウム'96が始まる～-10-11
3631	◇	1996	10	15		(H08)	第12回富山県育樹祭が行わる
3632	◇	1996	10	18		(H08)	黒部市施行による牧野土地地区画整理事業の換地処分
3633	◇	1996	10	20		(H08)	第15回知事選挙で中沖豊五選
3634	◇	1996	10	22		(H08)	第28回砂防学会シンポジウム開催
3635	◇	1996	11	1		(H08)	富山新港臨海野鳥園がオープンす
3636	◇	1996	11	5		(H08)	富山県公共交通活性化シンポジウムが行わる
3637	◇	1996	11	6		(H08)	御旅屋西通り地区第一種市街地再開発事業の都市計画決定
3638	◇	1996	11	7		(H08)	全国マルチメディア祭'96inとやまが始まる～-11-10
3639	◇	1996	11	11		(H08)	中沖県政5期目がスタートす
3640	◇	1996	11	15	1	(H08)	ITVカメラによる路面状況把握を本格実施
3641	◇	1996	11	15	2	(H08)	県内14箇所における路面凍結予測を本格実施
3642	◇	1996	11	15	3	(H08)	除雪車にICカードシステムを導入、除雪事務の省力化を実現
3643	◇	1996	11	18		(H08)	全建とやま設立50周年記念事業として、「土木の日」に内海好江さん、兵庫県溜水副知事による講演会と祝賀会(ボルファートとやま)、ケヤキの記念植樹(富山県総合運動公園)、献血(ボルファートとやま)、写真展示(-11-16～-11-18 富山県民会館)、女性職員意見交換会(1997-01-29 富山第一ホテル)を行う
3644	◇	1996	11	26		(H08)	富山市施行による新庄南土地地区画整理事業の完工式
3645	◇	1996	11	27		(H08)	土木部公共事業コスト縮減対策ワーキンググループを設置～1997-04-04に政府及び建設省の行動計画により具体的な対策が示されたため、1997-06-02に設置された公共事業コスト縮減専門委員会に検討作業を引き継ぐ
3646	◇	1996	11	28		(H08)	「富山県空港整備構想検討委員会」において現富山空港を拡充整備する構想が示さる
3647	◇	1996	11	-	1	(H08)	「とやまのおもしろ土木事例集」を発行す～平成9年3月再版
3648	◇	1996	11	-	2	(H08)	建設省北陸地建において、北陸地域の社会資本の将来構想「越のくにづくり」が策定さる
3649	◇	1996	12	6	1	(H08)	(都)二口北野線(大門町旭町～大島町北野)の着手

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3650	◇	1996	12	6	2	(H08)	国道160号の氷見バイパスが開通す
3651	◇	1996	12	13		(H08)	第6次特定交通安全施設等五箇年計画(H08～12)が閣議決定さる
3652	◇	1996	12	24		(H08)	富山・高岡地区第6次新産業都市建設基本計画が承認さる
3653	◇	1996	12	－		(H08)	市道幹1－16号線の朴木新橋が完成(新湊市)
3654	◇	1996	－	－	1	(H08)	平成8年度一般会計歳出決算5961億6900万円、うち土木部一般会計歳出決算1469億5400万円
3655	◇	1996	－	－	2	(H08)	平成8年度上半期発注目標率76.0%、発注実績率76.8%
3656	◇	1996	－	－	3	(H08)	平成8年の伏木富山港貨物取扱量は、1216万t(伏木地区176万t、富山地区522万t、新湊地区517万t)
3657	◇	1997	1	2		(H09)	日本海山陰沖でロシア船籍ナホトカ号の重油流出事故が発生す
3658	◇	1997	1	17		(H09)	ナホトカ号の重油流出事故による浮流油の一部が富山湾の「防除準備線」を超えたため、「富山県重油流出事故対策本部」及び「富山湾浮流油処理作業調整本部」が設置さる
3659	☆	1997	1	22		(H09)	政府が「公共工事コスト縮減対策関係閣僚会議」を開催す
3660	☆	1997	1	27		(H09)	ロシアタンカー重油流出事故で、県の対策本部は、重油の回収作業を行うため、職員92人をボランティア休暇を利用して石川県珠洲市に派遣す
3661	☆	1997	1	30		(H09)	黒部市(吉田川)と小杉町(下条川)が、水辺の楽校プロジェクトに登録さる
3662	◇	1997	1	－		(H09)	富山県第七期住宅建設五箇年計画を策定す(計画期間H08～H012)
3663	◇	1997	2	7		(H09)	朝日町、公共下水道事業に着手す
3664	◇	1997	2	12	1	(H09)	入善町、公共下水道事業に着手す
3665	◇	1997	2	12	2	(H09)	富山市施行による下新町土地区画整理事業の都市計画決定
3666	☆	1997	2	18		(H09)	初めての北アルプスを巡る四県道路主管課長会議(岐阜・長野・新潟・富山)を東京富山会館で開催す
3667	◇	1997	2	19		(H09)	(都)桜馬場長慶寺線2工区(高岡市末広町～白金町)の着手
3668	☆	1997	2	24		(H09)	大門町柳町地区が住宅地区改良事業の地区指定を受く
3669	☆	1997	2	25		(H09)	早月ダムの当面中止を公表す
3670	◇	1997	2	28		(H09)	早月ダムの当面中止を公表
3671	◇	1997	2	－		(H09)	富山県高耐震住宅基準の策定
3672	◇	1997	3	18		(H09)	建設省立山砂防工事事務所新庁舎の竣工(博物館隣接地)
3673	◇	1997	3	19		(H09)	富山県女性総合センター新築工事完成す
3674	◇	1997	3	25		(H09)	県議会、9年度一般会計当初5918億6900億円、うち土木部一般会計当初予算1374億9600万円を可決す
3675	◇	1997	3	31	1	(H09)	富山県屋外広告物条例施行規則一部改正(公共広告物の届出制度創設など)
3676	◇	1997	3	31	2	(H09)	平成8年度の富山空港利用者数は121万2770人
3677	◇	1997	3	31	3	(H09)	平成8年度末汚水処理施設整備率(下水道、農村下水道、合併処理浄化槽含む)が53%と初めて50%を超える
3678	◇	1997	3	－		(H09)	八尾町、まちづくり交通計画調査実施
3679	◇	1997	4	1	1	(H09)	工事検査室の改組に伴い、技術管理の仕事を企画用地課に引き継ぐ(企画用地課に、用地指導、技術管理、企画調整、雪対策、高速・市町村道の5係)
3680	◇	1997	4	1	2	(H09)	土木部工事検査室を廃止し、工事検査組織を出納事務局に移管、出納事務局検査室を設置す、総合運動公園建設室を廃止し、都市計画課緑化フェア推進班を廃止し、都市計画課内に総合運動公園建設班を設置す
3681	◇	1997	4	1	3	(H09)	富山県総合運動公園の開園区域の拡大(面積23haから31haに)
3682	☆	1997	4	1	4	(H09)	富山県建設工事総合管理システム(事業管理システム)運用を開始す
3683	◇	1997	4	4	1	(H09)	政府の「公共工事コスト縮減対策に関する行動計画」が公表さる
3684	◇	1997	4	4	2	(H09)	建設省の「公共工事コスト縮減対策に関する行動計画」が公表さる
3685	◇	1997	4	15	1	(H09)	「公共事業等審査会」の下部組織として「土木公共事業等検討委員会」(委員長:土木部長、事務局:管理課)を土木部内に設置す
3686	◇	1997	4	15	2	(H09)	とやま都市MIRAI地区において富山勤労者総合福祉センターがオープン
3687	☆	1997	4	15	3	(H09)	低床スロープ板付きバスが富山地方鉄道に3台導入され、関係者らに公開さる、日本海側で初の導入
3688	◇	1997	4	17		(H09)	公共事業の効率的な事業執行を目的として「公共事業等審査会」(委員長:総務部長、事務局:財政課)を設置す
3689	◇	1997	4	21		(H09)	国道304号道路改築事業(福光町中ノ江～砂子谷)完成す
3690	◇	1997	4	22		(H09)	国道156号の中江橋開通す
3691	◇	1997	4	24		(H09)	とやま都市MIRAI地区において富山県女性総合センター開館す
3692	◇	1997	4	30	1	(H09)	第1回土木公共事業等検討委員会にて平成9年度箇所付け(ゼロ国債等を除く)に係る公共事業等審査会付議案件を事前審査
3693	◇	1997	4	30	2	(H09)	富山新港多目的ガントリークレーン完成式が行わる
3694	◇	1997	5	1		(H09)	富山県住みよい家づくり資金融資制度要綱を改正し、融資対象住宅に「耐震住宅」を追加
3695	◇	1997	5	6		(H09)	第2回土木公共事業等検討委員会開催、全件数87件を公共事業等審査会に付議することを承認
3696	◇	1997	5	7		(H09)	第2回公共事業等審査会にて土木部分の審査、審査件数87件を全て承認
3697	◇	1997	5	16		(H09)	富山県工業技術センター生活工学研究所新築工事完成す
3698	◇	1997	5	17		(H09)	富山港の臨港道路諏訪町線の開通式が行わる
3699	◇	1997	5	26		(H09)	富山市施行による新庄南土地区画整理事業の換地処分
3700	◇	1997	5	29		(H09)	本県初のWTO政府調達対象工事として富山県国際健康プラザ(仮称)新築工事の制限付き一般競争入札を実施
3701	◇	1997	6	1		(H09)	富山・函館便が1日1往復で前年より早く運航さる～10月
3702	◇	1997	6	2		(H09)	土木部公共事業等検討委員会の中に公共事業コスト縮減専門委員会(委員長:土木部技術次長、事務局:企画用地課)を設置
3703	◆	1997	6	6		(H09)	県内の急傾斜地崩壊危険箇所の点検結果を発表、前回(H4)点検時に比べ10箇所増加し899箇所となる
3704	◇	1997	6	17		(H09)	入善町の中央通り線の竣工式が行わる
3705	◆	1997	6	21		(H09)	富山市の旧公会堂と保健所跡地に都市型ホテルと富山国際会議場を建設する大手町地区第一種市街地再開発事業の起工式が行わる
3706	◆	1997	6	27		(H09)	6月定例県議会において議員提出議案の「公共事業予算の地方への重点配分を求める意見書」、「道路特定財源制度の堅持に関する意見書」など十件を可決す
3707	◇	1997	6	28		(H09)	伏木万葉ふ頭用地(一部17ha)完成式が行わる
3708	◇	1997	6	30		(H09)	公営住宅法の一部改正による県営住宅条例の改正(応能応益家賃の導入～1998-04-01施行)
3709	◇	1997	7	1	1	(H09)	カナルパークを「富岩運河環水公園」という名前として供用を開始す(面積1.1ha)
3710	◆	1997	7	1	2	(H09)	富山県富岩運河環水公園の開園式が行わる(開園面積約1ha)
3711	◇	1997	7	9		(H09)	黒部川出し平ダムで第3回緊急排砂が実施され、約46万立方mを排砂、これをもって平成7年度から3回にわたって実施された緊急排砂が終了、全体排砂量301万立方m～07-12
3712	◇	1997	7	10		(H09)	北陸地方建設局における「公共工事コスト縮減対策に関する行動計画」が公表さる
3713	◇	1997	7	11		(H09)	伏木富山港ヘイジス艦「きりしま」等自衛艦5隻が入港す
3714	◇	1997	7	16	1	(H09)	第3回公共事業等審査会にて、平成10年度政府予算概算要求に係る県からの要望について審査、審査件数31件を全て承認
3715	◇	1997	7	16	2	(H09)	平村黎明浄化センターの通水式が行わる
3716	☆	1997	7	21		(H09)	氷見市論田・熊無地区に地すべり跡地を整備した天狗林健康広場が完成す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3717	◇	1997	7	22	1	(H09)	伏木富山港初のオーバーハナマックス船「北陸丸(石炭船)」が富山新港へ入港す
3718	◇	1997	7	22	2	(H09)	利賀村庄川水系利賀川砂防改良遊砂地工事起工式
3719	☆	1997	7	23		(H09)	立山温泉跡地と泥鰯池を結ぶ湯川連絡橋(96m、つり橋)の建設に着手す
3720	☆	1997	7	28		(H09)	富山県国際健康プラザの起工式が行わる
3721	◇	1997	7	29		(H09)	片貝川ダム計画検討会設置
3722	◇	1997	8	1	1	(H09)	岩瀬スポーツ公園のソフトボール場2面供用開始(面積15.8ha→17.4ha)
3723	◇	1997	8	1	2	(H09)	富山市施行による下新町土地区画整理事業の事業計画決定
3724	☆	1997	8	4		(H09)	「とやま橋の日」を制定し、記念講演及びパネル写真展(～08-08)を開催す
3725	☆	1997	8	11		(H09)	富岩運河・中島閘門の水路の底一面の割石が63年ぶりに姿を現わす
3726	☆	1997	8	18		(H09)	大門町柳町地区住宅地区改良事業の工事に着手す
3727	☆	1997	8	19		(H09)	協同組合えびす商店街及び協同組合城端西町商店会が優良建築物等整備事業並びに小売商業商店街近代化事業に着手す
3728	◇	1997	8	25		(H09)	神通川桜つつみモデル事業(富山市牛島)が完成
3729	◇	1997	8	28		(H09)	日中航空当局間協議の結果、正式に富山が乗入地点に追加さる
3730	☆	1997	9	8		(H09)	南砺地区病院建設準備協議会が開催さる
3731	☆	1997	9	9		(H09)	高岡市御旅屋西通り地区第一種市街地再開発事業の起工式が行わる
3732	☆	1997	9	11		(H09)	国が富山空港の無線施設(ローカライザー)更新工事に着手す
3733	☆	1997	9	12		(H09)	「命と生活を守る新国土づくり研究会」が開催さる、会長の中沖豊知事が「河川と行財政改革」について10県知事意見をとりまとめる
3734	☆	1997	9	23		(H09)	富山県総合運動公園クロスカントリーコース完成記念「第1回富山県クロスカントリー大会」(富山県共催)が開催さる
3735	☆	1997	9	25		(H09)	新しい道路整備五箇年計画における県の「道路整備の将来ビジョン(案)」を公表す
3736	◇	1997	9	26		(H09)	県議会、国の行政改革会議の中間報告に対し、国土行政の一元化を求める意見書を可決す
3737	◇	1997	9	29		(H09)	国道359号の礪波バイパスが開通す
3738	◇	1997	10	1		(H09)	北陸新幹線東京・長野間開業、「あさま」が一日24往復、最速で東京・長野間79分、また東京・軽井沢間を4往復
3739	☆	1997	10	4		(H09)	高岡万葉朗唱の会に土木部有志「とやましうのはし」が出場
3740	◇	1997	10	6		(H09)	平成9年度9月補正予算分の箇所付けに係る土木公共事業等検討委員会開催
3741	◇	1997	10	7	1	(H09)	平成9年度9月補正予算分の箇所付けに係る公共事業等審査会開催
3742	☆	1997	10	7	2	(H09)	境川総合開発事業の境川ダム竣工式が挙行さる、当時RCD工法では堤高日本一、全国で最初の雪対策ダム
3743	◇	1997	10	9		(H09)	「'97スーパーハウジングフェアin富山」が高円宮・同妃両殿下をお迎えして、富山市の産業展示館を中心に開催さる～10-12まで、地方都市での開催は初めて
3744	◇	1997	10	16	1	(H09)	久婦須川ダムの本体コンクリート打設開始
3745	☆	1997	10	16	2	(H09)	組合施行による砺波市太郎丸西部土地区画整理事業の完工式が行わる
3746	☆	1997	10	22		(H09)	富山県総合福祉会館の起工式が開催さる、約3千㎡の敷地で地上7階地下2階建て、総工費は約56億8千万円
3747	◇	1997	10	24	1	(H09)	富山県花と緑の祭典'97「第一回都市緑化祭」が高岡市おとぎの森公園で開催さる～10-26
3748	☆	1997	10	24	2	(H09)	「富山県花と緑の祭典'97第1回都市緑化祭」が高岡おとぎの森公園で開催さる～10-26
3749	☆	1997	10	28		(H09)	富山県西部総合体育センター起工式が行わる
3750	☆	1997	11	6		(H09)	県営住宅石坂団地、蓮町団地で高齢者向け改善工事に着手す
3751	☆	1997	11	9		(H09)	安房トンネルの岐阜県側の入り口で約2000人が参加してジョギング&ウォーキング大会が開催さる
3752	☆	1997	11	18		(H09)	「土木の日」を記念して明治初期から平成9年までのとやまの土木史を網羅した『とやまの土木 今日は何の日』(とやまの土木史研究会制作・編集)が刊行さる
3753	☆	1997	11	20		(H09)	主要地方道富山小杉線新井田川橋の四車線化完成式が行わる
3754	☆	1997	11	26		(H09)	富山市施行による堀川西土地区画整理事業の完工式が行わる
3755	☆	1997	12	5		(H09)	航空関係者等からなる遼寧省友好代表団が来県す(副知事表敬、実務協議、空港視察等を実施)
3756	☆	1997	12	6	1	(H09)	中部縦貫自動車道の安房峠道路(岐阜県上宝村～長野県安曇村、5.6km)が開通す 開通式には、建設、運輸両大臣や、富山、長野、岐阜の知事、国会議員、県議会議員、市町村長ら約650人が出席す
3757	☆	1997	12	6	2	(H09)	新湊市立町第3地区(あゆの風センター)第一種市街地再開発事業が竣工す
3758	☆	1997	12	7		(H09)	中国北方航空公司視察団が来県す ー12-08同視察団が知事表敬、全日空訪問、空港視察、空港関係機関との意見交換会を実施す
3759	☆	1997	12	24		(H09)	神通川左岸流域下水道一部供用開始(富山市、新湊市、小杉町)、通水式が行わる
3760	☆	1997	12	25		(H09)	北陸自動車道富山西インターチェンジの設置に関し、主要地方道新湊平岡線の連結が建設大臣から許可され、日本道路公団に対し、建設大臣が施行命令を出す
3761	◆	1998	1	16		(H10)	健康増進センター起工式(新湊市海竜町)が行わる
3762	◆	1998	1	23		(H10)	東海北陸自動車道飛驒トンネル掘削機発進式が挙行さる
3763	◆	1998	2	10		(H10)	主要地方道黒部朝日公園線 権蔵橋の着工式が行わる
3764	◆	1998	2	13		(H10)	第1回小矢部市まちづくり交通計画調査検討委員会が開催さる
3765	◆	1998	2	14		(H10)	空港・港湾友好実務協議団(白井芳樹土木部長ほか3名)が中国北方航空公司、大連港務局(中国)等を訪問す～02-21
3766	◆	1998	2	16		(H10)	大谷ダムの湛水式が挙行さる
3767	◆	1998	2	19		(H10)	北陸自動車道四車線化工事境トンネル貫通式が挙行さる
3768	◆	1998	2	25		(H10)	立山カルデラ砂防博物館開館イベント 安政の飛越地震140年記念シンポジウム「巨石がきた道から何を学ぶのか」が開催さる
3769	◆	1998	3	22		(H10)	黒瀬川桜つつみモデル事業のシンボルとして「百代桜」が植樹さる
3770	◆	1998	4	21		(H10)	主要地方道富山立山公園線新千垣トンネルの開通式が挙行さる
3771	◆	1998	4	27		(H10)	富岩運河中島閘門復元記念式が行わる
3772	◆	1998	5	1		(H10)	富岩運河中島閘門が国の重要文化財に指定さる、昭和期の土木構造物としては全国初
3773	◆	1998	5	12		(H10)	城端町西上地区優良建築物等整備事業の竣工式が行わる
3774	◆	1998	5	22		(H10)	とやま都市MIRAI計画が平成9年度日本都市計画学会計画設計賞を受賞す
3775	◆	1998	5	26		(H10)	内川流域浄化対策事業の竣工式が行わる
3776	◆	1998	6	4		(H10)	上平村道境川線 であい橋の完成式が行わる
3777	◆	1998	6	17		(H10)	中国北方航空公司による富山・大連便が就航し、富山空港にて就航記念式典が行わる
3778	◆	1998	6	22		(H10)	富山大橋の架替計画(4車線化)を公表す
3779	◆	1998	6	30		(H10)	立山カルデラ砂防博物館の開館記念式典が行わる
3780	◆	1998	7	17		(H10)	最新鋭大型機B777(トリプルセブン、376席)が富山に就航し(1日2便)、記念行事を開催す
3781	◆	1998	8	26		(H10)	久婦須川ダム定礎式
3782	◆	1998	9	4		(H10)	大谷ダム竣工式
3783	◆	1998	9	24		(H10)	国道8号 道の駅「カモンパーク新湊」の竣工式が挙行さる
3784	◆	1998	10	17		(H10)	都市計画道路社内上野本線(小矢部市中央町工区)の竣工式が行わる
3785	◆	1998	10	30		(H10)	国道415号JR富山港線千原崎踏切四車化工事が完成す

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3786	◆	1999	2	1		(H11)	富山空港で航空機位置情報表示装置(APID)が供用開始さる
3787	◆	1999	3	24		(H11)	JR砺波駅が組合土地区画整理事業に伴い、県内初の橋上駅舎として開業す
3788	◆	1999	6	7		(H11)	白岩砂防ダムが国登録有形文化財に登録さる、昭和期に建設された砂防ダムとしては全国初
3789	◆	1999	6	11		(H11)	北陸自動車道 有磯海SAにおいて「森のハイウェイ」植樹式が行わる
3790	◆	1999	8	10		(H11)	伏木港燈明型灯台除幕式が開催さる(～1877-08-10(M10)最初の燈明台が点灯)
3791	◆	1999	8	13		(H11)	下条川河川改修事業の竣工式が行わる
3792	◆	1999	8	23		(H11)	本宮砂防ダムが国登録有形文化財に登録さる
3793	◆	1999	8	26		(H11)	全国運河サミットinとやまが開催さる
3794	◆	1999	8	27		(H11)	富山市大手町地区第一種市街地再開発事業の竣工式が行わる(富山国際会議場、富山全日空ホテル)
3795	◆	1999	10	14		(H11)	幸田文『崩れ』文学碑の除幕式が行わる
3796	◆	1999	10	15		(H11)	国の文化財保護審議会が笹津橋を国登録有形文化財として登録するよう答申す
3797	◆	1999	11	11		(H11)	東海北陸自動車道 袴腰・城端トンネル避難坑の貫通式が行わる
3798	◆	1999	11	18		(H11)	桜橋が国登録有形文化財に登録さる
3799	◆	1999	11	27		(H11)	主要地方道宇奈月大沢野線 立山大橋(大山町・立山町)の完成式が行わる
3800	◆	1999	12	3		(H11)	一般県道堀江魚津線 新月形橋(滑川市・魚津市)の完成式が行わる
3801	◆	1999	12	4		(H11)	JR富山駅北口駅舎が土地区画整理事業に伴い改築され、開業す
3802	◆	1999	12	20		(H11)	富山空港冬季視程予測システムの実証実験を開始す
3803	◆	1999	12	22		(H11)	主要地方道富山上滝立山線 富山工区が全線開通す
3804	◆	2000	2	28		(H12)	宇奈月ダムの湛水式が挙行さる
3805	◆	2000	3	1		(H12)	富山・広島西便が開設さる(一日1往復、季節運航～5月)
3806	◆	2000	7	19		(H12)	能越自動車道高岡インターチェンジ・福岡インターチェンジ間が開通す
3807	◆	2000	7	31		(H12)	「とやま都市MIRAI計画」主要事業完成式が行わる
3808	◆	2000	8	22		(H12)	主要地方道富山環状線 神明大橋が開通す
3809	◆	2000	8	28		(H12)	一般国道360号 越路トンネルが開通す
3810	◆	2000	9	1		(H12)	一般県道大沢野大山線 新福沢橋の完成式が行わる
3811	◆	2000	9	28		(H12)	一般国道359号 婦中大橋が4車線供用さる
3812	◆	2000	9	30		(H12)	東海北陸自動車道 五箇山・福光間の開通式が行わる
3813	◆	2000	10	3		(H12)	北陸自動車道全線4車線化が完了す
3814	◆	2000	10	7		(H12)	日蘭交流400周年記念シンポジウム「デ・レイケと常願寺川」が開催さる
3815	◆	2000	10	26		(H12)	貯水池土砂管理国際シンポジウムが開催さる～10-27
3816	◆	2001	1	12		(H13)	主要地方道富山立山公園線 利田大橋(仮称)の起工式が行わる
3817	◆	2001	4	1		(H13)	海竜マリンパーク(富山県新湊マリーナ)が供用す
3818	◆	2001	4	25		(H13)	北陸新幹線上越・富山間の工事実施計画が認可さる
3819	◆	2001	5	1		(H13)	立山有料道路開通30周年記念式典(桂台～美女平間トンネル改築事業完成)が行わる
3820	◆	2001	5	27		(H13)	北陸新幹線上越・富山間建設工事起工式及び建設促進大会が行わる
3821	◆	2001	7	3		(H13)	主要地方道富山立山魚津線 白竜橋が開通す
3822	◆	2001	7	9		(H13)	神通川左岸流域下水道全市町村供用記念式が挙行さる
3823	◆	2001	7	24		(H13)	主要地方道富山小杉線呉羽トンネル第2期線が開通す
3824	◆	2001	8	7	1	(H13)	主要地方道砺波細入線 清水大橋供用す
3825	◆	2001	8	7	2	(H13)	第6回水シンポジウムinとやまが開催さる(～08-08)
3826	◆	2001	10	3		(H13)	宇奈月ダム竣工式が行わる
3827	◆	2001	10	11		(H13)	第53回都市計画全国大会が行わる
3828	◆	2001	10	24		(H13)	日本大横断連携軸フォーラムinとやまが開催さる
3829	◆	2001	10	27		(H13)	富山防災センター開所式が行わる
3830	◆	2001	11	28		(H13)	北陸新幹線新黒部・富山間合同杭打ち式が行わる
3831	◆	2001	11	30		(H13)	北陸自動車道にETCが導入さる
3832	◆	2001	12	10		(H13)	一般国道8号入善黒部バイパス 四十八ヶ瀬大橋開通式が行わる
3833	◆	2001	12	10		(H13)	久婦須川ダム試験湛水開始
3834	◆	2002	2	15		(H14)	北陸の建設リサイクルシンポジウムin富山が開催さる
3835	◆	2002	3	5		(H14)	歴史国道俱利伽羅峠エントランス工事現場(小矢部市埴生)から小判12枚、十圓金貨46枚など、のべ1,295枚出土す
3836	◆	2002	3	23		(H14)	中川放水路事業の竣工式が行わる
3837	◆	2002	3	26		(H14)	富山県土砂災害情報システムが運用開始さる
3838	◆	2002	3	29		(H14)	主要地方道富山小杉線 呉羽トンネル4車線供用す
3839	◆	2002	4	1		(H14)	伏木富山港(新湊地区)多目的国際ターミナルが供用す
3840	◆	2002	4	4		(H14)	都市計画道路呉羽町袋線(富山大橋架替)が事業認可さる
3841	◆	2002	5	16		(H14)	富岩運河牛島閘門の復元記念式が行わる
3842	◆	2002	5	31		(H14)	主要地方道黒部朝日公園線 権蔵橋が竣工す
3843	◆	2002	6	25	1	(H14)	富岩運河牛島閘門が国登録有形文化財に登録さる
3844	◆	2002	6	25	2	(H14)	泥谷砂防えん堤群が登録有形文化財に登録
3845	◆	2002	6	29		(H14)	一般国道415号 雨晴トンネルが開通す
3846	◆	2002	7	1		(H14)	日本航空の富山・東京便が就航し、ダブルトラック化が実現す
3847	◆	2002	7	16		(H14)	富山・沖縄便の季節運航を開始さる(週4往復)～2002-08-30
3848	◆	2002	9	17		(H14)	大門町全町下水道化構想完成式が行わる
3849	◆	2002	9	27		(H14)	富山県景観条例が制定さる
3850	◆	2002	10	1		(H14)	機構改革により4土木センター、4土木事務所体制に再編さる
3851	◆	2002	10	5		(H14)	常願寺川流域において、天然ダムによる大土石流を想定した全国初のIT防災訓練が行わる
3852	◆	2002	10	25		(H14)	駐日ネパール大使をお迎えして、ネパール風の石積みを施した利賀川砂防事業遊砂地工事の完成式が行わる
3853	◆	2002	11	4		(H14)	臨港道路富山新港東西線の着工式が挙行さる
3854	◆	2002	11	12		(H14)	久婦須川ダム竣工式
3855	◆	2002	11	13		(H14)	久婦須川総合開発事業の竣工式が行わる
3856	◆	2002	11	16	1	(H14)	東海北陸自動車道 白川郷・五箇山間が開通す
3857	◆	2002	11	16	2	(H14)	氷見市谷屋地区地すべり災害が発生す 連日の降雨により約2haに渡り地すべり発生 全壊家屋1戸、半壊家屋1戸、付近の16世帯76名が自主避難 災害関連緊急地すべり対策事業採択さる
3858	◆	2003	3	29		(H15)	北陸自動車道富山西インターチェンジ、主要地方道新湊平岡線が開通す
3859	◆	2003	3	30		(H15)	主要地方道高岡環状線1期区間が暫定開通す(地域高規格道路として県内初)
3860	◆	2003	4	1		(H15)	富山県景観条例施行す
3861	◆	2003	5	2		(H15)	伏木万葉ふ頭緑地完成式挙行さる
3862	◆	2003	7	8		(H15)	地域高規格道路富山高山連絡道路(猪谷楡原道路)着工す
3863	◆	2003	7	29		(H15)	主要地方道富山小杉線古沢バイパス4車線化、富山～高岡間の4車線化が完了す
3864	◆	2003	8	19		(H15)	日本地すべり学会第42回研究発表会及び現地見学会開催さる(～08-22)
3865	◆	2003	8	28		(H15)	主要地方道富山魚津線早月橋開通す
3866	◆	2003	9	10		(H15)	伏木富山港(新湊地区)旅客船バース供用す
3867	◆	2003	9	19		(H15)	神通川馳越線工事100年記念「川と街づくり国際フォーラム」開催す
3868	◆	2003	9	30		(H15)	北陸新幹線黒部川橋りょう完成す
3869	◆	2003	11	26		(H15)	主要地方道朝日宇奈月線内山橋(宇奈月町)の開通式が行わる
3870	◆	2004	1	9		(H16)	富山地域地震・土石流災害危機管理演習が行わる

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3871	◆	2004	3	6		(H16)	北陸新幹線朝日トンネル貫通す
3872	◆	2004	3	24	1	(H16)	国道8号魚津・滑川バイパス暫定2車線供用す
3873	◆	2004	3	24	2	(H16)	小矢部川(山田川工区)広域基幹河川改修事業完成式が行わる
3874	◆	2004	3	28		(H16)	主要地方道富山立山公園線、富立大橋が暫定2車線供用す
3875	◆	2004	3	29		(H16)	一般国道304号城端拡幅(城端町出丸～大工町間)が完成す
3876	◆	2004	3	30		(H16)	市街地再開発事業(高岡駅前西第一街地区)完成す
3877	◆	2004	4	1	1	(H16)	大規模行為の事前届出制度開始
3878	◆	2004	4	1	2	(H16)	富山駅付近連続立体交差事業着工準備採択
3879	◆	2004	4	21		(H16)	谷屋地区地すべり完工式及びシンポジウムが行わる
3880	◆	2004	6	13		(H16)	能越自動車道、高岡～高岡北IC間暫定2車線供用す
3881	◆	2004	7	18	1	(H16)	ウワジオストク便就航10周年記念式典が行わる
3882	◆	2004	7	18	2	(H16)	常願寺川水系雑穀谷で大規模な土石流発生(土石流約10万m3)、建設中の12号砂防ダムと下流の既設砂防えん堤で土石流を止め、災害を未然に防止した
3883	◆	2004	7	30		(H16)	主要地方道富山環状線 婦中町鷺坂～塚原間 開通す
3884	◆	2004	8	5		(H16)	主要地方道富山魚津線、富山市田尻～四方荒屋間開通す
3885	◆	2004	9	－		(H16)	富山空港ターミナルビル増改築事業(第1期工事)完了
3886	◆	2004	10	5		(H16)	富山空港ターミナルビル増改築工事(第1期)竣工式行わる
3887	◆	2004	10	26		(H16)	富山空港国内線利用者2,000万人達成記念式典が行わる
3888	◆	2004	11	5		(H16)	主要地方道富山環状線、富山市羽根～婦中町鷺坂間開通す
3889	◆	2004	12	16		(H16)	北陸新幹線県内全区間フル規格整備が決定さる
3890	◆	2004	－	－		(H16)	電子入札の導入(CALS/ECの一環)
3891	◆	2005	3	25	1	(H17)	余川川統合河川整備事業完成
3892	◆	2005	3	25	2	(H17)	都市計画道路能町庄川線(高岡市野村～蓮花寺)開通す
3893	◆	2005	3	25	3	(H17)	都市計画道路環状南線の松田江跨線橋が開通す
3894	◆	2005	3	30		(H17)	土砂災害警戒区域の県内初指定(氷見市谷屋地区地すべり)
3895	◆	2005	4	27		(H17)	北陸新幹線富山・金沢間、福井駅部工事実施計画認可
3896	◆	2005	6	4		(H17)	北陸新幹線富山・金沢間、福井駅部建設工事起工式、起工記念北陸新幹線建設促進大会、着工記念式典開催
3897	◆	2005	6	27		(H17)	富山駅付近連続立体交差事業着手(事業認可)
3898	◆	2005	10	23		(H17)	上海便就航(週3往復)
3899	◆	2006	3	1		(H18)	「平成18年豪雪」気象庁命名(県内死者4名、重軽傷者96名)
3900	◆	2006	3	15		(H18)	伏木外港多目的国際ターミナル供用開始
3901	◆	2006	4	1		(H18)	富山空港運用時間延長(7:30～20:30→7:00～21:30)
3902	◆	2006	4	1		(H18)	日本航空撤退(JAL東京便、JTA沖縄便廃止)
3903	◆	2006	4	24		(H18)	道の駅「万葉の里 高岡」オープン
3904	◆	2006	4	28		(H18)	北陸新幹線白山総合車両基地(富山・金沢間)工事実施計画認可
3905	◆	2006	4	29		(H18)	富山ライトレール開業
3906	◆	2006	7	15		(H18)	海フェスタとやま開催(～7/23)
3907	◆	2006	7	28		(H18)	立山砂防工事専用軌道(トロック)が登録記念物に登録
3908	◆	2006	8	25		(H18)	常願寺川砂防100周年の集い開催
3909	◆	2006	10	24		(H18)	都市計画道路呉羽町袋線 富山大橋起工
3910	◆	2006	10	26		(H18)	富山空港最低気象条件緩和(CMV1600m発効)
3911	◆	2006	11	20		(H18)	富山空港ターミナルビル第Ⅱ期増改築工事竣工式
3912	◆	2006	12	4		(H18)	富山駅周辺景観デザイン検討委員会
3913	◆	2006	12	21		(H18)	舟川ダム本体工事に着手
3914	◆	2006	12	25		(H18)	常願寺川水系雑穀谷12号砂防ダム完成(堤高34.5mは県内1位)
3915	◆	2007	1	13		(H19)	東海北陸自動車道飛驒トンネル貫通
3916	◆	2007	2	9		(H19)	第1回入札契約適正化検討委員会 開催
3917	◆	2007	2	21		(H19)	第2回環水公園等賑わいづくり会議 開催
3918	◆	2007	2	22		(H19)	堤町通り1丁目地区優良建築物等整備事業施設建築物 竣工
3919	◆	2007	3	18		(H19)	富山駅北口仮駅舎 供用開始
3920	◆	2007	3	22		(H19)	富岩運河環水公園小運河・あいの島 開園
3921	◆	2007	3	23		(H19)	富山新港多目的国際ターミナル拡張部供用開始
3922	◆	2007	3	24		(H19)	富山新港多目的国際ターミナル拡張工事 竣工
3923	◆	2007	3	25		(H19)	能登半島地震 発生
3924	◆	2007	3	25		(H19)	一般国道415号鞍川バイパス 供用開始
3925	◆	2007	3	29		(H19)	県有施設の災害時における応急措置等業務に関する協定締結
3926	◆	2007	3	31		(H19)	小矢部川水系子撫川総合流域防災事業 完成
3927	◆	2007	4	12		(H19)	災害時における応急対策業務に関する協定 締結
3928	◆	2007	4	15		(H19)	能越自動車道 氷見IC～高岡北IC 開通
3929	◆	2007	4	22		(H19)	富山駅周辺景観デザイン シンポジウム 開催
3930	◆	2007	4	27	1	(H19)	第3回環水公園等賑わいづくり会議 開催
3931	◆	2007	4	27	2	(H19)	県立高岡工芸高校 竣工式
3932	◆	2007	4	－		(H19)	公共工事に係る入札契約制度の見直し
3933	◆	2007	5	4		(H19)	環水公園 舟遊びの日
3934	◆	2007	5	16		(H19)	第49回日本公園緑地全国大会 開催
3935	◆	2007	5	17		(H19)	第49回日本公園緑地全国大会 開催
3936	◆	2007	6	8		(H19)	木材試験場 竣工式
3937	◆	2007	6	19		(H19)	「環水公園等賑わいづくり会議」最終報告書 手交式
3938	◆	2007	6	－		(H19)	入札契約適正化検討委員会 最終報告
3939	◆	2007	7	1		(H19)	北陸自動車道 入善スマートIC 本格運用開始
3940	◆	2007	7	3		(H19)	県立黒部学園 起工式
3941	◆	2007	7	4		(H19)	北陸自動車道 流杉PASスマートIC 実験採択
3942	◆	2007	7	16		(H19)	新潟中越沖地震 発生
3943	◆	2007	7	25		(H19)	北陸新幹線 上市久金高架橋(上市町) 着工
3944	◆	2007	7	26		(H19)	第1回 元気とやま まちづくり専門小委員会 開催
3945	◆	2007	7	30		(H19)	白岩川・上市川水系河川整備基本方針 策定
3946	◆	2007	8	3		(H19)	富山駅周辺地区 景観基本方針 決定
3947	◆	2007	8	12		(H19)	開園10周年記念「環水公園・夏まつり2007」開催
3948	◆	2007	8	23		(H19)	舟川ダム起工
3949	◆	2007	8	－		(H19)	建設業新分野進出等支援補助事業 実施
3950	◆	2007	9	4		(H19)	第1回「水辺のまち夢プラン」射水市協議会 開催
3951	◆	2007	9	5		(H19)	除雪委託契約の見直し(除雪機械の固定費支払い)
3952	◆	2007	9	20		(H19)	総曲輪通り南地区市街地再開発事業 竣工式(総曲輪フェリオ)
3953	◆	2007	9	28		(H19)	土砂災害警戒情報運用開始
3954	◆	2007	9	－		(H19)	ふるさと眺望点第2次指定(四季の景観)指定
3955	◆	2007	10	1		(H19)	全日空福岡便廃止
3956	◆	2007	10	19		(H19)	(仮称)富山西警察署 起工式
3957	◆	2007	10	25		(H19)	北陸新幹線 富山水橋金広高架橋(富山市) 着工
3958	◆	2007	10	31		(H19)	北陸新幹線 浅生高架橋(魚津市・滑川市)、滑川大掛高架橋(滑川市)着工

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
3959	◆	2007	10	-		(H19)	公共工事に係る入札契約制度の見直し
3960	◆	2007	11	1		(H19)	第36回土地区画整理全国大会 開催
3961	◆	2007	11	2		(H19)	第36回土地区画整理全国大会 開催
3962	◆	2007	11	13		(H19)	富山駅周辺地区 景観デザイナー 決定
3963	◆	2007	11	14		(H19)	景観づくりフォーラム2007 開催
3964	◆	2007	11	16		(H19)	とやま土木の日 記念講演会
3965	◆	2007	11	19		(H19)	建設優良工事等表彰式
3966	◆	2007	11	20		(H19)	環水公園スイート・クリスマス2007 開催(～12/25)
3967	◆	2007	11	29		(H19)	滑川市滑川駅南土地区画整理事業 完成
3968	◆	2007	12	1	1	(H19)	日本気象協会北陸支社による富山空港気象レーダー運用開始
3969	◆	2007	12	3	1	(H19)	ワンデーレスポンス 試行開始
3970	◆	2007	12	19		(H19)	県立高岡工芸高校優良工事知事表彰
3971	◆	2008	1	31		(H20)	雪崩防災シンポジウム(全国大会)開催
3972	◆	2008	2	1		(H20)	雪崩防災シンポジウム(全国大会)開催
3973	◆	2008	2	20		(H20)	富山市下新町土地区画整理事業 完成
3974	◆	2008	2	24		(H20)	富山湾岸の高波による被害(海岸施設15箇所、港湾施設13箇所)
3975	◆	2008	3	10		(H20)	第2回 元気とやま まちづくり専門小委員会 開催
3976	◆	2008	3	13		(H20)	女性相談センター 起工式
3977	◆	2008	3	18		(H20)	高波災害の委員会等 開催(高波災害対策検討委員会【国土交通省】)
3978	◆	2008	3	21		(H20)	災害時における応急対策業務に関する協定 締結
3979	◆	2008	3	24		(H20)	利賀ダムの建設に関する基本計画の変更に対する同意
3980	◆	2008	3	25		(H20)	第2回「水辺のまち夢プラン」射水市協議会 開催
3981	◆	2008	3	29		(H19)	流杉スマートIC社会実験開始
3982	◆	2008	3	30		(H20)	富岩運河環水公園水上遊具庫 竣工
3983	◆	2008	4	1		(H20)	熊野川ダム施設改良事業 新規採択
3984	◆	2008	4	23		(H20)	白岩川水系河川整備計画策定
3985	◆	2008	4	26		(H20)	富山空港 ソウル便就航15周年
3986	◆	2008	6	11		(H20)	神通川水系河川整備基本方針策定(国交省)
3987	◆	2008	6	17		(H20)	富山空港 大連便就航10周年
3988	◆	2008	6	30		(H20)	立山カルデラ砂防博物館開館10周年記念式典
3989	◆	2008	7	1		(H20)	東海北陸道地域交流フォーラム
3990	◆	2008	7	1		(H20)	富山県営1号上屋建設工事完成記念式典
3991	◆	2008	7	4		(H20)	中日本高速道路(株)との大規模災害発生時における応急復旧業務の相互協力協定締結
3992	◆	2008	7	5		(H20)	東海北陸自動車道全線開通 (飛騨清見IC～白川郷IC24.9km暫定2車線供用)
3993	◆	2008	7	14		(H20)	庄川水系河川整備計画策定(国交省)
3994	◆	2008	7	28		(H20)	南砺市を中心に記録的豪雨を観測 (小院瀬見(国) 132mm/h、城端 110mm/h、城端ダム 112mm/h)
3995	◆	2008	8	8		(H20)	(社)富山県宅地建物取引業協会との災害時における民間賃貸住宅の媒介に関する協定 締結
3996	◆	2008	8	20		(H20)	富山空港開港45周年、東京便就航45周年
3997	◆	2008	8	28		(H20)	安政の飛越大地震から150年シンポジウム開催
3998	◆	2008	8	28		(H20)	富山空港 最低降下高度引き下げ運用開始
3999	◆	2008	9	26		(H20)	富岩運河環水公園にスターバックスコーヒー富山環水公園店オープン
4000	◆	2008	10	7		(H20)	北陸新幹線 魚津六郎丸高架橋 着工
4001	◆	2008	10	15		(H20)	舟川ダム 本体コンクリート打設開始
4002	◆	2008	10	20		(H20)	富山駅仮ホーム一部供用開始
4003	◆	2008	10	30		(H20)	北陸新幹線 富山水橋下砂子坂高架橋 着工
4004	◆	2008	10	31		(H20)	第36回国際水文地質学会シンポジウム01開催
4005	◆	2008	11	5		(H20)	北陸新幹線 小矢部川橋りょう 着工
4006	◆	2008	11	11		(H20)	富山県景観づくりフォーラム2008 開催
4007	◆	2008	11	11		(H20)	第1回「景観広告とやま賞」表彰
4008	◆	2008	11	11		(H20)	平成20年度「うるおい環境とやま賞」表彰
4009	◆	2008	11	28		(H20)	北陸新幹線 第2魚津トンネル 貫通
4010	◆	2008	12	4		(H20)	屋外広告物ウォッチング 開催
4011	◆	2008	12	5		(H20)	富山駅周辺景観デザイン検討委員会報告書の提出
4012	◆	2008	12	9		(H20)	富山空港 国際定期利用者100万人達成
4013	◆	2008	12	16		(H20)	北陸新幹線 神通川橋りょう 着工
4014	◆	2009	1	19		(H21)	北陸新幹線 高岡一歩二歩高架橋 着工
4015	◆	2009	1	19		(H21)	北陸新幹線 高岡江尻高架橋 着工
4016	◆	2009	1	27		(H20)	第3回 元気とやま まちづくり専門小委員会
4017	◆	2009	2	2		(H21)	総曲輪四丁目・旅籠町地区優良建築物等整備事業施設建築物 起工
4018	◆	2009	2	12		(H21)	ゆきみらい2009in高岡(～2/14)
4019	◆	2009	3	10		(H21)	吉田川 水辺の楽校開校
4020	◆	2009	3	11		(H21)	利賀ダムの建設に関する基本計画の変更の官報告示
4021	◆	2009	3	18		(H21)	北陸新幹線 高岡下伏間江高架橋 着工
4022	◆	2009	3	26		(H21)	北陸新幹線 射水小杉白石高架橋 着工
4023	◆	2009	3	26		(H21)	北陸新幹線 射水鷲塚高架橋 着工
4024	◆	2009	3	26		(H21)	富山西警察署 竣工
4025	◆	2009	3	31		(H21)	下新川海岸 水防警報海岸指定(全国初 国土交通大臣指定)
4026	◆	2009	3	31		(H21)	富山県住宅供給公社 解散
4027	◆	2009	4	1		(H21)	砂防モバイル情報(土砂災害情報を携帯電話に配信)の運用開始
4028	◆	2009	4	1		(H21)	二上浄化センター広域汚泥受入施設供用開始
4029	◆	2009	4	10		(H21)	北陸新幹線 魚津蛇田高架橋 着工
4030	◆	2009	4	16		(H21)	北陸新幹線 富山水橋田伏高架橋 着工
4031	◆	2009	4	19		(H21)	富岩運河環水公園 野外劇場オープン
4032	◆	2009	5	14		(H21)	北陸新幹線 富山野口北部高架橋 着工
4033	◆	2009	6	5		(H21)	舟川ダム定礎式
4034	◆	2009	6	5		(H21)	北陸新幹線 射水安吉高架橋 着工
4035	◆	2009	6	17		(H21)	(社)富山県建築士事務所協会を指定事務所登録機関として指定
4036	◆	2009	6	17		(H21)	(社)富山県建築士会を指定登録機関として指定
4037	◆	2009	6	29		(H21)	北陸新幹線 小矢部野端高架橋 着工
4038	◆	2009	6	30		(H21)	白岩砂防堰堤が国の重要文化財に指定
4039	◆	2009	6	-		(H21)	(社)富山県建築士事務所協会を指定事務所登録機関として指定
4040	◆	2009	6	-		(H21)	(社)富山県建築士会を指定登録機関として指定
4041	◆	2009	7	16		(H21)	第4回 元気とやま まちづくり専門小委員会 開催
4042	◆	2009	7	17		(H21)	北陸新幹線 高岡蔵野町高架橋 着工
4043	◆	2009	7	19		(H21)	富岩運河 学習支援船運航開始
4044	◆	2009	7	23		(H21)	北陸新幹線 小矢部五社高架橋 着工
4045	◆	2009	7	28		(H21)	富山空港 ウラジオストック便就航15周年
4046	◆	2009	8	2		(H21)	臨港道路伏木外港1号線 伏木万葉大橋 供用開始

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
4047	◆	2009	9	13		(H21)	氷見市七軒町地区急傾斜地崩壊対策事業完成式
4048	◆	2009	9	30		(H21)	富山県住宅供給公社清算結了
4049	◆	2009	9	30		(H21)	富山県住宅供給公社清算結了
4050	◆	2009	9	－		(H21)	ふるさと眺望点第3次指定(都市の景観)指定
4051	◆	2009	10	1		(H21)	立山・大山地区景観づくり重点地域の指定
4052	◆	2009	10	1		(H21)	立山・大山地区景観づくり重点地域の指定
4053	◆	2009	10	16		(H21)	国際砂防フォーラム2009開催
4054	◆	2009	10	18		(H21)	能越自動車道 氷見IC～氷見北IC間 開通
4055	◆	2009	10	23		(H21)	北陸新幹線 高岡諏訪佐野高架橋 着工
4056	◆	2009	10	26		(H21)	北陸新幹線 新呉羽山トンネル他 着工
4057	◆	2009	11	1		(H21)	富山空港 札幌便に北海道国際航空(エア・ドゥ)就航
4058	◆	2009	11	5		(H21)	主要地方道砺波小矢部線 小矢部川大橋・綾子大橋 供用開始
4059	◆	2009	11	10		(H21)	主要地方道富山立山公園線 下田バイパス 供用開始
4060	◆	2009	11	16		(H21)	一般国道472号 婦中バイパス 供用開始
4061	◆	2009	11	18		(H21)	北陸新幹線 新高岡駅高架橋 着工
4062	◆	2009	11	22		(H21)	主要地方道富山庄川線 藤橋 供用開始
4063	◆	2009	11	24		(H21)	景観づくりフォーラム2009開催
4064	◆	2009	11	24		(H21)	景観づくりフォーラム2009開催
4065	◆	2009	11	24		(H21)	景観審議会提言書手交(屋外広告物条例許可基準等の改正)
4066	◆	2009	11	26		(H21)	第5回 元気とやま まちづくり専門小委員会 開催
4067	◆	2009	11	26		(H21)	富山空港 全日空東京利用者2000万人達成
4068	◆	2009	11	－		(H21)	景観審議会提言書手交(屋外広告物条例許可基準等の改正)
4069	◆	2009	12	10		(H21)	都市計画道路中央通り線(入善町)全線供用開始
4070	◆	2009	12	18		(H21)	屋外広告物条例の一部を改正する条例案可決
4071	◆	2009	12	18		(H21)	富山県屋外広告物条例の一部を改正する条例案可決
4072	◆	2009	12	21		(H21)	富山県屋外広告物条例の一部を改正する条例公布(広告主責任、違反広告公表制度導入)
4073	◆	2009	12	22		(H21)	北陸新幹線 富山北代高架橋 着工
4074	◆	2009	12	24		(H21)	北陸新幹線 小矢部芹川高架橋 着工
4075	◆	2010	1	20		(H22)	北陸新幹線 富山鍋田高架橋 着工
4076	◆	2010	1	22		(H22)	北陸新幹線 高岡開ホツ高架橋 着工
4077	◆	2010	1	26		(H22)	北陸新幹線 富山高木高架橋 着工
4078	◆	2010	2	9		(H22)	北陸新幹線 射水中村高架橋 着工
4079	◆	2010	2	10		(H22)	第22回全国「みどりの愛護」のつどい 富山県開催決定(H23年春)
4080	◆	2010	2	15		(H22)	北陸新幹線 小矢部水巻高架橋 着工
4081	◆	2010	2	18		(H22)	北陸新幹線 射水下条川橋りょう他 着工
4082	◆	2010	2	24		(H22)	北陸新幹線 小矢部綾子高架橋 着工
4083	◆	2010	2	24		(H22)	総曲輪四丁目・旅籠町地区優良建築物等整備事業施設建築物新築工事竣工式
4084	◆	2010	2	26		(H22)	第6回 元気とやま まちづくり専門小委員会 開催
4085	◆	2010	3	1		(H22)	富岩運河等放置艇禁止区域施行(発効)
4086	◆	2010	3	27		(H22)	一般国道359号 砺波東バイパス(頼成～久泉間) 供用開始
4087	◆	2010	4	8		(H22)	北陸新幹線 高岡駒方高架橋 着工
4088	◆	2010	4	12		(H22)	北陸新幹線 射水今開発・射水本開発高架橋 着工
4089	◆	2010	4	19		(H22)	富山駅仮南口駅舎供用 仮ホームへの切換完了
4090	◆	2010	4	22		(H22)	北陸新幹線 射水土合高架橋 着工
4091	◆	2010	4	28	1	(H22)	北陸新幹線 高岡下黒田高架橋 着工
4092	◆	2010	4	28	2	(H22)	中央通り地区市街地再開発事業起工式
4093	◆	2010	5	13		(H22)	北陸新幹線 富山野々上高架橋 着工
4094	◆	2010	5	29		(H22)	北陸新幹線 富山駅高架橋 着工
4095	◆	2010	6	3		(H22)	富山空港 停止位置誘導案内灯供用開始
4096	◆	2010	6	4		(H22)	北陸新幹線 庄川橋りょう 完成
4097	◆	2010	6	30		(H22)	伏木富山港(新湊地区)多目的国際ターミナルガントリークレーン2号機供用開始
4098	◆	2010	7	1		(H22)	富山県屋外広告物条例の一部を改正する条例施行(広告主責任、違反広告公表制度導入)
4099	◆	2010	7	2		(H22)	富岩運河環水緑地におけるレストラン出店者決定
4100	◆	2010	8	7		(H22)	国指定重要文化財中島閘門操作室復原工事竣工
4101	◆	2010	8	20		(H22)	北陸新幹線 富山稲荷千歳高架橋 着工
4102	◆	2010	9	9		(H22)	(～9-11)2010年度日本建築学会大会開催
4103	◆	2010	9	30		(H22)	北陸新幹線新黒部駅(仮称)及び新高岡駅(仮称)デザイン案 鉄道・運輸機構より提示
4104	◆	2010	10	7		(H22)	国際砂防フォーラム2010開催
4105	◆	2010	10	14		(H22)	富山空港 富山・上海便就航5周年記念式典
4106	◆	2010	10	29		(H22)	海王丸建造80周年・富山回航一般公開20周年記念行事
4107	◆	2010	11	4		(H22)	美しいまち並みづくりシンポジウム開催
4108	◆	2010	11	20		(H22)	地域高規格道路 富山高山連絡道路(一般国道41号猪谷楡原道路) 庵谷～楡原間 開通
4109	◆	2010	11	30		(H22)	北陸新幹線富山駅デザイン案 鉄道・運輸機構より提示
4110	◆	2010	12	6		(H22)	北陸新幹線 常願寺川橋りょう 完成
4111	◆	2010	12	16		(H22)	高岡古城公園動物園で高病原性鳥インフルエンザの疑いのある事例発生
4112	◆	2010	12	18	1	(H22)	高病原性鳥インフルエンザ対策本部 設置
4113	◆	2010	12	18	2	(H22)	監視機関(～2011-1-8)高病原性鳥インフルエンザの発生による「監視区域」の設定
4114	◆	2010	12	24		(H22)	富山空港 富山・ウラジオストク便この日を最後に運休(Yak-40の退役による)
4115	◆	2010	12	27		(H22)	北陸新幹線新黒部駅(仮称)及び新高岡駅(仮称)デザイン推薦案 鉄道・運輸機構へ回答
4116	◆	2011	1	31		(H23)	富山県雪害対策会議 開催
4117	◆	2011	2	28		(H23)	北陸新幹線富山駅デザイン推薦案 鉄道・運輸機構へ回答
4118	◆	2011	3	11		(H23)	東北地方太平洋沖地震発生
4119	◆	2011	3	26		(H23)	(主)富山八尾線 富山市田尻～山岸L=1,650m開通((都)草島西全線開通)
4120	◆	2011	3	27	1	(H23)	富岩運河環水公園西地区(見晴らしの丘) 完成
4121	◆	2011	3	27	2	(H23)	富岩運河環水公園 全面開園
4122	◆	2011	3	27	3	(H23)	富山空港 富山・北京便就航(富山空港国際線初のデیلیー運航)
4123	◆	2011	4	1	1	H23	港湾法の改正により、伏木富山港が「特定重要港湾」から「国際拠点港湾」となる
4124	◆	2011	4	1	2	H23	寺川水系河川整備計画策定
4125	◆	2011	4	15		H23	富岩運河緑地ヘレストラ(ラ・シャンス)の出店
4126	◆	2011	4	25		H23	富山空港 駐車場案内システム運用開始
4127	◆	2011	5	14		H23	第22回全国「みどりの愛護」のつどい 開催
4128	◆	2011	5	22		H23	富山駅付近連続立体交差事業 起工式
4129	◆	2011	5	25		H23	伏木富山港(新湊地区)多目的国際ターミナル機能向上式典 (コンテナバース改良(53m整備)により2隻同時接岸、同時荷役が可能となる。民間によるトランスファークレーンの増設 2基→3基)

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
4130	◆	2011	5	31		H23	北陸新幹線 富山県内軌道工事 着手(朝日町)
4131	◆	2011	6	1		H23	立山黒部アルペンルート全線開通40周年祝賀会
4132	◆	2011	7	1	1	H23	立山有料道路の事業変更許可(徴収期間を平成41年11月30日まで延長)
4133	◆	2011	7	1	2	H23	白岩川水系の重点的撤去区域の設定
4134	◆	2011	7	29		H23	伏木富山港:日本海側拠点港の応募(国の募集締切日)
4135	◆	2011	8	1		H23	白岩川水系の不法係留船舶の移動完了
4136	◆	2011	10	5		H23	国際砂防フォーラム2011～「立山・黒部」の世界遺産を目指して・山と水を治める立山砂防～
4137	◆	2011	10	30		H23	(都)高熊井田線(県道富山八尾線)
4138	◆	2011	11	11		H23	伏木富山港が、「国際海上コンテナ」、「国際フェリー・RORO船」、「外航クルーズ(背後観光地クルーズ)」の3つの「機能別拠点港」に加え、日本海側の各港湾をけん引する「総合的拠点港」として選定
4139	◆	2011	11	12		H23	高岡市中曽根土地区画整理事業 完工式
4140	◆	2011	12	8		H23	白岩川水系の不法係留船舶に係る簡易代執行の実施
4141	◆	2011	12	9		H23	大沢野富山南道路(都市計画道路 富山南線)の都市計画決定
4142	◆	2011	12	16		H23	景観づくりフォーラム2011開催
4143	◆	2011	12	22		H23	砺波市出町東部第2土地区画整理事業 完工式
4144	◆	2012	1	11		H24	舟川ダム試験湛水 開始
4145	◆	2012	3	1		H24	砺波市が景観行政団体となる(県内市町村で3番目)
4146	◆	2012	3	24		H24	(都)呉羽町袋線 富山大橋 開通
4147	◆	2012	3	25	1	H24	国道470号 能越自動車道(氷見北IC～灘浦IC間 L=5.7km) 開通
4148	◆	2012	3	25	2	H24	(主)万尾宇波線 (氷見市宇波～脇方 L=1.3km)開通
4149	◆	2012	4	3		H24	立山・剣岳の万年雪が、日本雪水学会により、国内初の現存する「氷河」と認定
4150	◆	2012	4	11		H24	環日本海クルーズ推進協議会設立総会(小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港:東京日本都市センター会館) 石井知事を会長に選出
4151	◆	2012	4	16		H24	富山・台北便が開設され、ボーイング737型機が就航(週2往復)、記念式典が行わる
4152	◆	2012	4	23		H24	伏木富山港への初の外国クルーズ客船となる予定であった「レジェンド・オブ・ザ・シーズ号:6.9万トン」が上海での激しい濃霧のため入港中止(抜港)
4153	◆	2012	4	30		H24	近藤文化庁長官、中島閣門視察
4154	◆	2012	5	13		H24	北陸新幹線新黒部駅(仮称)新築工事安全祈願
4155	◆	2012	5	25		H24	伏木富山港へ初の外国クルーズ客船「クラブハーモニー号:2.6万トン」入港(伏木外港)
4156	◆	2012	6	8		H24	過去最大となるクルーズ客船「コスタ・ピクトリア号:7.5万トン」入港(伏木外港)
4157	◆	2012	7	9		H24	第1回伏木富山港日本海側拠点港推進協議会・幹事会開催(富山県民会館)
4158	◆	2012	7	29		H24	世界遺産フォーラム2012 世界に誇る富山の文化遺産
4159	◆	2012	8	26		H24	富山大橋旧橋 渡り納め式
4160	◆	2012	8	28		H24	舟川ダム竣工式
4161	◆	2012	9	9		H24	北陸新幹線新高岡駅(仮称)新築工事安全祈願
4162	◆	2012	9	12		H24	羽田国土交通大臣、中島閣門視察(その他、新湊大橋、富山駅北地区等も視察)
4163	◆	2012	9	22		H24	新湊大橋開通記念イベント(海王丸パーク外:新湊大橋開通記念イベント実行委員会)
4164	◆	2012	9	23		H24	臨港道路富山新港東西線(新湊大橋)開通記念式典(海王丸パーク) 車道部のみ供用(13時より一般開放)
4165	◆	2012	9	11～14		H24	国際物流総合展2012に出展(東京ビッグサイト)
4166	◆	2012	9	27～28		H24	上海で行われたクルーズ見本市「オールアジア・クルーズコンベンション」に環日本海クルーズ推進協議会(伏木富山港、小樽港、京都舞鶴港)として協賛・出展
4167	◆	2012	10	24		H24	伏木富山港日本海側拠点港推進協議会 第1回国際海上コンテナ部会、第1回国際フェリー・国際RORO船舶部会開催(県庁4階大会議室)
4168	◆	2012	10	31		H24	上庄川水系河川整備基本方針策定
4169	◆	2012	11	3		H24	新湊大橋開通記念シンポジウム開催(インテックスカイホール:国土交通省伏木富山港湾事務所主催)
4170	◆	2012	11	7		H24	全国クルーズ活性化会議第1回総会(東京 全国都市会館) 石井知事が副会長に
4171	◆	2012	11	15		H24	伏木富山港と神戸港の連携による港湾利用促進セミナー開催(ボルファートとやま)
4172	◆	2012	11	17		H24	北陸新幹線富山駅新築工事安全祈願
4173	◆	2012	11	21		H24	景観づくりフォーラム2012
4174	◆	2012	11	27		H24	海王丸が大規模修繕のため新日本海重工業㈱のドックへ
4175	◆	2012	12	3		H24	新湊大橋ライトアップ点灯式(海王丸パーク)
4176	◆	2013	2	14		H25	海王丸パークが「恋人の聖地」の選定を受ける
4177	◆	2013	3	7		H25	海王丸が大規模修繕を終え、海王丸パークへ戻る
4178	◆	2013	3	27		H25	菟波川河川改修事業竣工式
4179	◆	2013	3	11～14		H25	観光庁主催のクルーズ見本市「クルーズ・ショッピング・マイアミ2013」に参加
4180	◆	2013	3	23～24		H25	帆船海王丸竣工記念イベントの開催
4181	◆	2013	4	16		H25	富山きときと空港台北便就航1周年・増便記念式典
4182	◆	2013	4	26		H25	富山きときと空港ソウル便就航20周年記念式典
4183	◆	2013	5	2		H25	富山港に初めてのクルーズ客船「にっぽん丸:2.2万トン」が入港
4184	◆	2013	5	19		H25	黒部川水防演習
4185	◆	2013	5	19		H25	帆船海王丸の総帆展帆が200回
4186	◆	2013	5	21		H25	泉川水系河川整備基本方針策定
4187	◆	2013	6	7		H25	北陸新幹線「黒部宇奈月温泉駅」「新高岡駅」駅名決定
4188	◆	2013	6	15		H25	富山きときと空港にボーイング787型機が東京便で就航
4189	◆	2013	6	16		H25	新湊大橋「あいの風プロムナード」開通
4190	◆	2013	6	23		H25	立山アルペンヒルクライム2013開催(「美女平天空ロード」において一般参加を募った初めての大会)
4191	◆	2013	7	11		H25	富山空港ターミナルビル屋上看板を「富山空港」から「富山きときと空港」に掛替え
4192	◆	2013	7	31		H25	「伏木富山港利用促進セミナーin北海道」を開催(札幌市)
4193	◆	2013	8	24		H25	富山きときと空港開港及び富山ー東京便就航50周年記念式典
4194	◆	2013	8	28		H25	下新川海岸平成20年高波災害対策事業概成式
4195	◆	2013	9	10		H25	アジア最大のクルーズ客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ号:13.7万トン」入港(伏木外港)
4196	◆	2013	9	14		H25	城端線新高岡駅 新設工事安全祈願祭・起工式
4197	◆	2013	9	29		H25	国際世界遺産セミナー開催
4198	◆	2013	9	30		H25	(都)桜馬場長慶寺線(高岡市末広町～南幸町L=540m) 開通
4199	◆	2013	10	10		H25	北陸新幹線列車名決定(かがやき・はくたか・つるぎ・あさま)
4200	◆	2013	10	12		H25	「恋人の聖地」(海王丸パーク)でモニュメント除幕式
4201	◆	2013	10	19		H25	住まい博富山130、スーパーハウジングフェアin 富山(～10.20)
4202	◆	2013	11	4		H25	黒瀬川竣工式(第一期区間)
4203	◆	2013	11	7		H25	富山地方鉄道新黒部駅 新設工事安全祈願祭・起工式
4204	◆	2013	11	14		H25	平成25年度第2回富山県環境審議会において、富岩運河底質対策に係る費用負担計画(中島閣門上流部)が答申
4205	◆	2013	11	14		H25	国交省が富山きときと空港の無線施設(ローカライザー)更新完了

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
4206	◆	2013	11	15		H25	(都)中央町鷹栖線(砺波市中央町L=240m) 開通
4207	◆	2013	11	19		H25	片貝清流橋 開通式
4208	◆	2013	11	20		H25	「伏木富山港と神戸港の連携による港湾利用促進セミナー」開催(神戸市)
4209	◆	2013	11	21		H25	景観づくりフォーラム2013
4210	◆	2013	12	2		H25	北陸新幹線(長野～黒部宇奈月温泉駅間)走行試験開始
4211	◆	2014	2	13		H26	泉川水系河川整備計画策定
4212	◆	2014	3	29		H26	高岡駅周辺整備事業完成記念式典
4213	◆	2014	3	30		H26	牧野大橋 開通式
4214	◆	2014	4	15		H26	富山きときと空港 富山・台北便が期間限定のデイリー運航 (～5月31日)
4215	◆	2014	4	29		H26	大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス号:11.6万トン」が伏木富山港へ初入 港
4216	◆	2014	5	24		H26	北陸新幹線 長野・金沢間レール締結式
4217	◆	2014	8	1		H26	北陸新幹線 長野・金沢間試験走行開始
4218	◆	2014	8	3		H26	伏木富山港(富山地区)国際物流ターミナル2号岸壁改良着工式
4219	◆	2014	8	5		H26	北陸新幹線 新高岡駅・黒部宇奈月温泉駅新幹線走行試験車両(W7系)歓迎式典
4220	◆	2014	8	10		H26	北陸新幹線 富山駅 新幹線走行試験車両(W7系)歓迎式典
4221	◆	2014	11	1		H26	国道415号谷屋大野BP(氷見市谷屋)開通

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
4222	◆	2014	11	3		H26	世界遺産登録推進国際フォーラム2014の開催
4223	◆	2014	11	7		H26	国道471号柗折BP(富山市八尾町柗折)開通
4224	◆	2014	11	14		H26	(主)高岡環状線(高岡市佐野～六家)開通
4225	◆	2014	11	22		H26	伏木富山港国際定期コンテナ航路就航30周年記念式典
4226	◆	2014	11	26		H26	(主)黒部宇奈月線(黒部市荻生～若栗)開通
4227	◆	2014	12	8		H26	北陸新幹線 JRによる訓練運転開始
4228	◆	2014	12	13		H26	水辺と光の空間創出事業「帆船海王丸」ライトアップ点灯式
4229	◆	2014	12	31		H26	伏木富山港コンテナ取扱個数(H26)が2年連続で過去最高を更新
4230	◆	2015	2	6		H27	上庄川水系河川整備計画策定
4231	◆	2015	2	26		H27	北陸新幹線 黒部宇奈月温泉駅周辺施設完成式
4232	◆	2015	2	28		H27	能越自動車道(七尾IC～灘浦IC)開通式
4233	◆	2015	3	1		H27	国道8号 入善黒部バイパス(黒部市古御堂～魚津市江口間) 開通式
4234	◆	2015	3	1		H27	高岡砺波スマートIC(北陸自動車道)開通式
4235	◆	2015	3	1		H27	南砺スマートIC(北陸自動車道)開通式
4236	◆	2015	3	13		H27	市内電車富山駅乗入れ開業式
4237	◆	2015	3	14		H27	北陸新幹線 長野・金沢間開業
4238	◆	2015	3	14		H27	北陸新幹線 新高岡駅開業イベント等オープニングセレモニー
4239	◆	2015	3	23		H27	県道小杉婦中線(戸破高架橋)開通式
4240	◆	2015	3	24		H27	興亜海運株式会社の航路開設20周年を記念して県に来訪、記念盾進呈
4241	◆	2015	3	25		H27	県道入善朝日線(赤川橋)開通式
4242	◆	2015	3	29		H27	富山きとときと空港 富山・札幌便からAIR・DOが撤退(AIR・DOとANAの共同運航からANA単独運航に変更)
4243	◆	2015	3	29		H27	富山きとときと空港 富山・東京便の主力機がボーイング767型機からボーイング737型機に全便小型化
	◆	2015	4	1		H27	小型気象レーダーの運用終了、XRAINIによる運航支援に移行
4244	◆	2015	4	20		H27	富山駅付近連続立体交差事業 一部高架供用開始(あいの風とやま鉄道線上り線、JR高山本線)
4245	◆	2015	5	18		H27	大型クルーズ客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ:13.8万トン」が伏木富山港(伏木地区)へ入港
4246	◆	2015	5	25		H27	大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス:11.6万トン」が伏木富山港(伏木地区)へ入港
4247	◆	2015	6	21		H27	魚津港(北地区)完成式
4248	◆	2015	7	10		H27	新湊マリーナにカフェ・レストラン「Sazan」オープン
4249	◆	2015	7	19		H27	富山新港でタモリカップ富山大会2015開催
4250	◆	2015	8	9		H27	富山新港で新旧海王丸がW総帆展帆・トリプル公開(新旧海王丸+大成丸)
4251	◆	2015	10	25		H27	富山新港で第35回全国豊かな海づくり大会放流行事を天皇・皇后両陛下をお迎えし開催
4252	◆	2015	11	1		H27	第1回富山マラソン2015開催、新湊大橋もコースの一部として利用
4253	◆	2015	11	3		H27	世界遺産登録推進シンポジウム2015 日本固有の防災遺産－立山砂防の防災システムを世界遺産に
4254	◆	2015	11	6		H27	元気の森公園パークゴルフ場新コース竣工式
4255	◆	2015	11	10		H27	第47回連続立体交差事業研究会(富山県開催)(～10-11)
4256	◆	2016	2	26		H28	建設業の担い手確保のため、一般女性により建設業の魅力をPRするパンフレット「TSUKURU」を作成
4257	◆	2016	2	28		H28	国道8号魚津滑川BP 開通
4258	◆	2016	3	19		H28	国道8号富山高岡BP坂東交差点立体 開通
4259	◆	2016	3	27		H28	能越自動車道 氷見南IC 開通
	◆	2016	3	27		H28	東京便1日4往復
4260	◆	2016	3	29		H28	第3回「利賀ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」開催
4261	◆	2016	5	28		H28	富山新港で国際物流ターミナル延伸整備着工式典
4262	◆	2016	7	14		H28	新湊マリーナ一部竣工式(水上棧橋37隻、日本海側初の15mシングルバース)
4263	◆	2016	7	17		H28	タモリカップ2016開催(新湊マリーナ・海王丸パーク)
4264	◆	2016	10	30		H28	富山マラソン2016開催、第一回に引き続き新港大橋もコースの一部として利用
	◆	2016	10	31		H28	ソウル便にエアソウル(LCC)就航(週3往復、季節運航)
4265	◆	2016	12	3		H28	主要地方道小杉婦中線バイパス開通式典
4266	◆	2016	12	11		H28	世界遺産登録推進国際シンポジウム2016 日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に
4267	◆	2017	3	4		H28	沖田川放水路 供用開始
4268	◆	2017	3	19		H28	主要地方道魚津生地入善線立野生地バイパス開通式典
4269	◆	2017	5	17		H29	新湊マリーナ拡張整備概成記念式典
4270	◆	2017	7	16		H29	タモリカップ2017開催(新湊マリーナ・海王丸パーク)
4271	◆	2017	8	5		H29	東海北陸自動車道 付加車線設置事業 着工式
4272	◆	2017	8	26		H29	富山県美術館開館
4273	◆	2017	9	2		H29	富山外郭環状道路 国道8号 豊田新屋立体 起工式
4274	◆	2017	10	11		H29	新湊地区水平引込式クレーン竣工式
	◆	2017	10	29		H29	台北便週4往復
4275	◆	2017	10	29		H29	富山マラソン2017開催、新湊大橋もコースの一部として利用
4276	◆	2017	11	28		H29	本宮堰堤と泥谷堰堤が、我が国を代表する近代砂防施設として既に指定されている白岩堰堤と合わせて、「常願寺川砂防施設」として国の重要文化財に指定
4277	◆	2017	12	8		H29	日本イコモス国内委員会の「日本の20世紀遺産20選」に、「立山砂防施設群」が3番目に選定
4278	◆	2018	2	8		H29	～2-9 ゆきみらい2018in富山
4279	◆	2018	3	17		H29	北陸電力新港火力発電所LNG1号機 LNG船第一船入港
4280	◆	2018	4	25		H30	道の駅雨晴竣工式
4281	◆	2018	7	3		H30	東海北陸自動車道全線開通10周年記念シンポジウム
4282	◆	2018	7	20		H30	帆船海王丸がふね遺産に認定
4283	◆	2018	7	21		H30	主要地方道小杉婦中線戸破高架橋開通式
4284	◆	2018	8	31		H30	常願寺川砂防施設の重要文化財指定記念式典の開催
4285	◆	2018	9	28		H30	富山県立大学看護学部教育棟竣工式
4286	◆	2018	10	1		H30	富山県にて国際防災学会インタープリメント2018の開催 10月1日(月)～4日(木)
4287	◆	2018	10	14		H30	一般国道471号利賀バイパス 一部開通式
	◆	2018	10	28		H30	大連便週3往復
4288	◆	2019	3	4		H30	富山駅付近連続立体交差事業 あいの風とやま鉄道富山駅全線高架化完成
4289	◆	2019	3	23		H31	富岩水上ラインに4隻目となる新艇「kansui」が就航
4290	◆	2019	4	25		H31	立山カルデラ砂防博物館の開館からの入館者数が100万人を達成
4291	◆	2019	5	18		R1	庄川・小矢部川総合水防演習の実施
4292	◆	2019	5	23		R1	日台観光サミット海王丸パーク視察
4293	◆	2019	6	1		R1	「帆船海王丸物語」発刊

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
4294	◆	2019	6	26		R1	岐阜県との東海北陸合同要望
4295	◆	2019	6	30		R1	伏木富山港(新湊地区)国際物流ターミナル延伸整備事業完成式典
4296	◆	2019	7	13		R1	伏木港開港120年記念日
4297	◆	2019	7	27		R1	伏木港開港120周年記念式典
4298	◆	2019	8	1		R1	東海北陸自動車道建設促進同盟会・東海環状道路建設促進期成同盟会
4299	◆	2019	8	6		R1	伏木富山港利用促進セミナーin名古屋
4300	◆	2019	8	17		R1	国道472号「十三石橋架け替え」開通式
4301	◆	2019	8	21		R1	中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会 定期総会
4302	◆	2019	9	3		R1	伏木富山港(新湊地区)国際物流ターミナル等現地視察会
4303	◆	2019	9	10		R1	「高速道路における安全・安心基本計画」が策定され、東海北陸自動車道が4車線化の優先整備区間に選定
	◆	2019	9	16		R1	ソウル便運休
4304	◆	2019	9	27		R1	東海北陸自動車道(仮称)城端SAスマートICの事業化が決定
4305	◆	2019	10	5		R1	神通川の堤防強化を行う、富山市街地重点防御築堤事業(直轄事業)起工式が富山市安野屋地先で開催
4306	◆	2019	10	27		R1	国道41号大沢野富山南道路起工式
4307	◆	2019	11	11		R1	伏木富山港利用促進セミナーin東京
4308	◆	2019	11	17		R1	伏木富山港(新湊地区)中央ふ頭再編整備事業着工式典
4309	◆	2019	11	20		R1	富山駅付近連続立体交差事業 富山地方鉄道本線の事業着手(事業認可)
4310	◆	2019	12	5		R1	旧伏木港右岸3号岸壁水平引込式クレーンが国登録有形文化財に登録
4311	◆	2019	12	7		R1	国道359号砺波東バイパス開通式
4312	◆	2019	12	15		R1	一般県道藪田下田子線「北の橋架け替え」開通式
4313	◆	2020	3	10		R1	東海北陸自動車道(五箇山IC～福光IC、白川郷IC～五箇山IC)4車線化候補箇所選定
4314	◆	2020	3	20		R1	富山駅路面電車南北接続開通式・南北自由通路完成式、富山駅路面電車南北接続発車式(富山市)
4315	◆	2020	3	21		R1	富山駅路面電車南北接続開業
4316	◆	2020	3	25		R1	「新湊地区における不法係留船対策に係る計画」の決定
4317	◆	2020	3	29		R1	富山県立大学中央棟竣工式
4318	◆	2020	4	1		R2	建設関連シゴト紹介・魅力PR冊子「みんなでTSUKURU」を作成
4319	◆	2020	4	10		R2	国道41号片掛地区の法面崩壊による通行止め(～5月27日まで)
4320	◆	2020	5	18		R2	主要地方道入善朝日線 入善町藤原～古黒部バイパス開通
4321	◆	2020	5	29		R2	一級5水系のダム事前放流に係る治水協定締結
4322	◆	2020	8	7		R2	利賀ダム工事用道路・国道471号利賀バイパストンネル着工式
4323	◆	2020	8	10		R2	帆船海王丸一般公開30周年記念式典
4324	◆	2020	8	19		R2	仏生寺川 河川整備基本方針策定
4325	◆	2020	8	31		R2	利賀ダムの基本計画の変更(第2回)
4326	◆	2020	9	25		R2	新湊地区における「重点的撤去区域」及び「放置等禁止区域」の施工
4327	◆	2020	10	13		R2	北陸地方治水大会開催
4328	◆	2020	11	6		R2	東海北陸自動車道 福光IC-城端SA間 県内区間初の4車線化
4329	◆	2020	11	8		R2	立山砂防防災遺産シンポジウム ～世界遺産登録推進シンポジウム2020～
4330	◆	2020	12	12		R2	東海北陸自動車道城端SA～福光ICの4車線化事業完成式典
4331	◆	2020	12	13		R2	北陸自動車道 上市スマートIC開通
4332	◆	2020	12	16		R2	県道小杉櫨山新線(入善町櫨山)の歩道開通式
4333	◆	2020	2	8		R2	上海便、大連便新型コロナウイルスの影響により運休
4334	◆	2020	3	5		R2	台北便新型コロナウイルスの影響により運休
4335	◆	2020	4	1		R2	東京便、札幌便新型コロナウイルスの影響により一部運休
4336	◆	2021	8	5		R3	伏木富山港利用促進セミナーin名古屋
4337	◆	2021	1	8		R2	2021豪雪 35年ぶり積雪100cm超え 24時間降雪量過去最大
4338	◆	2021	3	23		R2	呉羽丘陵連続橋 起工式
4339	◆	2021	3	30		R2	一般国道8号(富山外郭環状道路)中島本郷立体の新規事業化決定
4340	◆	2021	5	31		R3	「富山湾岸サイクリングコース」がナショナルサイクルルートに指定
4341	◆	2021	6	11		R3	道の駅「KOKOくろべ」が道の駅に新たに登録
4342	◆	2021	6	24	1	R3	ナショナルサイクルルート指定記念式
4343	◆	2021	6	24	2	R3	富山県新広域道路交通ビジョン・計画が策定
4344	◆	2021	7	13		R3	富山県道路公社設立50周年記念式典
4345	◆	2021	8	9		R3	国道415号富山東バイパス開通式、供用開始

番号	出典	年	月	日	校番	年号	事項
4346	◆	2021	8	11		R3	能越自動車道・立山有料道路フェア開催
4347	◆	2021	9	30		R3	知事立山砂防事業・世界遺産候補地の視察
4348	◆	2021	10	21		R3	伏木富山港(新湊地区)国際物流ターミナル等現地視察会
4349	◆	2021	10	28		R3	主要地方道宇奈月大沢野線魚津市袋～石垣新開通式
4350	◆	2021	10	30		R3	立山砂防シンポジウム-世界遺産登録推進シンポジウム2021-
4351	◆	2021	11	9		R3	伏木富山港利用促進セミナーin東京(Web開催)
4352	◆	2021	11	10		R3	東海北陸自動車道南砺スマートIC～小矢部砺波JCT間の一部(1.8km)の4車線化工事が完成し、供用開始
4353	◆	2021	11	15		R3	富山県景観づくりフォーラム2021 開催
4354	◆	2021	11	20		R3	富山駅南北線 開通
4355	◆	2021	12	20		R3	一般国道8号入善黒部バイパスのバイパス区間4車線化着手決定
4356	◆	2021	10	31		R3	東京便1日3往復
4357	◆	2022	2	16		R4	第1回 伏木富山港カーボンニュートラルポート(CNP)検討協議会
4358	◆	2022	3	14		R4	県道練合宮尾線富山市つばめ野～打出バイパス開通
4359	◆	2022	3	30		R4	東海北陸自動車道福光IC～南砺SIC間(約4.6km)4車線化事業許可
4360	◆	2022	4	22		R4	道の駅「KOKOくろべ」開駅式、オープン
4361	◆	2022	5	2		R4	立山有料道路桂台～美女平間で落石による通行止め(～5月27日まで)
4362	◆	2022	5	28		R4	利賀ダム転流エトンネル着工式
4363	◆	2022	10	7		R4	富山県防災危機管理センター竣工式
4364	◆	2022	11	7		R4	伏木富山港(伏木地区)外航での石油荷役開始
4365	◆	2022	11	12		R4	東海北陸自動車道福光IC～小矢部砺波JCT間の一部(3.5km)、城端SA付近(2.4km)の4車線化工事が完成し、供用開始
4366	◆	2022	11	13		R4	国道304号荒木高宮バイパス開通式、供用開始
4367	◆	2022	11	14		R4	富山県景観づくりフォーラム2022 開催
4368	◆	2022	12	4		R4	立山砂防防災遺産シンポジウム -日本固有の防災遺産立山砂防の防災システムを世界遺産に-
4369	◆	2023	2	1		R5	伏木富山港(富山地区)ハイポストクレーン供用開始
4370	◆	2023	3	31		R4	能越自動車道福岡PAIC新規事業化決定
4371	◆	2023	6	1		R5	土砂災害防止 全国の集い in 富山 治水分県・富山で考える土砂災害対策～立山の砂防 120年とこれから～ 6月1-2日
4372	◆	2023	6	28		R5	県内で豪雨発生 局地的に3時間で約200ミリの大雨となり、上市町では1時間に約100ミリの猛烈な雨が降り、記録的短時間大雨を観測
4373	◆	2023	7	12		R5	県内で豪雨発生 複数の観測地点で統計開始以来の極値を記録する大雨を記録
4374	◆	2023	9	23		R5	伏木富山港(新湊地区)ガントリークレーン更新
4375	◆	2023	9	29		R5	県道 阿弥陀堂魚津停車場線(釈迦堂地内)を歩行者利便増進道路に指定
4376	◆	2023	9	30		R5	富山市街地重点防御築堤事業 竣工式
4377	◆	2023	10	21		R5	立山砂防国際シンポジウム ―日本固有の防災遺産 立山の防災システムを世界遺産に―
4378	◆	2023	12	8		R5	都市計画道路牛島蟻川線(富山市牛島本町～神通本町)4車線供用開始
4379	◆	2023	12	16		R5	東海北陸自動車道城端スマートIC開通式、供用開始
4380	◆	2023	12	21		R5	(一)千里八尾線(婦中町千里)千里バイパス開通式、供用開始
4381	◆	2023	4	13		R5	台北便臨時便運航(約3年ぶりの国際線再開)
4382	◆	2023	8	8		R5	上海便週2往復運航再開
4383	◆	2023	8	17		R5	富山空港開港60周年、東京便就航60周年
4384	◆	2024	1	1		R5	能登半島地震発生 県内最大震度5強を観測
4385	◆	2024	3	22		R5	「ダム等に関する情報提供のあり方検討会(第3回)」開催
4386	◆	2024	3	23		R5	主要地方道富山立山公園線富立大橋 4車線化開通式(供用開始3/24)
4387	◆	2024	3	27		R5	東海北陸自動車道飛驒清見IC～白川郷IC間(4.3km) 4車線化事業許可
4388	◆	2024	3	27		R5	都市計画道路川原田荒田線 (旧名称横越荒田線。上市町柳町～若杉)開通
4389	◆	2024	6	22		R6	伏木富山港(新湊地区)中央ふ頭水深14m連続岸壁完成
4390	◆	2024	6	26		R6	伏木富山港港湾脱炭素化推進計画の策定
4391	◆	2024	7	20		R6	(一)安居福野線 川崎橋開通式・供用開始
4392	◆	2024	8	11		R6	利賀ダム本体並びに押場貯水池法面对策着工式
4392	◆	2024	9	27		R6	(主)立山山田線 高善寺橋開通式(9月28日供用開始)
4393	◆	2024	4	25		R6	上海便週3往復
4394	◆	2024	6	26		R6	大連便週2往復運航再開
4394	◆	2025	3	22		R6	(主)高岡環状線(上伏間江～二塚高架橋) 高架橋開通式 (高架化暫定2車線 3月23日供用開始)
4395	◆	2025	3	27		R6	都市計画道路国道8号停車場線(町道平柳停車場線)開通